

史料目録 第84集

信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書目録  
(その4・完)

平成19年4月

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館  
調査収集事業部

史料目録 第84集

信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書目録  
(その4・完)

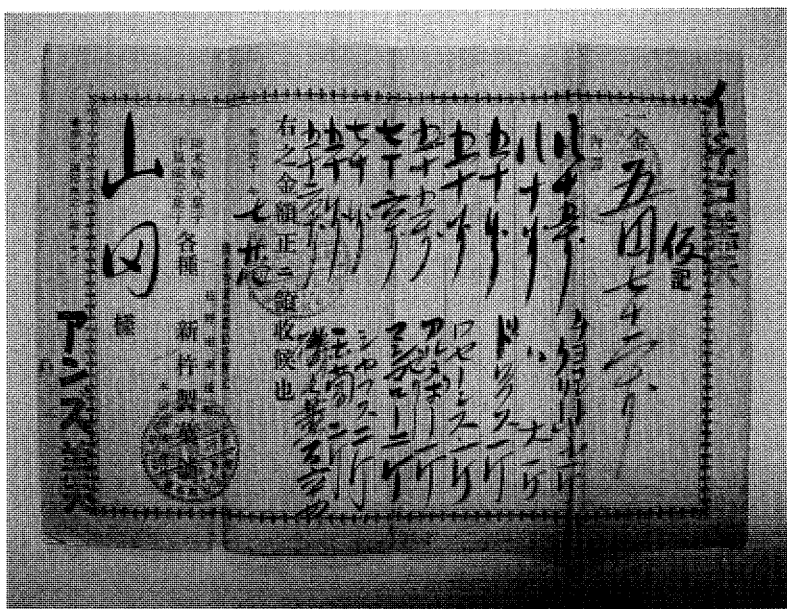


写真1 チョコレートクリームなど洋菓子の明治40年における購入記録（史料番号 473-1-59）

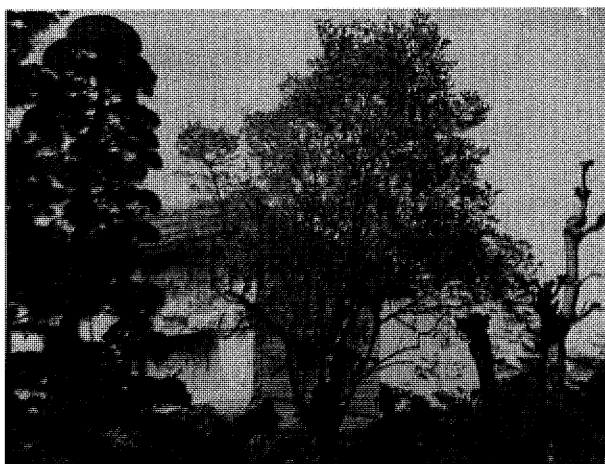


写真2

この「三階蔵」には、現在現地で保存されている文書類が一括して保管されていた。木々に隠れてしまっているが、写真3の一階部分入り口から見ても、堅牢な建物であったことが窺える。

写真3

「三階蔵」の前に立つ第13代当主 荘左衛門（薫平）



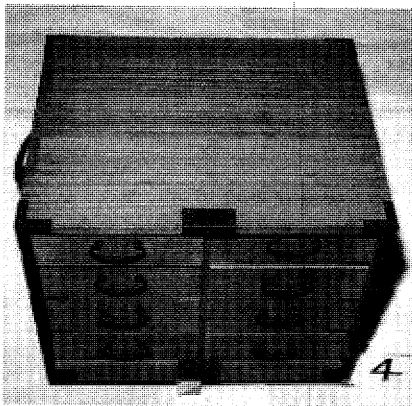


写真4 現地の史料群を収納する62容器の内、10容器は上記のような箆笥または挟み箱に保存されている。

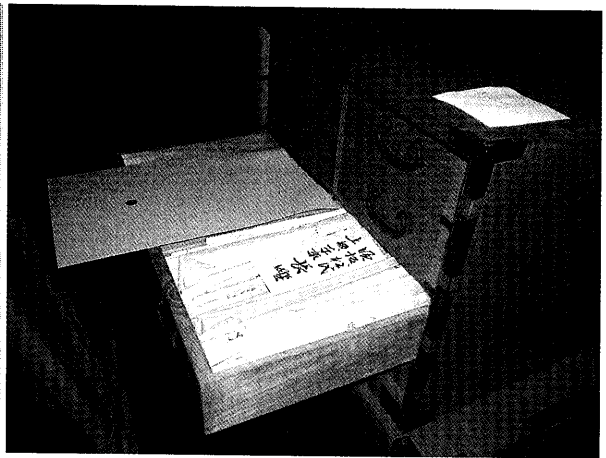


写真5 抽斗の出入に際し、文書損傷予防のため、あて紙（中性紙）で押さえる保存措置を実施した様子。



写真6 現地蔵内の小分けの容器への以前の収納状況。木箱や段ボールに詰められているため、中性紙製段ボール箱への収納換えと木箱内に中性紙の敷き紙を置いて状物等を包む措置を実施した例。

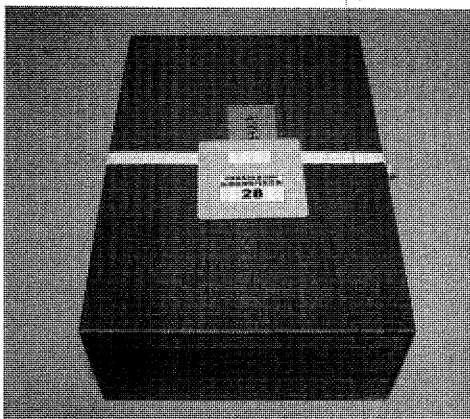


写真7 容器ごとに番号札を付けたところ

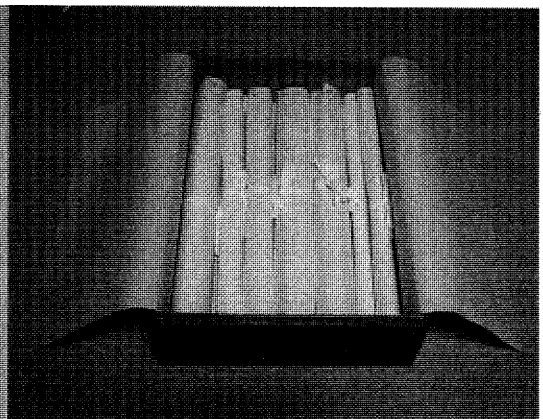


写真8 再収納するため、封筒でなく薄様で包んだ例。



## 凡 例

- 1 本目録は、『史料目録』第84集として「しなのくにたかいぐん ひがしえべむら やまだしょうざえもん けもんじよ信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書（その4・完）」を収めた（以下では、目録（その4）と略す。他も同様）。目録（その1）は第75集、目録（その2）は第80集、目録（その3）は第81集として既に刊行済みである。本目録（その4・完）・第84集で、山田庄左衛門家文書の目録は最終となる。

文書群名については、同村の山田理右衛門家文書（マイクロフィルム紙焼本）を史料館で所蔵しているの、これと区別するために通名をあわせて表記した。

- 2 目録の編成にあたっては文書群の階層構造に留意し、ISAD（G）（国際標準：記録史料記述の一般原則）の考え方も参考にしつつ、大・中・小項目で編成する方式をとった。大項目はすべてサブフォンドに相当し、中項目以下はシリーズまたはサブ・サブフォンドなどである。
- 3 袋・こより紐などによる一括史料は一括掲載し枝番号付与で物理的階層を示すことを原則とした。袋や包紙の表書を一括表題として採用した場合は「」で表記した。小項目内は原則として現状（現秩序）順に配列した。
- 4 史料の集成的記述は、フォンドとサブフォンドのレベルで解題を記した。なお、目録（その1、2）と重複する説明も多いため、その内の一部の記述や図表については省略した。
- 5 史料1点ごとの記述は、①表題・作成等（表題、作成→宛所、備考）、②年代（作成年月日）、③形態・数量、④整理番号、の順に記載した。

表題は、冊子型史料も書付型史料も原表題もしくは柱書を取り、それが無い場合には（ ）で仮表題を付与した。原表題や柱書だけで不十分な場合は、その後に（ ）で内容を摘記した。

形態は、冊子型史料の場合、半（半紙縦折判）、美（美濃紙縦折判）、横長半（半紙横折判）、横長美（美濃紙横折判）、横半半（半紙半裁横折判）、横美半（美濃紙半裁横折半）、などの略称によって原書の大概を示した。書付型史料の場合、縦紙、折紙、堅切紙、横切紙、縦継紙、横切継紙、小切紙、などと表記した。また絵図など大きいものは寸法を㌥×㌥のようにミリ単位で表記した。

なお、端裏書、印刻、包紙・封筒上書等については、特に必要と思われる場合に、必要な部分に限って記した（表題・作成等との間で情報が重複する煩雑さを避けるため）。

- 6 本目録では史料が保管されてきた秩序に応じて史料番号を付与したため、目録上で史料が番号順に並んでいない。そのため番号による検索には不便をきたすので、史料の引用に際しては番号のほか掲載頁もできるならば併記することをお願いしたい。
- 7 本目録はアーカイブズ研究系青木睦が担当し、2005・2006年度に荒川将・山本英貴（中央大学大学院生）・柳衛悠平（当時学習院大学大学院生）、法政大学・東京学芸大学・千葉大学・立正大学の学生諸氏がデータ作成の補助にあたった。

### [付記]

本目録の作成に当たっては山田顕五氏はじめ山田家の皆様、中野市教育委員会、長野県立歴史館、その他御名前をすべて列挙することはできないが、多くの方々・諸機関のご協力をいただいた。

特に山田正子氏（山田家長女、元長野県史編纂室）には山田家の歴史・史料にかかわって多くの御教示をいただいた。加えて、中野市教育委員会生涯学習課文化財係・嘱託指導主事の大滝敦士氏には、基礎情報をご提供頂いた。ここに記して謝意を表する。

## 総 目 次

口絵

凡例

総目次

本文細目次〔文書群の構造〕 ..... 1

目録（その1）～（その4）細目次〔史料館分文書群の構造〕 ..... 3

山田庄左衛門家文書全体解題 ..... 7

文書群記号

文書群名

年 代

数 量

入手の経緯

山田家の歴史

文書群の構造と内容

文書群の形態と整理の方針

関連史料

参考文献

目録本文（個別解題）

家 ..... 16

地主

諸経営

堤防組合総代

村役人

近代の役職

書状入袋

渡辺家 ..... 141

掲載図表一覧

表	
図	
図 1：山田庄左衛門家系図 ..... 17	表 1：山田顕善履歴（文久4年～明治12年） ..... 19
	表 2：山田熊太郎履歴（明治14年～大正6年） ..... 20

---

## 本文細目次〔文書群の構造〕

---

家	25	
経営	25	
家計	奉公人・雇傭	租税
家政	48	
法事・寺社		
地主	49	
土地移動	49	
小作証文・小作証券	52	
年貢諸役負担	53	
相論・訴願	54	
諸経営	55	
金融	55	
借金証文	返済訴訟	
酒造	58	
酒株		
北信商社	59	
証券投資・銀行業	60	
横浜正金銀行		
堤防組合総代	62	
慶応期堤防工事	62	
対岸村々と江戸訴訟		
千曲川瀬直し	62	
人足・諸入用		
村役人	66	
領主関係	66	
年貢諸役	66	
相論	66	

近代の役職 .....	67
第 19 大区副区长 .....	67
貴族院議員 .....	68
書 籍 .....	69
書状入袋 .....	86
渡辺家 .....	141
郡中代 .....	142
中野村名主 .....	149
家・米屋 .....	207

## 目録（その1）～（その4）細目次〔史料館分文書群の構造〕

明朝字体= 第75集、ゴチック体= 第80集、囲み = 第81集、囲み = 第84集

### 家

#### 経営

##### 家計

込入勘定

奉公人・雇傭

台所

納税

印紙類売捌 江部合名会社

#### 家政

相続

婚礼・養子縁組

法事・寺社

家普請

交際

鉄砲所持

日記・文化

情報

順碩老不幸一件 衆議院選挙活動

### 地主

所持地改

#### 土地移動

綿内村質流地受取関係

川直地替

廃道払下

その他

#### 小作証文・小作証券

江部村東組

江部村西組

(小作証文一括)

押切・北岡・矢島・清水

江部

新井・七瀬

吉田

中野町共同貯蓄講持村

吉田

片塩ほか

天神堂其外

新保

岩船

西條

新保田方

江部・カ印

江部村地籍入作栗林・草間分

片塩

江部・ツ印

綿内

平野

新保ほか

「慶応四辰年・小作証文入」

「享和三年迄村々小作入」

(小作証文一括)

「西・子迄小作証文 小作帳 岩舟村」

(小作証文一括)

地所賃借契約証書

地主小作関係帳簿

年々聞合帳

惣小作帳

小作米金収入計算帳

小作入帳

田畑小作入帳

小作粃・金請取帳

小作勘定帳

小作年貢不納帳

旱損見分改帳

小作取上請印帳

小作料収納

相論・訴願

新保村小作相論

吉田村小作相論

その他

小作人合力

手作

年貢諸役負担

他村割付状等写

諸村分年貢金納帳

年貢諸役金受取書等

文化7年分綴

文化8年分綴

文化9年分綴

文化7・8・9年分綴

文化9・10年分綴

文化10年分綴

文化11年分綴

文化11・12年分綴

文化12年分綴

文化13年分綴

文化12・13・14年分綴

文政元年分綴

文政元・2年分綴

文政3・4年分綴

文政7年分綴

文政8年分以降綴

村税等賦課令状

入庫米運送

諸経営

金融

金子差引帳

金銀出入帳

借用願・返済延期願

借金証文

返済訴訟

質札所持 無尽

大名貸

本多氏借財整理

貸金帳簿

その他

酒造

酒株

酒造改

精米

酒販売

種類納税

湯田中店

その他

水車

貸家

穀物等売買

綿作・販売

北信商社

二分金・金札等引換

差加金

商社金貸付

商社事件

諸入用

その他

証券投資・銀行業

彰真社

横浜正金銀行

横浜生糸合名会社

長野農工銀行

第六十三国立銀行

信濃銀行

信濃貯金銀行

信濃電気株式会社

台湾興業合資会社

石油販売

江部製糸場

鉾山

### 堤防組合総代

慶応以前

#### 慶応期堤防工事

組合村々水難高取調

村々評議

対岸村々と江戸訴訟

人足・諸入用

絵図

#### 千曲川瀬直し

出願・相論

会計所御用

人足・諸入用

### 村役人

領主関係

年貢諸役

夫食拝借

貯穀

土地

村入用

相論

普請

その他

### 近代の役職

幕末維新期の陣屋・県御用

第22区戸長

送籍状

第43区区長

地券改

印鑑届

送籍状（就任以前分、就任以後分）

#### 第19大区副区長

布達、届・回章留

地租改正

徴兵検査

町村合併

治安取締

区会

大区会所経費

大区議員・区総代（民費節減）

大区会所経費

県道工事

医者養成

郡役所へ引継

その他



勸業集談会

下高井郡全部組合会

平野村村会議員

江部村耕地図

貴族院議員

書 籍

書状入袋

郷村仮会所・富田屋

渡辺家

郡中代

中野村名主

家・米屋

## 信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書 全体解題

文書群記号 32H

文書群名 信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書

年 代	目録（その1）	内容年代	延宝2（1674）年～昭和17（1942）年
		成立年代	元禄6（1693）年～昭和17（1942）年
	目録（その2）	内容年代	万治3（1660）年～昭和11（1936）年
		成立年代	元禄11（1698）年～昭和17（1942）年
	目録（その3）	成立年代	明治4（1871）年～明治40（1907）年
	目録（その4）	成立年代	宝永4（1707）年～明治43（1910）年

数 量 今回目録掲載分3,850点（枝番号をも1点と数える目録上でのレコード数）

目録（その1）の掲載分は、3,507点、（その2）は、4,015点であり、（その3）が3,594点、（その4）の3,850点を総計すると14,966点である。今回整理したのは、大段ボール箱入り（その3の口絵写真4）と大こおり入り（同写真5）、小ダンボール箱、りんご箱1である。

### 入手の経緯

この文書は、1957（昭和32）年に文部省史料館が、原蔵者である山田顕五氏（長野県中野市江部在住）より直接譲り受けたものである。第2次大戦前、山田家の古文書は敷地内の「三階蔵」と呼ばれる蔵に一括保管されていたが、戦争中にこの蔵を売却したため、その際に文書を質蔵、文庫蔵、二間蔵、穀蔵に移して、別々に保管していた。その後、1957年に穀蔵収納分の文書について文部省史料館が譲渡を受けた。質蔵、文庫蔵、二間蔵には今日でも総計で1万点をこえる多量の文書が残されている（アーカイブズ研究系ではこの分についても調査を進め、中野市教育委員会と協力し、『東江部村山田庄左衛門家文書目録Ⅰ』（中野市文化財調査報告書第3集）を刊行し、『東江部村山田庄左衛門家文書目録Ⅱ』の刊行に向けて編集を進めている）。

以上のように山田庄左衛門家文書は現在、東京と中野の2か所に分かれて保管されているが、本目録では、同文書のうち史料館所蔵分を「史料館分」、山田顕五氏所蔵分を「現地分」と呼んで区別することにした。

### 山田家の歴史

#### （1）東江部村の概要

山田家の歴史について述べる前に、まず同家が存在した東江部村について説明しておきたい。信濃国高井郡東江部村は中野扇状地の末端から千曲川沖積地にかけて開け、延徳田圃（えんとくたんば、近世では圓徳の字が当てられることも多い）の北縁に位置する。延徳田圃は延徳年間（1489-92）に開発されたといわれる低地帯で、千曲川の氾濫原である。中世には東江部・西江部あわせて江部郷と称されたが、慶長検地以前に村切りが行われて分離した。山田家はこの地を開発するために近世初頭に土着したとみられる。

東江部村の領知関係は、はじめ松代藩領（森忠政、松平忠輝）、慶長8（1603）年から飯山藩領、元和2（1616）年から幕府領、同5年から福島正則領、寛永元（1624）年から幕府領、天和2（1681）年から坂本藩領、元禄15（1702）年から幕府領、正徳元（1711）年から飯山藩領、享保2（1717）年から幕末まで幕府領であった。周辺地域全体は、初期の変動を経たのち18世紀以降は主ところで幕府領・松代藩領・飯山藩領などの村々によって構成された。この時期東江部村が属した幕府領は概ね中野役所（代官所）の支配を受けた（中野役所の代官変遷については『中野市誌歴史編（前編）』531頁の表を参照）。

明治以降は、明治元（1868）年2月から信濃旧幕領を接收した尾張藩取締所、同年8月から伊那県中野局、明治3（1870）年9月から中野県、明治4（1871）年6月から長野県の支配に属している。その後の東江部村は明治7年に西江部村と一時合併した後再び分村し（江部村）、明治22（1889）年に平野村、昭和29（1954）年に中野市に編入されて今日に至っている。

村高は「慶長打立帳」で387石余、「正保書上」で499石余、「元禄郷帳」で603石、「天保郷帳」で610石余となっており17世紀に著しい伸長が見られる。安永7（1778）年の村明細帳を例に村内の様子を見てみると、村高603石・反別57町に対して田方418石・反別39町となっており田高が全体の69%を占めており田勝ちと言えるが、田高のうち合計32石5斗が永引高、合計222石5斗が畑扱いとなっている（あわせて田高の61%に相当）。このことは耕地の不安定性を物語っていると言えよう。

産業としては近世後期以降、菜種・木綿の栽培が盛んになっており、「女ハ太木綿稼」と村明細帳にも記されている。一方、明治期以降大きく展開した養蚕・製糸業がこの地に普及・定着するのは幕末開港以後のことである。

山田庄左衛門家文書目録の利用にあたり、小作証文や請取書などに頻出する中野市街および近隣村の地名等の参照のため、目録（その3）の表1・2、図1を掲載した。中野市刊行の『東江部村山田庄左衛門家文書目録Ⅰ』には、天保5（1834）年12月「信濃国郷帳」（独立行政法人国立公文書館所蔵）の内、北信四郡（埴科・更科・水内・高井）の村名一覧が付されている。

旧信濃国高井郡内の市町村は、2006（平成18）年3月時点での合併はない。

## （2）山田家の活動

活動の詳細については、目録（その1、2）に活動内容ごとに記述があるので、ここでは簡単な概要を記しておきたい。

かつてこの地を支配していた上杉景勝は慶長3（1598）年に中間・小者にまでいたる全家臣団をともなって会津へ移封するが、山田家はその後元和年間に東江部村に土着したと言われている。家の由緒として武田遺臣の伝承を持っている。近世初期の状況を語る史料は多くないが、持高は延宝検地で24石、17世紀中は庄屋も別の家が勤めるなど、当初は村内の有力者の一人であっても最有力者ではなかった。

しかし享保期には村内持高で164石、全所持地で8か村423石にまで成長し、酒造業や年貢米換金・金貸などでも利益を上げていき、村外での集積も拡大している。その後、明治4（1871）年に875石、さらに大正13（1924）年には145町歩と長野県最大の地主に発展していく。この間、東江部村名主は分家の理右衛門・文六など一族が独占するところとなり、庄左衛門家は名主をほとんど勤めず、幕末に郡中取締役・掛屋（中野役所の公金取扱）などを勤めた。また弘化4（1847）年の善光寺地震以降洪水被害がいつそう深刻化し、地域をあげてこの問題に取り組むようになると、堤防組合惣代を勤め対岸村々との

交渉や江戸への出願などに奔走し、明治4(1871)年には千曲川瀬直し工事が完成するに至っている。一方、明治3(1870)年12月に発生した中野騒動では、旧郡中取締役・北信商社社員として屋敷を焼き討ちされている。

明治期には、戸籍区制下で第22区戸長、第43区区長兼第44区区長を勤め、大区小区制下では第19大区副区長として地租改正などの事業を進めた。その後も下高井郡郡書記、下高井郡選出県議員はじめ多くの公職を歴任するが、明治23(1890)年には貴族院議員(多額納税議員)に選出され、明治31(1898)年3月には分家の理兵衛が自由党から衆議院議員に当選し、同年9月には莊左衛門が憲政党から同じく衆議院議員に当選している。経営面では、明治10(1877)年代以降これまでのような資金貸付と土地取得のための投資を抑えて、より収益のあがる証券投資を積極的に行い、自らも明治23(1890)年に第六十三国立銀行、同38(1905)年に信濃銀行の頭取となっている。

参考までに明治初年に当主を勤めた山田顕善の履歴の内、本目録の関係年にあたる文久4年以降を表3に掲げておいた。また上記のほかに文化・文政期の山田松斎など文化面での活動も顕著である。

### 文書群の構造と内容

以上より山田家が多様な活動をしてきたことがうかがえるが、今回の目録では、山田家の組織・活動歴に対応すると、「家」のサブ・グループを主としている。他のサブ・グループへは少量ずつの編成となった。目録(その1)(その2)(その3)(その4)の編成項目および細目録を3～6頁に整理したので、参照されたい。

本目録においての基本的な考え方は目録(その1、2、3)と変わっていない。本目録は、多様な活動の所産でもある請取書のまとまりであるため、これまでのサブ・グループの概要について、簡単に紹介しておく。

山田家の場合、地主経営を基盤としつつ酒造業・貸金業などを行い、近代に入っては地主資本を証券・銀行業などへ多角的に投資しているので諸部門の有機的な一体性は重要だと考えるが、これらを一括して「地主経営」などすると巨大なサブグループができてしまうし、また各部門ごと別々にサブ・グループを立てようとするとう酒造部門、金貸部門、というようには十分確立していないものも多くあるので、やや便宜的ではあるが「地主」関係と「諸経営」関係の2つに大別することとした。

また近世の山田家の経営組織については、明確に組織化されたものを持ってはいなかったと考えられる。それゆえ「家」と「地主」・「諸経営」を区別するのも、厳密に言うならば困難さを伴う。たとえば生活上の出費と経営上の支出が十分区別されずに記録されたり、個々の奉公人の雇傭も家内部での仕事をするためのものか地主手作や酒造のためのものか判別できない。ここでは、明確に組織化こそされていないが、家は単なる生活の場としてだけでなく、地主経営も含めた諸経営を統括する場でもあったと考え、経営全般に関わるような史料はここに編成した。明治期以降の台所や、大正期以降の江部合名会社はこの機能の延長線上にあるのではないかと考える。(全体解題は、目録(その1)の山崎圭氏執筆内容をもとし、一部青木が加除した。)

現地にある膨大な量の史料群については、先に記した中野市刊行の『東江部村山田庄左衛門家文書目録Ⅰ』に引き続き、Ⅱ・Ⅲが刊行される予定である。なお、当館所蔵の山田庄左衛門家文書の目録刊行の最終となる本書において、これまでの現地における調査の経緯と史料群の概要を以下に紹介しておく

こととする。(基本資料:『史料館報』72号・2000年3月、『史料館報』76号・2002年3月、山崎圭執筆、山崎圭氏作成調査資料)。

初めての調査は、1998(平成10)年10月13日から18日までの6日間、調査を実施した。参加者は、山田正子氏、中野市歴史民俗資料館長徳永泰男氏、中野市立図書館長海谷照氏、および国文学研究資料館史料館(現:国文学研究資料館アーカイブズ研究系)から安藤正人、山崎圭の計5名であった。この調査では山田家文書のうち史料館に移管されず現地にそのまま残された分の状況を確認し、容器ごとの概要記録を行うことを目的とした。

最初に屋敷図(明治)および土蔵群平面図(現在)を見せていただき、それをもとに文書の収蔵状況を確認した。山田家では、本宅については建て替えを経ているものの、蔵や門などについては幕末・明治のものが今もなお多く残されている。そのうち文書が収蔵されているのは質蔵、文庫蔵、二間蔵(通称)、の三つである。容器の数で各蔵の収蔵量を概観すると、質蔵一階に2、同二階に21、文庫蔵一階に1、同二階に16、二間蔵一階に12、同二階に6、あわせて58の容器に入った文書が現存している(風呂敷包・紙包も容器の一つに数えた、現在はその後の新出分を含め62容器である)。

これらの文書について各室ごとに配置状況を写真・スケッチなどによって記録した後、各容器ごとに概要調査および聞き取りを行った。

調査の結果、まず山田(庄左衛門)家文書中には、同家の外で作成された文書群として山田理右衛門家文書と千曲川堀割関係文書が混入していることが明らかである。前者は分家の一つが明治末年に千葉へ移住した際に売却したもので、本家では古書店からその一部を購入している(長野県立歴史館もその一部を所蔵)。後者は1897(明治30)年に千曲川水利組合より同家に永久寄託を受けたものである。この二つを除いた文書が狭義の山田家文書ということになる。その主なものについて見ると、家、村役人、戸長、地主、商社、貴族院議員、平野村信用組合、江部合名会社、などである。

以上に述べた史料以外に重要なものとして筆筒などの家具や什器も数多く残されているが、前者については小泉和子氏による写真付目録があり、後者については家族総出で作成されたという目録がある。これらの調査とも連携していく必要がある。ほかに掛軸や蔵書なども多数残されておりこれも貴重である。

2003年を所在調査事業の完結目標として段階的に調査を進めるという計画を作成し、内容調査に着手した。2003年度から科学研究補助金による「日本近世・近代の地主・名望家文書を中核とした地域史料の総合研究」(代表丑木幸男)を開始して調査・整理・保存・研究を進めてきた。この研究も本年3月で終了し、報告書を作成する。2007年段階での現地史料点数は13,000点を越えた。

次に、当館史料と密接に関連する現地史料について、容器ごとの内容を紹介しておく。

山田家文書の配置状況(数字は容器番号)[口絵4～8は、現地での保存状態]

質蔵	2階 1～21	1階 22,23	
文庫蔵	2階 24～39	1階 40、59-62	
二間蔵	2階 53～58	1階 41～52	計62容器

・容器1 渋紙・襖の下張り(どこから、いつ剥いだかなど不明)。この文書群は、容器2の筆筒の上に1-1から1-11までの28点がまとめておかれていた、襖下張、渋紙、大判和紙張り合わせ紙類である。28点の内、山田家文書によって調製されたものや山田家に関わる包装紙類9点(全体の32%)、山田家以

外の他の文書によるもの8点(29%)、文字なしの和紙張り紙・包装紙等11点(39%)である。

山田家ではこの渋紙を生活用品として農作業時の乾燥用敷き紙として使用したり、長持の保護用カバーなどとして用いてきた。その中に文書が貼り合わせてあることについて、あまり注意をはらわれていなかったという。この、史料番号1-8-3の渋紙に台湾文書が発見された。

- ・容器2 筆筒 分家(理兵衛家)の伯父が明治初年に当主に入ってから使用。その経緯は、その前の当主健蔵氏が明治2～5年頃に若くして急死したため。
- ・容器3 9つの抽斗をもつ筆筒。昭和47年まで使用(→母屋改築後蔵へ移す)。母屋の座敷・仏壇の下。  
※母屋：明治3年、中野騒動で母屋焼討される。以後昭和47年まで「仮普請」の家で通す。
- ・容器4 帳筆筒 左右二つずつ4段、計8つの抽斗をもつ筆筒。近代の借金証文・証書類を整理保管するために調整されたものと推測される。明治期から昭和初年のもの中心。
- ・容器5 慳貪型本箱(左5段・右5段の棚) 明治6年～昭和13年分。山田家の地主経営関係史料中心。
- ・容器6 竹製箱に紙箱で一括 各種領収書・高井製糸関係・長野電鉄株式会社関係の史料。昭和9年～昭和19年分。
- ・容器7 木箱(蓋無) 昭和15年～昭和20年の山田家における地主経営に関わる小作米・小作料の収納や徴収の史料中心。昭和5年～昭和21年分。
- ・容器8 帳筆筒 8と9はセットとみなされ山田家では重要文書と意識されてきた。長らく施錠状態(顕五氏が解錠)。所在位置は、正子氏の記憶ではここに所在。
- ・容器9 帳筆筒 8に同じ。化政～明治初年(10年間くらい)分。ある程度整理されて袋に収納(仕訳の段階)。内容：上部 困穀、苗字帯刀、不幸書物(など家関係)、代官金貸・延徳田圃自普請(万延元年～)、分家への土地の分け方、地震記録、屋敷地図(まとまって存在)、病院(長野共立病院へ寄付した医療器械の目録など)、北信商社、家相続、県庁からの賞与、明治初年町村合併書類、学校関係、当選証書類(貴族院、郡会など)。下部 明和・天明の万差引帳、貞享の田畑反別改、享保の小作騒動史料
- ・容器10 渋紙包 延宝期の検地帳(3点)
- ・容器11 木箱 炭酸紙 ・容器12 紙箱 書簡類 ・容器13 紙箱 書簡類
- ・容器14 紙包 扇子(松斎と交遊した人のもの)
- ・容器15 新聞包 理右衛門(東の家・ヒガシノウチ)の売却残り文書(理右衛門家は明治末年に文書を売却して千葉へ。蔵に放置していた分を引き取る)。売却史料は、長野県立歴史館(含須坂高校分)、山田本家。
- ・容器16 風呂敷包(19・20と一緒に三階蔵より移動か) 北信商社関係。来信書入(貴族院時代に地元との往来書簡類)、明治以降のものが雑多に入る(「東遊雑誌」など)、ほかに熊太郎(明治10年代の当主)のものあり。
- ・容器17 挟み箱 質地証文多数。松斎が村別・年次別に整理(一部ビニール紐で補強してあるが、秩序は崩していないとのこと)。古川貞雄氏の地主研究論文で利用。
- ・容器18 挟み箱

土地帳簿類多数(延宝検地以降の土地集積状況、享保～明治期の諸台帳)。18・19は、対の挟み箱であるが、収納の時期は不明。

- ・容器 19 洋服箱(横浜店の木製紙貼り) 化政～明治期の史料(松斎の旅日記他、雑多)
- ・容器 20 洋服箱(横浜店の木製紙貼り) 19・20は、同種。神社・信仰関係。領悟院(松斎母)不幸日記、般若経、常夜灯寄付(高野山信仰)、御守類、など近世後期のものが多い。
- ・容器 21 慳貪型本箱 明治20年台から戦前の諸帳簿。小作人帳が主。母屋から移動か。最後の1冊は、現在も使用のため、母屋に別置。
- ・容器 22 大紙(御膳の包み紙) 安永頃の東江部村絵図。
- ・容器 23 箆笥 抽斗に掛軸等を入れた抽斗の中に、明治期の村絵図2本など、調度品類。山田董平の整理した秩序で、調度品類の配置をのこす。董平は、書画・骨董を好み、蔵の整理を行った。明治35年にライカ購入(フィルム・乾板・ガラス板あり)。
- ・容器 24 木箱 雑多なもの。文久～嘉永期(弘化5年西遊雑用記、扶食手間帳)。鶴屋の帳簿多い。
- ・容器 25 木箱 雑多なもの。馬車鉄道特許状(明治33年、飯山-中野・夜間瀬-豊野)、昭和初期関西方面視察報告書、「御用留」類、田畑明細書入など近世から明治期のもの。
- ・容器 26 木箱 「永統講諸帳面并紙圖入」(箱書)「永統講諸帳面并紙圖入」という貼紙のある小型の木箱で、弘化・安政頃を中心に明治10年までの講関係帳簿22点が収められている。永統講は山田家一族の間で資金を融通し合う無尽であったと考えられる。安永以降、永統講積立并連名帳が約10冊、紙圖1束、弘化4年無尽帳(世話人五郎右衛門)。五郎右衛門は、新野村中山家(中山晋平生家)当主、松斎妻は、中山家の出で、理右衛門家から嫁いだ女性が晋平の母。山田・中山両家は、濃厚な親戚関係。26・30・31は、棚の上の調度品と共に配置されていたが、最近になり文書側にまとめた。
- ・容器 27 木箱 趣味など雑多なもの 千家流、生花・盆景、元文期の小作帳も混じる。
- ・容器 28 木箱「山田宗家系図其他」(箱書) 永禄4年信玄朱印状、墓地・系図関係、「信濃山田氏系譜」(松斎の考証によるもの1点、理右衛門家で書き足したもの1点)。大正5年骨董売払関係書類は、最近になりここに配置。
- ・容器 29 木箱 趣味など雑多なもの。扇子、書簡包紙(書簡本体はなし、「京都頼先生□□書」とある)、未使用色紙など。
- ・容器 30 緑擬革紙ファイルボックス 天保期の貸し金出入りなど訴状多数(「一件書付入」、「寅卯江戸一件書付入」、「御判頭瀬戸物町書付入」、「新保村理兵衛分蔵之助一件」、篠井庄助関係、渋湯忠右衛門質関係など)。天保期の訴状一括束多数。天保13年に松斎死去後、次代当主(養子)が経営再建のため積極的取立を図った関係多い。
- ・容器 31 桐箱 箱表貼紙が剥げた跡がある。中身は太々講関係の帳簿、開講の回章などである。「昇平講」関係(中野代官所管下の豪農無尽)。安政3年昇平講企仕方帳、太々講年々勘定帳、昇平講廻金証文帳(文久期)など。
- ・容器 32 木箱 玄照寺格天井寄付感謝状(昭和戦前) 玄照寺は、曹洞宗大徳寺(菩提寺、片塩村)の本寺で、小布施にある。

- ・容器33 木箱 上段は、北信商社関係など（県の返済要求、会社家賃受取、商社人飯米料ほか）。下段は、「拝領書付」（上田松平に金貸、文政期に500両か）、朝鮮人参関係、「父上様（松斎）」後遺言書（隠居時の財産約定、譲渡目録など多数）
- ・容器34 構図（「KIRIN」の包紙）構図の軸2本（平野村江部のうち東'西）。平野村は、明治22年町村制施行以後。構図は、母屋にあり、特に戦後の土地改良事業で頻繁に使用。
- ・容器35 白（南京?）箱 「松斎関係書類」（箱書）「松斎関係書類」と貼紙のある抽斗付の白い箱で、昭和3年に平野村長が長野県知事宛に「故山田松斎文化風教ノ為貢献」との理由で贈位を内申した際に揃えられた参考資料で、『經典穀名考』、『譬稻性辯』など松斎著書の版本や頼山陽からの書簡写真などがある（結果叙勲されず）。松斎印鑑、頼山陽との問答集など。（以上の4容器は文庫蔵2階分）。
- ・容器36 段ボール箱 理右衛門家文書（古書店より購入）36番、37番は、山田家が近年になって古書店から購入した分家の山田理右衛門家文書である。この家の文書は、その一部が長野県立歴史館にも所蔵されているので、同館の方々が整理にあたり文書群の全貌を検討されている。この家は本家にかわって東江部村名主を勤めた期間が長く、年貢皆済目録・宗門改帳など村方の基本帳簿を数多く残している。36二は、一紙ものが多数で、安永期の本分家相続関係、年貢開催目録、田畑持高帳など横帳多数。古書店の概略目録あり。
- ・容器37 段ボール箱 理右衛門家文書（同上）。縦帳多数（酒造、宗門帳、村明細帳、村絵図など）
- ・容器38 木箱 「大正五年一月ヨリ請取書」（領収書の束一括）
- ・容器39 風呂敷包 千曲川掘割関係史料 曲川掘割関係史料であり、これも歴史館の方々が整理を担当し、その一部は特別展などに今後生かされていくとのことである。1897（明治30）年に千曲川水利組合より同家に永久寄託を受けたものである。
- ・容器40 箆笥 小作関係書類（抽斗一つ分）頼母子講人名簿（明治34年）、宅地再訂分関図（明治12年）、当山寺付寺所住職所有（明治28年）、西組所有地一筆限絵図面（明治13年）、諸名家詩画帖（明治初）。
- ・容器41 平野村信用組合関係書類 綴込冊子3点（大正3～昭和6年）。平野村組合、江部合名会社の文書は、すべて味噌蔵2階にあったものを、段ボール箱に詰めて移動。裏門の横が組み合い事務所で、組合長は荘左衛門。
- ・容器42 平野村信用組合関係書類 定額据置貯金ニ関スル書類（昭和4年）、長野県産業組合大会書類（1袋）、山田家家計簿、昭和3年度江部合名会社領収書（一括）、平野村信用組合関係諸帳簿（12冊、大正15～昭和5年）。江部合名会社は、大正期に設立した山田家財産管理会社。
- ・容器43 日本生命高井代理店関係文書 一括袋が15程。昭和初年。
- ・容器44 段ボール箱 平野村信用組合帳簿 大正末～昭和期。貸付金記入簿、預金帳（帳くずれのものが多い）。信用組合は後に農協へ移行。
- ・容器45 段ボール箱 江部合名会社（山田家財産管理会社）の大正後期の日記帳・金銭出納帳四冊である。平野村信用組合と江部合名会社の文書は共に味噌蔵2階に保管されていたものを比較的最近になって段ボール箱詰して2間蔵1階に移したとのことである（以上の2容器は二間蔵1階分）



- ・容器 46 帳簿 6 冊 山国家の金銭出納帳。
- ・容器 47 段ボール箱 日誌（山田董平、明治 36 年）、日誌（明治 35 年、当主は貴族院で在京中、執事の留守日記）、高等小学校教科書・ノート（明治期、15 冊ほど、ユー山田のぶ・ようのもので松代八田家へ嫁入）、書簡の袋詰（40 点ほど）、「選挙干涉問題ニ付キ衆議院ノ上奏案及決議、島田立川等諸氏ノ演説ニ対スル弁妄」（印刷物）、木島の土地管理帳面ほか。47・48・49・58 は、初蔵に残っていたもので、史料館に譲渡した文書群の一部。
- ・容器 48 大・小の箱 2 箱 小箱は、江部合名会社定款、営業報告綴（大正 6 から 15 年）、積善会の会計報告（大正 10 年）。積善会は、同族会で、年々貯蓄し、100 年後の子孫教育に役立てるもの。大箱は、封筒 3 と 3 括。明治 11 年東京出府日誌、書簡の封筒入りのものと、戸長役場史料、協議費支出予算、書状手習、下高井郡第二番学区会規則、衆議院議事日程葉書ほかの封筒入り。紙包みの明治期書類一括。
- ・容器 49 下高井農業倉庫関係文書 入庫表数百枚、江部合名会社通帳（未使用）など多数。
- ・容器 50 助郷札 50 枚ほど、当時荘左衛門が名主を勤めていたときの和宮通行関係。
- ・容器 51 木札 人足札。・容器 52 版木 松斎著書ほか。・容器 53 名寄帳 未使用のもの。
- ・容器 54 江部合名会社出納簿 10 冊
- ・容器 55 襖の下張 継ぎ接ぎが分裂している。仏光寺門跡の金貸証文断簡などで、分家との関係か。
- ・容器 56 風呂敷包み 土地登記申請帳簿 40 ～ 50 冊（大正 10 年頃相続時）。他に、平野村信用組合関係・山形屋（造酒屋）関係
- ・容器 57 典籍混入文書 主に近世の函館応答書物、江戸地震一件、明神免積金滞総論、明治 22 年炭坑株ほか。
- ・容器 58 召抱帳（弘化 5 年以降）と金銭物品判取帳（大正 13 年）を紐で一括。他に平野村信用組合関係、山形や（造酒屋）関係を含む。
- ・容器 59・60・61・62 は、文庫蔵 1 階の新出史料。箱番号の都合から、二間蔵に移動（2006 年 10 月）。容器 40 の上側に置かれていた書類や図書類。

## 文書群の形態と整理の方針

史料整理や目録編成にあたっては、山田家文書が持っている独自の構造を追求することに努めた。そのための手がかりとして保管現状が有する情報が重要であるが、史料の東京への移送、史料館内での度重なる移動などを経て、現在ではあまり多くのことはわからない。ただし、袋・こより紐などによる一括史料はまとめて掲載したり、枝番号を付与するなど物理的階層を明示することを原則とした。帳簿類の丁間に挟み込まれた書付類も同様に枝番号を付与して掲載し、備考にその状況を注記した。

目録（その 1、2、3）では、麻紐で縛ってあったものなど、受入前後の作業であることが明白なものについては、一括を崩して配列した場合もある。その結果、これらの枝番号付文書は親番号や一連の枝番号から離れてリスト上で孤立して存在する形になっている。

目録（その 3）収録分は、大段ボール箱、大こおりの中であって、その包や袋のまとまりが残ってい

たため、そのままに扱った。

最終巻となる目録（その4）収録分は、小ダンボール箱、りんご箱1にあったものである。

整理番号は、昭和32年、史料館受け入れ時に山田家文書として番号を大まかに付し、その後、目録（その1）作成時より詳細に確認しつつ番号を付したものが「1～1308」である。受け入れ時に、山田家文書から渡辺家文書を抜き出して整理をはじめているため、そのまともにAを冠した。Aと同様に渡辺家として抜き出したものに、小段ボール箱の史料館旧封筒に収納してあったBがある。Bには、山田家やそれ以外の史料群も混在していた。Cは、山田家の中から、山田家以外としてまとめて抜き出し、新たに番号が付けたものである。Dは、目録（その1）（その2）の整理段階で、山田家以外として抜き出したものであり、番号は「1～1308」の連番の一部にあたる。「9999」を冠しているのは、当館において書籍類を抽出して別置きした分の山田家史料である。分けられた経緯を整理番号に表すため、記号によって識別できるようにした。次ぎに、各記号ごとの分量を示しておく。

「1～1308」（連番、CとDとして抜き出したため、一部飛び番有り）

「A1～274」（連番）

「B1～320」（連番）

「C321～410」（連番、1～1308にもとあったもの）

「D467～1111」（飛び番、178点分）

「9999A07-～」 （飛び番）

#### 関連史料

→目録（その1）を参照。

#### 参考文献

→目録（その1）を参照。

---

## 家 営 家計

---

年 代 成立年代 寛延2 (1749) 年～大正7 (1918) 年

数 量 595 点

### 歴 史

図1の山田庄左衛門家系図からわかるように、同家は近世前期以来多くの分家を出してきた。主なところでも17世紀に理右衛門家、文右衛門家、茂右衛門家、18世紀に文六家、庄兵衛家、19世紀に山形屋、鶴屋、亀屋（理兵衛家）が分かれた。これら一族の関係は現在でも保たれているが（積善会の運営など）、かつてはより一層緊密なもので、本家の相続人決定の際には諸分家も集めた親族会議が開催されることもあった。

庄左衛門家自体の家の機能としては、消費など生活に関わる面のほかに経営全体に関わる面があったと考えられる。史料には、明治5年以降「御取次衆」「御取次中」、明治6年「御店衆」、「御使中」があらわれ、当主以外の経営を補佐する者があらわれる。明治7年には「御執事所」、明治23年「執事」の職がみえる。また請取宛名には山田家、当主と共に「御本宅」が頻出する。明治17年には「本宅会計課係」、明治20年「勝手」の表記がみられる。

なお、本目録では、明治26年に「帳場」、明治26・27年頃「御用所」の組織があらわれる。目録（その3）には、明治30（1897）年代以降、山田家には台所という組織が形成される。台所は正式にはおそらく「山田本宅台所帳場方」と言うようで、史料には「山田台所帳場」、「山田台所」、「山田帳場」、「山田本宅帳場」などとも表記されている。この台所の帳簿方が「御茶間」（当主とその妻など本家の主要構成員のことと思われる）の監督下で、帳簿に記録しながら、自家消費分の米や味噌仕込みに使う穀物、奉公人飯米、酒造米などの出入を管理していたことなども知られている。

### 構造と内容

ここでは（1）経営のシリーズを編成した。

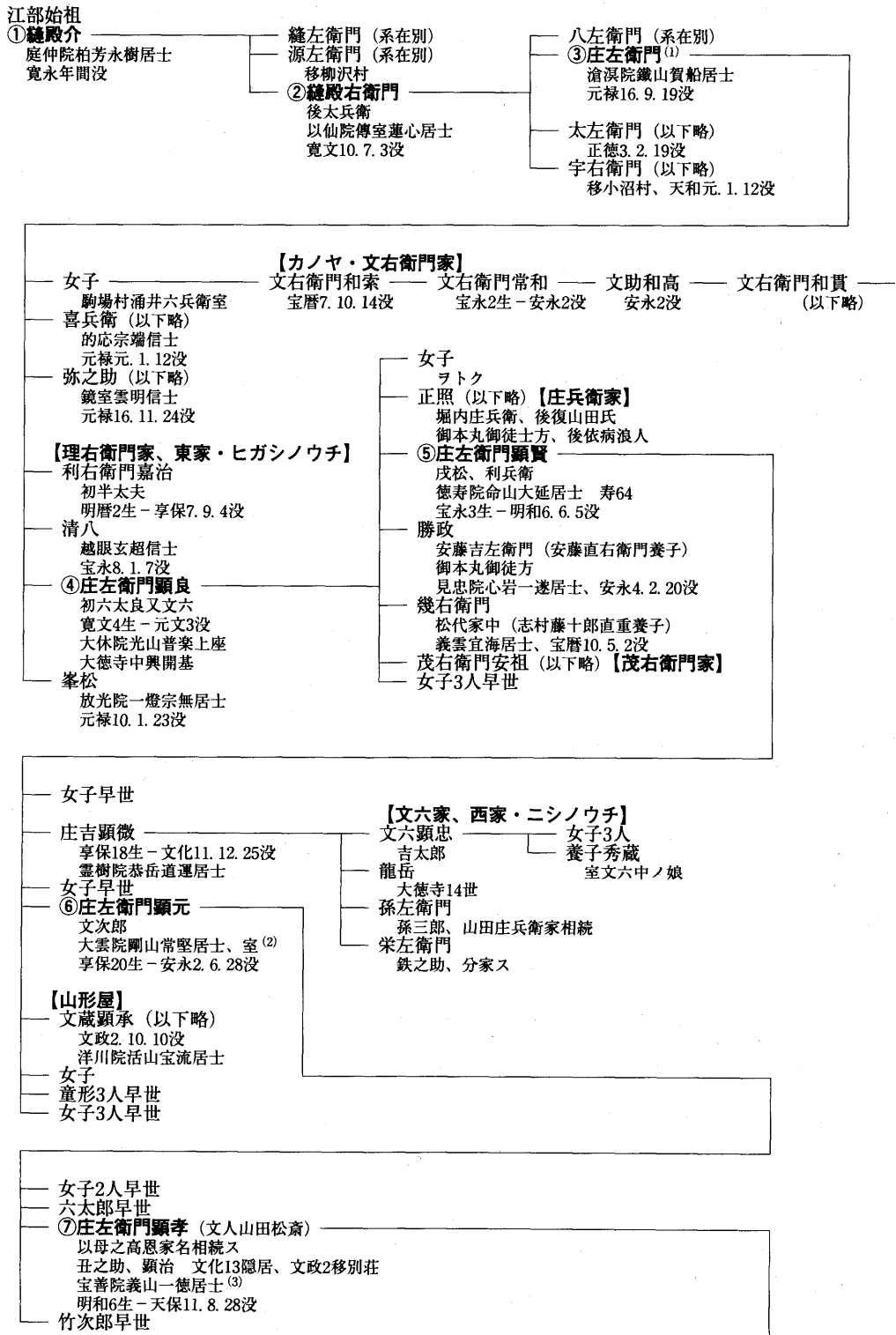
#### （1）経営

ここでは、サブ・シリーズとして「家計」を編成した。その内容は、請取書の1袋分である。各袋・包の配列は、無年月日の請取類であり、年次推定の便を考慮し、袋を開けた時点の現秩序のままとした。

表1・2に第11代庄左衛門（顕善）・第12代庄左衛門（熊太郎）の履歴を収録した。請取書と年次ごとの諸活動との関わり方の理解の助けとして参考に掲げた。

内容は、目録（その3）に関連する史料群である。家計としては、山田家の消費にかかわる代金受取書を主とするが、経営全般に関わると思われるものである。顕善が東京に居を移すことから、東京の別邸となる山田宝善堂の差配人麴池省三（東京浅草公演地梅園北）との往来がある。さらに、第12代が貴族院議員を勤めたなどの理由により、東京での消費生活にかかわる代金受取書の一部を含む（明治35年前後の別宅住所は日本橋区浜町3-1であった）。諸事の勘定書等がこれらの袋に入れて管理されていたため、内容は様々な品代、米代、小作料、学校費用、無尽金、綿屋勘定、生活に関わる料等の出納、日雇賃、諸職人等多岐にわたる。納税に関し、明治以降の税金等領収証を中心に、税金算定に関わる書類も含まれる。また、金銭の請取に関わる書状類も含まれる。

図2 山田庄左衛門家系図



— 女子2人早世  
— 童形2人早世  
— 女子 千世

⑧ 庄左衛門 顯濟

千代吉、健藏  
実牟礼小川五郎大夫二男  
14歳ノ時来  
謙好院昌山傳榮居士  
寛政8生 - 文久4. 1. 21没

⑨ 庄左衛門 顯義 (顯雨)

初雨一郎、好善院見山悟性居士  
文化11. 8. 15生 - 明治2. 2. 晦没

— 丑之助 早世

【鶴屋・質屋】

董平

源三郎  
文政2. 6. 16生 - 文久2. 6没 (於江戸)

【理兵衛家・龜屋】

⑩ 庄左衛門 顯善

忠造

初四郎三郎 理兵衛  
理兵衛家相統、11代庄左衛門  
顯善院愛山慈敬居士  
文政4. 8. 1生 - 明治18. 12. 18頃没

— 女子 セキ

篠ノ助 (小竹助)

弘化2年江戸日本橋住吉屋伊兵衛家相統  
嘉永元年離縁

熊太郎

(本宅へ、12代庄左衛門)

浦二郎

馨、文右衛門家 (分家カノヤ) 相統

松三郎

鶴屋相統

横浜生糸合名会社勤務

安政3生 - 昭和8. 2没

きく

小布施村市村善輔妻

まん

理右衛門妻

⑩ 庄左衛門 顯仁

初健藏、10代庄左衛門  
大顯院純山崇榮居士  
弘化3生 - 明治5. 6. 18没  
娘松三郎妻

とら

⑪ 庄左衛門

初熊太郎、12代庄左衛門  
貴族院議員、信濃銀行頭取  
嘉永4. 4. 6生 - 大正6. 10. 1没

女子

井上村坂本氏妻

ぞう

丑太郎 (離村、千葉へ)

とみ (長野町善光寺大門藤井氏妻)

やす

よう

松代伊勢町八田彦次郎妻

しか

亀屋金四郎妻

のぶ

松代伊勢町八田彦次郎後妻

⑬ 庄左衛門

初薫平

明治20. 5. 24生

- 昭和24. 2. 18没

千代子

⑭ 顯五

大正5年生

彰一

正子

孝子

恒幸

・当主名は、第10代までは「庄左衛門」、第11代以降は「莊左衛門」を用いている。

典拠：「信濃山田氏系譜」(山田顯五氏所蔵)

「年回弔表」(山田顯五氏所蔵、2-1-20)、明治以降の一部は山田正子氏の御教示によるデータ

「東江部村山田庄左衛門家文書目録。」(中野市文化財調査報告書第3集、中野市教育委員会、2006年3月刊行)

註

(1) 「寛文延宝之頃西江部村帳面ニ東江部村ヨリ入作沖 (迎カ) 伊之介高十五石余ト在、考幼名カト」、  
「故家ヲ太左衛門議、別ニ一家ヲナサレタリ、以仙院夫婦ヲ孝養ス」

(2) 「領悟院一山指大姉 顯元君室、顯孝松齊母、飯山上町中野甚左衛門娘」

(3) 「後名靜字太古号松齊文化丙子隠居称太一又改縫殿助文政二巴丑移別莊」

「初室長沼村吉村伴七娘無子早死後配中山氏新野村中山五郎右衛門娘四十才ニ而死松齊此春四十九齡也」

表3 山田顕善（第11代当主莊左衛門）履歴

年	西暦	月日	履 歴
文政4	1821	8.1	出生、幼名四郎三郎
弘化元	1844	2	水内郡牟礼村高野式左衛門へ養子、謙介と改名（24才） 同所において水内郡新町大内勘左衛門長女さいと結婚
弘化4	1847	3	同家にて震災、家蔵皆潰
嘉永元	1848		同家離縁、山田へ復籍
嘉永2	1849		妻子改めて大内より山田へ引取
		12	出府、仏光寺御門跡貸附所出稼中、山田図書と称す
安政元	1854		浅草黒船町河岸において震災にあい家蔵焼失、三好町へ家作新築
安政6	1859	8	妻子一同帰国、兄縫之介入替出府につき同人宅に仮住居
万延元	1860		本家より分地、江部村分高10石8斗余頂戴、山田理兵衛と改名
文久2	1862	6	兄縫之介江戸にて死去
		8	分家建築落成につき新宅へと居す（本家より300両、その他は自費）
文久4	1864	正	父死去
		4	本家より村方名主役引受
		5	18か村助郷惣代として出府、間山村小林与左衛門と同道、8月帰村
元治2	1865	3	中山鶯室江戸にて大病につき出府の処、母病氣急変につき帰宅
		4.10	母死去
		⑤	中山鶯室死後取片付のため出府、坂本幸右衛門と同道、8月帰国
		10	江戸貸付金取片付のため出府、小川五郎太夫と同道、12月帰国
慶応2	1866	2	堤防一件29か村惣代として出府、丸山要左衛門と同道、4月帰国
明治2	1869	2	本家兄死去
		11	名主退役、文六へ引き渡す
		12	伊那県御用郡中身元ノ者惣代として伊那郡飯島本県へ出頭、篠田市左衛門と同道、賈二分金引換方法につき商社設立の儀申し付けられる
明治3	1870	8	右商社事件につき嫌疑をかけられ、民部省より関係者が召し出され、惣代として出府、小林九之丞と同道、12月帰国
		12.19	夜旧中野陣屋付村々人民暴動のため家宅悉皆焼亡、当分庚申堂に仮寓
明治4	1871		俵忠蔵横浜商法にて損失
		11	弟小川五郎太夫死去
明治5	1872	3	妻病にかかる
		6	忠蔵商法一件中野町喜兵衛・弥五左衛門より出訴を受け親子長野県へ出張中、本家健蔵事莊左衛門急死
		9	親戚一同協議の上顕善夫婦本家へ復籍、第11代相続莊左衛門と改名、別家は忠蔵事理兵衛と改め家名を譲る
明治6	1873	2	第43区区長拝命
		6.19	妻病死
明治7	1874	2	長野県庁新築につき郡中惣代として建営事務重立取扱方拝命
		3	第44区区長兼務拝命
		7	第19大区区長拝命（準15等官・月給9円）、第15中学区取締兼務
		11	為替方小野組瓦解につき当分出納課附属申し付けらる、しばらく勤務の上区長兼務難渋につき御免願
明治11	1878	4.20	県庁願済の上間山小林九之丞同道出京、横浜より松三郎引戻、5月29日同伴帰国
明治12	1879	1.20	郡画改正により副区長廃止、大区会所事務下高井郡郡長大井泰殿へ引き渡す
		1.21	下高井郡郡書記拝命（14等官・月給12円）、病氣猶予を願い2月5日より中野町郡役所に勤務、2月8日・3月4日に辞表差出、3月15日御開届
		6	「邸内建物配置図建物調」作成（屋敷再建カ）（*）
		11	本家・分家が相和し一致協力するよう「家訓」を定める（*）
		12	岩船・吉田・片塩・江部西組・新保で小作事件、明治13年5月旧通に落着
		-	この年から明治20年にかけて、積極的に証券投資（金禄公債・信濃貯金銀行株・横浜株式取引所株・横浜第二国立銀行株・第六十三国立銀行株など、9年間で計4万1999円（「台帳」*）
明治13	1880	-	六間蔵（穀蔵）を建設（*）
明治14	1881	6.2	讓状（家名・動産不動産）を山田熊太郎宛に作成（2-2.57-2）
		8	山田熊太郎を第11代莊左衛門顕善の養子にとり、妻（9代莊左衛門顕義娘とら）・子供と入籍（後、12代莊左衛門*）

		11.20	養子披露、顕善還暦祝い (3-4.82-7)
		-	金禄公債を松代第六十三国立銀行 [のち第六十三国立銀行]・上田第十九国立銀行等に貸与 (*)
明治16	1883	11.20	顕善、家相続の熊太郎 (第12代荘左衛門) に申付・遺言状を認む (2-2.57-1)
明治18	1885	12	顕善 (顕善院)、東京にて没 (65歳)
		12.20	御追祭 (東京浅草公園地宝善堂) (3-4.52)

表4 山田熊太郎 (第12代当主荘左衛門) 履歴

年	西暦	月日	履 歴
明治14	1881	8	山田熊太郎、第11代荘左衛門顕善の養子となり妻 (9代庄左衛門顕義娘とら)・子供と入籍 (後、12代荘左衛門)
明治17	1884	9	江部村戸長役場村会議員当選
明治18	1885	7	下高井郡全郡連合町村会議員当選
明治20	1887	9	彰真社 (県為替方を分担) 経営に参加
		4	下高井郡所得税調査委員に当選
		-	この年、長男董平 (後、第13代荘左衛門) 誕生
明治21	1888	12	下高井郡選出県会議員補欠に当選
明治22	1889	4	下高井郡平野村制施行、村長に分家山田理兵衛が就任。下高井郡徴兵参事員に当選
		5	彰真社、信濃銀行と改称し、第12代取締役就任
明治23	1890	2	下高井郡選出県会議員に当選
		6	第1回貴族院議員多額納税議員に互選
		7	第六十三銀行頭取に就任する (明治24年1月まで)
明治24	1891	5	下高井郡参事会員に選任
明治26	1893	1	第六十三銀行取締役就任
明治27	1894	5	下高井郡参事会員に選任
		7	分家 (山形屋) 山田亀吉、江部製糸場を起業 (器械製糸100釜、8125斤生産)
明治28	1895	10	製糸直輪合資会社資本金を払い込む
明治29	1896	7	千曲川大水害、山田家の鴨居まで浸水
明治30	1897	4	第12代期、地租1129円 (平野・木島・延徳・穂高・住郷・瑞穂・中野・平岡・小布施・都住・秋津・飯山の12町村)、地価金4万5182円で最高額
		6	下高井郡参事会員に選任
		7	第六十三銀行取締役就任 (明治41年8月まで)
		8	農工銀行設立委員
		-	この年、「千曲川瀬直し工事書類」一括永久保管を引き継ぐ
明治31	1898	3	分家理兵衛、第五回衆議院議員選挙 (自由党) に当選
		9	第6回衆議院議員選挙 (憲政党) に当選
明治38	1905	-	信濃銀行頭取に就任
明治40	1907	7	信濃銀行松下事件により、負債の引き受け
明治41	1908	8	第六十三銀行取締役・信濃銀行頭取を退任
明治43	1910	8	千曲川大水害、山田家浸水
明治44	1911	8	千曲川大水害、山田家浸水
大正元	1912	-	山田家酒造、水害をのがれて平野村大字吉田に移設
大正2	1913	-	江部信用購買組合設立 (組合長綱島林吉・大正13年まで)、第12代と中野町細野勝太郎らの計画した豊野・中野間鉄道敷設計画が認可
大正4	1915	-	第1回山田家小作米品評会 (清水六兵衛作の記念盃を配布)
大正5	1916	1	延徳村大字新保の黒崎小一郎らと杞柳植栽目的に原野地所賃借契約 (明治39年に関口吾一 (東江部) が岐阜県より杞柳苗を取り寄せて試作)
		3	家具・調度・骨董品を売り立てて負債の返済にあてる (長野城山館)
		4	董平 (後、第13代荘左衛門) に長男顕五誕生
		-	平野村江部養蚕組合創立 (組合長山田荘左衛門)
大正6	1917	4	江部合名会社を設立して、山田家の賃金業務を行う
		10.1	第12代荘左衛門没 (67歳)

典拠: 「山田顕善履歴」 (山田顕五氏所蔵、3-1-5)、表2の (\*) 印事項および表3の事項は、『東江部村山田庄左衛門家文書目録。』 (中野市文化財調査報告書第3集、中野市教育委員会、2006年3月刊行) に拠った。

凡例: - は、月日不明。項目末の (○-○-○-○) の番号は、現地の史料番号。

「奉公人・雇傭」は奉公人請証である。

「納税」には、明治以降の税金等領収証を中心に、明治9（1886）年分の租税配符の一括包で、税金算定のための所得届などがある。明治以降、土地以外の収入に賦課されるものと一緒に、納税を家全体の機能にかかわるものとして、ここに位置付けることにした。

## （2）家政

ここでは、サブシリーズとして、寄進帳など「法事・寺社」のみ編成した。

---

# 地 主

---

年 代 成立年代 明和6（1769）年～明治41（1908）年

数 量 125点

歴 史 目録（その1）、（その2）を参照。

## 構造と内容

山田家の地主としての活動にあたる「土地移動」、「小作証文・小作証券」、「年貢諸役負担」「相論・訴願」のシリーズを編成した。以下にその概要を示す。

- （1）土地移動 これは土地の売買、質入、流地など土地移動に関する史料である。
- （2）小作証文・小作証券 目録（その1）に掲載した小作証文・小作証券は、明治17（1884）年前後のものを中心とする1000通余であり、目録（その2）では宝永7（1710）年以降、近世中後期のものがほとんどである。本目録分は、明治13（1880）年分を主とする。
- （3）年貢諸役負担 この項には山田家の所持地分の年貢諸役負担に関わって作成・授受された史料を収めた。
- （4）相論・訴願 小作年貢滞納の史料である。

---

# 諸 経 営

---

年 代 成立年代 宝暦12（1762）年～明治31（1898）年

数 量 110点

歴 史 目録（その1）、（その2）を参照。

## 構造と内容

山田家の多角的な経営のうち、「金融」、「酒造」、「北信商社」、「証券投資・銀行業」に分けて編成した。それぞれについて簡単に説明しておきたい。

- （1）金融 ①「借金証文」、②「返済訴訟」がある。①は、山田家が金を貸した場合である。②は、山田家が未返済の借主を訴えた関係である。現地容器30の渋湯忠右衛門一件に関わる史料と明治期のものである。



- (2) 酒造 ここには寛政・享和期の酒造株・酒造渡世を収めた。
- (3) 北信商社 明治2(1869)年12月には、独占的な横浜交易による利益で賈二分金の回収を図るべく伊那県が県下の豪農商に設立させた伊那県商社の支社で中野局下に設置された北信商社に山田家も参加し、明治3年12月には中野騒動により屋敷を打ち壊された。その関連の史料である。
- (4) 証券投資・銀行業 山田家は資金貸付と土地取得に対する投資を抑えて、収益のあがる証券投資を積極的に行っていく。明治12年の金禄公債証書などを手始めに、デフレ期の同17年から第六十三国立銀行(松代)株、横浜正金銀行株などを積極的に買い入れる。ここには横浜正金銀行株に関連する史料を収めた。

---

## 堤 防 組 合 惣 代

---

年 代 成立年代 慶応2(1866)年～明治3(1870)年

数 量 94点

歴 史 目録(その1)、(その2)を参照。

### 構造と内容

このサブフォンドは山田庄左衛門が堤防組合惣代を勤めた際に作成・授受した文書によって構成した。慶応期の千曲川右岸における堤防工事関係の史料を「慶応期堤防工事」、その後方針を転換して千曲川直流化工事を行った明治期の史料を「千曲川瀬直し」というシリーズに編成した。

- (1) 慶応期堤防工事 この「対岸村々と江戸訴訟」は、堤防工事開始後に対岸の水内郡村々から訴えられ、慶応2年10月まで争われた江戸での訴訟に関する史料である。
- (2) 千曲川瀬直し 「人足・諸入用」は、明治3(1870)年分の実際の工事に要した人足・諸入用関係の書類である。

---

## 村 役 人

---

年 代 成立年代 寛政4(1792)年～文久3(1863)年

数 量 11点

歴 史 目録(その1)、(その2)を参照。

### 構造と内容

山田庄左衛門家が名主を勤めたのはごくわずかな期間であるが、ここには庄左衛門が村方三役として関与したものを村役人としての活動の延長線上で作成したものと見なして収めることにした。「領主関係」、「年貢諸役」、「相論」である。

「相論」には、文久元(1861)年から3年間の庄左衛門が名主役を勤めていた時期に関するものを収めた。

## 近代の役職

年代 成立年代 明治4(1872)年～明治25(1892)年

数量 349点

歴史 目録(その1)、(その2)を参照。

明治4(1871)年4月戸籍法制定をうけて各藩県ごとに戸籍区の編成が進められ、明治5年4月には管下6郡を旧単位にとらわれず72の区に再編成する区画改正が行われた(東江部村は第43区に)。第22区戸長は山田庄左衛門(健蔵)が勤めた。明治6年2月には山田庄左衛門(顕善、分家から入った新当主)が第43区区長に就任し(副区長は引き続き山田文六)、明治7年3月からは第44区の区長をも兼務した。明治7年7月、第19大区では山田庄左衛門が副区長に就任(区長は任命されず)した。明治11年7月に郡区町村編制法が公布されると、翌年6月にいたって大区小区制は廃止され、大区はその機能を郡に引き渡すこととなった。その際山田庄左衛門は明治12年1月から3月にかけて郡書記を勤めるがすぐに退任している。

なお、山田庄左衛門はこれ以外にも、勸業集談会や下高井郡全部組合会にも関わっていたようである。また、明治23(1890)年には貴族院議員(多額納税議員)に選出され、明治31(1898)年3月には分家の理兵衛が自由党から衆議院議員に当選し、同年9月には庄左衛門が憲政党から同じく衆議院議員に当選している。

### 構造と内容

ここでは明治期以降における東江部村一村をこえた広い範囲での山田家の政治的諸活動を「近代の役職」として一括した。このサブ・グループは「第19大区副区長」、「貴族院議員」、「書籍」とした。

- (1) 第19大区副区長 ここには、第19大区副区長期の委任状を主としてまとめた。
- (2) 貴族院議員 議員として政治活動を行う中で作成・授受された史料は多くなく、貴族院庶務課からの書状のみである。目録(その3)および本書の「家・経営・家計」の請取書や「書状入袋」に活動の一端を窺わせる書付類が多く含まれている。
- (3) 書籍 この期の役職に関わって集積された書籍類をここに収めた。布達、届・回章留も含まれる。一部の表紙書きには、「区長分」とあって引き継ぎの書籍類であることを示している。また、書籍には、「山田」の蔵書朱印が捺されたもの、日付や諸情報を墨書・鉛筆書きで記入したものが多くある。「9999」付きの整理番号の書籍は、当館において昭和30年代に書籍類として山田家史料群から抽出して別置き(当館では「特殊史料」という名称を付与していた)されていたものである。山田家の史料と確定できるものを収録した。2007年3月現在、山田家文書とは別の配架場所にあるため、閲覧にあたっては、「9999」を冠して閲覧票へ記入して請求されたい。

---

## 書 状 入 袋

---

年 代 内容年代 嘉永7（1854）年～明治43（1910）年

成立年代 明治5（1872）年～明治43（1910）年（主に明治12～同18年）

数 量 215点

### 歴史および構造と内容

このサブグループには、書状類を編成した。最初に書状一点一点のものと小さなまとまりの書状類を収め、次に100点を超える書状一括の袋や包の束の史料を配した。これらの書状入袋は第11代当主山田莊左衛門顕善、第12代当主山田莊左衛門の時期のものが主で、若干はそれ以前のものも含んでいる。いずれも山田家の活動全般にわたる書状類で、その内容は実に多様である。以下、特徴的な点について一括されてもの紹介をしておく。

①「到来信書入」（袋書：明治12年2月より明治14年2月8日）〔番号990〕 第11代期

②「到来信書入」（袋書：明治16年2月より明治17年1月）〔番号985〕 第12代期

③「到来信書入」（袋書：明治18年2月）〔番号993〕 第12代期

①「到来信書入」は、第11代当主山田莊左衛門顕善の時代のものである。明治12年から明治20年にかけて、積極的に証券投資を行った時期のものであり、明治14年6月の次代熊太郎への家名と動産不動産の譲状を認めるまでの時期にあたる。

②③は、熊太郎が第12代莊左衛門を継ぎ、江部村戸長役場村会議員、下高井郡全郡連合町村会議員を勤めた時期のものである。顕善が東京に居を移すことから、東京の別邸となる山田宝善堂の麴池省三との往来がみられる。また、山田松三郎は系図にあるように分家鶴屋の三男で、後に横浜生糸合名会社に勤務した人物であり、その関係での投資関連の報告が多くみられる。

その他、親類等との間での近況報告や、小作料納入や借金返済などに関するものなどがある。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

## 家

## 経営

## 家計

(請取切符入)

整理番号 473

(目録(その3)の150頁の続き・明治22年～41年分受取書、明治41年中心、473-1～2-473を包紙の畳封を麻紐で一括)

(包紙・麻紐) 473-1～2を一括		1枚	473-1-1-0
四十一年分受取書(包紙) 473-1-2から94までを一括		1通	473-1-1-1
記(風呂敷他代金168円34銭受取) 伊勢徳呉服店(印)→山田様 やや破損あり	12月16日	切継紙・1通	473-1-2
記(上布他代金77円60銭受取) 伊勢徳(印)→山田様 やや破損あり	12月16日	切継紙・1通	473-1-3
記(上布他代金91円10銭受取) 伊勢徳呉服店(印)→山田様 やや破損あり	16日	切継紙・1通	473-1-4
記(自分清水他代金717円59銭書上) やや破損あり		切紙・1通	473-1-5
記(料理他代金20円34銭受取) 深青楼(印)→山田、福田、大町様、秋田、猿田、細井様、乾、小池様 やや破損あり	12月27日	切紙・1通	473-1-6
キ(上々大柏付他代金1円受取) 若松屋辰蔵(印、「信州長野若松屋辰蔵」)→上 やや破損あり	1月28日	切紙・1通	473-1-7
(報知新聞代25銭領収) 報知社(印、「報知社長野支局印」)→おもたかや様	12月	切紙・1通	473-1-8
記(椿山絹本□代金450円受取) 木釜大□(印、「木釜大□」)→山田御主人様 やや破損あり	明治40年2月8日	切紙・1通	473-1-9
記(急須他代金21円51銭受取) 藤原嘉□(印)→山田様 やや破損あり	12月27日	切継紙・1通	473-1-10
記(運賃他代金12円8銭5分書上)		切紙・1通	473-1-11-1
記(上等生藤20枚代金20円受取) 本竹澤小店(印、「信州長野後町本竹」)→小池様	10月28日	切継紙・1通	473-1-11-2
鉄道作業局小荷物切符 山田荘左エ門 そば代ほか代金も書上	10月25日	切紙・1通	473-1-11-3
記(品物他代金1円80銭受取) 成駒屋(印、「成駒屋」)→小池様	10月19日	切継紙・1通	473-1-11-4
送り状之事(品物1個50斤) 日本橋通り荅丁目黒江屋線左衛門→信州長野市信濃銀行山田荘左衛門様 「秋葉原運搬組合運賃計算表」1通が貼付	明治39年11月8日	堅切紙・1通	473-1-11-5
送り状(筆筒2個) □金録町一番地角鷺塚筆筒店(印)→長野市信濃銀行ニて山田荘左衛門殿 やや破損あり、「甲号運賃計算表」等2通が貼付	明治39年11月9日	切紙・1通	473-1-11-6
記(品物代金1円92銭受取) 成駒や(印、「成駒屋」)→山田様 やや破損あり	12月	切紙・1通	473-1-11-7
記(白紬10疋代金96円95銭書上) 八田呉服店(印、「信州	(明治)39年12月25日	切紙・1通	473-1-12

松代町八田屋呉服店)→山田莊左衛門様			
(報知新聞代金25銭領収) 報知社(印、「報知社長野支局印」)→おもたかや様 473-1-13-1~3まで挟込一括	1月	切紙・1通	473-1-13-1
証(年賀広告料代金1円92銭領収) 長野市懸町長野新聞株式会社(印)→山田莊左衛門殿	明治40年1月31日	切紙・1通	473-1-13-2
領収証(年賀四行特別三日金1円92銭領収) 長野市旭町信濃新聞株式会社(印)→山田莊左衛門様	明治40年1月31日	切紙・1通	473-1-13-3
(紅葉山1折代金1円15銭領収) 東京風月堂米津支店信州長野市横町風月堂(印、「長野市横町電話六八番風月堂」)→おもだか様		切紙・1通	473-1-14
領収証(記念碑建設費寄附10円領収) 長野県更級軍小島田村甲越直線地記念碑建設事務所(印、「甲越直戦地記念碑建設事務所之章」)→山田莊左衛門殿	明治40年2月9日	切紙・1通	473-1-15
(品物代金5円10銭領収) 栗田隼之助(印)→山田様	明治40年4月10日	切紙・1通	473-1-16
証(面澤御料理代金6円38銭受取) 呉服橋外八洲亭本店(印、「日本橋区呉服町三拾番地八洲亭」)→上様	7月8日	切紙・1通	473-1-17
記(菓子6箱6円受取) 信濃国産杏類発売元和洋菓子高田屋本店長野市大門町六拾貳番地(印、「信濃国産杏類発売元和洋菓子高田屋本店長野市大門町六拾貳番地」)→山田様	明治40年4月23日	切紙・1通	473-1-18
(紅葉山他1円25銭受取) 東京風月堂米津支店信州長野市横町風月堂(印)→山田様	明治40年4月13日	切紙・1通	473-1-19
記(西洋料理3人前3円受取) 長野市西洋軒(印、「長野市西洋軒」)→小池様	明治40年4月13日	切紙・1通	473-1-20
(報知新聞代25銭領収) 報知社(印、「報知社長野支局印」)→おもたかや様	明治40年	切紙・1通	473-1-21
記(漬物2品代金20銭落掌) 御央漬物店(印、「長野昇盛堂御央漬物所」)→おもだかや	4月27日	切紙・1通	473-1-22
記(品物55銭領収) 栗田隼之助(印)→山田様	4月29日	切紙・1通	473-1-23
記(碗盛他代金2円68銭受取) 観水亭(印)→上様	(明治)39年12月2日	切紙・1通	473-1-24
記(三月分代金35銭領収) 長野市東町長田新聞店(印)→山田殿	明治40年3月30日	切紙・1通	473-1-25
記(味噌1斗他代金2円50銭領収) 信州長野市栄町酒類醬油問屋北澤久右衛門(印)→山田様 酒類の広告の裏面を利用	明治40年4月4日	切紙・1通	473-1-26
記(半江幅他代金155円受取) 酒田又三郎(印)→山田様	3月28日	切紙・1通	473-1-27
(報知新聞2月分代金25銭領収) 報知社(印、「報知社長野支局印」)→おもたかや様 473-1-28-1と2は挟込一括	明治40年	切紙・1通	473-1-28-1
(報知新聞3月分代金25銭領収) 報知社(印、「報知社長野支局印」)→おもたかや様	明治40年	切紙・1通	473-1-28-2
記(一、二月分代金70銭領収) 長野市東町長田新聞店(印)→山田殿		切紙・1通	473-1-29
記(料理他代金30円83銭受取) 深青楼(印、「深青楼」)→山田、秋田、倉石、小出様、前島、小林、牧、和田様、牧藤様、外一名様	1月6日	切紙・1通	473-1-30
記(料理他代金77円25銭受取) 深青楼(印、「深青楼」)→信濃銀行山田様	1月21日	切紙・1通	473-1-31

記(料理他代金43円14銭受取) 深青楼(印、「深青楼」)→ 信濃銀行山田様、秋田様、外十二様分	2月10日	切継紙・1通	473-1-32
記(通丹□代金22銭受取) 平屋吉助→上	2月10日	切紙・1通	473-1-33
記(高土間他代金1円56銭領収) 成駒や→小池様 473-1- 34-1と2は挟込一括	3月21日	切紙・1通	473-1-34-1
記(高土間他代金1円63銭領収) 成駒や→小池様	3月20日	切紙・1通	473-1-34-2
記(穀物他代金90銭書上) 成駒や→小池様	5月8日	切紙・1通	473-1-35
記(四月分代金35銭領収) 長野市東町長田新聞店(印)→ 山田殿	明治40年5月2日	切紙・1通	473-1-36
記(京益物他代金7円5銭書上) 長野市大門町三丁目瀧澤 陶器店→山田様	明治39年10月31日	切紙・1通	473-1-37
記(ふかし2本代金3円20銭入手) (印、「長野市元善町萬 金物商落合秀治」)→山田様御本宅	12月27日	切紙・1通	473-1-38
記(白廉他代金3円75銭領収) 竹葉亭(印、「御料理長野市 権堂町竹葉亭」)→上様	6月9日	切紙・1通	473-1-39
記(吾妻コート他代金6円75銭領収) 深堀洋服店(印、 「深堀徳治商品」)→山田様御取次	3月	切継書・1通	473-1-40
証(温泉掛樋復調工事費30円領収) 上林温泉企業者湯本 八十八(印)、竹節波治(印)→山田荘左衛門様	明治40年6月18日	切紙・1通	473-1-41
記(和白2貫目他代金4円90銭受取) 牧や録之助(印、「商 標長野市大門町牧屋録之助」)→山田荘左衛門様	6月19日	切紙・1通	473-1-42
記(手桶他代金3円15銭受取) 桶梅(印、「桶師長野東町石 梅」)→山田様	6月17日	切紙・1通	473-1-43
記(土佐節500目代金3円受取) (印、「信州長野東町泉屋 湯田弥兵衛」)→山田様	明治40年6月5日	切紙・1通	473-1-44
記(品物8個代金40銭受取) 長野市権堂町柳屋商店→上殿	明治40年6月25日	切紙・1通	473-1-45
記(県社建御名方富命彦神別神社戦役記念事業計画寄 附金5円受領) 長野県下水内郡太田村県社建御名方富命 彦神別神社社務所社司高橋幸之進(印)→山田荘左衛門殿	明治40年6月14日	切紙・1通	473-1-46
記(砂金採取地図謄写料他代金12円50銭領収) 長野本 諏訪町四拾五ばん地野村長之助(印)→山田荘左衛門殿	明治40年6月26日	切紙・1通	473-1-47
(報知新聞代金6月分25銭領収) 報知社(印、「報知社長野 支局印」)→おもたかや様	明治40年	切紙・1通	473-1-48
記(浅野製セメント大5樽代金12円50銭領収) すみや平 六(印、「信州長野市西之門町炭屋平六」)→山田荘左エ門様	7月3日	切紙・1通	473-1-49
記(書留代金13円領収) 長野県長野市若松町一丁目印判師 書画骨董商土屋東橋(印、「印判師長野市若松町土屋」)→山 田様	7月3日	切紙・1通	473-1-50
(報知新聞代金25銭領収) 報知社(印、「報知社長野支 局印」)→おもたかや様	明治40年	切紙・1通	473-1-51-1
記(5月分代金35銭領収) 長野市東町長田新聞社(印)→山 田殿	5月	切紙・1通	473-1-51-2
記(5月分代金35銭領収) 長野市東町長田新聞社(印)→山 田殿	5月31日	切紙・1通	473-1-51-2
記(別上等地紋紙他代金9円70銭請取) 長野市西之門30 番地梅木屋国産麻苧畳糸畳表仕立蚊帳商(家印、カネカ)風	明治40年7月1日	切紙・1通	473-1-52

間又右衛門(印)→山田様			
証(品物代金18銭受取) 牧屋六之助(印、「長野市大門町牧屋録之助」)→上様	7月11日	切紙・1通	473-1-53
(金1円43銭書上) 松井屋下駄店(印)→山田様 473-1-54-1 ～2は折畳一括	5月31日	切紙・1通	473-1-54-1
(金1円43銭受取) 松井屋下駄店(印)→山田様	5月30日	切紙・1通	473-1-54-2
記(6月分代金35銭領収) 長野市東町長田新聞店(印)→山田殿	明治40年	切紙・1通	473-1-55
記(大巾1丈5尺代金2円85銭払済) つづきや本店(印)→御客様	7月1日	切紙・1通	473-1-56
き(新ます1本代金55銭受取) しまや(印)→山田様	6月28日	切紙・1通	473-1-57
記(干鰯2本代金1円5銭受取) 島や(印)→小池様	8月1日	切紙・1通	473-1-58
記(7月分代金35円領収) 長野市東町長田新聞店(印)→山田殿	明治40年7月31日	切紙・1通	473-1-59
仮記(チョコレートクリーム小1斤他代金5円76銭領収) 国産香葉信濃飴発売元長野市東後町本店横浜南仲3欧米 輸入菓子洋風滋養菓子各種新粋製菓舗→山田様	明治40年7月24日	切紙・1通	473-1-60
記(らくがん2斤他代金1円40銭受取) 清閑堂→山田様	7月25日	切紙・1通	473-1-61
記(丸杏2斤他代金1円43銭受取) (印、「信州長野市西町通和洋酒缶詰西洋食料品菓子商室川商店」)→上	24日	切紙・1通	473-1-62
キ(玉ねぎ1貫目代金30銭受取) 岩下(印)→上様	7月24日	切紙・1通	473-1-63
記(一文字2斤他代金2円66銭請取) 喜多の園(印、「長野市大門町小笠原平作茶商喜多酒園」)→上	8月6日	切紙・1通	473-1-64
記(蠟燭2貫目他代金4円5銭請取) 牧屋録之助(印、「長野市大門町牧屋録之助」)→山田様	明治40年8月7日	切紙・1通	473-1-65
記(ニッケールの洗面1枚他代金3円30銭書上) 増屋太七郎→山田様	8月7日	切紙・1通	473-1-66
記(色地絹1反他代金15円25銭払済) 和田呉服店→山田様 切手貼付	8月8日	切紙・1通	473-1-67
(火ばち他代金4円70銭受取) 森松太郎→山田様	9月16日	切紙・1通	473-1-68
記(菓子箱代他2円48銭請取) 岩下半作(印)→おもたかや様	8月21日	切紙・1通	473-1-69
(報知新聞8月分代金25銭領収) 報知社(印)→おもたかや様		切紙・1通	473-1-70
御案内(金20円の優等品案内) 長野市後町(郵便局前)真綿綿糸商紀州屋啓作(印)→山田莊左衛門様	明治40年8月12日	切紙・1通	473-1-71
(黒サ20本他代金7円25銭請取) 長野市西之門町14番地(家印、カネト)喜多富商店(印)→山田様	8月1日	切紙・1通	473-1-72
記(上々まつたけ200目代金50銭請取) (印、「長野市東町(家印、カネ正)高橋正左衛門」)→上様	9月28日	切紙・1通	473-1-73
記(内山紙15丈張賃代金受取) 入山政蔵→山田様	10月6日	切紙・1通	473-1-74
(雪雲・紅葉山合一折お菓子代金1円55銭領収) 東京風月堂米津支店信州長野市横町風月堂(印、「長野市横町風月堂」)→山田様	明治40年11月8日	切紙・1通	473-1-75
記(小杉10本他代金6円95銭領収) 牧屋録之助(印、「長野	11月13日	切紙・1通	473-1-76

市大門町牧屋録之助まき屋号」→上			
記(代金1円92銭領収) 信州長野市東町下角小妻屋号(家印、カネ庄)高山寛蔵→上様	12日	切紙・1通	473-1-77
仮記(分銅他代金16円77銭請取) 信州長野市東後町商号梯屋(家印、カネ五)荒物鉄鋼商宮澤三五郎→山田様	明治40年11月11日	切紙・1通	473-1-78
記(8～10月分代金1円5銭領収) 長野市東町信濃毎日新聞社・長野新聞社・信州新聞社広告取次長田新聞店(印)→小池方山田殿	明治40年10月30日	切紙・1通	473-1-79
(報知新聞9月分代金25銭領収) 報知社(印、「報知社長野支局印」)→おもたかや山田様 473-1-80-1～2折畳一括		切紙・1通	473-1-80-1
(報知新聞8月分代金25銭領収) 報知社(印、「報知社長野支局印」)→おもたかや山田様		切紙・1通	473-1-80-2
書留郵便物受領証(東京22区日本橋西町3番地小川昌夫行書留郵便料10銭書上)→長野市山田庄左衛門	明治40年11月16日	切紙・1通	473-1-81
領収証(西嶽鉱物探検費100円領収) 長野市諏訪町45番地野村長之助(印)→山田庄左エ門殿 青野紙	明治40年7月7日	切紙・1通	473-1-82
記(和白3貫目代金2円82銭他代金受取) 牧屋録之助(印、「長野市大門町」)→山田様	第10月18日	切紙・1通	473-1-83
(キッコウ萬木樽代金7円20銭請取) 長野市西後町104番地味淋焼酎問屋栗田隼之助(印)→山田様	10月28日	切紙・1通	473-1-84
記(ヨス1枚代金30銭請取) 鳥田商店(印、「長野市西町通嶋田商店」)→山田様 473-1-85-1～3綴一括	8月14日	切紙・1通	473-1-85-1
領収書(品代金1円4銭領収) 長野市西之門町松坂屋商店松田保太郎→高浪様	明治40年8月14日	切紙・1通	473-1-85-2
証(日除掛手間他代金2円76銭請取) 高浪良助(印)→山田様	(明治40)年10月31日	切紙・1通	473-1-85-3
記(三五細引500目他代金2円27銭5厘請取) 長野市西之門町30番地梅木屋国産麻芋畳糸畳表仕立蚊帳商(家印、カネカ)風間又右衛門(印)→山田様	明治41年12月5日	切紙・1通	473-1-86
書留郵便物受領証(千葉県東葛飾郡松戸納屋大間伊勢松行)(印、「信州長野権堂」)→長野市山田庄左エ門 473-1-87-1～2折畳一括	明治40年12月3日	切紙・1通	473-1-87-1
書留郵便物受領証(日本橋浜町山田平左衛門内山田おとみ)(印、「長野」)→長野市山田庄左衛門	明治40年11月26日	切紙・1通	473-1-87-2
キ(尺長板1本代金1円10銭請取) 若松屋辰蔵(印)→上	11月24日	切紙・1通	473-1-88
記(山浦貞夫作大小見取合2本代金10円受取) 池田三千治(印、「池田」)→今井守太郎殿	10月27日	切紙・1通	473-1-89
(報知新聞11月分代金25銭領収) 報知社(印)→おもたかや様		切紙・1通	473-1-90
(東京送りぬの10代金4円89銭8厘請取) 田島や太兵衛→山田様	12月30日	切紙・1通	473-1-91
記(11月分代金35銭領収) 長野市東町信濃毎日新聞社・長野新聞社・信州新聞社広告取次長田新聞店(印)→山田庄左衛門殿	明治40年10月10日	切紙・1通	473-1-92
(品物代金3円48銭受取) 松井屋下駄店→山田様	6月30日	切紙・1通	473-1-93
証(御料理代金4円20銭請取) 新橋烏森町湖月堂(印)→	(明治40)年12月28日	切紙・1通	473-1-94



表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
(請取書 一点一点と一括)			
(明治11年の米相場に付、書上) 青木坂こく清(印、「信州高井郡青木坂刻清」)→東江部村山田御内御中	明治10年8月18日	堅切継紙・1通	1188-3
受領書(金5円、下高井郡江部村山田庄左衛門別分に付) 下高井郡江部村山田庄左衛門代人 諸田則之(印)→大平文四郎殿 端裏書きあり	明治19年7月19日	堅切紙・1通	1200-1
(5円入金不都合に付) 村越蔭介→大平惣作様	12月24日	横切紙・1通	1200-2
記(利子の円受取に付) 山田庄左衛門代 山田理兵衛(印)→高野郡 大平文四郎殿	明治16年12月15日	小切紙・1通	1200-3
記(貸金50円の利子受取に付) 山田庄左衛門代人 山田理兵衛(印)→大平文四郎殿 証券印紙あり	(明治)19年戌12月22日	小切紙・1通	1200-4
記(貸金・利子請取に付) 下高井郡江部村山田庄左衛門代理山田理兵衛(印)→鈴木啓助殿 罫紙使用。	明治19年12月1日	堅切紙・1通	1182
(諸品代金受取書綴)	(明治19)	綴(切紙)・1綴(12通)	A034
領収証(槻木3本代借金に付) 下高井郡岩舟村 町田角兵衛(印)→同郡江部村 山田莊左衛門殿	明治20年7月6日	堅紙・1通	1238-1
記(金17銭5文請取候に付) 春木屋伴兵衛(印、「信州高井郡中野町春木屋伴兵衛」)→山田様	7月11日	横切紙・1通	1238-2
記(金71銭代済に付) 浦野や 太郎兵衛→山田庄左衛門様	7月1日	横切紙・1通	1238-3-1
記(黒豆・小豆・種粕などの金銭書上) 山形屋 亀吉→本山田様	8月	横切紙・1通	1238-3-2
(金銭書上) →信濃下高井郡江部村 山田様		小切紙・1枚	1238-3-3
木代残金受取之書(金6円受取に付) 岩船村町田豊八(印)→江部村山田庄左衛門殿	明治20年7月16日	堅切紙・1通	1155
領収証(地券書換手数料) 下高井郡往郷村穂高手数料徴収官 戸長青木彦兵衛(印)→山田莊左衛門	明治20年7月22日	小切紙・1通	1222
村定(婚礼時の村祝儀・普請などに付) 東江部惣代→	明治31年3日	横切紙・1通	1190-1
覚(上々麻などの代金メ6円71銭請取に付) さかきや三五郎(印、「信州長野宮津三五郎」)→江部山田様	明治30年7月16日	横切継紙・1通	1190-2
小布施(屋号)よりかり物覚(玉茶などの代金に付、書上)		綴・1綴	1190-3
(袋、表書「參拾貳年十一月 諸請取書入」) 51-1-1～144はこの袋に一括、山田顕善袋書		袋・1袋	A051-1-001
受取(粉代金25銭余) 関谷三治郎→山田理右衛門様	明治33年5月4日	切紙・1通	A051-1-002
記(粉代受取) 金長店(信州中野)→上様	(明治34年以降)5月29日	切紙・1通	A051-1-003
記(金50銭受取) かぐや商店→上様	(明治32年以降)	切紙・1通	A051-1-004
記(和白など代金受取) 柳田屋忠兵衛→上様	(明治33年以降)5月13日	切継紙・1通	A051-1-005
記(□送状) □→山田様	(明治33年以降)5月13日	切紙・1通	A051-1-006
記(□直し代受取) 中ノ町高野屋→山田様	(明治33年以降)5月12日	切紙・1通	A051-1-007
記(鋤柄3丁代金受取) 片山武之助→御上様	(明治33年以降)5月5日	切紙・1通	A051-1-008

記(上等鯊・天秤代金受取) 中ノ西町小升屋多吉(□、古田商店)→上	(明治33年以降)5月4日	切紙・1通	A051-1-009
記(縮緬・絹糸・ネル代金受取) 新保若松屋米次→江部山田庄左衛門様	(明治33年以降)3月9日	切紙・1通	A051-1-010
記(人參・宝丹など諸薬代金書上) 波多野売子・松屋カ□→上様	(明治33年)子5月3日	切紙・1通	A051-1-011
純乳販売之証 中野緑町旭桜舎(中野牛乳店畔上竹重郎印)→山田庄左衛門様	(明治33年)	切紙・1通	A051-1-012
記(中茶2斤代金受取) 西沢茶店(中野中町御茶所西沢茶店)→上	(明治33年以降)4月30日	切紙・1通	A051-1-013
記(紺・白糸代金受取) 高木屋商店→上様	(明治33年以降)5月26日	切紙・1通	A051-1-014
貨物送券(神尾倉四郎より豊野停車場前山田分店宛紙荷物) 共同中牛馬会社→ 運賃計算表、計算表の貼付あり	明治23年4月22日	切紙・1通	A051-1-015
記(傘直し代受取) 中ノ西町鈴木善之助→上	(明治33年以降)4月28日	切紙・1通	A051-1-016
(袋、山田董平分下高井高等学校授業料納入用)	(明治33年度)	袋・1袋	A051-1-017
証(芋種代金書上)	(明治32年以降)	切紙・1通	A051-1-018
記(玉製・名入茶代金受取) 西沢茶店→上	(明治33年以降)4月27日	切紙・1通	A051-1-019
記(千代乃梅代金受取) 中町かかや店→上様	(明治33年以降)4月14日	切紙・1通	A051-1-020
記(木綿布洗張代金受取) 関口三郎(関口練工場、信州中野、絹布染張)→山田様	(明治33年以降)4月14日	切紙・1通	A051-1-021
キ(かしば□代金受取) 中町いつみや(信州下高井郡中野中町和泉屋)→山田様	(明治33年以降)4月11日	切紙・1通	A051-1-022
記(くるみがけ・大亀の甲代金受取) かがや→上様	(明治33年以降)	切紙・1通	A051-1-023
記(花の露・かか錦など代金受取) 美濃屋善吉→山田様	(明治33年以降)3月17日	切紙・1通	A051-1-024
送券(浅草阿部彦四郎商店より山田宛釜荷物)(商法施行前設立帝国中牛馬東京合資会社秋葉原支店貨物係)→	明治33年3月7日	切紙・1通	A051-1-025
仮送状(箱1個) 日本橋濱町三丁目山田庄左衛門出→長野豊野山田分舗行 計算書、計算表の貼付あり	明治33年2月9日	切紙・1通	A051-1-026
記(正油1斗代金受取) 中野町武田商店→山田御本宅帳場御中	明治33年3月6日	切紙・1通	A051-1-027
純乳販売之証 緑町旭桜舎(中野牛乳店畔上竹重郎印)→江部山田庄左衛門様	(明治33)	切紙・1通	A051-1-028
仮り記(石油ストーブ代金入帳) マルツ□牧商店(豊野駅牧商店)→山田様	(明治33年第2月19日)	切紙・1通	A051-1-029
記(栗羹代金受取) 甘精堂佐七→上	(明治33年以降)2月22日	切紙・1通	A051-1-030
記(金子受取) 青木屋弥兵衛(高井郡中野町)→山田様	(明治33年以降)2月20日	切紙・1通	A051-1-031
書留郵便物受取証(受取人長野市六三銀行内田嶋広太、差出人平野村山田庄左衛門)	明治33年2月19日	□・1通	A051-1-032
記(金中薄など代金受取および代金書上) 青木屋弥兵衛(高井郡中野町)→山田様	(明治33年以降)2月19日	切紙・1通	A051-1-033
仕切書(白松代物上等5品) 八田呉服店(信州松代伊勢町八田角店)→山田様	明治33年1月13日	切紙・1通	A051-1-034
(舶来石油・安心油2箱の送状) 山田吉太郎→江部山田	明治33年5月14日	切紙・1通	A051-1-035

本宅御中 豊野駅山田分店の送貨受取書の貼付あり			
証(松印醤油代金受取) 鎮目醤油店→山田様	明治33年2月9日	切紙・1通	A051-1-036
記(萩茶代金受取) 西沢茶店→山田様	(明治33年以降)2月9日	切紙・1通	A051-1-037
記(浅田鮎など代金受取) 中野町八十四番地薬舗樂善堂町田儀平	明治32年2月9日	切紙・1通	A051-1-038
記(箱入ダンロ運賃先払金受取、政吉発山田本宅宛荷物) 信州豊野駅山田分店→	明治33年2月9日	切紙・1通	A051-1-039
(人足出勤日数・賃金、鋸・板代金書上など)	(明治32年以降)	折紙・1通(2枚)	A051-1-040
記(絹糸代金書上) 近江屋代三郎→山田荘左衛門様	(明治32年以降)	切紙・1通	A051-1-041
領収証(借用証書用紙480枚代金受取) 中野町押鐘興助(中野印刷所印)→山田荘左衛門様 中野印刷所の罫紙使用	(明治33年以降)2月5日	縦紙・1通	A051-1-042
記(石25包代金受取) 栗和田竹内和作→江部山田様	(明治32年以降)12月20日	切紙・1通	A051-1-043
記(金29銭受取) 高田屋要七(信州中野高田屋)→上	(明治32年以降)12月25日	切紙・1通	A051-1-044
記(胡麻油代金受取) はしや→上様	(明治32年以降)12月25日	切紙・1通	A051-1-045
記(瓦送状) くり林瓦屋(下高井郡高丘村小林覚蔵)→平野村山田様	(明治32年以降)11月14日	切紙・1通	A051-1-046
記(附木3束代金受取) 中野中町岩井屋商舗→上様	明治32年12月22日	切紙・1通	A051-1-047
記(前掛等代金受取) 北沢與右衛門→山田様	(明治32年以降)12月24日	切紙・1通	A051-1-048
キ(蠟等代金受取) 中野西町小味や→山田様	(明治32年以降)12月22日	切紙・1通	A051-1-049
(式銭収入印紙700枚払下願) 酒舗→本宅帳場御中 ビンクの料紙	(明治32年以降)12月11日	切紙・1通	A051-1-050
記(金11銭受取) 東屋吉平(信州中野東吉)→上	(明治32年以降)12月20日	切紙・1通	A051-1-051
記(代金受取) 藤井呉服店→上	(明治32年以降)12月18日	切紙・1通	A051-1-052
記(下駄等代金受取) 高野屋(信州中野中町高野屋)→上様	(明治32年以降)12月18日	切紙・1通	A051-1-053
記(いそべ煎餅代金受取) 中野中町玉井登作→上様	(明治32年以降)12月18日	切紙・1通	A051-1-054
記(上々和白代金受取) 柳田屋忠兵衛(信州長野大門町柳田屋)→山田様	(明治32年以降)12月17日	切紙・1通	A051-1-055
記(金2円27銭受取) 坂口屋作兵衛(信州中野坂作)→山田御本宅様	(明治32年以降)12月16日	切紙・1通	A051-1-056
記(シャツ等代金書上) 北沢與右衛門→山田様	(明治32年以降)12月14日	切紙・1通	A051-1-057
(豊野よりの差引勘定書) (豊野)→山田吉太郎殿	(明治32年以降)	切紙・1通	A051-1-058
キ(針金代金受取) 中野古田→山田様	(明治32年以降)	切紙・1通	A051-1-059
(あんま料金受取) ひしや店	(明治32年以降)	切紙・1通	A051-1-060
(精石256個運賃領収証) 運送者山田喜七、小井氏然→	明治32年12月11日	切紙・1通	A051-1-061
記(屋根直し代金□等書上) 赤岩村白石□七→	(明治32年以降)	切紙・1通	A051-1-062
(代価請求書) →山田様	(明治32年以降)12月5日	切紙・1通	A051-1-063
記(釜輪代金受取) 八幡屋林右衛門(信州須坂横町八幡屋)→山田様	(明治32年以降)11月28日	切紙・1通	A051-1-064
記(三州□・唐薄等代金受取) 青木屋弥兵衛→山田様	(明治32年以降)11月28日	切紙・1通	A051-1-065
記(焚口代金受取) 十一屋勝次郎(信州須坂中町十一屋)→上	(明治32年以降)11月28日	切紙・1通	A051-1-066

記(玉糸代金受取) 中野町寺沢久兵衛→江部村山田様、上	(明治32年以降)11月30日	切紙・1通	A051-1-067
記(履物代金受取) 高野屋→山田様	(明治32年以降)11月30日	切紙・1通	A051-1-068
記(藁46駄代金受取) 戸狩佐藤光太郎→江部山田様	(明治32年以降)11月2日	切紙・1通	A051-1-069
純乳販売之証(代金受取) 中野緑町旭桜舎(中野牛乳店畔上竹重郎印)→山田様	(明治32年以降)	切紙・1通	A051-1-070
(鉄・備中鉄・草ケヅリ挺数書上)	(明治32年以降)	切紙・1通	A051-1-071
記(楓之掛代金受取) 古田嘉右衛門→山田本宅殿	明治32年12月1日	切紙・1通	A051-1-072
記(銅のおとし代金書上) 下高井郡中野町土野市蔵→上	明治32年12月6日	切紙・1通	A051-1-073
記(90銭受取) 八幡林衛門→山田庄左衛門様	(明治32年以降)12月7日	切紙・1通	A051-1-074
記(薄縁27枚・糸手間代金書上) 戸狩佐藤光太郎→江部山田様帳場御中	(明治32年以降)12月29日	切紙・1通	A051-1-075
舌代(書中拝見の通り此者へ餅白米売渡願) 吉田塩重拝→東江部山田様	(明治32年以降)12月27日	切紙・1通	A051-1-076
記(丸釘・鍋等代金受取) □→上	(明治32年以降)12月28日	切紙・1通	A051-1-077
純乳販売之証(代金受取) 中野緑町旭桜舎→山田庄左衛門様	(明治32年以降)	切紙・1通	A051-1-078
記(□代金受取) 中野町池川鎌吉→上様	(明治32年以降)12月9日	切紙・1通	A051-1-079
記(平金代金受取) 古田嘉右衛門→上	(明治32年以降)12月9日	切紙・1通	A051-1-080
記(蓮根代金受取) 金長→上	(明治33年以降)1月2日	切紙・1通	A051-1-081
記(中茶代金受取) 西沢茶店→上	(明治33年以降)第1月2日	切紙・1通	A051-1-082
記(柏原粉代・蕎麦打賃受取) 中野新町藤沢清吉(藤清)→山田御本店	(明治33年以降)	切紙・1通	A051-1-083
キ(油揚げ代金受取) □→上	(明治33年以降)1月2日	切紙・1通	A051-1-084
貨物送券(蓮20枚) 信州飯山肴町野田屋重右衛門→継所中野村ねずみ様行、届先江部村山田庄左衛門様行	明治32年12月11日	切紙・1通	A051-1-085
記(銅板・機械鋳代金書上) 増屋太七郎→江部村山田庄左衛門様	(明治32年以降)	切紙・1通	A051-1-086
証(御謝儀金領収) 下高井郡中野町西川薬室→江部山田様	明治33年2月4日	切紙・1通	A051-1-087
記(証書印刷料受取) 中野印刷処→山田様	(明治33年以降)	切紙・1通	A051-1-088
記(白メーラ3合糸代金受取) 下高井郡中野東横町いと屋高木栄次→上様	(明治33年以降)2月4日	切紙・1通	A051-1-089
仮証(金10円50銭受取) 西原常作(長野県上高井郡須坂町西原)→山田御本宅御中 西原工場用箋使用	明治33年2月2日	切紙・1通	A051-1-090
領収証(下高井俱樂部寄付金領収) 細野勝太郎→山田庄左衛門 赤罫紙使用	明治33年2月1日	罫紙・1通	A051-1-091
証(内服薬代金領収) 曾我調剤所会計→山田シズ様 92～98は重ね折り	(明治32年以降)	切紙・1通	A051-1-092
証(内服薬・外用薬代金領収) 曾我調剤所会計→山田様	(明治32年以降)12月20日	切紙・1通	A051-1-094
証(内服薬代金領収) 曾我調剤所会計→山田董平様	(明治33年以降)1月	切紙・1通	A051-1-095
証(外用薬代金領収) 曾我調剤所会計→山田キヨ様	(明治33年以降)1月	切紙・1通	A051-1-096
証(外用薬代金領収) 曾我調剤所会計→山田御老母様	(明治32年以降)	切紙・1通	A051-1-097

証(内服薬など代金領収) 曾我調剤所会計→山田奥様	(明治33年以降)10月	切紙・1通	A051-1-098
証(内服薬代金領収) 曾我調剤所会計→山田ノブ様 3円 受取の裏書あり	(明治33年以降)10月	切紙・1通	A051-1-099
証(内服薬・外用薬代金領収) 曾我調剤所会計→山田ツ ネ様	(明治32年以降)	切紙・1通	A051-1-093
記(楓木の送貨・御神酒代金など書上) 古田嘉太郎→山 田本宅殿	明治33年1月28日	折紙・1通	A051-1-100
記(諸木・板代金の書上) 古田嘉太郎→山田本宅殿	明治33年1月28日	□・1冊	A051-1-101
記(瓦代金・手間賃など書上) 栗林瓦屋→平野村山田様	明治33年1月28日	切紙・1通	A051-1-102
記(タンサン代金など受取) 山城屋友吉→上様	(明治33年以降)1月33日	切紙・1通	A051-1-103
記(油揚げ代金受取) 小池佐三郎→上	(明治33年以降)1月23日	切紙・1通	A051-1-104
記(4銭受取) 柳本利平→上	(明治33年以降)1月23日	切紙・1通	A051-1-105
記(上々蕎麦代金受取) 金長→上	(明治33年以降)1月9日	切紙・1通	A051-1-106
記(蕎麦粉代金・打賃の書上) 藤沢清吉→山田様	(明治33年以降)1月20日	切紙・1通	A051-1-107
証(牛蒡代金書上) 涌井逸作→山田さま	(明治33年以降)	切紙・1通	A051-1-108
記(人足のべ人数書上)	(明治32年以降)	綴り・1綴	A051-1-109
記(8～12月分人足賃勘定書) 110～112は109にはさみこ み	明治32年	切紙・1通	A051-1-110
(9～12月分人足賃勘定書)	明治32年	切紙・1通	A051-1-111
(12月分人足賃勘定書)	明治32年	切紙・1通	A051-1-112
記(□) 金長→上	(明治33年以降)1月8日	切紙・1通	A051-1-113
覚(白代金受取) 鎮目醤油店→山田様	明治33年1月8日	切紙・1通	A051-1-114
記(竹代金受取) 泰法寺納所→中野組寺院檀信徒宛御親諭 の紙背利用	(明治32年以降)12月16日	切紙・1通	A051-1-115
記(かき石代残金受取) 栗和田中村兼吉→	(明治32年以降)12月10日	切紙・1通	A051-1-116
記(二重ざる代金受取) 中野中町岩井屋商舗→上殿	明治33年4月2日	切紙・1通	A051-1-117
記(釜輪代金受取) 十一屋勝次郎(信州須坂中町十一屋)→ 上	(明治32年以降)11月29日	切紙・1通	A051-1-118
記(上々銘茶代金受取) 西沢茶店→山田様御中	(明治32年以降)11月21日	切紙・1通	A051-1-119
記(セメント代金受取) 小傳→上様	(明治32年以降)	切紙・1通	A051-1-120
記(機材之掛金受取) 古田嘉太郎→山田本宅殿	明治32年11月25日	切紙・1通	A051-1-121
記(本ネル代金の一部受取) 青木屋弥兵衛→山田様	(明治32年以降)11月18日	切紙・1通	A051-1-122
記(栗羊羹代金の一部受取) 桜井佐七→山田様	(明治32年以降)11月13日	切紙・1通	A051-1-123
記(磨砂代金受取) 山城屋友吉→山田様	(明治32年以降)11月13日	切紙・1通	A051-1-124
覚(5升1合分代金受取) 芝屋店→山田様	(明治32年以降)11月13日	切紙・1通	A051-1-125
領収証(25円) 日本赤十字社長野支部下高井郡分区委員武 田興二郎→社員山田とら殿	明治32年12月16日	切紙・1通	A051-1-126
記(井産代金受取) 野田屋重右衛門→江部村山田様	(明治32年以降)12月11日	切紙・1通	A051-1-127
(書状、注文の品間ニ合兼代替品の旨) 坂口屋作兵衛 (信州中野坂作)→上様 代金受取の記載あり	(明治32年以降)12月12日	□・1通	A051-1-128

記(牛肉代金受取) 桂泉亭→山田様	(明治32年以降)12月12日	切紙・1通	A051-1-129
記(靴カ、6足分代金受取) 大沢屋万作→山田様	(明治32年以降)12月12日	切紙・1通	A051-1-130
記(宗三郎23人・長吉23人分の金子受取) 鈴屋□次郎→山田様 日下ほか3か所に「落合」印あり	(明治33年以降)3月19日	切紙・1通	A051-1-131
記(中綿代金受取) 坂口作兵衛→山田様	(明治33年以降)3月23日	切紙・1通	A051-1-132
記(□代金受取) 中嶋友吉(信州中野山城屋)→山田本宅御中	(明治33年以降)3月26日	切紙・1通	A051-1-133
記(小矢袴など代金受取) 青木屋弥兵衛→山田様	(明治33年以降)4月2日	切紙・1通	A051-1-134
記(縮緬綿入・羽織仕立代金受取) 山岸や→御本宅様	(明治33年以降)4月1日	切紙・1通	A051-1-135
受取証(大根100本代金) 北・長嶋平次→東・山田様	明治33年4月7日	切紙・1通	A051-1-136
証(白醤油代金受取) 鎮目醤油店(米穀醤油・信州中野町鎮目商店)→山田様	明治33年3月30日	切紙・1通	A051-1-137
純乳販売之証 中野緑町旭桜舎(牛乳店畔上竹重郎印)→江部山田莊左衛門様	(明治32年以降)	切紙・1通	A051-1-138
小包受取証(往郷村岩井禎差出、岩井要助宛小包)(信濃中野郵便局)→信濃中野郵便局の受付印あり	明治33年4月8日	切紙・1通	A051-1-139
書留郵便物受取証(平野村山田莊左衛門差出、東京信濃館支店佐藤忠夫宛書留)(信濃中野郵便局)→信濃中野郵便局の受付印あり	明治33年4月25日	切紙・1通	A051-1-140
領収証書(戸籍抄本手数料) 下高井郡平野村収入役原弥太郎→山田莊左衛門様	明治33年4月21日	切紙・1通	A051-1-141
記(長野小嶋相場より譲与金受取) 平穂村磯波佐蔵→山田莊左衛門殿	明治33年4月9日	切紙・1通	A051-1-142
記(釘など代金書上) 中野町山岸寅吉→江部山田本宅様	明治32年12月21日	切紙・1通	A051-1-143
(丸山伊右衛門が譲った富沢藤左衛門扣畑につき書上)	(明治32年以降)	小切紙・1通	A051-1-144
記(最中代金受取) 東京風月堂米津支店信州長野横町風月堂→上様 51-3-1~5は畳み込みで一括	明治30年9月25日	切紙・1通	A051-3-1
記(火のミ代金受取) 増屋太七郎(信州長野尺度売捌所万金物商店)→上	(明治30)9月25日	切紙・1通	A051-3-2
記(陶器代金受取) 藤や嘉助(長野大門町藤屋陶器商舗)→山田様	(明治30)9月25日	切紙・1通	A051-3-3
記(両掛・支那文庫代金受取) さかきや桑吉(信州長野宮沢桑吉)→山田様	(明治30)9月25日	切紙・1通	A051-3-4
記(糸・反物など代金受取)(長野善光寺大門町吉野屋名左衛門現金かけねなし)→山田様	7月7日	切紙・1通	A051-3-5
記(板・瓦などの代金24円84銭に付) くり村森寛之助→東江部村山田莊左衛門様			1133-1
(篠井川向～山岸までの御普請堤の長さなどに付、書上)		堅切紙・1通	1133-2
一札之事(御肴代1両3分請取に付) 源左衛門→庄左衛門殿	丑5月8日	堅切紙・1通	1133-3
(貝取村・寺方村の論所裁許に付、書付) 後欠		堅切紙・1通	1133-4
記(種油などの代金1円72銭請取に付)(印、「信州下高井郡平野村塩崎重吉」→山田御事	5月13日	堅切紙・1通	1133-5

(新聞代82銭、領収書) 押切新聞店→山田荘左衛門殿	明治39年12月25日	堅切紙・1通	1133-6
(運賃・手数料60銭書上) 信州豊野駅山田分店→	明治40年12月27日	堅切紙・1通	1133-7
郵便物受領証 平野村山田本宅→日本橋濱町三ノ一山田荘左衛門	明治39年12月1日4日	堅切紙・1通	1133-8
記(品物代92銭請取に付) 鳥野巳三郎→上様	12月2日	堅切紙・1通	1133-9
領収書(レセフテークル代43銭に付) 信濃電気株式会社 中野出張所(印、「信濃電気中野出張所」)→山田荘左衛門殿	明治40年12月22日	堅切紙・1通	1133-10
領収書(電灯点火料・器具損料 5 円82銭に付) 信濃電気株式会社 中野出張所(印、「信濃電気中野出張所」)→山田荘左衛門殿	明治40年4月30日	堅切紙・1通	1133-11
記(品物代、正味27銭に付、書上) 又七→山田殿	申2月28日	堅切紙・1通	1133-12
キ(品物代 2 円書上) 鍋秀(印、「信州長野吉鍋秀」)→片塩 村植木屋様次ギ山田様		堅切紙・1通	1133-13
請求書(餅米など代金 9 円72銭に付) 内国通運株式会社 豊野取引店山田分店→山田本宅店御中	明治39年12月3日	堅切紙・1通	1133-14
記(炭25俵代金に付、書上) 苅和長助(印、「信州中野苅和長助」)→山田本宅殿	明治41年5月12日	堅切紙・1通	1133-15
記(炭25俵代金に付、書上) 苅和長助(印、「信州中野苅和長助」)→山田本宅殿	明治41年5月9日	堅切紙・1通	1133-16
記(品物代・気発油の代金請取に付) 山城屋藤吉→上様	12月23日	堅切紙・1通	1133-17
純乳販売之記(94銭 5 厘請取に付) 中野緑町旭櫻舎→山田様	明治41年2月	堅切紙・1通	1133-18
記(長提灯 1 封代 3 円請取に付) 西町提灯屋(印)→山田様	12月23日	堅切紙・1通	1133-19
記(坪ほか代金49銭 2 厘請取に付) 中町やくみ牛木要作 →上様御中	12月15日	堅切紙・1通	1133-20
記(金 1 円28銭請取に付) 山石荒太郎(印、「山石」)→山田御本宅様	明治39年12月23日	堅切紙・1通	1133-21
(トタン灯の針金代に付、書上)		堅切紙・1通	1133-22
記(金77銭請取に付) 中町やくみ屋牛木要作→上様御中	12月15日	堅切紙・1通	1133-23
記(くるみ 1 斤代32銭請取に付) (印、国構えの中に「上」)→上	12月29日	堅切紙・1通	1133-24
記(黒地などの糸代金 1 円53銭 6 厘に付、書上) 坂口 屋村松→山田様	12月28日	堅切紙・1通	1133-25
記(細木代10円87銭に付) 阿部好藏(印)→戸川徳三郎殿	12月18日	堅切紙・1通	1133-26
記(手間代など45銭に付) 柳澤山田升藏→		堅切紙・1通	1133-27
記(数の子代など請取に付) 松野商店→		堅切紙・1通	1133-28
記(数の子代など93銭請取に付) 金長→山田様	12月26日	堅切紙・1通	1133-29
記(手間代など92円77銭 5 厘に付) 中ノ町栗和田中村濱之助→	12月15日	堅切紙・1通	1133-30
記(縮酒代など 1 円 5 銭請取に付) 高崎屋→上	5月6日	堅切紙・1通	1133-31
記(手間代に付)	(明治39年)12月	堅切紙・1通	1133-32
記(持参品などの代金41銭請取に付) 長野屋(印)→山田様		堅切紙・1通	1133-33

積附案内(筵43個運送に付) 信州長野市後町丸山啓作→平野村カトラ茶屋方にて山田屋	明治39年12月13日	堅切紙・1通	1133-34
送状(菜積3樽運送に付) 下総松戸町木内こう(印、「松戸川岸末広屋」)→長野縣下高井郡豊野駅停車場山田分店殿馬置山田莊左衛門様	明治40年12月19日	堅切紙・1通	1133-35
送券(皿と煎茶、運送に付) 信州長野市大門町陶磁器商瀧澤嘉助藤屋号(印、「長野大門町藤屋陶器商舖、瀧澤嘉助」)→片塩村植木屋民須屋様山田莊左衛門殿	明治39年12月12日	堅切紙・1通	1133-36
(竹10本入12把代など7円74銭請取に付、書上)(印、「金鱗商店」)→上様	12月14日	堅切紙・1通	1133-37
(手間賃34円81銭の内訳などに付、書上)	明治39年8月25日～	堅切紙・1通	1133-38
(手間賃・煙草代84円24銭5厘に付、書上)	(明治39年)12月27日	堅切紙・1通	1133-39
(切紙)	(明治期)	横切紙・1通	1125
(善光寺から西江部までの行程に付、書上)	(明治期)	横切紙・1通	1127
(柱・雑木の丸太などに付、2月21日付覚)	(明治期)	横切紙・1通	1129
覚(伐木代金30両請取) 大俣村引受人源兵衛(印)、同歳蔵(印)→御掛り御役人中様 端裏書「三拾両十月十六日渡大俣源兵衛請取書」	午10月16日	横切紙・1通	1286
覚(徳山1本に付、代金書上) 小布施(屋号)店(印、「信州小布施上町塩屋」)→山田様	申12月12日	堅切紙・1通	1137-1
(番地図面) 1区画を甲・乙・丙に分けて記している。		堅切紙・1通	1137-2
覚(上々白張・つるが代金書上) 竹原村徳治→柏原宿中村様	卯3月	切紙・1通	A273
覚(材木代など40両請取に付) 大俣村引受人源兵衛(印)・同請人幾蔵(印)→御掛り御役人衆中様	午10月13日	堅切紙・1通	1170
記 中の町 正浦伝造→江部村 山田旦那様	1月31日	横切紙・1通	1249
記(小ざる他代金10銭9厘受取) 萬屋助左衛門(印、「信州高井郡中野町萬屋」)→山田殿	5月6日	切紙・1通	1277
(氷ほか代金23銭受取のこと) 朝日や勝造→	5月6日	切紙・1通	1278
記(桜餅代金の領収書) 風月堂(印)→山田様	6月2日	横切紙・1通	1257
(大豆などの代金に付、書上)		横半・1通	1165
(焼銅などの代金請取に付、書上)		横半・1冊	1168
(帯紐)			1169
(白米などの供養料請取に付、書上)		横半・1冊	1171
覚(三ヶ村の返納粉などに付、書上)		横切紙・1通	1172
旅費(長沼船橋賃などに付)		横半・1冊	1174
覚(西町などの人数・粉数に付、書上)		横折紙・1通	1177
(帯紐)			1193
明治十八年度白米相場記		堅切紙・1通	1198
19年度白米置願		横長半・1通	1219
(金銭書上) 断簡		堅切紙・1通	1225



覚(金銭書上)		横切紙・1通	1227
所得高内譯明細書 何某 印→ 雛形		縦紙・仮1冊	1263
日本赤十字社地方委員事務細則 爵何某 印→赤十字社帳 爵何某殿 雛形		半 1冊	1264
書付(経費書上) 青罌紙使用		縦紙・3枚	1267-1
書付(金銭・人名書上) 「株式会社信濃銀行」の橙罌紙使用		縦紙・1枚	1267-2
書付(南場利子、支店へ通知に付) 「株式会社信濃銀行電信略號」の青罌紙使用		縦紙・2枚	1267-3
松代より辰年三人扶持被下候ニ付廻勤書付入、巳年三拾人扶持右同断配物書付入 呉服商松代伊勢町きくやの袋を利用、原番16は袋に一括		1袋	A016-01
覚(生大鯛代金書上) 能登や富作→上	12月2日	1通	A016-02
覚(御献上台代金300文書上) 袋屋惣兵衛(信州松代・袋屋)→上		1通	A016-03
覚(大奉書・長水引代360文書上) 升屋伊兵衛→佐藤様	巳12月3日	1通	A016-04
(生鯛・鯉代金など書上)		1通	A016-05
(須坂・松代など出張諸入用の書付)		1通	A016-06
御内々歎願認候(金5千両調達などへの挨拶として30人扶持を渡したい旨) 覚之進→莊左衛門様、董平様	11月7日	1通	A016-07
(書付、初3人扶持返上につき)		切紙・1通	A016-08
(用向相頼につき山田庄左衛門に3人扶持贈) 斎藤八百四郎、林平之丞→	巳11月	切紙・1通	A016-09
(人名書付、岸田三千次・高橋繁三郎)		切紙・1通	A016-10
(御配鯉節代など3両余取替につき書上)		1通	A016-11
(書状、御頼一条閑済により御達につき出張願) (松代高野) 覚之進→莊左衛門様 封筒とも	11月27日	1通	A016-12
覚(旅中の小遣書上)		切紙・1通	A016-13
(諸品送状・代金受取など一括)		1綴(24通)	A016-14
(30人28日分扶持の初数・金額勘定書) 18と19はたたみこみ		切紙・1通	A016-15
覚(町方より利分預金など勘定書)		切紙・1通	A016-16
(苗字書上)		切紙・1通	A016-17
(買物帳、備後表・塩・油草・書画など)		横長半・1冊	A016-18-1
覚(代金受取) 日店(信州小布施上町日塩屋) 山田様 16-18-1の丁間文書	申12月24日	切紙・1冊	A016-18-2
覚(下駄緒など代金請求) 横田屋→富田や様		切紙・1通	A044
覚(酒代金書上) 上林善助→富田屋治□□様	卯3月3日	切紙・1通	A045
覚(品代金書上につき)		縦切紙・1通	C331
(卯七月廿五日ほか大工始めに付けや木代など金銭書上帳) 大工棟梁村山村黒岩今右衛門、世話人東江部村関口久蔵、同断片塩村田中善左衛門		綴・1綴	1290

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
奉公人・雇傭			
御請状之事(奉公人請状) 草間村奉公人介八、同村請人吉兵衛、人主伴七→庄左衛門殿 前欠	寛延2年巳2月2日	縦紙・1通	A269-1
御請状之事(奉公人請状) 立ヶ花村奉公人武右衛門、同所請人久兵衛→	宝暦6年子ノ2月2日	縦紙・1通	A269-2
身元引請証(下高井郡穂高村山崎伊作の奉公につき) 下高井郡穂高村身元引受人山崎席吉→同郡江部村山田庄左衛門様	明治22年3月16日	1通	A015-1
御請状之事(ヲト奉公につき) 下高井郡穂高村三十七番地奉公人親川口栄太郎、同郡穂高村百七番地請人瀧澤伊兵衛→山田庄左衛門殿	明治23年3月27日	1通	A015-2
奉公人契約証 下水内郡秋津村大字沓津組本人小林とめ、ほか同意人・保証人2名→下高井郡平野村山田庄左衛門殿	大正7年3月5日	縦紙・1通	A099

## 納税

「明治九年分 租税配符 諸夫銭受取」、(包紙1枚)

整理番号 1269

記(領収書) 吉田村用掛 竹田伊左衛門(印)→江部村 山田庄左衛門殿		横切紙・1枚	1269-1-1-1
(書付、券状18枚御払換税) 江部村納入 山田庄左衛門→4小區役所 上部破損	5月23日	小切紙・1枚	1269-1-1-2
記(領収書) 北第19大區 4小區扱所(印)→江部村 山田庄左衛門 端裏書きに「拾式円五拾二錢五厘」とあり	明治10年5月21日	小切紙・1枚	1269-1-2
記(俵と縄受取に付) 押羽村用掛 町田仲右衛門(印)→江部村 山田庄左衛門殿 「第18大區」の青野紙使用	明治12年5月10日	堅切紙・1枚	1269-1-3
記(地券書換入費受取に付) 本川村用掛代 大平嘉平→江部村 山田庄左衛門殿 青野紙使用	丑4月	横切紙・1枚	1269-1-4-1
證(地下□□税受取に付) 長野縣権令 榑崎寛直(印)→北第21大區3小區 高井郡高野村江部 山田庄左衛門、用掛 大平嘉兵衛	明治10年4月19日	小切紙・1枚	1269-1-4-2
記(地券書換入費割賦右の通りに付) 篠井村用掛 山崎庄助(印)→江部村 山田庄左衛門殿	4月26日	小切紙・1枚	1269-1-5
記(明治8年租税過納金の内相渡候に付) 新保村 用懸(印)→江部村納入 山田庄左衛門	明治10年4月10日	堅切紙・1枚	1269-1-6-1
記(明治9年租税過納金の内相渡候に付) 新保村 用懸(印)→江部村納入 山田理兵衛	明治10年4月10日	堅切紙・1枚	1269-1-6-2
記(4月8日納金銭書上) 山田庄左衛門→		小切紙・1枚	1269-1-7
(書付、俵と縄数量書上) 山田庄左衛門→		小切紙・1枚	1269-1-8
(書付、篠井村分8年地租過納内渡しに付) 3小區扱所	(明治)10年3月30日	小切紙・1枚	1269-1-9

(印)→江部 山田庄左衛門			
記(明治8年同9年分山税受取に付) 旧西間 白鳥九郎右衛門→江部村納人 山田庄左衛門	(明治)10年4月1日	小切紙・1枚	1269-1-10-1
記(8・9年分山税諸費) 旧西間→江部村納人 山田庄左衛門	4月1日	小切紙・1枚	1269-1-10-2
記(26日取立に付、金銭書上) 吉村→江部 山田庄左衛門		小切紙・1枚	1269-1-11
記(地券書換御印税并入費割の請取に付) 新保村 役元(印)→江部村 山田庄左衛門(印)	明治10年3月11日	横切紙・1枚	1269-1-12
(書付、無遅滞可相納候事に付、金銭書上) 第18區5小區扱所→山田庄左衛門	3月	小切紙・1枚	1269-1-13
賣買地券書換願 用掛り 鍋島市右衛門→山田庄左衛門殿 朱罫紙使用	明治10年3月	横切紙・1通	1269-1-14-1
記(地券書換税并入費金違算に御座候に付、領収書) 用掛 鍋島市右衛門(印)→山田庄左衛門殿 朱罫紙使用	3月11日	横切紙・1通	1269-1-14-2
記(支租税皆済金受取に付、領収書) 江部村東組用掛 鍋島市右衛門(印)→山田庄左衛門殿 朱罫紙使用	明治10年3月	横切紙・1通	1269-1-15-1
江部村支租税皆納 西 村納人 山田庄左衛門・小川千代吉→北第19大區4小區扱所 2枚綴り	3月10日	小切紙・2枚	1269-1-15-2
若舟村支租税皆納 江部村納人→北第19大區4小區扱所	3月10日	小切紙・1枚	1269-1-15-3
記(地券證印税他書上に付) 用掛 春日太左衛門→山田様 朱罫紙使用	3月1日	縦紙・1通	1269-1-16
受取之證 北第19大區4小區扱所(印)→納人 山田庄左衛門	明治10年2月27日	小切紙・1枚	1269-1-17
記(村費・改正入費受取候に付領収証) 新田野村用掛 中山實之助(印)→山田庄左衛門殿	明治10年2月17日	横切紙・1枚	1269-1-18
證(新野村村費・改正入費受取に付領収証) 北第19大區4小區扱所(印)→江部村納人 山田庄左衛門	明治10年1月20日	小切紙・1枚	1269-1-19
記(明治9年分1等2等民費・地券入足料受取候に付) 新井村用掛り 栗林惣左衛門(印)→江部村 山田庄左衛門様	明治10年2月12日	小切紙・1枚	1269-1-20-1
記(明治9年御租税受取候に付) 新井村用掛り 栗林惣左衛門(印)→江部村 山田庄左衛門様	明治10年2月12日	小切紙・1枚	1269-1-20-2
記(子租税受取候に付) 用掛 鍋島市右衛門(印)→山田庄左衛門殿 朱罫紙使用		横切紙・1枚	1269-1-21
(書付、金銭書上)		小切紙・1枚	1269-1-22
領収証(学校地價掛受取候に付) 吉田村用掛 竹田伊左衛門(印)→山田庄左衛門殿	2月12日	小切紙・1枚	1269-1-23
請求書(学校費他、遅滞なく納める事) 第19大區4小區取扱所→江部村 山田庄左衛門殿	明治10年2月12日	小切紙・1枚	1269-1-24
領収証(学校費受取候に付) □□村用掛 堀内政吉(印)→山田庄左衛門様 青罫紙使用	明治10年2月12日	縦切紙・1枚	1269-1-25
子租税五納 江部村用掛り 鍋島市右衛門→山田庄左衛門殿 朱罫紙使用	明治10年2月9日	横切紙・1枚	1269-1-26-1
記(子五納無遅滞可相納事) 第19大區1小區取扱所(印)→江部村 山田庄左衛門	明治10年	小切紙・1枚	1269-1-26-2
記(子五納無遅滞可相納事) 第19大區1小區取扱所(印)→江部村 山田利兵衛	明治10年	小切紙・1枚	1269-1-26-3

(吉田村子租税五納 他) 第19大區4小區扱所(印)→江部村納人 山田莊左衛門 2枚綴り	2月12日	小切紙・1	1269-1-26-4
(西条村子租税五納 他) 第19大區4小區扱所→村納人 山田莊左衛門 3枚綴り	2月12日	小切紙・1	1269-1-26-5
(岩船村子租税五納) 第19大區5小區扱所→江部村納人 山田莊左衛門	2月12日	小切紙・1枚	1269-1-26-6
領収証(金銭書上) 六川用掛所→山田莊左衛門	2月10日	小切紙・1枚	1269-1-27
請求書(清水納、無遅滞可相納候事に付) 第18大區5小區 扱所→山田莊左衛門	2月	小切紙・1枚	1269-1-28
請求書(矢嶋納、無遅滞可相納候事に付) 第18大區5小區 扱所→江部 山田莊左衛門、稗田組涌井逸作納	2月	小切紙・1枚	1269-1-29
請求書(押切納、無遅滞可相納候事に付) 第18大區5小區 扱所→山田莊左衛門	2月	小切紙・1枚	1269-1-30
請求書(北岡納、無遅滞可相納候事に付) 第18大區5小區 扱所→江部 山田莊左衛門	2月	小切紙・1枚	1269-1-31
請求書(押切納、無遅滞可相納候事に付) 第18大區5小區 扱所→山田莊左衛門	3月	小切紙・1枚	1269-1-32
(書付、区入費の金銭書上) →山田莊左衛門	26日	小切紙・1枚	1269-1-33
請求書(六川納、無遅滞可相納候事に付) 第18大區5小區 扱所→山田莊左衛門	3月	小切紙・1枚	1269-1-34
請求書(清水納、無遅滞可相納候事に付) 第18大區5小區 扱所→江部 山田莊左衛門	3月	小切紙・1枚	1269-1-35
請求書(矢島納、無遅滞可相納候事に付) 第18大區5小區 扱所→江部村 山田莊左衛門	3月	小切紙・1枚	1269-1-36
請求書(北岡納、無遅滞可相納候事に付) 第18大區5小區 扱所→山田莊左衛門	3月	小切紙・1枚	1269-1-37
記(子六納、無遅滞可相納候事に付) 第19大區1小區取扱所(印)→江部納人 山田理兵衛	3月27日	小切紙・1枚	1269-1-38
記(子六納、無遅滞可相納候事に付) 第19大區1小區取扱所(印)→江部村納人 山田莊左衛門	3月27日	小切紙・1枚	1269-1-39
請求書(□□村租六納皆済) 第19大區2小區取扱所→江部村 山田莊右衛門殿	明治10年3月21日	小切紙・1枚	1269-1-40
記(明治9年分租税仮皆済割賦有糸、當27日御持納被下度候に付) 用掛 鍋島市右衛門→山田莊左衛門殿 朱罫紙使用	明治10年3月24日	横切紙・1 通	1269-1-41-1
(書付、西条村子租税六納皆済に付) 北第19大區4小區扱所(印)→江部村納人 山田莊左衛門	3月27日	小切紙・1枚	1269-1-41-2
(書付、岩舟村子租税六納皆済に付) 北第19大區4小區扱所(印)→江部村納人 山田莊左衛門	3月27日	小切紙・1枚	1269-1-41-3
(書付、村子租税二納に付、他) 北第19大區4小區扱所(印)→江部村納人 山田莊左衛門 他1名 2枚綴り	3月27日	小切紙・1	1269-1-41-4
記(改正費など受取候に付領収書) 岩舟村用掛→江部村莊左衛門殿	1月28日	横切紙・1枚	1269-1-42-1
記(諸経費二受取候に付領収書) 西條村之内旧西間分用掛所(印)→江部村 山田莊左衛門殿御使中	明治10年1月28日	横切紙・1枚	1269-1-42-2
受取之證(経費) 北第19大區5小區取扱所(印)→納人 山田	明治10年1月25日	小切紙・1枚	1269-1-42-3

庄左衛門			
記(賦銭受取候に付) 西条村役元(印)→江部村 山田庄左衛門	丑1月28日	小切紙・1枚	1269-1-42-4
(書付、岩舟村の改正経費取立に付) →江部村 山田庄左衛門	1月28日	小切紙・1枚	1269-1-43
(書付、経費皆済に付) →納入 山田庄左衛門	1月25日	小切紙・1枚	1269-1-44
記(村費割・改正掛など金銭書上) 西条村役元→江部村 山田庄左衛門	丑1月27日	小切紙・1枚	1269-1-45
記(地租改正費の金銭書上) 西条村旧西間分役元→江部村 関谷孝之助	丑1月27日	小切紙・1枚	1269-1-46
(書付、諸経費・学校課賦など書上 他) 西條村之内西間分→江部村 山田庄左衛門 他1名 2枚綴り	28日	小切紙・2枚	1269-1-47
(書付、六川分金銭書上) 都住村用掛処→江部村 山田庄左衛門	9月25日	小切紙・1枚	1269-1-48
(書付、吉田村夫銭・改正掛など書上) →山田庄左衛門	1月30日	小切紙・1枚	1269-1-49
(書付、夫銭・改正掛など書上) →山田理兵衛	1月30日	小切紙・1枚	1269-1-50
(書付、金銭書上) →江部村 山田庄左衛門	23日	小切紙・1枚	1269-1-51
(書付、普請改正掛など金銭書上) →山田庄左衛門	23日	小切紙・1枚	1269-1-52
(書付、租税第三期納に付) 3小區所扱処→江部村 山田庄左衛門	12月	小切紙・1枚	1269-1-53
(書付、普請人足など役代皆済に付) 豊野村用懸 横地喜平治(印)→山田庄左衛門	明治10年4月25日	小切紙・1枚	1269-1-54-1
(書付、貢税書上に付)		小切紙・1枚	1269-1-54-2
記(大小區経費割を受取候に付) 豊野村取扱所(印)→江部村山田庄左衛門殿	(明治)10年1月15日	小切紙・1枚	1269-1-55
記(諸費・地券係りを受取候に付) 片塩村用掛り 堀内政吉(印)→江部村 山田庄左衛門殿	1月4日	小切紙・1枚	1269-1-56-1
(書付、山地券御證印税書付に付) →江部村 山田庄左衛門	2月4日	小切紙・1枚	1269-1-56-2
記(山地券証印税など金銭書上に付) 小林(「信州間山小松屋」印)→山田様	(明治)10年2月	横切紙・1枚	1269-1-57
記(地租改正調入費を受取候に付) 江部村用懸 鍋寫市右衛門(印)→山田庄左衛門殿 朱罫紙使用	丑1月27日	横切紙・1枚	1269-1-58
(書付、金銭書上に付) 吉田村用掛 竹内伊左衛門(印)→江部村 山田庄左衛門殿・山田理兵衛殿	丑1月30日	小切紙・1枚	1269-1-59
記(改正取調入費など) 朱罫紙使用、2枚綴り	1月27日	横切紙・1	1269-1-60
去々西租税皆済目録 用掛 土屋助右衛門(印)→東江部村 山田庄左衛門殿	明治10年丑1月	横切紙・1枚	1269-1-61-1
去西御租税金皆済目録 押切村分出作 中村元右衛門(印)→江部村 山田庄左衛門殿	明治10年丑1月	横切紙・1枚	1269-1-61-2
記(金銭受取候に付) 北岡郡(印)→江部村 山田様	丑1月23日	横切紙・1枚	1269-1-62
記(出費・改正懸・普請懸を受取候に付) 押羽村押切組用掛 長屋助右衛門(印)→江部村 山田庄左衛門殿 朱罫紙使用	(明治)10年1月23日	横切紙・1枚	1269-1-63

(書付、村費受取候に付) 請取組(印)→山田庄左衛門殿	丑1月24日	小切紙・1枚	1269-1-64
記(金銭受取候に付) 矢嶋組用掛(印)→江部村 山田庄左衛門様	丑1月24日	小切紙・1枚	1269-1-65
記(子年皆済入費受取候に付) 新保村用掛 笠原熊治郎(印)→江部村 山田庄左衛門殿	明治10年月丑1月	小切紙・1枚	1269-1-66-1
記(子皆済入費を受取候に付) 新保村用掛 笠原熊治郎(印)→山田理兵衛殿	明治10年月丑1月24日	小切紙・1枚	1269-1-66-2
記(諸入費受取候に付) 第19大區2小區高井郡片塩村用掛り 堀内政吉(印)→江部村 山田庄左衛門殿 青罫紙使用	明治9年8月6日	横切り紙・1枚	1269-1-67
(書付、吉村分金銭書上に付) 東江部村 庄左衛門		小切紙・1枚	1269-1-68
(書付、7月分受業料受取候に付) 山田おこう		小切紙・1枚	1269-1-69
(書付、金銭書上に付) 東江部 山田庄左衛門		小切紙・1枚	1269-1-70
記(金銭受取候に付) 清水町用掛り(印)→山田庄左衛門殿	8月7日	小切紙・1枚	1269-1-71-1
(書付、押切村金銭書上に付) 江部村東組 山田庄左衛門		小切紙・1枚	1269-1-71-2
(書付、押切村自普請人足賃) 山田庄左衛門	9日	小切紙・1枚	1269-1-71-3
記(1月から6月迄の夫錢皆済、無遅滞可相納事に付) 第19大區4小區取扱所→小川千代吉、山田庄左衛門 2枚綴り	明治9年8月8日	小切紙・1	1269-1-72
記(村費、地券書換税、夫錢など金銭書上に付) 西条村→江部村 山田庄左衛門 3枚綴り	8月10日	小切紙・1	1269-1-73
(村費書上) 旧西間用掛町→関谷孝之助		小切紙・1枚	1269-1-74
記(子8月10日納夫錢受取候に付) 西条村 村用掛(印)→東江部村 山田庄左衛門殿	8月10日	横切紙・1枚	1269-1-75
記(駅費皆済受取候に付) 用掛 春日太左衛門(印)→山田様 割印あり	(明治)9年8月10日	小切紙・2枚	1269-1-76-1
記(駅費皆済受取候に付) 江部村 用掛(印)→小川様	(明治)9年	小切紙・1枚	1269-1-76-2
(書付、諸費受取候に付) 旧西間村用掛(印)→山田庄左衛門	(明治)9年8月10日	小切紙・1枚	1269-1-77
記(夫錢并に学資金利子共割賦いたし御持納可被下候に付) 用掛 鍋島市右衛門→山田庄左衛門様 2枚綴り	明治9年8月9日	横切紙・1	1269-1-78
記(夫錢皆済金受取候に付) 用掛 鍋島市右衛門(印)→山田庄左衛門殿	(明治)9年	横切紙・1枚	1269-1-79
記(金銭受取候に付) 岩舟村用掛 町田八兵衛(印)→江部東 山田様	(明治)9年8月12日	横切紙・1枚	1269-1-80-1
(岩舟村8月夫錢、地券書換印税入費など取立候に付) 江部村東 山田庄左衛門→		小切紙・1枚	1269-1-80-2
記(地券入用、品々入用可相納候に付) 豊野村取扱所→山田庄左衛門殿		小切紙・1枚	1269-1-81
記(定夫錢改正、地券書改税受取候に付) 竹内伊左衛門(印)→江部村 山田庄左衛門殿	(明治)9年8月13日	小切紙・1枚	1269-1-82-1
記(吉田村定夫錢など書上) 山田庄左衛門→ 貼り紙あり	8月14日	小切紙・1枚	1269-1-82-2
記(御普請俵縄代、相渡申候に付) 押切村用掛 土屋助	明治9年8月16日	堅切紙・1枚	1269-1-83

右衛門(印)→江部村 山田庄左衛門殿 朱罫紙使用			
記(賦銭受取候に付) 北岡村用掛(印)→江部村 山田庄左衛門殿	8月9日	横切紙・1枚	1269-1-84
(書状、地租改正調書上等御改新券状江部村山田庄左衛門にて御下ヶ相成候様御取斗被下度) 山田庄左衛門(印)→押切村(印)改押羽村、北岡村(印)、清水村・六川村改都住村(印)、矢嶋村改都住村(印)、各村用掛御中「第十九大區」の朱罫紙使用	(明治)9年8月9日	豎紙・1枚	1269-1-85
記(村費、自普請人足賃受取候に付) 押切村用掛 土屋助右衛門(印)→江部村 山田庄左衛門殿	8月9日	豎紙・1枚	1269-1-86
(書付、地券書換願費、村費など) 朱罫紙使用		豎紙・1枚	1269-1-87
記(学校入費受取候に付) 新保村用掛り 笠原熊治郎(印)→江部村 山田庄左衛門殿	9月15日	横切継紙・2枚	1269-1-88
(書付、諸費相納候事) 第18大區7小區 扱所(印)→山田庄左衛門	9月	小切紙・1枚	1269-1-89
(書付、六川村分学校費、区入費など) 第18大區扱所(印)→山田庄左衛門様 4枚貼付		小切紙・4枚	1269-1-90
(書付、押切納金銭書上に付) 第18區7小區扱所(印)→山田庄左衛門 2枚貼付	9月26日	小切紙・2枚	1269-1-91
記(今井入費贖割、簡内割并出費仮割受取候に付) 押切村用掛 土屋助右衛門(印)→江部村東組 山田庄左衛門殿 青罫紙使用	(明治)9年4月17日	豎切紙・1枚	1269-1-92
(書付、夫錢受取に付) 清水村用掛 寺嶋徳左衛門→山田庄左衛門殿	子4月17日	豎切紙・1枚	1269-1-93
記(仮割受取に付) 北岡村用掛(印)→東江部村 山田庄左衛門殿	子4月17日	横切紙・1枚	1269-1-94
記(地券入用受取候に付) 豊野村取扱所(印)→山田庄左衛門殿	8月13日	小切紙・1枚	1269-1-95
(書付、9年租税、豊野村分納に付) 取扱所(印)→江部村 山田庄左衛門殿		小切紙・1枚	1269-1-96
證(新野村之内、地価金・地租金納に付) 第19大區3小區取扱所(印)→江部村納入 山田庄左衛門	明治9年9月26日	豎切紙・1枚	1269-1-97
(書付、安田村金銭書上) →東江部村 山田庄左衛門 貼り紙あり		小切紙・1枚	1269-1-98
記(岩舟村子初納金、無遅滞可相納事に付) 第19大區4小區取扱所(印)→江部村東納入 山田庄左衛門	明治9年子9月22日	小切紙・1枚	1269-1-99
記(西條村子新税初納金、無遅滞可相納事に付) 第19大區4小區取扱所(印)→納入 山田庄左衛門	明治9年月9月24日	小切紙・1枚	1269-1-100
記(西條村子新税初納金、無遅滞可相納事に付) 第19大區4小區取扱所(印)→納入 関谷孝之助	明治9年子9月24日	小切紙・1枚	1269-1-101
(書付、9年租税初納金書上) 5小區取扱所(「長野縣管下」朱印)→江部村納入 山田庄左衛門	(明治9年)9月26日	小切紙・1枚	1269-1-102
記(子租税初納金、無遅滞可相納事に付 他) 第19大區4小區吉田村取扱所(印)→江部村東組納入 山田理兵衛 他2名 4枚綴り	明治9年9月24日	小切紙・1	1269-1-103
記(子初納并経費、無遅滞可相納事に付 他) 第19大區1小區取扱所→納入江部村 山田理兵衛 他1名 貼り紙あり	明治9年9月	小切紙・1枚	1269-1-104

證(篠井村之内地佃金・地租金納に付) 第19大區3小區 取扱所(印)→江部村納人 山田庄左衛門	明治9年9月26日	堅切紙・1枚	1269-1-105
受取証(新保村分7月から9月経費) 第19大區1小區取扱所 (印)→納人江部村 山田庄左衛門	明治9年9月26日	堅切紙・1枚	1269-1-106-1
受取証(新保村分7月から9月経費) 第19大區1小區取扱所 (印)→納人江部村 山田理兵衛	明治9年9月26日	堅切紙・1枚	1269-1-106-2
(書付、吉田村子経費割) →山田理兵衛	9月26日	小切紙・1枚	1269-1-107
(書付、吉田村子経費割) →山田庄左衛門	9月26日	小切紙・1枚	1269-1-108
(書付、江部村両組子租税初納金、無遅滞可相納事に 付 他) 第19大區4小區取扱所(印)→山田庄左衛門 他7 名 8枚綴り	明治9年9月24日	小切紙・1	1269-1-109
記(1等2等民費・夫錢受取申候に付) 新井村用掛り 栗 林惣左衛門(印)→山田庄左衛門様 貼り紙あり	(明治9年)9月26日	小切紙・1枚	1269-1-110
(書付、片塩村區入費、無遅滞可相納事に付) 第19大 區2小區取扱所(印)→江部村山田庄左衛門	明治9年9月25日	小切紙・1枚	1269-1-111
(書付、片塩村初租、無遅滞可相納事に付) 第19大區2 小區取扱所(印)→江部村 山田庄左衛門	明治9年9月25日	小切紙・1枚	1269-1-112
記(區入費受取候に付) 片塩村用掛り 堀内政吉(印)→江 部村 山田庄左衛門殿	明治9年9月27日	横切紙・1枚	1269-1-113
記(片塩村區入費、無遅滞可相納事に付) 第19大區2小 區取扱所(印)→江部村 関谷孝之助	明治9年9月25日	小切紙・1枚	1269-1-114
記(區入費受取候に付) 矢寫組用掛(印)→納人 山田庄左 衛門	9月25日	小切紙・1枚	1269-1-115
記(簡区費受取候に付) 押切村用掛 土屋助右右衛門(印) →江部村 山田庄左衛門殿	(明治)9年9月26日	小切紙・1枚	1269-1-116
記(諸費仮割金15錢9厘書上) 清水組寺崎作左衛門(印)→ 江部村山田庄左衛門殿		小切紙・1枚	1269-1-117
(書付、金錢書上) →江部 山田庄左衛門	8月6日	小切紙・1枚	1269-1-118
(書付、北岡納 金錢書上) 第18大區6小區 扱所→	子9月	小切紙・1枚	1269-1-119
(書付、俵と縄数量書上) →山田庄左衛門		小切紙・1枚	1269-1-120
記(地券印税并入費受取候に付) 用掛り 笠原熊治郎 (印)→山田庄左衛門殿		小切紙・1枚	1269-1-121
(書付、北岡村區入費、無遅滞可相納事に付) 第18大 區6小區 扱所→江部 山田庄左衛門	10月	小切紙・1枚	1269-1-122
(書付、押切村金錢書上) 第18大區7小區 扱所(印)→山 田庄左衛門		小切紙・1枚	1269-1-123
(書付、若嶋金錢書上) 第18大區7小區 扱所(印)→江部 村 山田庄左衛門分 押切村 涌井逸作	10月	小切紙・1枚	1269-1-124
(書付、清水金錢書上) 第18大區7小區 扱所(印)→山田 庄左衛門	10月	小切紙・1枚	1269-1-125
(書付、江部村子租税二納に付) 他 北第19大區4小區扱 所(印)→同村納金 山田庄左衛門 他7名 25枚綴り		小切紙・1	1269-1-126
記(9年子初納不足分受取申候に付) 新井村用掛り 栗林惣 左衛門(印)→江部村 山田庄左衛門様	(明治)9年10月23日	小切紙・1枚	1269-1-127
記(経費仮割、寄付金利子など受取候に付) 用掛 鍋寫	(明治)9年子10月23日	横切紙・1枚	1269-1-128-1



市右衛門(印)→山田莊左衛門殿 朱罫紙使用 (書付、南江部二納金錢書上)		横切紙・1枚	1269-1-128-2
記(金錢書上) 第19大區1小區取扱所(印)→納入江部村 山田理兵衛	明治9年10月	小切紙・1枚	1269-1-129
記(金錢書上) 第19大區1小區取扱所(印)→納入江部村 山田理兵衛	明治9年10月	小切紙・1枚	1269-1-130
記(二納片塩村地内金錢書上) 第19大區2小區取扱所(印)→江部村 山田莊左衛門	明治9年10月20日	小切紙・1枚	1269-1-131
證(新野村内經費書上) 第19大區3小區取扱所(印)→江部村納入 山田庄左衛門	明治9年10月24日	堅切紙・1枚	1269-1-132
記(庚申免半租御下渡し分納め候に付) 朱罫紙使用 (書付、9年租税二期之内半数金錢書上) 3小區取扱所→高井郡江部村 山田庄左衛門殿	10月24日	小切紙・1枚	1269-1-133
記(区入費受取候に付) 北岡村用掛(印)→江部村 山田庄左衛門殿	10月22日	小切紙・1枚	1269-1-134
記(諸費仮割分受取候に付) 用掛 寺嶋徳左衛門(印)→山田庄左衛門殿	11月26日	小切紙・1枚	1269-1-135
記(夫錢受取候に付) 矢嶋組用掛(印)→山田庄左衛門殿	11月26日	堅切紙・1枚	1269-1-136
記(租税・賦錢受取候に付) 六川村用掛(印)→山田庄左衛門	(明治)9年11月26日	小切紙・1枚	1269-1-137
記(土今井村贖割・自普請仮割受取候に付) 押羽村押切組用掛 土屋助右衛門(印)→江部村 山田庄左衛門殿 朱罫紙使用	11月26日	小切紙・1枚	1269-1-138
記(堀川贖之費受取候に付) 堀内政吉(印)→山田莊左衛門 青罫紙使用	(明治)9年11月25日	堅切紙・1枚	1269-1-139
記(子租税三納など受取候に付) 用掛 鍋瀛市左衛門(印)→山田莊左衛門殿 朱罫紙使用	子月11月27日	堅切紙・1枚	1269-1-140
記(新税取替分など書上に付) 用掛 鍋瀛市左衛門→山田莊左衛門殿 朱罫紙使用	明治9年11月27日	横切紙・1枚	1269-1-141-1
受取證(亥ノ1月ヨリ12月迄經費) 第19大區5小區取扱所(印)→江部村納入 山田庄左衛門	明治9年11月	横切紙・1枚	1269-1-141-2
記(地券掛り金受取候に付) 新井村用掛り 栗林惣左衛門(印)→江部村 山田庄左衛門様	明治9年11月26日	堅切紙・1枚	1269-1-142
記(上今井贖粉代金受取候に付) 新保村用掛り 笠原熊治郎(印)→江部村 山田庄左衛門殿	(明治)9年11月27日	小切紙・1枚	1269-1-143
記(上今井贖粉代金受取候に付) 新保村用掛り 笠原熊治郎(印)→江部村 山田庄左衛門殿	明治9年11月27日	堅切紙・1枚	1269-1-144-1
記(上今井贖粉代金受取候に付) 新保村用掛り 笠原熊治郎(印)→江部村 山田庄左衛門殿	明治9年11月27日	堅切紙・1枚	1269-1-144-2
(書付、岩舟村子租税二納に付) 北第19大區4小區扱所→江部村納入 山田莊左衛門		小切紙・1枚	1269-1-145
(書付、片塩村地租三納、無遅滞可相納事に付) 北第19大區2小區扱所(印)→江部村 山田庄左衛門様 貼り紙あり	明治9年11月20日	小切紙・1枚	1269-1-146
(書付、吉田村子租税二納に付) 北第19大區4小區扱所→江部村納入 山田庄左衛門 他1名 2枚綴り	明治9年11月27日	小切紙・2枚	1269-1-147
(書付、西条村子租税二納に付) 北第19大區4小區扱所→江部村納入 山田庄左衛門 他1名 2枚貼付	11月27日	小切紙・2枚	1269-1-148

(書付、江部村子租税三納に付) 他 北第19大區4小區扱所→同(江部)村納入 山田庄左衛門 他8名 16枚綴り		小切紙・16枚	1269-1-149
(書付、吉村金錢取立に付) →江部村 庄左衛門	11月25日	小切紙・1枚	1269-1-150
(書付、北岡金錢書上) 第18大區6小區扱所→江部村 山田庄左衛門	(明治)9年11月	小切紙・1枚	1269-1-151
(書付、押切納今井贖自普請仮割納候に付) 第18大區7小區扱所(印)→山田庄左衛門	11月	小切紙・1枚	1269-1-152
(書付、清水26日諸費仮割) →山田庄左衛門		小切紙・1枚	1269-1-153
(書付、清水金錢書上) 第18大區7小區扱所(印)→山田庄左衛門	11月	小切紙・1枚	1269-1-154
(書付、岩嶋金錢書上) 第18大區7小區扱所(印)→江部村 山田庄左衛門、什押切 涌井逸作	11月	小切紙・1枚	1269-1-155
(書付、岩嶋出費仮割書上) →江部村 山田庄左衛門、什押切 涌井逸作	26日	小切紙・1枚	1269-1-156
(書付、六川金錢書上) 第18大區5小區扱所→江部 山田庄左衛門	11月	小切紙・1枚	1269-1-157
(書付、六川26日切諸費仮割) →江部 山田庄左衛門		小切紙・1枚	1269-1-158
(書付、御貢税受取候に付) 都住村用掛 小林住吉→江部村 山田庄左衛門殿	10月23日	小切紙・1枚	1269-1-159
(書付、9年二期之内25日納金書上) 水内郡豊野村世掛→江部村 山田庄左衛門殿	(明治)9年11月20日	小切紙・1枚	1269-1-160
(書付、押切納、無遅滞可相納事に付) 第18大區7小區扱所(印)→山田庄左衛門	12月	小切紙・1枚	1269-1-161
記(新保村子四納并地券入用諸費、無遅滞可相納事に付) 第19大區1小區取扱所(印)→山田庄左衛門 他 2枚貼付	明治9年12月	小切紙・2枚	1269-1-162
記(片塩村地内、金錢書上) 第19大區2小區取扱所→江部村山田庄左衛門殿 貼り紙あり	明治9年12月23日	小切紙・1枚	1269-1-163
証(123等民費并地券入用など受取候に付) 第19大區1小區 副戸長 小林定之助(印)、同 若林惣左衛門→納入江部村 山田庄左衛門	明治9年12月25日	堅切紙・1枚	1269-1-164-1
証(123等民費并地券入用など受取候に付) 第19大區1小區 副戸長 小林定之助(印)、同 若林惣左衛門→納入山田理兵衛	明治9年12月25日	堅切紙・1枚	1269-1-164-2
(書付、江部村子租税四納に付) 北第19大區4小區扱所→同村納入 山田庄左衛門 他7名	12月26日	小切紙・8枚	1269-1-165
(書付、吉田村子租税四納に付) 北第19大區4小區扱所→江部村納入 山田理兵衛	12月26日	小切紙・1枚	1269-1-166
(書付、西条村子租税四納に付) 北第19大區4小區扱所→江部村納入 山田庄左衛門 他1名 2枚綴り	12月26日	小切紙・2枚	1269-1-167
(書付、吉田村子租税四納に付) 北第19大區4小區扱所→江部村納入 山田庄左衛門	12月26日	小切紙・1枚	1269-1-168
(書付、岩舟村子租税四納に付) 北第19大區5小區扱所→江部村納入 山田庄左衛門	12月26日	小切紙・1枚	1269-1-169
記(租税四納など受取候に付) 用掛 鍋島市右衛門(印)→山田庄左衛門 朱罫紙使用	明治9年12月26日	横切紙・1枚	1269-1-170

家／経営／納税 家政／法事・寺社

受取之證(学校課賦) 北第19大區5小區扱所(印)→納人 山田庄左衛門	明治9年12月24日	小切紙・1枚	1269-1-171
記(北岡納区入費など無遅滞可相納事に付) 北第18大區 6小區扱所→江部 山田庄左衛門 他1名 5枚綴り	12月	小切紙・5枚	1269-1-172
(包紙) 「明治9年租税五納 切符」とあり	明治10年2月	包紙・1	1269-2-0
證(江部村之内子租税五納受取候に付) 他 北第19大區 4小區 戸長 山田文六、副 原徳兵衛 他8名→納人 山 田庄左衛門 他7名 枝番号1～11、1269-2-1は、8枚綴り	明治10年2月12日	堅切紙・11	1269-2-1
(包紙) 「明治9年分仮皆済 六納」	明治10年3月27日	包紙・1	1269-3-0
證(新野之内子租税六納請取候に付) 他 第19大區3小 區 戸長 小林九之丞(印)、副 鈴木嘉右衛門(印) 他4 名→江部村納人 山田庄左衛門 他2名 枝番号1～3、 1269-3-2は孫番	明治10年3月27日	堅切紙・3	1269-3-1
「明治9子年9月 租税初納受取」(帶書)		帶・1	1269-4-0
證(六田村子租税初納受取候に付) 他 第19大區4小區 戸長 山田文六(印)、副 原徳兵衛(印) 他4名→江部村 納人 山田理兵衛 他8名	明治9年9月26日	堅切紙・18枚	1269-4-1
「明治9子年租税二納ノ受取」(帶書)		帶・1	1269-5-0
證(租税第一期上納受取候に付) 他 北第25大區3小區 副戸長 善財苗助(印) 他8名→当區中野村分江部村 山 田庄左衛門殿 他8名 枝番号1～2、孫番1269-5-2-1～10 止、1269-5-2-5が7枚綴り	明治9年9月26日	堅紙、堅切紙・2	1269-5-1
「9年11月租税3納切符」(帶書)		帶・1	1269-6-0
證(租税第二期上納受取候に付) 他 北第25大區3小區 副戸長 善財苗助(印) 他9名→豊野村分江部村山田庄左 衛門殿 他9名 枝番号1～6、1269-6-6は8枚綴り	明治9年11月27日	堅紙、堅切紙・6	1269-6-1
「明治9年12月租税四納切符」(帶書)		帶・1	1269-7-0
證(租税第三期上納受取候に付) 他 北第25大區3小區 副戸長 水上政右衛門(印) 他8名→納人江部村 山田庄 左衛門 他5名 枝番号1～8、1269-7-3は8枚綴り	明治9年12月21日	堅紙、堅切紙・8	1269-7-1
地租地方 諸税受取簿 江部村 山田庄左衛門→上水内郡 蟹沢村 戸長役場(印)	明治16年3	横長半・1冊	1217-3

家政

法事・寺社

信州戸隠山永代常燈明一燈寄進帳(山田庄左衛門の一 日一夜施主料寄付)	宝暦11年巳12月11日	半・1冊	A109
佛祖正傳血脉 信陽桑原山龍洞禪院現住英麟彦叟給与→宝 樹院瑠宝英珊大姉 1-1は封筒入り		包紙・1通	B001
〔龍洞禪院血脉〕 信國更級郡桑原邑桑原山龍洞禪院住持比 丘英麟彦叟授与→宝樹院瑠宝英珊大姉	文化5年6月28日	堅紙・1通	B001-1

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
<b>地主</b>			
<b>土地移動</b>			
志ち相渡申畑方証文之事(畑6畝、2両借用) 片塩村 質置主要助、請人庄兵衛、名主藤右衛門→東江部村文次 郎殿	明和6月年丑12月	縦紙・1通	A272-2
(庄左衛門宛押切村重右衛門質地証文および質流証文 写) 帳間に該当地の小作状況に関する覚書あり	(寛延年間)	?・1冊	A035
(天明6丑年石高書上)	天明6年月丑8月吉日	横切継紙・1通	1224
(石高書上帳)	文化9年月申日	美・1冊	1203
端紙絵図面并小書付入(小作地) 1156-2～10を一括。		袋・1袋	1156-1
(地券反別・図面の書き入れ方に付、雛形)		堅切紙・1通	1156-2
(小作人常右衛門ほか3名、畑納高と図面に付、書上)	明治7年8月24日	堅切紙・1通	1156-3
(小作人嘉左衛門の田畑納高と図面に付、書上)		堅切紙・1通	1156-4
(市右衛門へ引き渡ししの18坪図面に付、書上)	明治8年4月27日	堅切紙・1通	1156-5
(武右衛門・市右衛門などの所有畑図面に付、書上)	明治7年10月	堅切紙・1通	1156-6
(文右衛門の耕地41坪図面などに付、書上)	明治8年4月28日	堅切紙・1通	1156-7
(文八より山田へ引き渡ししの土地図面に付、書上)	明治8年5月12日	堅切紙・1通	1156-8
(衣立石木137番の五等田7枚図面に付、書上)	明治9年4月	堅切紙・1通	1156-9
(押切村理右衛門兄弟の田畑地所に付、書上)	(明治)8年9月21日	堅切紙・1通	1156-10
(高井郡間山村地内山売買願書)(1は史料館旧封筒の み、史料未確認)(売渡人山田庄左衛門、買請人間山村 小林東作)	(明治7年7月)	旧封筒・1封筒	A001
地券 長野縣→信濃國高井郡吉野村 持主 中川おく	明治11年5月10日	縦紙・1通	1246-1
地券 長野縣→信濃國高井郡吉野村 持主 小林太吉	明治11年5月10日	縦紙・1通	1246-2
(地券表記内容書上) 朱罫紙使用		縦紙・1通	1246-3
(地券持主名書上)		小切紙・1枚	1246-4
(地券訂正反別書上)		小切紙・1通	1246-5
(封筒)「小林貞三 土地解約証」とあり。	(明治12年)	封筒・1通	1123
小作土地返還契約証書 下高井郡平野村大字江部千百〇 四番地小林貞三(印、「小林貞三」)→平野村山田莊左衛門様 青色の罫紙を使用。	明治12年1月22日	堅切紙・1通	1123-1
(帯紐) 1151-2～5を一括。			1151
(地価割など村費収納原御伝馬および地価調に付、書上)		横切継紙・1通	1151-1
(山田・関谷両家の宅地反金・算出坪数などに付、書 上) 朱書で「明治十九年十二月廿八日調査」とあり。ま た、「大十九大区四小区」の青色罫紙使用。	明治19年12月28日	堅切紙・1通	1151-2
(山田・小川両家の地租割および地位等級反金表に 付、書上)「大十九大区四小区」の青色罫紙使用。	明治19年4月20日～10月 26日	堅切紙・1通	1151-3

地主／土地移動

(御境分などメ7569円16銭などに付、書上)	10月9日		1151-4
公證簿消印御願 江部村 債主 山田庄左衛門、下高井郡 穂高村 負債主 小井辰右衛門(印)、同 小井安兵衛 (印)、同 島崎嘉兵衛(印)→	明治20年1月	縦紙・1通	1239
地券登記済証下附願 下高井郡江部村15番地 山田庄左衛 門(印)→中野登記所御中(印、「中野登記所」) 朱罫紙使用	明治20年3月15日	縦紙・仮1冊	1241
改正登記土地売買登記之書式		袋・1袋	1157-1
土地所有権保管ニ付登記申請別本(土地表示・登記目 的などに付) 下高井郡平野村式拾九番地山田庄左衛門 (印)、同村八拾九番地九代人山田理兵衛(印)→飯山御才判 所中野出張処御中	明治32年8月7日	縦半・1冊	1157-2
土地売買ニ付登記申請 下高井郡平野村式拾九番地売主山 田庄左衛門・長野市東後町八番地買主市川藤□→長野区裁 判所御中	明治32年10月1日	縦半・1冊	1157-3
記(立替金) 「長野六三支店便箋」使用		縦紙・1通	1266-1-1
買附證(正金銀行株式壹拾株) 東京市日本橋區坂本町6番 地 公債株式現物買買専門 紅葉屋商店 神田鑄藏(印)→ 六十三銀行殿	明治41年7月28日	小切紙・1通	1266-1-1
買附證(正金銀行株式四拾株代) 東京市日本橋區坂本町 6番地 公債株式現物買買専門 紅葉屋商店 神田鑄藏 (印)→六十三銀行殿	明治41年7月22日	小切紙・1通	1266-1-1
記(器機1個) →平野前 山田本家御中	8月17日	縦紙・1通	1266-2
(田畑書上) 朱罫紙使用		縦紙・2通	1266-3
書付(在京用)		小切紙・1枚	1266-4
約定證 下高井郡穂高村四番地 小林嘉平(印)、同郡瑞穂村 証人 岡本源四郎(印)、同郡全村 証人 宮崎孝吉(印) →山田庄左衛門殿、山田理兵衛殿 「廣澤屋藏版」の朱罫紙 使用、印紙あり	明治41年9月2日	縦紙・1通	1266-5
書状(辞表提出相来り候事を希望致し候に付) 取締役 小出八郎右衛門、和田栄二、小野理右衛門、小坂順造→ 乾宣藏殿	7月21日	横切縦紙・1通	1266-6
(封筒) 表に「他より中込分 地所書拔」とあり		封筒	1266-7-1
記(下高井郡瑞穂村田反別書上) 小林与四六→	7月3日		1266-7-2
(田反別書上)			1266-7-3
書付(畑反別書上)	7月8日		1266-7-4
書付(利子書上) 「福島」印あり	7月11日	小切紙・2枚	1266-8
記(明治38年度 植木払代) 大徳寺→山田御本宅様 朱 罫紙使用	明治39年11月27日	縦紙・1枚	1266-9
書付(借用金書上)	(明治)37年7月日	小切紙・1枚	1266-9-1
(印鑑付箋)		付箋・1枚	1266-9-2
書付(畑反別書上) 継紙	(明治)35年	小切紙・1枚	1266-9-3
書付(34年7月10日取調 32・33・34年給料書上)	(明治)34年7月10日	小切紙・1枚	1266-9-4
約束郵便 →長野縣下高井郡平野村 山田庄左衛門様		小切紙・1枚	1266-9-5
かめや覚帳(金銭書上) 朱罫紙使用	3月16日	縦紙・1枚	1266-9-6

書付(道中金銭書上)	6月30日	横切紙・1枚	1266-9-7
書付(金銭書上) 朱罫紙使用		縦紙・1枚	1266-9-8
書付(金銭書上) のりでひと綴り		小切紙・5枚	1266-9-9
委任状(信越石油株式会社第5回定時株主総会に出席の件) 山田莊左衛門(印)→ 印紙あり	明治35年10月	堅切紙・1枚	1266-9-10
領収証 中錦町 細野勝太郎(印)→山田莊左衛門様 「細野用箋」の緑罫紙使用		縦紙・1枚	1266-9-11
書付(金銭書上)		折紙・1枚	1266-9-12
記(牛込・市ヶ谷・砂土原町宛の糠代金)		小切紙・1枚	1266-9-13
書付(金銭書上)		小切紙・1枚	1266-9-14
書付(逸作・壽作、他12人名書上)		小切紙・1枚	1266-9-15
大日本帝国政府紙幣 金50銭		紙幣・1枚	1266-9-16
書付(金銭書上)		小切紙・1枚	1266-9-17
記(粕糠40表代金書上)		小切紙・1枚	1266-9-18
書付(金銭書上)		小切紙・1枚	1266-9-19
証(明治32年度の利子として領収に付) 高丘村安源寺 高山清之(印)→江戸本家 山田様 青罫紙使用	明治33年1月4日	縦紙・1枚	1266-9-20
書付(金銭書上)		小切紙・1枚	1266-9-21
書付(税金額書上)	10月	小切紙・1枚	1266-9-22
子十月三十日請書覚帳	子10月22日	小切紙・1枚	1266-9-23
収入印紙明治32年4・5・6月分賣捌及残高調帳 山形屋 酒店→御本家御中 朱罫紙使用	明治32年7月2日	堅切紙・1枚	1266-9-24
記(壱千五百圓を貸金の内へ) 株式会社長野實業銀行(印)→下高井郡平野村 山田莊左衛門殿 印紙あり	明治38年2月3日	小切紙・1枚	1266-9-25
長野縣會議場鋪設之圖 下部破損		縦紙・1枚	1266-9-26
(宅地・田畑の地力金・小作料などに付、書上) 藍色の罫紙使用。1147-2を挟み込み一括。		縦半・1冊	1147-1
(断簡) 文書には「八七七番之卯田成事 一坪九十五坪 田 壱表一斗三升」とあり。		切紙・1通	1147-2
山田莊左衛門差引勘定明細表 藍色の罫紙使用。	大正5年5月1日	縦半・1冊	1147-3
(宅地・田畑の地力金・小作料などに付、書上) 藍色の罫紙使用。		縦半・1冊	1147-4
覚(川欠の高反別・麦附などに付、書上)		横折紙・1通	1136
(土地・面積ほか書上)		横半半折・1冊	1149
丑年小作入(初納めに付)		横折紙・1通	1150
(千曲川・犀川の水源に付、書上)		堅切紙・1通	1152-1
(書状、高1石6斗5升の土地、引き渡しに付) 文七(印)・吉右衛門(印)・清七(印)→庄左衛門様・利右衛門様	丑12月	堅切紙・1通	1152-2
(山田庄左衛門所有地の番地・地代金などに付、書上)		横切継紙・1通	1195
(片塩村他、村高書上)		縦継紙・1通	1229-1

(堤築絵図)		美大・1枚	1229-2
(絵図)		1枚	1237
代替地券差出扣 「長野縣」の青罫紙使用		縦紙・1通	1242-1
(村別代替地券枚数書上)		小切紙・1枚	1242-2
家屋敷借用証券 下高井郡吉田村六拾貳番屋敷宗屋敷借主 中澤華弥(印)、同郡同村受人畠山兵右衛門(印)→同郡江戸 村山田莊左衛門殿 端裏貼紙「西十二月十五日一家や敷か し渡証文 吉田郡中澤華弥 証文」	明治12年12月15日	堅切紙・1通	1116
覚(未の御年貢永4貫613文7分請取に付) →名主	未極9月	綴・1綴	1176-1-1
小作証文之事(初七俵納候につき) 七瀬村嘉右衛門(印) →庄左衛門殿 端裏書「小作入 七瀬村嘉右衛門」	文化8年末2月	堅切紙・1通	1097
小作証文之事(初貳俵式斗納候につき) 片塩村小作人源 兵衛(印)、請人民右衛門(印)、→庄左衛門殿 端裏貼紙 「卯小作 片塩源兵衛」	天保2年卯2月	堅切紙・1通	1092
小作日延證書之事(小作年貢金調達行届兼候につき) 北岡村小作人小林清蔵(印)、同所受人親類小林新吉(印)→ 山田庄左衛門殿 端裏書「ウ 北岡貞助未ヨリ改悛清蔵」	明治5年申正月	堅切紙・1通	C371

### 小作証文・小作証券

耕地小作証券(五ヶ年季借用につき) 下高井郡篠井村小 作人田中伊兵衛(印)、同郡同村請人田中和吉(印)→下高井 郡江都村山田莊左衛門殿 端裏書「明治十三年ヨリ十七年 迄五ヶ年季 中野地六俵畑小作証書篠井田中伊兵衛」、印 紙あり	明治13年3月17日	堅切紙・1通	1115
耕地小作証券(五ヶ年季借用につき) 下高井郡三ツ和村 小作人小林平八(印)、同郡同村請人小林甚右衛門(印)→下 高井郡江都村山田莊左衛門殿 端裏書「新保地 十三年三 月一畑小作証文 明治十三年より同十七年迄五ヶ年季 三 ツ和 小林平八」、印紙あり	明治13年3月29日	堅切紙・1通	1113
(包紙) 「明治十三年辰一月ヨリ小作証文入」(角印)(角印)	(明治30年)	包紙・1通	1094-0
小作証券(五ヶ年季借用につき) 下高井郡平野村字江戸 小作人関谷政蔵(印)、同受人勝山与作(印)→山田理右衛門 殿	明治30年月酉5月7日	堅切紙・1通	1094-1
小作証券(五ヶ年季借用につき) 下高井郡平野村字江戸 小作人勝山与作(印)、同受人関谷政蔵(印)→山田理右衛門 殿	明治30年月酉5月7日	堅切紙・1通	1094-2
小作証券(五ヶ年季借用につき) 下高井郡平野村字江戸 小作人小川作次郎(印)、同受人関谷政蔵(印)、同受人勝山 与作(印)→山田理右衛門殿	明治30年月酉5月7日	堅切紙・1通	1094-3
耕地小作証券(五ヶ年季借用につき) 下高井郡江都村ノ 内西組小作人小林作五郎(印)、請人小林富八(印)、同永池 辰之助(印)→山田莊左衛門殿 端裏書「江都地 十三年三 月明治十三年より同十七年迄五ヶ年季 一畑壹俵半定納小 作証 江都村西組多門名跡小作人小林作五郎」、印紙あり	明治13年3月29日	堅切紙・1通	1094-4
耕地小作証券(五ヶ年季借用につき) 下高井郡三ツ和村 小作人小林平八(印)、同郡同村請人小林甚右衛門(印)→下 高井郡江都村山田莊左衛門殿 端裏書「新保地 十三年三	明治13年3月29日	堅切紙・1通	1094-5

月一畑小作証文 明治十三年より同十七年迄五ヶ年季 三ツ和 小林平八」、印紙あり			
耕地小作証(五ヶ年季借用につき) 下高井郡草間村小作人北村又市(印)、同郡同村請人北村升輔(印)→山田莊左衛門殿 端裏書「明治十七年限り 田 草間又市作り」、印紙あり	明治13年8月5日	堅切紙・1通	1094-6
耕地小作証券(五ヶ年季借用につき) 下高井郡篠井村小作人田中伊兵衛(印)、同郡同村請人田中和吉(印)→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 端裏書「明治十三年ヨリ十七年迄五ヶ年季 中野地六俵畑小作証書篠井田中伊兵衛」、印紙あり	明治13年3月17日	堅切紙・1通	1094-7
家屋敷借用証券 下高井郡吉田村六拾貳番屋敷宗屋敷借主中澤華弥(印)、同郡同村受人畠山兵右衛門(印)→同郡江戸村山田莊左衛門殿 端裏貼紙「西十二月十五日一家や敷かし渡証文 吉田郡中澤華弥 証文」	明治12年12月15日	堅切紙・1通	1094-8
耕地小作証(五ヶ年季借用につき) 下高井郡草間村小作人北村又市(印)、同郡同村請人北村升輔(印)→山田莊左衛門殿 端裏書「明治十七年限り 田 草間又市作り」、印紙あり	明治13年8月5日	堅切紙・1通	1114

## 年貢諸役負担

覚(未の御年貢永 4 貫798文請取に付) 名主理右衛門(印)→庄左衛門殿	未月11月14日	綴・1綴	1176-1-3
明和八卯暮本郵書出シ(諸入用請取に付)		横半・1冊	1176-2
辰正月御礼(安源寺・片塩村などの名主へ品物お贈りに付)		綴・1綴	1176-3
覚(年貢皆済帳) 表面破損	嘉永5年子	横長美・1冊	1265-1
酉御年貢替済目録	文久2月戌	横長美・1冊	1265-2-1
御年貢皆済目録	文久2月戌	横長美・1冊	1265-2-2
生絲直輪合資會社第五面營業報告 明治28年9月創立 東京市京橋區木挽町9丁目 生絲直合資會社→ 破損甚だし		美・1冊	1265-3
断簡(舟渡 □吉江) 断簡			1265-4
覚(不納分の御蔵粉納入期日延長に付) 東江部村山田庄左衛門(印)→赤塩村庄屋利三郎殿・同重五郎殿・右代組頭助次郎殿・役代又右衛門殿	安政5年午12月	堅切紙・1通	1187
約定証(金10円請取に付) 下高井郡中野町坂口久兵衛(印)→同郡江部村山田熊太郎殿	明治18年9月10日	堅切紙・1通	1159
(山田莊左衛門の地租割・地価などに付、書上)「第十九大区会所」の青色罫紙を使用。		堅切紙・1通	1175-1
領収書(村費100円皆済に付) 安源寺村外八ヶ村戸長役場(印、「長野縣下高井郡安源寺村外八ヶ村戸長役場印」)→江部村山田理兵衛 第9号	明治19年1月24日	堅切紙・1通	1175-2
領収書(村費250円皆済に付) 安源寺村外八ヶ村戸長役場(印、「長野縣下高井郡安源寺村外八ヶ村戸長役場印」)→江部村山田莊左衛門 第11号	明治19年1月24日	堅切紙・1通	1175-3



地主／年貢諸役負担

(巳年年貢書上帳) 小野屋 佐藤元重郎→ 断簡	巳	折紙・1枚	1258
覚(粉払可申付候に付) 中条健兵衛→井部村 山田庄左衛門殿	午10月	横切紙・1通	1230-1
覚(粉払可申付候に付) 大久保七郎兵衛→山田庄左衛門殿	午10月	横切紙・1通	1230-2
預り申金子之事(粉請取代29両2歩2朱に付)	戌11月	堅切紙・1通	1197
議定書之事(諸普請人足賃銭などに付)		横折紙・1通	1142-1
覚(年貢・役夫銭78文請取に付) 大熊村名主仁右衛門(印)→江部村庄左衛門殿	戌12月	堅切紙・1通	1142-2
差出申一札之事(堤普請などに付)			1142-3

相論・訴願

その他

記(4ヶ年分田畑小作納方に付、小作人より速に小作証券差入候に付) 下高井郡江部村小作人総代(印)、同 丸山林之助(印)、同 山田松太郎(印)、同 丸山綱五郎(印)、同 佐藤茂左衛門(印)、同 佐藤寅治(印)、同 佐藤佐三郎(印)、同 山田仁助(印)、同 小井駒之助(印)、同郡吉田村 立會人 小林多吉(印)→同郡江部村 施主 山田理兵衛殿 朱罫紙使用、印紙あり	明治18年1月31日	堅紙・仮1冊	1240
--	------------	--------	------

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

## 諸経営

## 金融

## 借金証文

借用申金子事(金1両2分、遅々の場合畑屋敷2斗渡) 押切村地主勘兵衛、同村請人源蔵→江部村庄左衛門殿	宝暦12年午極月	1通	A002-01
借用申金子事(金2両) 新野村三郎衛門、大助→東江部 村庄左衛門殿	寛政8年辰12月	1通	A002-02
借金証文之事(金5両、年利1割5分、引当酒造 蔵・道具) 新保村借主善左衛門、請人定右衛門、請人 捨蔵→庄左衛門殿	天保7年申12月	1通	A002-03
借金証文之事(金3両2分、24両1分利) 新保村借 主七左衛門、請人惣左衛門→東江部村庄左衛門殿	弘化元年辰12月	1通	A002-04
借金証文之事(金8両、年利1割5分、引当酒造 蔵・道具) 新保村借主嘉右衛門、請人定右衛門→庄左 衛門殿	天保9年戌12月	1通	A002-05
借金証文之事(金10両、25両につき月利1分、引当 書入高7斗) 篠井村借主政右衛門、請人増五郎→山田 庄左衛門殿	安政2卯年5月	1通	A002-06
時借金証文之事(金2両、25両につき月利1分) 新保 村借主光岸寺、片塩村請人幸内、若宮村請人孫左衛門→東 江部村庄左衛門殿	天保14年卯7月	1通	A002-07
預り申金子之事(金3両1分) 栗林新田村預り主三郎兵 衛、同所請人吉左衛門、同請人八右衛門→文六殿	享保3年戌2月	1通	A002-08
借金引請証文之事(金3両、兄和蔵の借用につき、 3年賦) 更科村引請人藤吉、沓野村之内洪湯組同断和助 →東江部村山田庄左衛門殿	安政3辰年12月	1通	A002-09
借金証文之事(金3両、無利足6年賦) 新保村借主 善左衛門、請人定右衛門、請人捨蔵→庄左衛門殿	天保6年末12月	1通	A002-10
借用申金子之事(本金3分、押切村ひし川畑1反書入) 北岡村預り主孫右衛門、同所請人忠左衛門→東江部村庄 左衛門殿	宝暦3年酉12月	1通	A002-11
借金証文之事(金10両、25両につき月利1分、引当 書入高1石2斗) 更科村借主留六、請人国松→山田庄 左衛門殿 右村名主伊右衛門の奥書	文久元酉年11月	1通	A002-12
借金証文之事(3両、3年賦) 更科村借主和蔵、親類 引請人藤吉、沓野村之内洪湯組同断和助→東江部村山田庄 左衛門殿	安政3辰年12月	1通	A002-13
借用申金子之事(金10両) 浅野村預り主仁左衛門→江部 村庄左衛門殿	宝暦3年酉12月	1通	A002-14
(書状、卯八持參金を立て替えて仁左衛門に遣わして ほしい旨) 坂口治助→山田庄左衛門様 14に巻き付けて あったもの	12月4日	1通	A002-15
借金金子之事(本金1両2分) 立ヶ花村預り主武右衛 門、同所請人久兵衛→東江部村庄左衛門様	宝暦12年午12月	1通	A002-16
御無心申金子之事(金5両、元手金として) 中野政右	寛政6寅3月	1通	A002-17

諸経営／金融／借金証文

衛門、堀内久兵衛→山田庄左衛門殿 裏端書「飯山政右衛門」			
借用申金子之事(本金20両、商仕入のため) 水内郡飯山上町奈良屋政右衛門、請人塩屋久兵衛、同大和屋三四郎→高井郡江部村山田庄左衛門殿 裏端書「飯山政右衛門」	寛政8辰2月	1 通	A002-18
覚(金 6 両の借用につき) 五郎右衛門→庄左衛門殿	酉2月	1 通	A002-19
預り申金子之事(金 1 両 1 分) 黒川村嘉右衛門→東江部村庄左衛門殿	寛政9巳正月	1 通	A002-20
覚(金10両の借用につき) 五郎右衛門→庄左衛門殿	寛政12申 10月	1 通	A002-21
種手証文之事(種出来るまでメ 4 両借用) 岩舟村金預り 主角兵衛、同所同断利左衛門、同所同断七右衛門、同所請人喜左衛門→東江部村庄左衛門殿	宝暦元年未12月	堅紙・1 通	A271-1
預り申金子之事(メ 6 両 2 分) 岩舟村金預り 主角兵衛、同断作兵衛、同断吉右衛門、同断七右衛門、請人清七→東江部村庄左衛門殿	宝暦3年酉12月	堅紙・1 通	A271-2
種手証文之事(メ 4 両 2 分、種にて返済) 岩舟村金預り 主角兵衛、同断長助、同断七右衛門、同断作兵衛、請人清七→東江部村庄左衛門殿 角兵衛奥書あり	宝暦4年戌12月	堅紙・1 通	A271-3
口上書(内々御頼につき5000両取集、ほか金利・扶持方につき) 山田庄左衛門→高野覚之進様	(安政期)11月7日	切継紙・1 通	A037-1
覚(桐印籠代受取) 判物や金作→高野様御内	(安政期辰)9月	切紙・1 通	A037-2
(書状、極密の相談のため御在宅願) (松代高野)覚之進→莊左衛門様 包紙とも	(安政期)5月2日	切継紙・1 通	A204-1
(書状の村継送状) 高野覚之進→東寺尾村、町川田村、福島村、小布施村、右村々三役人	(安政期)5月2日午之刻出ス	切紙・1 通	A204-1-1
(書状、今一応御面会願) 覚之進→莊左衛門様 封筒とも	(安政期)4月24日	切継紙・1 通	A204-2
(宮本貞寿・山田氏の 7 分金録額面と端利子の合計78 円22銭 8 厘に付、書上)		堅切紙・1冊	1120
証(中野地所を抵当として、金600円請取に付) 下高井郡平野村山田莊左衛門→同郡中野町町田儀平殿 下高井郡中野町町田儀平宛の明治27年 2 月18日付夜間瀬村畔上平右衛門の奥書・奥印あり。	明治26年12月30日	堅切紙・1通	1158

返済訴訟

(「寅暮□□一件 大差引勘定書類」)		こより紐・1	C370-0
(金銭書上)		堅切紙・1通	C370-01
(金銭書上)		堅切紙・1通	C370-02
覚(金銭書上)		横切紙・1通	C370-03
(金銭書上)		横切紙・1通	C370-04
(田畑反別書上)		横切紙・1通	C370-05
新野五郎右衛門殿下調(金銭書上)		横切紙・1通	C370-06-1

(金銭書上)		横切紙・1通	C370-06-2
(田畑反別書上) 五郎右衛門→	12月26日	堅切紙・1通	C370-07
(金銭書上)		堅切紙・1通	C370-08
覚(山田と示談之上私相続につき願書) 五郎右衛門直筆之写		堅切紙・1通	C370-09
覚(田畑反別及び金銭書上)		堅切継紙・1通	C370-10
(書物貸出書上)		堅切紙・1通	C370-11
(田畑反別書上)		横長・1冊	C370-12
預金覚		横長・1冊	C370-13
覚(金銭書上)		堅切紙・1通	C370-14
(田畑反別書上)		横長・1冊	C370-15
乍恐書附を以奉願上候(沓野村洪湯旅籠屋渡世忠右衛門の質屋敷明渡拒否につき) 高木清左衛門御代官所信州高井郡東江部村百姓代庄左衛門煩ニ付代訴訟人倅董平、差添組頭伊兵衛→松代御役場 訴訟人の中野役所宛添翰願奥書あり、全面に抹消あり	弘化3午年閏5月	堅継紙・1通	A038
対談一札之事(湯田中村建家売場譲渡につき内金受取) 東江部村山田庄左衛門→湯田中村六右衛門殿	安政6末年7月	堅紙・1通	A267
(上記の件につき覚の書付) 267にはさみこみ		切紙・1通	A267-1
差上申済口証文之事(柏原宿本陣問屋兼帯郡中取締役中村六左衛門江相掛私欲押領出入につき) 訴訟方・当御代官所信州水内郡柏原村之内二ノ倉組名主市左衛門ほか7名、相手方柏原村御本陣問屋中村六左衛門ほか2名、(引合)熊倉新田役人惣代名主久五郎ほか2名、扱人同郡大古間村高橋小右衛門→松本直一郎様中野御役所 この証文写為取替の奥書あり	慶応元乙丑年9月	堅継紙・1通	A049-1
(済口証文下書、部分) 49-1に巻き込まれていた		堅紙・1通	A049-2
差上申済口証文之事(柏原村役人江相掛私欲押領出入につき) 訴訟方・当御代官所信州水内郡柏原村之内二ノ倉組名主市左衛門ほか7名、相手方柏原村名主権左衛門ほか5名、郡中取締役中村六左衛門、同郡大古間村扱人高橋小右衛門、高井郡東江部村同断山田庄左衛門→松本直一郎様中野御役所 この証文写為取替の奥書あり	慶応元丑年9月	堅継紙・1通	A049-3
(済口証文下書、部分) 49-3に巻き込まれていた		堅紙・1通	A049-4
(済口証文写為取替の奥書および連名、前書部分なし)		堅継紙・1通	A049-5
(封筒) →山田(印、「宝善堂」) 封筒表に「諸下案入」とあり	明治17年5月	封筒	1235-0
記(飯山治安裁判所勧解紙) 何郡何村 何兵衛→何々某殿 雛形	明治何年何月何日	堅紙・1通	1235-1-1
記(飯山治安裁判所勧解紙) 下高井郡往郷村→山田理兵衛殿	明治17年6月	堅紙・1通	1235-1-2
遺失物御届(蝙蝠傘一本) 下高井郡江部村88番地 小林鶴吉(印)→下高井郡江部村戸長 山田文六(印) 1235-2-2の下書き	明治17年6月12日	堅紙・1通	1235-2-1
遺失物御届(蝙蝠傘一本) 下高井郡江部村89番地 小林鶴吉(印)→下高井郡江部村戸長 山田文六(印)	明治17年6月12日	堅紙・1通	1235-2-1

代言御届(代言人相定申候に付) 下高井郡江部村平民 山田庄左衛門→才判所宛		縦紙・1通	1235-4
代言御届(代言人相定申候に付) 下高井郡江部 山田利 兵衛→判事 戸辺種國殿 朱罫紙使用	明治	縦紙・1通	1235-5
総代人御届(委任状取戻の儀、勸解出願候に付) 下高 井郡江部村平民 一 →飯山治安裁判所長 判事補 井口 速水殿 朱罫紙使用		縦紙・1通	1235-6
委任状(病氣に付) 長野縣信濃國下高井郡江部村何番地 篠田牧太郎→ 朱罫紙使用	明治17年7月	縦紙・1通	1235-7
代人願(病氣に付) 長野縣信濃國下高井郡江部村平民 山 田庄左衛門→飯山治安裁判所長 判事補 井口速水殿 朱 罫紙使用	明治17年7月29日	縦紙・1通	1235-8
代人願書(病氣に付) 長野縣信濃國下高井郡江部村平民 山田庄左衛門→飯山治安裁判所長 判事補 井口速水殿 朱罫紙使用、表紙付	明治17年7月29日	縦紙・1通	1235-9
代人願書(病氣に付) 長野縣信濃國下高井郡江部村平民 山田庄左衛門→飯山治安裁判所長 判事補 井口速水殿 朱罫紙使用、表紙付	明治17年7月31日	縦紙・1通	1235-10
証明書(貸金催促の件、代理者無之に付) 山田丑太郎親 族或ハ組合 両名証名調印→飯山治安裁判所長 判事補 井口速水殿 朱罫紙使用		縦紙・1通	1235-11
代人願書(本人病氣にて難罷出に付) 曾我新造(印) 長 野縣信濃國下水内郡飯山町寄留 全縣下高井郡竹原村平民 代人武田乙吉→飯山治安裁判所長 判事補 井口速殿 朱罫紙使用、1綴り	明治17年3月	縦紙・仮1冊	1235-12
代人願書(病氣に付) 右 山田庄左衛門、同縣同國同郡江 部村9番地平民 代人 山田野兵衛→飯山治安裁判所長 判事補 太田擴殿 朱罫紙使用		縦紙・仮1冊	1244

## 酒造

## 酒株

覚(酒造株高書上につき) 信州高井郡東江都村酒造人庄左 衛門、右者名主、組頭、百姓代→河尻甚五郎様御役所	寛政7年卯4月	縦長・1冊	C405-1
乍恐書付を以奉願上候(酒造渡世之義者貸売のみに仕 候につき) 高井郡東江都村酒造人庄左衛門(印)、同断利 右衛門(印)右村名主文六(印)、同郡西江都村酒造人市左 衛門(印)、右村名主清左衛門(印)、同郡片塩村酒造人九兵 衛(印)、同断清蔵(印)、右村名主伊兵衛(印)、同郡吉田村 酒造人八左衛門(印)、右村名主作左衛門(印)、同郡間山村 酒造人與惣右衛門(印)、右村名主嘉右衛門(印)、同郡夜間 瀬村之内宇木組酒造人茂右衛門(印)、右村名主儀兵衛 (印)、同郡同村之内横倉組酒造人年兵衛(印)、右村組頭森 右衛門(印)、同郡金井村酒造人嘉左衛門(印)、右村名主市 左衛門(印)、同郡中村酒造人丈右衛門(印)、同断惣左衛門 (印)、右村名主庄八(印)、同郡小見村酒造人木嶋太右衛門 (印)、右村名主勘兵衛(印)、同郡柏尾村酒造人丹右衛門 (印)、右村名主淋左衛門(印)、同郡坪山村酒造人増右衛門 (印)、右村組頭丹右衛門(印)、同郡箕作村酒造人三左衛門 (印)、右村組頭五左衛門(印)、同郡志久見村酒造人仙右衛 門(印)、右村名主重左衛門(印)、水内郡西大瀧村酒造人三	享和3年亥3月	縦切継紙・1通	B249-1

<p>郎右衛門(印)、同断太左衛門(印)、右村名主藤左衛門(印)、同郡午瀧村酒造人桜井富右衛門(印)、右村百姓代弥野右衛門(印)、同郡野尻村酒造人多郎兵衛(印)、同断伝右衛門(印)、右村名主市右衛門(印)、同郡柏原村酒造人与右衛門(印)、右村名主嘉左衛門(印)、同郡大古間村酒造人専六(印)、右村名主小右衛門(印)、高井郡中野村酒造人金兵衛(印)、同断彦次郎(印)、同断久兵衛(印)、同断彦兵衛(印)、同断林右衛門(印)、右村百姓代嘉右衛門(印)→上野四郎三郎様中野御役所</p>			
<p>乍恐書付を以奉願上候(酒造渡世之義者貸売のみに仕候につき) 下書カ、端裏書「十ヶ年賦上納預書」(鉛筆により)</p>		<p>堅切継紙・1通</p>	<p>B249-2</p>
<p>乍恐書付を以奉願上候(困窮之村柄ニ付現金買等無之多分貸売のみニ而助成につき)</p>	<p>享和3年亥2月</p>	<p>堅切継紙・1通</p>	<p>B249-3</p>
<p>乍恐書付を以奉願上候(困窮之村柄ニ付現金買等無之多分貸売のみニ而助成につき) 下書カ</p>		<p>堅切継紙・1通</p>	<p>B249-4</p>
<p>乍恐以書付奉願上候(年々十分一御役米差上候而者必至と差詰候につき)</p>		<p>堅切継紙・1通</p>	<p>B249-5</p>
<p>乍恐書付を以奉願上候(酒造渡世之義者貸売のみに仕候につき) 高井郡東江都村酒造人庄左衛門(印)、同断利右衛門(印)、右村名主文六(印)、同郡西江都村酒造人市左衛門(印)、右村名主清左衛門(印)、同郡片塩村酒造人九兵衛(印)、同断清蔵(印)、右村名主伊兵衛(印)、同郡吉田村酒造人八左衛門(印)、右村名主作左衛門(印)、同郡間山村酒造人与惣右衛門(印)、右村名主嘉右衛門(印)、同郡夜間瀬村之内宇木組酒造人茂右衛門(印)、右村名主儀兵衛(印)、同郡同村之内横倉組酒造人年兵衛(印)、右村組頭森右衛門(印)、同郡金井村酒造人嘉左衛門(印)、右村名主市左衛門(印)、同郡中村酒造人丈右衛門(印)、同断惣左衛門(印)、右村名主庄八(印)、同郡小見村酒造人木嶋太右衛門(印)、右村名主勘兵衛(印)、同郡柏尾村酒造人丹右衛門(印)、右村名主淋左衛門(印)、同郡坪山村酒造人増右衛門(印)、右村組頭丹右衛門(印)、同郡箕作村酒造人三左衛門(印)、右村組頭五左衛門(印)、同郡志久見村酒造人仙右衛門(印)、右村名主重左衛門(印)、水内郡西大瀧村酒造人三郎右衛門(印)、同断太左衛門(印)、右村名主藤左衛門(印)、同郡午瀧村酒造人桜井富右衛門(印)、右村百姓代弥野右衛門(印)、同郡野尻村酒造人多郎兵衛(印)、同断伝右衛門(印)、右村名主市右衛門(印)、同郡柏原村酒造人与右衛門(印)、右村名主嘉左衛門(印)、同郡大古間村酒造人専六(印)、右村名主小右衛門(印)、高井郡中野村酒造人金兵衛(印)、同断彦次郎(印)、同断久兵衛(印)、同断彦兵衛(印)、同断林右衛門(印)、右村百姓代嘉右衛門(印)→上野四郎三郎様中野御役所</p>	<p>享和3年亥2月</p>	<p>堅切継紙・1通</p>	<p>B249-6</p>

## 北信商社

<p>(書状、御下金歎願のための五信会議へ出張願) 西信会社詰合→北信会社御詰合中様 43番の2通は同じ封筒入り</p>	<p>(明治4年)正月15日</p>	<p>1通(2枚)</p>	<p>A043-1</p>
<p>(中野騒動の見舞状) 西信青木禎一郎、丸山登、窪田畔夫→北信御同盟各君</p>	<p>(明治4年)未正月11日</p>	<p>切継紙・1通</p>	<p>A043-2</p>
<p>(書状、騒動により帰国のため代人派遣願) 従東京、篠田市左衛門→北信会社御詰合中様 封筒とも</p>	<p>(明治4年)正月16日</p>	<p>切継紙・1通</p>	<p>A047</p>

一札之事(会社取扱金からの借入金返済延期願、雛形) 何郡何村受人誰、名主誰→北信会社御掛中	明治4末年8月	縦紙・1通	A046
約定書(北信商社取り扱いの貸付金に付) 罫紙使用。		縦切紙・1通	1189-1
記(北信商社取り扱いの貸付金に付) 罫紙使用。		縦切紙・1通	1189-2
(書状、病氣を押して出頭する旨の返答) 柏原宿中村啓 造→中野町北信会社御詰合中(山田庄左衛門様、篠田市左 衛門様、山田理兵衛様) 封筒とも	9月2日	切紙・1通	A041

## 証券投資・銀行業

委任状(所有之金禄公債証書之儀に付) 長野縣下信濃國 下高井郡江部村住 山田庄左衛門(印)→「證券界紙」の 朱罫紙使用	明治16年4月3日	縦紙・1通	1235-3
委任状(病氣にて代理人相定候に付) 長野縣信濃國下高 井郡江部村15番地平民 山田庄左衛門(印)→「證券界紙」 の朱罫紙使用	明治16年8月3日	縦紙・1通	1245
第七回營業報告(自明治十五年一月一日至同年六月三 十日) 横濱株式取引所(印)→ 1297-1~4は括り紐一括	明治15年7月7日	半・1冊	1297-1
第八回營業報告(自明治十五年七月一日至同年十二月 三十一日) 横濱株式取引所(印)→	明治16年1月11日	半・1冊	1297-2
第九回營業報告(自明治十六年一月一日至同年六月三 十日) 横濱株式取引所(印)→	明治16年7月7日	半・1冊	1297-3
第十回營業報告(自明治十六年七月一日至同年十二月 三十一日) 横濱株式取引所(印)→	明治17年1月11日	半・1冊	1297-4
所有株券調(種類・株数・株金などに付) 橙色の罫紙使 用。	明治31年6月	縦切紙・1通	1146
記(金202円50銭の内訳に付、書上)		縦切紙・1通	1196-1
山田庄左衛門の株式代202円50銭に付、書上)		縦切紙・1通	1196-2

## 横浜正金銀行

第二十回半季實際考課状 横濱第二国立銀行取締役兼支配 人下田善次郎、取締役樋口登久次郎、取締役茂木保次郎、 取締役原鐵五郎、頭取原善三郎→株主各位御中 1302-1~ 10は括り紐一括、表紙に朱印「山田」あり	明治17年7月18日	半・1冊	1302-1
第二拾二回半季實際考課状 横濱第二国立銀行取締役兼 支配人下田善次郎、取締役樋口登久次郎、取締役茂木保次 郎、取締役原鐵五郎、頭取原善三郎→株主各位御中 表紙 に朱印「山田」、裏表紙に「信州下高井郡江部村山田庄左衛 門」	明治18年7月	半・1冊	1302-2
第式拾四回半季實際考課状 横濱第二国立銀行取締役兼 支配人下田善次郎、取締役樋口登久次郎、取締役茂木保次 郎、取締役原鐵五郎、頭取原善三郎→株主各位御中	明治19年7月	半・1冊	1302-3

第貳拾五回半季實際考課状 横濱第二国立銀行取締役兼支配人原鐵五郎、取締役樋口登久次郎、取締役茂木保次郎、頭取原善三郎→株主各位御中	明治20年1月10日	半・1冊	1302-4
第貳拾六回半季實際考課状 横濱第二国立銀行取締役兼支配人原鐵五郎、取締役樋口登久次郎、取締役茂木保次郎、頭取原善三郎→株主各位御中	明治20年7月8日	半・1冊	1302-5
第貳拾六回半季實際考課状 横濱第二国立銀行取締役兼支配人原鐵五郎、取締役樋口登久次郎、取締役茂木保次郎、頭取原善三郎→株主各位御中 1302-5と同内容	明治20年7月8日	半・1冊	1302-6
第貳拾七回半季實際考課状 横濱第二国立銀行取締役小林茂兵衛、取締役兼支配人原鐵五郎、取締役茂木保次郎、副頭取樋口登久次郎、頭取原善三郎→株主各位御中	明治21年1月9日	半・1冊	1302-7
第貳拾八回半季實際考課状 横濱第二国立銀行取締役小林茂兵衛、取締役兼支配人原鐵五郎、取締役茂木保次郎、副頭取樋口登久次郎、頭取原善三郎→株主各位御中	明治21年7月	半・1冊	1302-8
第貳拾九回半季實際考課状 横濱第二国立銀行取締役小林茂兵衛、取締役兼支配人原鐵五郎、取締役茂木保次郎、副頭取樋口登久次郎、頭取原善三郎→株主各位御中	明治22年1月10日	半・1冊	1302-9
第三拾回半季實際考課状 横濱第二国立銀行取締役小林茂兵衛、取締役兼支配人原鐵五郎、取締役茂木保平、副頭取樋口登久次郎、頭取原善三郎→株主各位御中	明治22年7月	半・1冊	1302-10
(株式会社議定書)		堅切紙・1通	1167-1
郵便はがき(新株申込みに付) 横濱正金銀行→長野縣高井郡江部村十五番地山田莊左衛門殿	明治20年5月9日	切紙・1通	1167-2
(新株発行のため、申込証用紙の記入方法に付、書付) 横濱正金銀行頭取原六郎→山田莊左衛門殿 横濱正金銀行の青色罫紙を使用。	明治20年4月6日	堅切紙・1通	1167-3
横濱正金銀行株主臨時総会議題 後欠	(明治期)	堅切紙・1通	1132
記(横濱正金銀行の新株譲与に付)		堅切紙・1通	1166
(横濱株式取引所に関する書類) 横濱株式取引所 武田昌次 原忠五郎 大西吉松 西村喜三郎 平沼専蔵→横濱株式取引所株主 山田松五郎殿 山田莊左衛門殿		半・1冊	1256



表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

## 堤防組合総代

## 慶応期堤防工事

## 対岸村々と江戸訴訟

乍恐以書付御訴訟奉申上候(多年之水災ニ而難渋候につき願書) 松本直一郎御代官所信州高井郡片塩村外百姓惣代安源寺村年寄要左衛門、東江都村名主同理兵衛、押切村組頭同平之丞→御奉行所様	慶応2年亥3月	豎長・1冊	C373
乍恐以書付奉願上候(提出入につき円徳耕地の被害・水防方見分願) 控、うち1通は後欠	慶応2寅年5月	豎継紙・2通	A225-1
乍恐以書付御訴訟奉申上候(古堤修復被致故障難渋出入) 訴訟方・相手方の名前のみ(本文なし)		綴・1綴	A225-2

## 千曲川瀬直し

## 人足・諸入用

覚(借入金の一部返済額と残金に付、書上) 小布セ太三郎→江部庄左衛門様	申12月12日	横切継紙・1通	1140-1
用水組合(大町など17ヵ村と計見村など4ヵ村組合、寄合に付)		横切継紙・1通	1140-2
(御恩借金の返済方法に付、下書)		豎切紙・1通	1140-3
(印形のことに付) 前欠	文久2年戌10月11日	豎切紙・1通	1140-4
覚(大俣村よりの材木通船雇料受取) 土木司世話方、舟頭寅蔵→	(明治3年) 閏10月10日	切紙・1通	A051-2-18
(袋、表書「庚午七月より諸買物請取書附入」) 会計方→ 51-2-2～87はこの袋に一括	(明治3年7月以降)	袋・1袋	A051-2-01
覚(材木通船一艘分代金受取) 幸蔵→ 51-2-2は3の中に畳み込み	(明治3年)10月22日	切紙・1通	A051-2-02
覚(材木一船分代金受取) 土木司世話方	(明治3年)10月25日	切紙・1通	A051-2-03
覚(土佐紙・半切紙・返し紙代金受取) 京屋久右衛門→上	(明治3年)9月1日	切継紙・1通	A051-2-04
覚(金槌代金受取) なへ屋定□郎(信州飯山上町鍋定)→上	(明治3年)8月23日	切紙・1通	A051-2-05
覚(石俵積船カ、乗込代金受取) 津の村菊弥、代亀吉→上	(明治3年)11月4日	切紙・1通	A051-2-06
おほえ(□) 山田内新蔵→会計所御詰合衆中	(明治3年) 閏10月2日	切紙・1通	A051-2-07
(酒3升の請求書) 北大熊人足拾三人	(明治3年)	切紙・1通	A051-2-08
覚(炭代金受取) 嶋吉→上	(明治3年)	切紙・1通	A051-2-09
覚(片塩村人足賃渡すべき旨) 藩庁出役土木司会計方→	(明治3年)11月4日	切紙・1通	A051-2-10
(縄100束請求書) 会計所御詰合	(明治3年)	切紙・1通	A051-2-11

覚(□玉利葉湯 5 斤代金書上) 羽場五郎左衛門	(明治3年)8月	切紙・1通	A051-2-12
覚(牟礼今井間の人足賃書上) 御伝馬所(北国街道□牟礼宿御伝馬所)→上	(明治3年)午閏10月4日	切継紙・1通	A051-2-13
覚(味噌代金受取) 綿屋溜店(中野東町綿屋溜店)→上	(明治3年)12月5日	切紙・1通	A051-2-14
覚(御上下六人様昼賄料受取) 牟礼駅脇御本陣加賀屋六左衛門→上	(明治3年)午閏10月4日	切継紙・1通	A051-2-15
覚(材木通船雇料受取) 土木司世話方、舟頭寅藏	(明治3年)閏10月8日	切紙・1通	A051-2-16
覚(大俣村よりの材木通船雇料受取) 土木司世話方、舟頭寅藏→	(明治3年)	切紙・1通	A051-2-17
覚(太縄代金受取) 上今井村嶋□(本?)佐兵衛→会計方案 中様	(明治3年)閏10月18日	縦紙・1通	A051-2-20
覚(□玉利葉湯 5 斤代金書上) 羽場五郎左衛門→上	(明治3年)	切紙・1通	A051-2-21
(「三朱 酒壺升五合」などの心覚書)	(明治3年)	切紙・1通	A051-2-23
覚(茶代金受取、上々池の尻) 中丘や(中野御茶所福寿園)→上	(明治3年)閏 28日	切継紙・1通	A051-2-24
覚(岩代金受取) 福嶋新田村金十郎→上	(明治3年)11月4日	切紙・1通	A051-2-25
覚(藤東代金書上) 会計部□→山王嶋村多三郎様	(明治3年)後10月28日	切紙・1通	A051-2-26
覚(大吉□?) □→上	(明治3年)午8月26日	切紙・1通	A051-2-27
覚(藤東運賃を此者に渡すべき旨、受取人多三郎・幸藏) →会計方出役中様	(明治3年)	切紙・1通	A051-2-28
覚(此者に金 3 両余御渡願) 小川→会計中	(明治3年)9月18日	切継紙・1通	A051-2-29
(上酒代金勘定の書付)	(明治3年)	切紙・1通	A051-2-30
(金子 5 両預り書) 今井吉之助→室左衛門様	(明治3年)9月29日	切紙・1通	A051-2-31
覚(茶代金受取) つたや平兵衛(御用善光寺大門町葛屋平兵衛)→上	(明治3年)9月14日	切継紙・1通	A051-2-32
覚(村木買入人足賃の請求) 市川芳三郎→会計方	(明治3年)閏10月29日	切紙・1通	A051-2-33
覚(味噌引金預り) □□(高井郡中野)→今井村徳兵衛様	(明治3年)午9月22日	切継紙・1通	A051-2-34
覚(味噌代金受取) 袋屋精一郎→今井村御普請所御世話方様	(明治3年)午9月27日	切継紙・1通	A051-2-35
覚(作料書上) 大工初藏	(明治3年)午10月6日	切継紙・1通	A051-2-36
覚(蠟燭・西之内紙・茶など代金差引勘定)「津野村幸藏江願」とあり	(明治3年)	折紙・1通	A051-2-37
覚(上今井村御普請所へ送った極上酒の代金書上) 岩舟村中村屋→東江部村山田庄左衛門様	(明治3年)午8月	切紙・1通	A051-2-38
覚(藤東運賃を此者に渡すべき旨) 世話方幸藏→山田様「山王嶋庄太郎」が此者にあたるか	(明治3年)10月26日	切紙・1通	A051-2-39
覚(材木 1 船分受取) 会計世話方→舟頭清九郎	(明治3年)10月26日	切紙・1通	A051-2-40
覚(材木 1 船分受取) 土木司世話方	(明治3年)10月22日	切紙・1通	A051-2-41
覚(材木運賃受取) 桑名川村船頭清九郎→御役人様	(明治3年)午10月24日	切紙・1通	A051-2-42
覚(金10両受取) 桑名川船頭清九郎→御世話人中様	(明治3年)午10月27日	切紙・1通	A051-2-43
覚(酒・旅籠代など受取) 渋湯松屋栄八→上	(明治3年)11月19日	切継紙・1通	A051-2-44

おほえ(上今井掘割御普請引受代金受取) 土方市五郎 →円徳組合御役人衆中様	(明治3年)後10月14日	切紙・1通	A051-2-45
覚(味噌代金受取) こくや(大日本信濃国穀平)→矢じま源 右衛門様	(明治3年)閏月14日	切紙・1通	A051-2-46
覚(縄駄賃受取) 舟頭林蔵→会計方皆々衆中様	(明治3年)10月1日	切紙・1通	A051-2-47
覚(上味噌代金受取) 中野□□や□□(高井郡中野)→上	(明治3年)午8月25日	切継紙・1通	A051-2-48
覚(茶? □代金受取) 喜多屋平□(善光寺大門町)→上	(明治3年)8月4日	切継紙・1通	A051-2-49
覚(彦市・治助丹波島行費用勘定書)	(明治3年)	折紙・1通	A051-2-50
覚(板・材木・杉皮代金書上) 新保政右衛門(木屋)→上 今井村御世話人中様	(明治3年)午8月19日	切継紙・1通	A051-2-51
おほへ(小三寸の材木代金受取) うちほり高之助→上	(明治3年)	切継紙・1通	A051-2-52
(書状、金10両借用願) 山王嶋村多三郎→今井村二而御 惣代様	(明治3年)	堅紙・1通	A051-2-53
覚(要左衛門・定之助東京行道中入用・餞別金預り書) 新保村名主喜市→山田庄左衛門様、住田奥右衛門様	(明治3年)午8月22日	切紙・1通	A051-2-54
覚(□代金受取) つるや→上	(明治3年)午7月25日	切継紙・1通	A051-2-55
草間藤五郎取替(釜掛直し・ねぎ・酒など代金) □ □渡部	(明治3年)後10月15日	切紙・1通	A051-2-56
覚(御普請材木代金受取) 大俣村源兵衛→会計惣代熊太 郎様	(明治3年)庚午閏10月6日	切紙・1通	A051-2-57
おほへ(火縄代金受取) ならや茂七→上	(明治3年)	切紙・1通	A051-2-58
覚(金20両受取) 新保村治斎→六川村善蔵様	(明治3年)閏10月16日	切紙・1通	A051-2-59
(当人申出次第貞吉船に金10両渡してほしい旨、書付) 大嶋平助→会計方	(明治3年)閏10月18日	切紙・1通	A051-2-60
覚(久左衛門仕業賃金受取) 四ツ屋村幸右衛門→会計所 御出張所	(明治3年)午11月4日	切紙・1通	A051-2-61
覚(西之内紙半丈代金書上) ひしや店→上	(明治3年)8月18日	切継紙・1通	A051-2-62
(御褒美金200疋下付の旨、書付) 土木司→長沼人足四 人之者	(明治3年)閏10月17日	切紙・1通	A051-2-63
記(人足世話方褒美金下付の旨) 土木司→中野県出役市 川芳三郎会計方	(明治3年)午閏10月18日	切紙・1通	A051-2-64
覚(御普請人足賃金受取) 福島新田村丸山大治郎→会計 方御連中様	(明治3年)午閏10月18日	切紙・1通	A051-2-65
覚(杭代金支払の確認) 立合重右衛門、多三郎→三代吉 殿	(明治3年)	□・1通	A051-2-66
記(酒代金引替証、常右衛門分) 土木司藩県出役会計方	(明治3年)閏10月23日	切紙・1通	A051-2-67
記(酒代金引替証、久右衛門分) 土木司藩県出役会計方	(明治3年)閏10月23日	切紙・1通	A051-2-68
記(酒代金引替証、源七分) 土木司藩県出役会計方→	(明治3年)閏10月23日	切紙・1通	A051-2-69
覚(菱杵詰入石俵代金受取) 後欠か	(明治3年)	切紙・1通	A051-2-70
覚(酒代金引替証、草間村分) 藩県出役会計方→	(明治3年)午11月1日	切紙・1通	A051-2-71
覚(土州半紙一束代金受取ほか) 高のや民右衛門→上	(明治3年)10月18日	折紙・1通	A051-2-72
覚(半紙・煙草・湯本泊代金など書上) 高野屋民右衛門	(明治3年)	切紙・1通	A051-2-73

覚(旅籠・草鞋代金など受取) 湯本五郎治→上	(明治3年)10月10日	切紙・1通	A051-2-74
(草間村ほか4ヶ村分酒量書上、雪降にて工事難渋につき遺分)	(明治3年)	切紙・1通	A051-2-75
覚(酒代金引替証、土方久右衛門分) 藩県出役土木司会計方→	(明治3年)閏10月24日	切紙・1通	A051-2-76
おほへ(桶代金受取) 中野高田屋藤五郎→上	(明治3年)7月28日	切紙・1通	A051-2-77
覚(小池様行御用状預り、直様届くべき旨) 中野村□□→今井村御詰中	(明治3年)7月28日	切紙・1通	A051-2-78
(茶・茶器など代金書上)	(明治3年)	切紙・1通	A051-2-79
覚(代金差引勘定) 高村友之助→上今井掘割御惣代衆中様、□□村御役元様 上部欠損	(明治3年)□月29日	切紙・1通	A051-2-80
覚(酒代金引替証、押切村常右衛門分) 藩県出役土木司会計方→	(明治3年)閏10月24日	切紙・1通	A051-2-81
覚(釘代金書上) □のぐや□□店→上	(明治3年)午7月28日	切紙・1通	A051-2-82
覚(切手引替に人足へ酒遣わすべき旨) 北嶋隣之瀧沢□造→会計方	(明治3年)閏10月23日	切紙・1通	A051-2-83
覚(半紙・弁当・蠟燭代金など書上)	(明治3年)	折紙・1通	A051-2-84
覚(土佐紙代金受取) 高野屋民右衛門→上様	(明治3年)11月4日	切紙・1通	A051-2-85
覚(蠟代金受取) 柳田屋忠兵衛(善光寺大門町)→上	(明治3年)閏10月4日	切紙・1通	A051-2-86
覚(□代金受取) つたや□□(善光寺大門町)→上	(明治3年)閏10月4日	切紙・1通	A051-2-87
覚(材木金受取) 上条村三代吉、羽場村立会人五郎左衛門→栗林村二有会計様	(明治3年)閏10月24日	切紙・1通	A051-2-19
覚(岩代金受取) 福嶋新田村金十郎→御役人中様	(明治3年)閏10月29日	切紙・1通	A051-2-22

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

## 村役人

### 領主関係

乍恐以書付奉申上候(褒美銀下付のための庄左衛門年 齡尋につき) 高井郡東江部村百姓代庄左衛門、名主文 六、組頭彦五郎、同断伊兵衛→竹内平右衛門様御役所 写、下書	寛政11年未11月	1通	A012
---	-----------	----	------

### 年貢諸役

乍恐以書付御答奉申上候(私共出穀により小前御免願 に対する銘々高相応貯穀指示につき返答) 信州高井 郡東江部村貯入庄左衛門、同断名主吉太郎→河尻甚五郎様 御役所 写、下書、此書付一同御願下ヶ仕候	寛政4年子10月	1通	A013-1
乍恐以書付奉申上候(小前貯穀御免願却下につき私共 出穀も願下) 信州高井郡東江部村願入庄左衛門、同断名 主吉太郎、与頭、百姓代→河尻甚五郎様御役所 写、下 書、願下ヶ	寛政4年子11月	1通	A013-2

### 相論

内済規定之事(新保村名主交代をめぐる相論) 高井郡 新保村弥左衛門親類惣代訴訟人五郎左衛門、ほか3名、相 手庄兵衛、ほか3名、ほか小前惣代・村役人9名→扱人 山田莊左衛門、西江部村市左衛門の奥書あり	文久元酉年3月	縦継紙・1通	A205-1
乍恐以書付奉申上候(名主交代相論内済の届) 高井郡 新保村名主孫兵衛、組頭安左衛門、百姓代勘兵衛→鈴木源 内様中野御役所	文久元酉年3月	縦継紙・1通	A205-2
覚(宿泊など諸代金受取) とみたや→御扱様兩人様	3月25日	切継紙・1通	A205-3
覚(酒肴代受取) とみた屋→御客様御兩人様	3月25日	切継紙・1通	A205-4
乍恐以書付御吟味下ヶ奉願上候(新保村百姓どうしの 為疵負一件) 当御代官所信州高井郡新保村雄右衛門倅彦 吉代兼百姓雄右衛門、ほか親類・村役人など7名、立入人 間山村名主九之丞、同東江部村名主山田庄左衛門、郷宿仁 兵衛→増田安兵衛様中野御役所	文久3亥年2月	縦継紙・2通	A224
差出申一札之事(酒狂の上疵為負の詫び) 新保村弥之 助、親類弥左衛門、組合政吉→当村雄右衛門殿 下書	文久3寅年2月	縦継紙・1通	A227-1
乍恐以書付御吟味御下奉願上候(弥之助酒狂一件吟味 下願) 下書	文久3寅年2月	縦継紙・2通(3枚)	A227-2
御尋ニ付乍恐以書附奉申上候(新保村百姓名主疵付一 件につき風聞承り及ぼざる旨) 篠井村名主元右衛門、 西江部村組頭五右衛門、東江部村名主山田庄左衛門→御出 役松山辰三郎	文久3亥年2月12日	縦紙・1通	A147

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
近代の役職			
大区副区長			
(大礼服に付、布令のこと) 滋賀縣令松田道之→ 大礼服の図あり。	明治5年壬申11月25日	竖半・1冊	1153
(火之元の儀に付区戸長以下組合等能々留意取締方のこと達) 長野縣參事梢崎寛直→触元区長副 印刷物	明治7年4月	折紙・1通	1287
(封筒) 縣廳詰副区長→長野縣北第十九大区区长副御中 1288-1～3は封筒一括	(明治)11年7月17日	封筒・1通	1288-0
記(学校資金出途方約定に付御届書類雛形) 区長、学区取締→長野縣権令梢崎寛直		朱罫紙・1綴(2枚)	1288-1
(書状、学校資金出途方約定の儀御問合有之に付) 縣廳詰副区長(印)→北第十九大区副区長山田庄左衛門殿	(明治)11年7月17日	横切繼紙・1通	1288-2
記(学校資金の内身元出金及び地下目途戸数などの金額に付雛形)	明治11年7月	朱罫紙・1通	1288-3
委任状 右大区選挙人 小林九之丞(印)→北第19大区4小区江部村住 総代人 山田庄左衛門、右大区7小区平穂村住 補闕 市川和平	明治11年10月20日	小切紙・1通	1261-1
委任状 選挙人右大区4小区江部村 山田庄左衛門(印)→北第19大区3小区間山村住平民 総代人 小林九之丞、同大区7小区平穂村 補欠 市川和平	明治11年10月20日	小切紙・1通	1261-2
委任状 右大区選挙人 青木聘右衛門 市川和平代印(印)→北第19大区4小区江部村住民 総代人 山田庄左衛門、同3小区間山村住平民 補闕 小林九之丞	明治11年10月20日	小切紙・1通	1261-3
委任状 右大区選挙人 市川和平(印)→北第19大区3小区間山村住平民 総代人 小林九之丞、同4小区江部村住平民 補闕 山田庄左衛門	明治11年10月20日	小切紙・1通	1261-4
委任状 右大区選挙人 湯本限城(印)→北第19大区4小区江部村住平民 総代人 山田庄左衛門、同3小区間山村住平民 補闕 小林九之丞	明治11年10月20日	小切紙・1通	1261-5
委任状 右大区選挙人 小島龍次郎(印)→北第19大区4小区江部村平民 総代人 山田庄左衛門、3小区間山村平民 補闕 小林九之丞	明治11年10月20日	小切紙・1通	1261-6
委任状 右大区選挙人 押鐘伊介(印)→北第19大区4小区江部村住平民 総代人 山田庄左衛門、同3小区間山村住平民 補闕 小林九之丞	明治11年10月20日	小切紙・1通	1261-7
委任状 右大区選挙人 町田常四郎(印)→北第19大区4小区江部村住平民 総代人 山田庄左衛門、同大区3小区間山村住平民 補闕 小林九之丞	明治11年10月20日	小切紙・1通	1261-8
委任状 右大区選挙人 山田文六(印)→北第19大区4小区江部村 総代人 山田庄左衛門、3小区間山 補闕 小林九之丞	明治11年10月20日	小切紙・1通	1261-9
委任状 右大区選挙人 山崎庄助(印)→北第19大区4小区江部村住平民 総代人 山田庄左衛門、同3小区間山村住平民 補闕 小林九之丞	明治11年10月20日	小切紙・1通	1261-10
委任状 右大区選挙人 西原良八(印)→北第19大区4小区江部村住平民 総代人 山田庄左衛門、同大区3小区間山村	明治11年10月20日	小切紙・1通	1261-11

近代の役職／大区副区長

住平民 補闕 小林九之丞			
委任状 右大区選挙人 □□津忠右衛門(印)→北第19大区4小區江部村住平民 総代人 山田庄左衛門、同大区3小區間山村住平民 補闕 小林九之丞	明治11年10月20日	小切紙・1通	1261-12
委任状 右大区選挙人 小林定三郎(印)→北第19大区4小區江部村住 総代人 山田庄左衛門、同3小區間山村住平民 補闕 小林九之丞	明治11年10月20日	小切紙・1通	1261-13
委任状 同大区選挙人 久保内居兵衛(印)→北第19大区4小區山内庄右衛門、3小區 補欠 小林九之丞	明治11年10月20日	小切紙・1通	1262
(封筒) 縣廳詰副区長→北第十九大区副区長山田庄左衛門殿 1291-3は封筒一括、封筒上書「動産監査委任状草案竊中」		封筒・1通	1291-0
(書状、動産勘査委任状草案書に付) 縣廳詰副区長(印) →北第十九大区副区長御中 「長野縣区長詰所」の野紙	2月7日	朱野紙・1通	1291-1
動産勘査委員委任状(動産勘査委員長へ御委任の儀に付雛形) 「長野縣区長詰所」の野紙	明治11年	朱野紙・1通	1291-2
動産勘査委員選定委任状(動産勘査委員選定方の儀御委任に付雛形) 「長野縣区長詰所」の野紙	明治11年	朱野紙・1通	1291-3
(県議會堂、道路開鑿費に関する審査及報告) 審査委員 第28番議員 鎌原仲次郎、第26番議員 山本清明、第6番議員 森本省一郎、第25番議員 小島相陽、第1番議員 北原地球治、第24番議員 小林常智、第14番議員 降幡倉蔵→議長 島津忠貞殿 別紙と1綴り	明治22年11月14日	半・1綴	1234
家屋建築御届 下高井郡七瀬村五拾六番地地主長針太郎兵衛、伍長竹内作左衛門→下高井郡中野町外五ヶ村戸長近山勝右衛門殿	明治20年3月	1 枚	A268
北第拾九大区略図 →区長山田庄左衛門	(明治期)	舗・1枚	1095
(包紙) 小林丈右衛門→中子屋十郎佐様	2月6日	堅切紙・1通	1152
ノート(百ヶ案の写、他) 1252のノートと同じ紙		A5(変形)・1冊	1255-1
(別紙之通被達候に付) 朱野紙使用	3月11日	堅紙・1枚	1255-2
北第拾九大区略図 →区長山田庄左衛門		舗・1枚	1117
(所持税委員会御開設につき御届) →下高井郡所持税調査委員 「長野縣下高井郡役所」の朱野紙使用		堅紙・仮1冊	1243
長野縣北第十五大区々會議場舗設之縮図		堅紙・1枚	1253
ノート(郡区町村改正下問の写、他) 山田→		A5(変形)・1冊	1252
メモ(第一条 再議) 1252のノートと同じ紙		A5(変形)・2枚	1254

貴族院議員

(封筒) 貴族院庶務課→日本橋区濱町三丁目一番地貴族院議員山田庄左衛門殿 朱書で「万一御在縣ニ有之候へハ御廻送有之度候」とあり。		封筒・1通	1163-0
(書状、簿冊整理に付) 貴族院庶務課→貴族院議員山田庄左衛門殿	明治25年10月14日	堅切紙・1通	1163-1

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
書籍			
太政官日誌 明治辛未第二十二號 4月17日～22日	明治4年	半・1冊	1217-1
太政官日誌 明治辛未第二十三號 4月23日	明治4年	半・1冊	1217-2
佛國政典 一 大井憲太郎 訳	明治6年10月	半・1冊	1218-1
佛國政典 二 大井憲太郎 訳	明治6年	半・1冊	1218-2
佛國政典 三 大井憲太郎 訳	明治6年	半・1冊	1218-3
佛國政典 四 大井憲太郎 訳	明治6年	半・1冊	1218-4
佛國政典 五 大井憲太郎 訳	明治6年	半・1冊	1218-5
佛國政典 六 大井憲太郎 訳	明治6年	半・1冊	1218-6
佛國政典 七 大井憲太郎 訳	明治6年	半・1冊	1218-7
佛國政典 八 大井憲太郎 訳	明治6年	半・1冊	1218-8
佛國政典 九 大井憲太郎 訳	明治6年	半・1冊	1218-9
佛國政典 十 大井憲太郎 訳	明治6年	半・1冊	1218-10
佛國政典 十一 大井憲太郎 訳	明治6年	半・1冊	1218-11
(官省などの布達留) 1305-1～3括り紐一括、表紙に「甲戌四月二十日入 区長分」とある、付け札に「明治七年三月～七月長野県布達二冊 明治九年 九月～十二月同一冊」(調査時のものか)	明治7年甲戌3月～5月	半・1冊	1305-1
(官省などの布達留) 表紙に「甲戌六月二十日入 区長分」	明治7年甲戌5月～7月		1305-2
東京新繁昌記三編 服部誠一 著	明治7年8月	半・1冊	1217-4
英國議事實見録 上 安川繁成 編輯	(明治8年)	半・1冊	1216-1
英國議事實見録 中 安川繁成 編輯	(明治8年)	半・1冊	1216-2
英國議事實見録 下 安川繁成 編輯	(明治8年)	半・1冊	1216-3
官省指令分類彙纂 第4號 編集人 清水貞四郎	明治9年5月10日	半・1冊	1204
(「官省指令分類彙報 第四号」ほか書上) メモ書き		小切紙・1枚	1208
官省指令分類彙纂 第5號 編集人 清水貞四郎	明治9年5月10日	半・1冊	1209
明治文抄 三 高橋易直 編輯	明治10年8月8日	半・1冊	1211-3
虎一列 刺病豫防心得 上 長野縣 衛生掛	明治10年10月	半・1冊	1206
内國勸業博覽會場案内 内國勸業博覽會事務局刊行	明治10年	半・1冊	1210
明治文抄 一 高橋易直 編輯	(明治10年)	半・1冊	1211-1
明治文抄 二 高橋易直 編輯	(明治10年)	半・1冊	1211-2
民間の喩 演説集誌 第一 青木輔清 編輯	明治11年4月20日	半・1冊	1215
民間の喩 演説集誌 第二 青木輔清 編輯	明治11年4月26日	半・1冊	1214
民間小學 演説集誌 四 青木輔清 編輯	明治11年6月20日	半・1冊	1205
民間の喩 演説集誌 第三 青木輔清 編輯	明治11年6月20日	半・1冊	1213
(封筒) 東京龍雲堂(印) 「鹿門岡千仞勿著 尊攘紀事」		封筒	1251



近代の役職／書籍

とあり			
今古實録 眞書太平記 第3號第1～36卷 榮泉社印行	(明治15年頃)	包紙・36枚	1251-1
今古實録 伊達郡秘録 第4號上・中・下卷 榮泉社印行	(明治15年頃)	包紙・3枚	1251-2
今古實録 赤穂精義参考内侍所 巻1～5 榮泉社印行	(明治15年頃)	包紙・5枚	1251-3
上告趣意書并判決	明治17年7月9日	半・1冊	1207
所得税法施行細則註釈 すべて印刷物。		2点	9999A14-8-0
所得税法施行細則註釋 蟻川堅治著 大蔵省令第三号の事が書かれた罫紙がはさまっている。表紙右下に「山田」の朱印が押されている。東京同盟書館發行。定價金五錢。奥付は「明治二十年五月九日出版御届 同年同月出版 著者 東京府士族 蟻川堅治淺草區元吉町十四番地 出板人 東京府平民 小林喜右衛門 日本橋區新大坂町十番地 特別販賣所 榊原友吉 全區若松町廿一番地 同 杉本七百丸 全區大傳馬町二町目廿四番地」とある。	明治20年5月出版	1冊	9999A14-8-1
所得税納人心得方備考 表紙右下に「□原」の朱印が押されている。		1冊	9999A14-8-2
(天然痘ほか点見書上) 復元居雷山散人		横長半・1冊	1212
(まとまりのある書籍類)			
(明治壬申布告全書1303-1～12括り紐一括、表紙に朱印「山田」表紙貼紙「明治五年布告全書十一冊 但巻九、土ノ上欠 明治六年巻四 一冊」)	(明治5年壬申正月)		1303-0
明治壬申布告全書一	(明治5年壬申正月)	半・1冊	1303-1
明治壬申布告全書二 表紙に朱印「山田」	(明治5年壬申2月)	半・1冊	1303-2
明治壬申布告全書三 表紙に朱印「山田」	(明治5年壬申3月)	半・1冊	1303-3
明治壬申布告全書四 表紙に朱印「山田」	(明治6年壬申4月)	半・1冊	1303-4
明治壬申布告全書五 表紙に朱印「山田」	(明治7年壬申5月)	半・1冊	1303-5
明治壬申布告全書六 表紙に朱印「山田」	(明治8年壬申6月)	半・1冊	1303-6
明治壬申布告全書七 表紙に朱印「山田」	(明治9年壬申7月)	半・1冊	1303-7
明治壬申布告全書八 表紙に朱印「山田」	(明治10年壬申8月)	半・1冊	1303-8
明治壬申布告全書十 表紙に朱印「山田」	(明治11年壬申10月)	半・1冊	1303-9
明治壬申布告全書十一ノ中 表紙に朱印「山田」	(明治12年壬申11月)	半・1冊	1303-10
明治壬申布告全書十一ノ下 表紙に朱印「山田」	(明治13年壬申11月)	半・1冊	1303-11
明治六年布告全書四 表紙に朱印「山田」	(明治6年4月)	半・1冊	1303-12
(太政官日誌・達など 909-5-1～909-5-5一つに綴られている) 2綴(合計11点(綴られているものも分けた点数))			9999A09-5-0
明治辛未第十八號太政官日誌 印刷物。表紙右上に朱印が押されている。下に「山田」の朱印が押されている。奥付には「官版 不許鰺刻 御用御書物所 芝神明前 和泉屋市兵衛 日本橋南壹町目 須原屋茂兵衛」とある。定價四匁五分。		1冊	9999A09-5-1
(戸籍に関する達) 印刷物。最初のページ右に「癸酉十一月八日到着」とあり。右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。		1冊	9999A09-5-2

(徴兵令に関する達) 長野縣參事榑崎寛直 印刷物。奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。	明治6年10月	1枚	9999A09-5-3
(明治7年一月御達) 印刷物。最初のページ右に「明治七年一月御達」と朱書きあり。右下に「山田」の朱印が押されている。		1冊	9999A09-5-4
(戸籍に関する冊子) 印刷物。1枚目に付箋が貼られている。		1冊	9999A09-5-5
訴答文例 太政大臣三條實美 印刷物。表紙左上に朱印が押されている。左下に「山田」の朱印が押されている。奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。909-5-6～909-5-11一つに綴られている。	明治6年7月17日	1冊	9999A09-5-6
訴答文例附録 印刷物。表紙左上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。		1冊	9999A09-5-7
(訴訟に関する申付) 長野縣參事榑崎寛直 印刷物。奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。	明治6年9月	1枚	9999A09-5-8
第三百六十二號布告(出訴期限規則) 右大臣岩倉具視 印刷物。最初のページ右上に朱印が押されている。	明治6年11月5日	1冊	9999A09-5-9
(第七十五號布告、第貳拾四號達、第二十六號布達、第二十七號達) 印刷物。第75号布告は明治7年7月14日太政大臣三條實美によって、第24号達は明治7年9月2日司法卿大木喬任によって各裁判所・各縣へ、第26号布達は明治7年9月22日司法卿大木喬任によって、第27号達は明治7年9月22日に司法卿大木喬任によって各裁判所・各府縣へ出されたもの。1枚目に「七年甲戌八月十八日拜見」とある。	明治7年	1冊	9999A09-5-10
和歌山縣伺		1冊	9999A09-5-11
(明治6年書籍類明治6年) すべて印刷物。1冊(9つを製本しているもの)+5冊(合計24点(製本されているものも分けた点数))			9999A07-7-0
學制一覽 長□編輯 内表紙右下に「山田」の朱印が押されている。15ページ目に「長氏藏版」とあり、朱印も押されている。奥付には「官版 御用御書物所 東京横山町一丁目出雲寺萬治郎」とある。		1冊	9999A07-7-1
第二回半季實際考課状 松代第六十三國立銀行		1冊	9999A07-7-2
横濱正金銀行定款 奥付に「右ハ横濱正金銀行定款ノ正寫ニシテ其本紙ハ正ニ之ヲ當省ニ受取り其事ヲ承認シタル證據トシテ余ハ茲ニ記名調印シ併セテ當省ノ印章ヲ鈴シテ其銀行ヘ下付スルモノ也 明治十三年二月廿三日 大藏卿大隈重信印 大藏省印」となっている。		1冊	9999A07-7-3
講商會盟約書 表紙右下に「講商會印」の朱印が押されている。裏表紙左下に「忝木董宣君」と墨書があり。		1冊	9999A07-7-4
工學寮入學式並學課略則(第六號布達) 工部大輔山尾庸三 表紙右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用板 書林 長野東横町 松木喜右衛門」とある。907-7-5～907-7-23一冊に製本されている。製本された表紙に朱印が押されている。	明治6年7月	(1冊)	9999A07-7-5
第二百六十四號布告(金札引換公債證書發行條例改定ニ付) 太政大臣三條實美 最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用板 書林 長野東横町 松木喜右衛門」とある。	明治6年7月22日	(1冊)	9999A07-7-6
(第二百七十六號・二百七十八號・二百八十二號・二百八十三號・二百八十四號・二百八十八號布告) 太政大臣三條實美 第276号布告は明治6年7月30日、第278号		(1冊)	9999A07-7-7

近代の役職／書籍

<p>布告は明治6年8月2日、第282・283・284号布告は明治6年8月3日、第288号布告は明治6年8月8日にそれぞれ出されている。最初のページに朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 書林 長野東横町 松木喜右衛門」とある。</p>			
<p>(旧来兵家者流傳來之書籍圖書差し出すべき旨達) 長野縣參事榑崎寛直 奥付には「長野縣御用版 御書物所 岩下伴五郎」とある。</p>	明治6年8月	(1枚)	9999A07-7-8
<p>(第二百七十三號布告、百拾六號布達、人相書) 第273号布告は明治6年7月28日太政大臣三條實美によって、第116号布達は明治6年7月30日大藏省事務總裁參議大隈重信によって、人相書は明治6年8月長野縣參事榑崎寛直によってそれぞれ出されたもの。最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 書林 長野東横町 松木喜右衛門」とある。</p>	明治6年	(1冊)	9999A07-7-9
<p>(第百十五號・百十六號布達、人相書) 第115・116号布達は明治6年7月福岡孝弟によって、人相書は明治6年8月に長野縣權參事榑崎寛直によってそれぞれ出されている。最初のページに朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 書林 長野東横町 松木喜右衛門」とある。</p>	明治6年	(1冊)	9999A07-7-10
<p>増募生徒試験手續 工部大輔山尾庸三 表紙右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 書林 長野東横町 松木喜右衛門」とある。</p>	明治6年7月31日	(1冊)	9999A07-7-11
<p>(第四號布告、第五號布達) 工部大輔山尾庸三 第4号布告は明治6年7月に、第5号布達は明治6年8月2日にそれぞれ出されている。</p>	明治6年	(1冊)	9999A07-7-12
<p>(第百二十號・第百三拾號布達) 司法大輔福岡孝弟 第120号布達は明治6年7月24日、130号布達は明治6年8月12日にそれぞれ出されたもの。最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 書林 信州長野東横町 松木喜右衛門」とある。</p>	明治6年	(1枚)	9999A07-7-13
<p>(第百十七號・百十八號・百拾九號・百二十一號・百二十二號・百二十三號・百二十五號・百二十六號布達、人相書) 第117号布達は明治6年7月司法大輔福岡孝弟によって、第118号布達は明治6年7月22日司法大輔福岡孝弟によって、第119号布達は明治6年7月24日司法大輔福岡孝弟によって、第121号布達は明治6年7月27日司法大輔福岡孝弟によって、第122・123号布達は明治6年8月2日司法大輔福岡孝弟によって、第125・126号布達は明治6年8月司法大輔福岡孝弟によって、人相書は明治6年8月長野縣參事榑崎寛直によってそれぞれ出されたもの。奥付には「長野縣御用版 書林 長野東横町 松木喜右衛門」とある。</p>	明治6年	(1冊)	9999A07-7-14
<p>(第三百八號・第三百九號・第三百十號布告、第百十五號布達、人相書) 第308号布告は明治6年8月29日太政大臣三條實美によって、第309号布告は明治6年8月30日太政大臣三條實美によって、第310号布告は明治6年8月31日太政大臣三條實美によって、第115号布達は明治6年8月28日文部省三等出仕正五位田中不二麿によって、人相書は明治6年8月に長野縣七等出仕大久保利貞によってそれぞれ出されたもの。最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 書林 信州長野東横町 松木喜右衛門」とある。</p>		(1冊)	9999A07-7-15
<p>(人相書、第百三十五號布達) 人相書は明治6年8月25日司法大輔福岡孝弟代理三等出仕樺山資綱によって、第135号布達は明治6年8月22日に司法大輔福岡孝弟によってそれぞれ出されたもの。最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 書林 信州長野東横町 松木喜右衛門」とある。</p>	明治6年8月	(1冊)	9999A07-7-16

(第七號布告、第八號・第九號・第拾號布達) 工部大輔山尾庸三 第7号布告は明治6年8月29日に、第8号布達は明治6年8月30日に、第9号布達は明治6年9月2日に、第10号布達は明治6年9月3日にそれぞれ出されたもの。最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 書林 信州長野東横町 松本喜右衛門」とある。	明治6年	(1冊)	9999A07-7-17
(第三百廿三號・第三百廿四號・三百二十五號・第三百二十七號・第三百二十八號布告、第十二号・第十三号布達) 第323号布告は明治6年9月19日太政大臣三條實美によって、第324号布告は明治6年9月20日太政大臣三條實美によって、第325号布告は明治6年9月22日太政大臣三條實美によって、第327号布告は明治6年9月23日太政大臣三條實美によって、第328号布告は明治6年9月24日太政大臣三條實美によって、第12・13号布達は明治6年9月22日工部大輔山尾庸三によってそれぞれ出されたもの。最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 書林 長野東横町 松本喜右衛門」とある。	明治6年9月	(1冊)	9999A07-7-18
(三章ノ教憲ヲ體シ別紙講録三題之内録識シ縣下中教院建設假事務所エ可差出候事ニ付) 長野縣參事榑崎寛直 最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 御書物所 岩下伴五郎」とある。	明治6年10月	(1冊)	9999A07-7-19
(三百廿號布告、第百二十三號・第百三拾貳號布達、人相書) 第320号布告は明治6年9月18日太政大臣三條實美によって、第123号布達は明治6年9月20日文部省三等出仕正五位田中不二麿によって、第132号布達は明治6年9月19日大藏事務總裁參議大隈重信によって、人相書は明治6年9月長野縣參事榑崎寛直によって出されたもの。最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 書林 長野東横町 松本喜右衛門」とある。	明治6年9月	(1冊)	9999A07-7-20
(第三百一號布告中正誤、第三百四十四號・第三百四十六號布告) 太政大臣三條實美 第301号布告中正誤は明治6年10月13日に、第344・346号布告は明治6年10月14日にそれぞれ出されている。最初のページに朱印が押されている。	明治6年10月	(1冊)	9999A07-7-21
測量技術通學生規則(第十四號布達) 工部大輔山尾庸三	明治6年10月14日	(1冊)	9999A07-7-22
第拾五號布達(本年当省第十二号布達ニ付加筆布達) 工部大輔山尾庸三 奥付には「長野縣御用版 書林 長野東横町 松本喜右衛門」とある。	明治6年10月15日	(1枚)	9999A07-7-23
(官令新誌 1308-1～22括り紐一括)			
両仮名附官令新誌第八号(明治九年) 東京萬世橋外神田花房町貳番地報告社(印) 表紙に朱印「山田」あり	明治9年8月	半・1冊	1308-1
両仮名附官令新誌第九号(明治九年) 東京本郷元町壹丁目七十貳番地堀端報告社(印) 表紙に朱印「山田」あり	明治9年9月	半・1冊	1308-2
両仮名附官令新誌第十一号(明治九年) 東京本郷元町壹丁目七十貳番地堀端報告社(印) 表紙に朱印「山田」あり	明治9年11月30日	半・1冊	1308-3
両仮名附官令新誌第十二号(明治九年) 東京本郷元町壹丁目七十貳番地堀端報告社(印) 表紙に朱印「山田」	明治9年12月30日	半・1冊	1308-4
對合官令新誌第五号(明治十年) 東京本郷元町壹丁目七十貳番地報告社(印)	明治10年5月30日	半・1冊	1308-5
對合官令新誌第十二号(明治十年) 東京三十間堀一丁目十一番地報告社(印)	明治10年12月30日	半・1冊	1308-6
對合官令新誌第壹号(明治十一年) 東京三十間堀一丁目十一番地報告社(印) 表紙に朱印「山田」	明治11年1月30日	半・1冊	1308-7

近代の役職／書籍

對合官令新誌第貳号(明治十一年) 東京三十間堀一丁目十一番地報告社(印) 表紙に朱印「山田」	明治11年2月28日	半・1冊	1308-8
對合官令新誌第三号(明治十一年) 東京三十間堀一丁目十一番地報告社(印) 表紙に朱印「山田」	明治11年3月31日	半・1冊	1308-9
對合官令新誌第四号(明治十一年) 東京三十間堀一丁目十一番地報告社(印) 表紙に朱印「山田」	明治11年4月30日	半・1冊	1308-10
對合官令新誌第六号(明治十一年) 東京三十間堀一丁目十一番地報告社(印) 表紙に朱印「山田」	明治11年6月30日	半・1冊	1308-11
對合官令新誌第七号(明治十一年) 東京三十間堀一丁目十一番地報告社(印)	明治11年7月30日	半・1冊	1308-12
對合官令新誌第八号(明治十一年) 東京三十間堀一丁目十一番地報告社(印)	明治11年8月31日	半・1冊	1308-13
對合官令新誌第九号(明治十一年) 東京三十間堀一丁目十一番地報告社(印)	明治11年9月30日	半・1冊	1308-14
官令新誌第四号(明治十二年) 東京京橋区瀧山町四番地報告社(印) 表紙に朱印「山田」	明治12年4月30日	半・1冊	1308-15
官令新誌第六号(明治十二年) 東京京橋区瀧山町四番地報告社(印)	明治12年6月30日	半・1冊	1308-16
官令新誌第七号(明治十二年) 東京京橋区瀧山町四番地報告社(印)	明治12年7月31日	半・1冊	1308-17
官令新誌第八号(明治十二年) 東京京橋区瀧山町四番地報告社(印) 表紙に朱印「山田」	明治12年8月31日	半・1冊	1308-18
官令新誌第九号(明治十二年) 東京京橋区瀧山町四番地報告社(印) 表紙に朱印「山田」	明治12年9月30日	半・1冊	1308-19
官令新誌第十号(明治十二年) 東京京橋区瀧山町四番地報告社(印) 表紙に朱印「山田」	明治12年10月31日	半・1冊	1308-20
官令新誌第十二号(明治十二年) 東京京橋区瀧山町四番地報告社(印) 表紙に朱印「山田」	明治12年12月31日	半・1冊	1308-21
官令新誌第十一号(明治十二年) 東京京橋区瀧山町四番地報告社(印) 表紙に朱印「山田」	明治12年11月30日	半・1冊	1308-22
官令新誌第二号(明治十三年) 1304-1～23括り紐一括、括り紐付け札「シナノ山田庄左衛門文書 官令新誌明治十三年第一号欠二～十まで九冊 明治十四年第三、五、八、十号欠八冊 同十五年第一～六号(以下欠)六冊」(元史料館調査時) 報告社(印) 表紙に朱印「山田」	明治13年2月29日	半・1冊	1304-1
官令新誌第三号(明治十三年) 報告社(印) 表紙に朱印「山田」	明治13年3月31日	半・1冊	1304-2
官令新誌第四号(明治十三年) 報告社(印)	明治13年4月30日	半・1冊	1304-3
官令新誌第五号(明治十三年) 報告社(印)	明治13年5月31日	半・1冊	1304-4
官令新誌第六号(明治十三年) 報告社(印)	明治13年6月30日	半・1冊	1304-5
官令新誌第七号(明治十三年) 報告社(印)	明治13年7月31日	半・1冊	1304-6
官令新誌第八号(明治十三年) 報告社(印)	明治13年8月31日	半・1冊	1304-7
官令新誌第九号(明治十三年) 報告社(印)	明治13年9月30日	半・1冊	1304-8
官令新誌第十号(明治十三年) 報告社(印)	明治13年10月31日	半・1冊	1304-9
官令新誌第一号(明治十四年) 報告社(印)	明治14年1月31日	半・1冊	1304-10

官令新誌第二号(明治十四年) 報告社(印)	明治14年2月28日	半・1冊	1304-11
官令新誌第四号(明治十四年) 報告社(印)	明治14年4月30日	半・1冊	1304-12
官令新誌第六号(明治十四年) 報告社(印)	明治14年6月30日	半・1冊	1304-13
官令新誌第七号(明治十四年) 報告社(印)	明治14年7月31日	半・1冊	1304-14
官令新誌第九号(明治十四年) 報告社(印)	明治14年9月30日	半・1冊	1304-15
官令新誌第十一号(明治十四年) 報告社(印)	明治14年11月30日	半・1冊	1304-16
官令新誌第十二号(明治十四年) 報告社(印)	明治14年12月31日	半・1冊	1304-17
官令新誌第一号(明治十五年) 報告社(印)	明治15年1月31日	半・1冊	1304-18
官令新誌第二号(明治十五年) 報告社(印)	明治15年2月28日	半・1冊	1304-19
官令新誌第三号(明治十五年) 報告社(印)	明治15年3月31日	半・1冊	1304-20
官令新誌第四号(明治十五年) 報告社(印)	明治15年4月30日	半・1冊	1304-21
官令新誌第五号(明治十五年) 報告社(印)	明治15年5月31日	半・1冊	1304-22
官令新誌第六号(明治十五年) 報告社(印)	明治15年6月30日	半・1冊	1304-23
(布告・布達など 1306-1～2括り紐一括、付け札剥がれ)			
明治十年太政官布告 付け札「明治十年、十一年太政官布告二冊」		半・1冊	1306-1
明治十一年太政官布告		半・1冊	1306-2
明治八年太政官布告 1307-1～6括り紐一括		半・1冊	1307-1
自明治八年至十年文部省報告		半・1冊	1307-2
自明治八年至十一年大蔵省布達		半・1冊	1307-3
自明治八年至同十一年工部省布達		半・1冊	1307-4
明治八年日本帝国郵便規則及罰則 駅通寮		半・1冊	1307-5
明治十年郵便規則 表紙に朱印「山田」あり		半・1冊	1307-6
暦 すべて印刷物。		2点	9999A12-3-5-0
明治九年太陽略暦 東京頒暦商社中弘暦者 相田徳兵衛 表紙右上に朱印が押されている。		1冊	9999A12-3-5-1
明治九年太陽略暦 後欠。表紙右上に朱印が押されている。		1冊	9999A12-3-5-2
(長野県関係区長時期の書籍類 史料館板目表紙。すべて印刷物。製本されたもの70点、バラ80点、合計150点、紐3括りとバラの状態)		12綴、3冊	9999A10-9-0
區畫改正條例 表紙に部分に朱印が押されている。910-9-1～910-9-56紐で一括りされている。		1冊	9999A10-9-1
長野縣臨時縣會議事録 明治22年12月3日～9日の議事録。後半部分多少破損。	明治22年	1冊	9999A10-9-2
長野縣常置委員會決議録 明治22年6月26日の決議録。	明治22年	1冊	9999A10-9-3
長野縣常置委員會決議録 明治22年4月15日の決議録。	明治22年	1冊	9999A10-9-4
長野縣常置委員會議事録 明治22年4月15日の議事録。	明治22年	1冊	9999A10-9-5
長野縣常置委員會議事録 明治22年6月26日の議事録。	明治22年	1冊	9999A10-9-6

長野縣常置委員會議決録 明治22年7月の決議録。	明治22年	1冊	9999A10-9-7
長野縣常置委員會議事録 明治22年7月の議事録。虫損により910-9-9とくっついている。	明治22年	1冊	9999A10-9-8
長野縣常置委員會議決録 明治22年8月13日の決議録。	明治22年	1冊	9999A10-9-9
長野縣常置委員會議事録 明治22年8月13日の議事録。	明治22年	1冊	9999A10-9-10
長野縣臨時縣會議決録 明治22年11月の決議録。雑収入科目追加ノ件、歛損金補填ノ件、土木費追加ノ件。	明治22年	1冊	9999A10-9-11
長野縣臨時縣會議決録 明治21年12月の決議録。	明治22年	1冊	9999A10-9-12
長野縣第十二回通常縣會議決録 明治22年12月の決議録。長野活版社印刷。	明治22年	1冊	9999A10-9-13
長野縣臨時縣會議決録 明治22年12月の決議録。土木費追加ノ件、監獄費追加ノ件、第四・六路線費追加ノ件、第三線路工事着手諮問、寄附物使用ノ件。	明治22年	1冊	9999A10-9-14
長野縣縣會日誌 第十三號 明治10年6月の日誌。表紙右上に「五」と墨書あり。同じく表紙右上に「六月十四日渡り」と鉛筆書きあり。長野縣縣會議場鋪設之圖付き。	明治10年	1冊	9999A10-9-15
長野縣縣會日誌 第十五號		1冊	9999A10-9-16
長野縣縣會日誌 第二十號 明治11年3月の日誌。表紙右上に「日巻」、右下に「山田」と墨書あり。表紙に破損部分あり。910-9-17～910-9-29一つに綴られている。	明治11年	1冊	9999A10-9-17
長野縣縣會日誌 第貳拾壹號 表紙右上に「日ノ式」、右下に「山田」と墨書あり。左上に「日ノ式」と鉛筆書きあり。910-9-17～910-9-29一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-18
長野縣縣會日誌 第貳十貳號 表紙右上に「日ノ三」、右下に「山田」と墨書あり。左上に「日ノ參」と鉛筆書きあり。910-9-17～910-9-29一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-19
長野縣縣會日誌 第二十三號 表紙左上に「日ノ四」と墨書あり。910-9-17～910-9-29一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-20
長野縣縣會日誌 第貳拾四號 表紙左上に「日ノ五」と墨書あり。910-9-17～910-9-29一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-21
長野縣縣會日誌 第廿五號 表紙左上に「日ノ六」と墨書あり。910-9-17～910-9-29一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-22
長野縣縣會日誌 第貳拾六號 表紙右上に「山田」と鉛筆書きあり。左上に「日ノ七」と墨書あり。910-9-17～910-9-29一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-23
長野縣縣會日誌 第貳拾七號 表紙右下に「山田」、左上に「日ノ八」と墨書あり。910-9-17～910-9-29一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-24
長野縣縣會日誌 第廿八號 表紙左上に「日ノ九」と墨書あり。910-9-17～910-9-29一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-25
長野縣縣會日誌 第貳拾九號 表紙右下に「山田」、左上に「日ノ拾」と墨書あり。910-9-17～910-9-29一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-26
長野縣縣會日誌 第三拾號 表紙左上に「日ノ拾」と朱書きあり。910-9-17～910-9-29一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-27
長野縣縣會日誌 第三十壹號 表紙左上に「日ノ十一」と墨書あり。後半部分虫損でくっついている箇所あり。910-9-17～910-9-29一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-28

長野縣縣會日誌 第三十壹號附録 虫損で一部くつついている。910-9-17～910-9-29一つに綴られている。	1冊	9999A10-9-29
長野縣縣會日誌 第三十壹號 910-9-28と同じ物。910-9-30～910-9-33一つにまとめられている。	1冊	9999A10-9-30
長野縣縣會日誌 第三十壹號附録 910-9-29と同じ物。910-9-30～910-9-33一つにまとめられている。	1冊	9999A10-9-31
長野縣々會日誌 第二十一號附録 910-9-32～910-9-33一つに綴られている。910-9-30～910-9-33一つにまとめられている。	1冊	9999A10-9-32
民費課賦方法議問 910-9-32～910-9-33一つに綴られている。910-9-30～910-9-33一つにまとめられている。	1冊	9999A10-9-33
長野縣々會日誌 第十四號 表紙右上に「六月十七日渡り」と墨書あり。同じく右上に「山田」の朱印が押されている。後半部分のページ表記がおかしくなっている(別の物も混在か)。	1冊	9999A10-9-34
長野縣々會日誌 第二十一號附録 910-9-32と同じ物。910-9-35～910-9-36一つに綴られている。	1冊	9999A10-9-35
民費課賦方法議問 910-9-33と同じ物。910-9-35～910-9-36一つに綴られている。	1冊	9999A10-9-36
長野縣縣會日誌 第十三號 明治10年6月の日誌。910-9-15と同じ物。表紙右上に「破損」日渡り」と鉛筆書きあり。同じく右上に「四」と墨書あり。右下に「北十九大区傍聴人」と鉛筆書きあり。長野縣縣會議場鋪設之圖付き。虫損により910-9-37と910-9-38がくつついている。	明治10年 1冊	9999A10-9-37
長野縣々會日誌 第十四號 910-9-34と同じ物。表紙右上に「六月十七日渡り」と墨書あり。同じく右上に「山田」の朱印が押されている。右下に「北十九大区傍聴人」と墨書あり。虫損により910-9-37と910-9-38がくつついている。	1冊	9999A10-9-38
長野縣々會日誌 第十五號 910-9-16と同じ物。表紙右上に「六月二十一日渡り」、右下に「北十九大区傍聴人」と墨書あり。	1冊	9999A10-9-39
長野縣縣會日誌 第十七號	1冊	9999A10-9-40
長野縣縣會日誌 第十八號	1冊	9999A10-9-41
長野縣縣會日誌 第拾九號 910-9-43が後ろに貼られている。	1冊	9999A10-9-42
長野縣縣會日誌 第拾九號附録 910-9-42の後ろに貼られている。	1枚	9999A10-9-43
長野縣縣會日誌 第十六號 一番最初の一枚が破損し分離している。	1冊	9999A10-9-44
長野縣縣會日誌 第十三號 910-9-37と同じ物だが表紙がない。910-9-45～910-9-51一つに綴られている。	1冊	9999A10-9-45
長野縣々會日誌 第十五號 910-9-39と同じ物。910-9-45～910-9-51一つに綴られている。	1冊	9999A10-9-46
長野縣縣會日誌 第十六號 910-9-44と同じ物。所々虫損でページがめくれない。910-9-45～910-9-51一つに綴られている。	1冊	9999A10-9-47
長野縣縣會日誌 第十七號 910-9-40と同じ物。910-9-45～910-9-51一つに綴られている。	1冊	9999A10-9-48
長野縣縣會日誌 第十八號 910-9-41と同じ物。910-9-45～	1冊	9999A10-9-49



910-9-51一つに綴られている。			
長野縣縣會日誌 第拾九號 910-9-42と同じ物。910-9-45～910-9-51一つに綴られている。	1冊		9999A10-9-50
成議案 910-9-45～910-9-51一つに綴られている。	1冊		9999A10-9-51
長野縣々會議事細則 明治21年3月29日改正、同23年3月28日修正。長野横町松木活版所印刷。左上部分破損。	1冊		9999A10-9-52
長野縣第十一回通常會議事録 乾 明治21年11月の議事録。第1号～10号までが一冊になっている。	明治21年	1冊	9999A10-9-53
長野縣第十一回通常會議事録 坤 明治21年11月の議事録。第11号～22号までが一冊になっている。	明治21年	1冊	9999A10-9-54
長野縣第拾二回通常縣會議事録 乾 明治22年11月2日～18日の議事録。表紙右下に「山田」の朱印が押されている。	明治22年	1冊	9999A10-9-55
長野縣臨時縣會議事録 明治21年12月の議事録。	明治21年	1冊	9999A10-9-56
官省指令分類彙纂 第壹號 東京烏居坂九番地寄留 清水貞四郎編集 訴訟部 勸解裁判ノ事、代言人規則ノ事、訴訟用野紙規則ノ事。表紙左下に「山田」の朱印ともう一つ朱印が押されている。出版人東京日本橋呉服町拾二番地坂上半七。定價7錢5厘。910-9-57～910-9-69紐で一括りされている。	明治9年5月10日	1冊	9999A10-9-57
第六大學區長野縣下小學生徒等級表 明治9年8月調査。第14中學區～第20中學區の表。表紙右上に「十年七月一日入」と朱書きあり。910-9-58と910-9-59は紐で一括りされている。		1冊	9999A10-9-58
第六大學區長野縣管下小學生徒等級表 明治10年12月調査。第14番中學區～第20番中學區の表。表紙右上に「北第拾九大区□」と朱書きあり。一部破損あり。一部剥離あり。910-9-58と910-9-59は紐で一括りされている。		1冊	9999A10-9-59
各郡編制之下問 表紙右上に「壺」と鉛筆書きあり。右下に「山田」の朱印が押されている。所々鉛筆による訂正・書き込みあり。910-9-60と910-9-61は綴られている。		1冊	9999A10-9-60
戸長配置ノ下問 910-9-60と910-9-61は綴られている。		1冊	9999A10-9-61
病院開設ノ議問 表紙右上に「六月十八日渡り」「八」と墨書あり。右下に朱印が押されている。		1冊	9999A10-9-62
警察増員ノ議問 表紙右上に「六月十九日」と墨書あり。右下に「山田」と墨書あり。		(3枚1括)	9999A10-9-63
區會開設ノ議問 表紙右上に「六月十五日渡り」「五」と墨書あり。右下に「北十九大区傍聴人」と墨書あり。		1冊	9999A10-9-64
警察員ノ議問 910-9-63と同じ物。		(3枚1括)	9999A10-9-65
病院開設ノ議問 910-9-62と同じ物。表紙右上に「六月十八日渡り」と墨書あり。右下に「北十九区傍聴人」と墨書あり。		1冊	9999A10-9-66
明治十年乙第七拾七號布達 區會要領 長野縣 表紙右上「九月九日受」と墨書あり。910-9-67～910-9-69一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-67
(乙第七拾八號布達) 長野縣權令檜崎寛直 表紙右に「十年九月二日受」と朱書きあり。右下に朱印が押されている。910-9-67～910-9-69一つに綴られている。	明治10年	1枚	9999A10-9-68
明治十年乙第七拾八號布達 議員選舉規則 長野縣		1冊	9999A10-9-69

墨書・朱書きの書き込みのある一紙が表紙に貼られている。910-9-67～910-9-69一つに綴られている。			
成議案 長野縣北第拾九大區	明治11年2月	1冊	9999A10-9-70
長野縣北第拾九大區區會日誌 長野縣北第十九大區々會議場舗設之圖付き。	明治11年2月	1冊	9999A10-9-71
成議案 長野縣北第廿六大區 表紙右上に「二十六大區」と墨書あり。910-9-72と910-9-73は一つに綴られている。	明治11年2月	1冊	9999A10-9-72
成議案 長野縣北第廿六大區 910-9-72と910-9-73は一つに綴られている。	明治11年2月	1冊	9999A10-9-73
成議案 長野縣北第拾七大區 表紙右上に「十七大區」と墨書あり。	明治11年2月	1冊	9999A10-9-74
長野縣北第拾七大區區會日誌 表紙右上に「十七大區」と墨書あり。長野縣第十七大區々會議場舗設之圖付き。	明治11年2月	1冊	9999A10-9-75
成議案 長野縣北第拾九大區 910-9-70と同じ物。表紙右上に「十一年區會成議案」と墨書あり。右下に「本區」と墨書あり。上に「小学校方法」と墨書あり。	明治11年2月	1冊	9999A10-9-76
成議案		1冊	9999A10-9-77
成議案 910-9-77と同じ物。		1冊	9999A10-9-78
成議案 910-9-77と同じ物。		1冊	9999A10-9-79
明治十一年乙第貳號布達 會議規則 長野縣 表紙右上に「十一年一月十九日受」と墨書あり。左下に「山田」の朱印が押されている。910-9-80と910-9-81は一つに綴られている。910-9-80～910-9-89紐で一括りになっている。		1冊	9999A10-9-80
明治十年乙第七拾七號布達 區會要領 長野縣 表紙右上に「二月一日受」と墨書あり。15ページ目が取れてしまっている。910-9-80と910-9-81は一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-81
明治十一年乙第貳號布達 會議規則 長野縣 910-9-80と同じ物。前半部分虫損がひどい。		1冊	9999A10-9-82
明治十一年乙第貳號布達 會議規則 長野縣 910-9-80と同じ物。		1冊	9999A10-9-83
明治十一年乙第貳號布達 會議規則 長野縣 910-9-80と同じ物。		1冊	9999A10-9-84
明治十一年乙第貳號布達 會議規則 長野縣 910-9-80と同じ物。		1冊	9999A10-9-85
明治十一年乙第貳號布達 會議規則 長野縣 910-9-80と同じ物。一部虫損がひどい。		1冊	9999A10-9-86
明治十一年乙第貳號布達 會議規則 長野縣 910-9-80と同じ物。		1冊	9999A10-9-87
明治十一年乙第貳號布達 會議規則 長野縣 910-9-80と同じ物。		1冊	9999A10-9-88
明治十一年乙第貳號布達 會議規則 長野縣 910-9-80と同じ物。		1冊	9999A10-9-89
長野縣北第拾九大區區會日誌 910-9-71と同じ物。表紙右上に「十一年區會日誌」と墨書あり。右下に「本區」と墨書あり。上に「小学校方法下問」と墨書あり。長野縣北第十九大區々會議場舗設之圖付き。	明治11年2月	1冊	9999A10-9-90
長野縣北第廿六大區々會日誌 表紙右上に「二十六大區」	明治11年2月	1冊	9999A10-9-91

近代の役職／書籍

と墨書あり。長野縣北第二十六大區々會議場舗設之圖付き。			
小學校資出途方法學齡就學方法成議案 長野縣北第拾八大區 表紙右上に「十八大区」と墨書あり。	明治11年2月	1冊	9999A10-9-92
小學校維持方法及學齡就學方法成議案 長野縣北第貳拾大區 表紙右上に「第二十大区」と墨書あり。	明治11年2月	1冊	9999A10-9-93
臨時區會答議按日誌 長野縣北第十五大區 表紙右上に「十五大区」と墨書あり。答議按と議場日誌に分かれている。	明治11年2月	1冊	9999A10-9-94
長野縣北第廿大區臨時區會日誌 表紙右上に「第二十大区」と墨書あり。	明治11年2月	1冊	9999A10-9-95
(乙第五號布達) 長野縣權令檜崎寛直	明治11年 1月16日	(4枚1括)	9999A10-9-96
(乙第五號布達) 長野縣權令檜崎寛直 910-9-96と同じ物。	明治11年 1月16日	(4枚1括)	9999A10-9-97
(乙第五號布達) 長野縣權令檜崎寛直 910-9-96と同じ物。	明治11年 1月16日	(4枚1括)	9999A10-9-98
(乙第五號布達) 長野縣權令檜崎寛直 910-9-96と同じ物。	明治11年 1月16日	(4枚1括)	9999A10-9-99
明治二十一年長野縣統計書 全 長野縣第一部庶務課 奥付には「長野縣藏版 印刷所 長野東横町八百五十七番地 松木活版所」とある。	明治23年9月15日出版	1冊	9999A07-7-24
参考書(會議日等書上) 3ページ目が取れている。		1冊	9999A10-9-100
(印刷物断簡)		1枚	9999A10-9-101
區會開設ノ議問 表紙右上に「六月十五日渡り」「六」と墨書あり。右下に朱印が押されている。		1冊	9999A10-9-102
長野縣北第十八大區區會日誌 表紙右上に「十八大区」と墨書あり。	明治11年2月	1冊	9999A10-9-103
東京臨時府會紀事 第二號附録		1冊	9999A10-9-104
凶荒豫備ノ議問 表紙右上に「壱ノ上」と墨書あり。「山田」の朱印が押されている。右下に「北十九区傍聴人」と墨書あり。910-9-105と910-9-106は一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-105
凶荒豫備方法議案 表紙右上に「山田」の朱印が押されている。右下に「北十九大区傍聴人」と墨書あり。910-9-105と910-9-106は一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-106
凶荒豫備ノ議問 910-9-105と同じ物。表紙右上に「壱ノ下」、「弐」、「六月十日渡り」と墨書あり。ただし「壱ノ下」は線が引かれ消されている。右下に朱印が押されている。910-9-107と910-9-108は一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-107
凶荒豫備方法議案 910-9-106と同じ物。表紙右上に「六月十日渡り」と墨書あり。右下に朱印が押されている。910-9-107と910-9-108は一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-108
縣會議員選舉法ノ議問 表紙右上に「弐」と墨書あり。「山田」の朱印が押されている。右下に「北十九大区傍聴人」と墨書あり。910-9-109と910-9-110は一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-109
議員公選規則 表紙右上に「六月十四日渡り」、「七」の墨書あり。右下に「北十九大区傍聴人」と墨書あり。910-9-109と910-9-110は一つに綴られている。		1冊	9999A10-9-110
縣會議員選舉法ノ議問 910-9-109と同じ物。表紙右上に		1冊	9999A10-9-111

「三」、v六月十日渡り」と墨書あり。右下に朱印が押されている。最後のページ第七條の所にも朱印が押されている。所々鉛筆で訂正・書き込みがあり。910-9-111と910-9-112は一つに綴られている。			
議員公選規則 910-9-110と同じ物。表紙右上に「七ノ上」と墨書あり。右下に朱印が押されている。裏表紙の他所々に鉛筆で訂正・書き込みがあり。910-9-111と910-9-112は一つに綴られている。	1冊		9999A10-9-112
風儀上ノ取締ヲ立ルノ議問 表紙右上に「六月十三日渡り」、「四」と鉛筆書きあり。右下に朱印が押されている。910-9-113と910-9-114は一つに綴られている。	1冊		9999A10-9-113
風儀上ノ取締ヲ立ルノ議案 表紙右上に「六月十三日渡り」、「五」と鉛筆書きあり。右下に朱印が押されている。910-9-113と910-9-114は一つに綴られている。	1冊		9999A10-9-114
小学校資出途方法議按・學齡就學方按 表紙右上に「二月十日議事掛ヨリ心得ノタメニ廻ル北第二十三大区ノ議案」と墨書あり。	1冊		9999A10-9-115
(丙第三十五號達) 長野縣權令檜崎寛直→各區々戸長 1枚目右下に「山田」の朱印が押されている。	明治10年6月7日	(2枚1括)	9999A10-9-116
(印刷物断簡) 17~20、21~24、37~40ページの3枚。		(3枚1括)	9999A10-9-117
議員並傍聴人參場心得 長野縣議事掛 表紙右上に「壱ノ下」と墨書あり。「山田」の朱印が押されている。右下に「北十九大区傍聴人」と墨書あり。	明治10年6月	1冊	9999A10-9-118
議員並傍聴人參場心得 長野縣議事掛 表紙右上に「壱」、「六月十日渡り」と墨書あり。右下に朱印が押されている。	明治10年6月	1冊	9999A10-9-119
凶荒豫備方法議案 910-9-106と同じ物。		1冊	9999A10-9-120
警察増員ノ議問・警察増員ノ議案		(3枚1括)	9999A10-9-121
違式註違條例(第二百五十六號布告) 太政大臣三條實美 最初のページ上に朱印が押されている。左下に「山田」の朱印が押されている。奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。910-9-122~910-9-127一冊に製本されている。製本された表紙に朱印が押されている。	明治6年7月19日	(1冊)	9999A10-9-122
日本坑法(第二百五十九號布告) 太政大臣三條實美 最初のページ左上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。	明治6年7月20日	(1冊)	9999A10-9-123
(第二百四十五號、第二百四十六號、第二百四十八號、第二百四十九號、第二百五十號布告) 太政大臣三條實美 第245号は明治6年7月14日、第246号は明治6年7月15日、第248・249・250号は明治6年7月17日に出されたもの。最初のページ右上に朱印が押してある。奥付には「長野縣御用板 書肆 岩下伴五郎」とある。	明治6年7月	(1冊)	9999A10-9-124
(第百十号人相書及び手配書) 司法大輔福岡孝弟 奥付には「長野縣御用板 書肆 岩下伴五郎」とある。	明治6年7月	(1枚)	9999A10-9-125
(第二百六十七號、第二百六十八號、第二百六十九號、第二百七十號布告) 太政大臣三條實美 第267・269・270号は明治6年7月24日、第268号は明治6年7月25日に出されたもの。最初のページ右上に朱印が押されている。	明治6年7月	(1冊)	9999A10-9-126
女工場略則 工部大輔山尾庸三 表紙右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用板 書肆 岩下伴五郎」とある。	明治6年7月	(1冊)	9999A10-9-127

(第二百九十二號、第二百九十三號、第二百九十四號、第二百九十六號、第二百九十七號、第二百九十八號、第二百九十九號布告) 太政大臣三條實美 第292・293号は明治6年8月9日、第294号は明治6年8月10日、第296・297・298・299号は明治6年8月12日にされたもの。最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。910-9-128～910-9-142一冊に製本されている。製本された表紙に朱印が押されている。	明治6年8月	(1冊)	9999A10-9-128
鐵道貨物運送補則並賃銭表(第三百十六號布告) 太政大臣三條實美 表紙左上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。	明治6年9月13日	(1冊)	9999A10-9-129
鐵道貨物運送補則條中改正並追加 奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。		(1冊)	9999A10-9-130
(第三百三號・三百四號・三百六號・三百十二號布告、第百十一號・百二十六號・百三拾號布達、第六十三號定) 第303・304号布告は明治6年8月20日に太政大臣代理參議後藤象二郎、參議江藤新平によって出されたもの。第306号布告は明治6年8月23日に太政大臣代理參議大隈重信、參議後藤象次郎に出されたもの。明治6年9月7日太政大臣三條實美によって出されたもの。第111号布達は明治6年8月19日文部省三等出仕正五位田中不二麿によって諸府縣へ出されたもの。第126号布達は明治6年8月27日に大藏省事務總裁參議大隈重信によって府縣へ出されたもの。第130号布達は明治6年9月5日に大藏省事務總裁參議大隈重信によって府縣へ出されたもの。明治6年5月5日文部省三等出仕從五位田中不二麿によって出されたもの。最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。	明治6年	(1冊)	9999A10-9-131
(租税金納方之儀ニ付) 長野縣參事橋崎寛直 最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。	明治6年9月	(1枚)	9999A10-9-132
(第三百拾四號・三百拾五號・三百拾七號布告、百二十一號・百二十二號・拾壹號布達) 第314・315号布告は明治6年9月10日に太政大臣三條實美によって出されたもの。第317号布告は明治6年9月13日に太政大臣三條實美によって出されたもの。第121・122号布達は明治6年9月15日に文部省三等出仕正五位田中不二麿によって諸府縣へ出されたもの。第11号布達は明治6年9月12日工部大輔山尾庸三によって出されたもの。奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。	明治6年9月	(1冊)	9999A10-9-133
第三百廿一號布告(皇子御逝去ニ付歌舞音曲等停止令) 太政大臣三條實美 最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。	明治6年9月19日	(1枚)	9999A10-9-134
第二百七十二號布告(地租改正條例) 太政大臣三條實美 最初のページ右上に朱印が押されている。	明治6年7月28日	(1冊)	9999A10-9-135
地租改正施行規則 大藏省事務總裁參議大隈重信 最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。	明治6年7月	(1冊)	9999A10-9-136
第三百拾八號布達(為換會社発行の金券引換ニ付布達) 大藏省事務總裁參議大隈重信→府縣 奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。	明治6年10月3日	(1枚)	9999A10-9-137
外國鑛山學校教則 文部省 表紙に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。	明治6年9月	(1冊)	9999A10-9-138
第二百二十五號布達(幼童家庭ノ教育を助けるため絵画	明治6年10月7日	(1枚)	9999A10-9-139

玩具を製造するに付) 文部省三等出仕正五位田中不二磨 →諸府縣			
(旧松代上田両藩札引換に付觸) 長野縣参事榑崎寛直 奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。	明治6年10月	(1枚)	9999A10-9-140
大日本政府電信取扱規則(第三百號布告) 太政大臣三條實美 表紙左上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。	明治6年6月8日13日	(1冊)	9999A10-9-141
第三百一號布告(華士族家督相續之儀に付布告) 太政大臣三條實美→府縣 奥付には「長野縣御用板 御書物所 岩下伴五郎」とある。	明治6年8月13日	(1枚)	9999A10-9-142
太政官日誌明治六年第四十三號(御布告書 第百十號) 最初のページ右上に朱印が押されている。右に「至同年八月」とあるが、その前の部分は綴じ目で見えない。奥付には「信州長野東横町 長野縣御用版 書林 松木喜右衛門」とある。910-9-143~910-9-150一冊に製本されている。製本された表紙に朱印が押されている。	(明治6年3月18日)	(1冊)	9999A10-9-143
(第百四號・百五號・百六號・百八號・百九號人相書及び手配書) 司法大輔福岡孝弟 第104号は明治6年6月29日、106号は明治6年6月、第105・108・109号は明治6年7月に出されている。最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 書林 長野東横町 松木喜右衛門」とある。	明治6年	(1冊)	9999A10-9-144
(第百四號・百五號・百六號・百八號・百九號人相書及び手配書) 司法大輔福岡孝弟 910-9-144と同じ物。第104号は明治6年6月29日、106号は明治6年6月、第105・108・109号は明治6年7月に出されている。最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 書林 長野東横町 松木喜右衛門」とある。	明治6年	(1冊)	9999A10-9-145
(布告、達、雛形) いくつかのものが綴られている。最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 書林 長野東横町 松木喜右衛門」とある。	明治6年7月	(1冊?)	9999A10-9-146
(第百四號・百五號・百六號・百八號・百九號人相書及び手配書) 司法大輔福岡孝弟 910-9-144と同じ物。第104号は明治6年6月29日、106号は明治6年6月、第105・108・109号は明治6年7月に出されている。最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 書林 長野東横町 松木喜右衛門」とある。	明治6年	(1冊)	9999A10-9-147
(第二百五十二號・二百五十三號・二百五十七號・二百五十八號布告、第百五・百四號布達) 第252号布告は明治6年7月17日太政大臣三條實美によって出されたもの。第253号布告は明治6年7月18日太政大臣三條實美によって出されたもの。第257・258号布告は明治6年7月20日に太政大臣三條實美によって出されたもの。第105・104号布達は明治6年7月25日に文部省三等出仕正五位田中不二磨によって諸府縣へ出されたもの。最初のページ右上に朱印が押されている。第252・253・257・258号布告、第105号布達の奥付には「長野縣御用版 書林 長野東横町 松木喜右衛門」とある。第104号布達の奥付には「長野縣御用版 書林 長野東横町 松木喜右衛門」とある。	明治6年7月	(1冊)	9999A10-9-148
(第二百七十七號・二百七十九號・二百八十五號布告、第百拾八號・百二拾一號・百二十二號・百十九號布達) 第277号布告は明治6年7月31日太政大臣三條實美によって出されたもの。第279号布告は明治6年8月2日太政大臣三條實美によって出されたもの。第285号布告は明治6年8月4日に太政大臣三條實美によって出されたもの。第118号布達は明治6年8月8日大蔵省事務總裁参議大隈重信	明治6年	(1冊)	9999A10-9-149

によって府縣へ出されたもの。第121・119号布達は明治6年8月9日大蔵省事務總裁参議大隈重信によって府縣へ出されたもの。第122号布達は明治6年8月10日大蔵省事務總裁参議大隈重信によって府縣へ出されたもの。最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 書林 長野東横町 松木喜右衛門」とある。			
改訂鎮臺條例(第二百五十五號布告) 太政大臣三條實美表紙に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 書林 長野東横町 松木喜右衛門」とある。	明治6年7月19日	(1冊)	9999A10-9-150
(布達913-9-1~913-9-10一つに綴られている) すべて印刷物。	明治6・7年	1綴(9点+1綴)	9999A13-9-0
(達、第二百二十八號布達) 達は明治6年11月長野縣参事榑崎寛直によって、第128号布達は明治6年10月20日明治6年10月20日に文部省三等出仕正五位田中不二麿によってそれぞれ出されたもの。最初のページ右上に朱印が押されている。右に「自明治六年十一月至明治七年一月」と朱書きあり。奥付には「長野縣御用版 長野横町 松木喜右エ門」とある。	明治6年	1冊	9999A13-9-1
(第三百六十一號・三百六十五號・三百六十六號布告、第三百三十一・百三十二號布達) 第361号布告は明治6年11月4日右大臣岩倉具視によって、第365・366号布告は明治6年11月5日右大臣岩倉具視によって、第131・132号布達は明治6年11月7日文部少輔田中不二麿によって諸府縣へそれぞれ出されたもの。最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 長野横町 松木喜右エ門」とある。	明治6年11月	1冊	9999A13-9-2
(第百三十七號布達、第四百六號布告、第百三十八號・第百三十九號布達) 第137号布達は明治6年12月4日文部少輔田中不二麿によって、第406号布告は明治6年12月8日右大臣岩倉具視によって、第138・139号布達は明治6年12月8日に文部少輔田中不二麿によってそれぞれ出されたもの。最初のページ右上に朱印が押されている。	明治6年12月	1冊	9999A13-9-3
(第三百九拾五號・三百九十六號・三百九十八號・四百三號・四百四號・四百五號布告、人相書) 第395号布告は明治6年11月30日右大臣岩倉具視によって、第396号布告は明治6年12月2日右大臣岩倉具視によって、第398号布告は明治6年12月3日右大臣岩倉具視によって、第403・404号布告は明治6年12月5日右大臣岩倉具視によって、第405号布告は明治6年12月7日右大臣岩倉具視によって、人相書は明治6年12月長野縣参事榑崎寛直によってそれぞれ出されたもの。最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣 活版所」とある。	明治6年	1冊	9999A13-9-4
(人相書) 長野縣参事榑崎寛直 最初のページ右上に朱印が押されている。奥付には「長野縣御用版 長野横町 松木喜右エ門」とある。	明治6年11月	1冊	9999A13-9-5
(第四百二十九布告、布達、人相書) 第429号布告は明治6年12月27日太政大臣三條實美によって、布達は明治7年1月長野縣参事榑崎寛直によって、人相書は明治7年1月10日長野縣参事榑崎寛直によってそれぞれ出されたもの。		1冊	9999A13-9-6
(四百二拾五號布告、四百二拾六號達、家禄奉還ノ者へ資金被下方規則) 太政大臣三條實美→使府縣	明治6年12月27日	1冊	9999A13-9-7
(人相書) 長野縣参事榑崎寛直	明治6年12月	1冊	9999A13-9-8
(第百九十號・第百九十一號・第百九十二號・第百九十三號・第百九十四號・第百九十五號・第百九十六號・第百九十七號・百九十八號布達、第拾六號布達追加、第拾六號布達、第百三十六號布達、達) 第		1冊	9999A13-9-9

<p>190・191号布達は明治6年12月10日司法卿大木喬任によって、第192・193・194号布達は明治6年12月12日司法卿大木喬任によって、第195・196号布達は明治6年12月13日司法卿大木喬任によって、第197号布達は明治6年12月15日司法卿大木喬任によって、第198号布達は明治6年12月15日司法卿大木喬任によって各裁判所・府縣へ、第16号布達追加は明治6年12月14日工部卿伊藤博文によって、第16号布達は明治6年11月30日工部卿伊藤博文によって、第136号布達は明治6年12月4日文部少輔田中不二麻呂によって、達は明治7年長野縣参事榑崎寛直によってそれぞれ出されたもの。最初のページ右上に朱印が押されている。</p>			
(布告、布達等綴) これ以降1冊1冊の境が不明瞭なため一括にした。		1綴	9999A13-9-10
明治九年長野県布達 (9999A13-9とは、別の場所にあったが、ここに編成した)	明治9年	半・1冊	1305-3



## 書状入袋

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

## 書状入袋

## 書状（一点一点と一括）

(満水調書) 朱書あり 端裏書「嘉永七寅年より満水調書」	嘉永7年から元治2年	縦紙・1通	B28-7
証(株式会社信濃銀行の株式売り渡し代金請取に付) 前島元助(印、「尚隆」)→山田莊左衛門殿	明治30年11月8日	縦切紙・1通	1185-1
以書付ヲ奉願上候(田1反5畝4歩の持主変更に付) 右村代儀人丸山善兵衛(印)・同松駕代右衛門(印)・用掛り 市村忠兵衛(印)→長野縣権令榑崎寛直殿	明治10年7月9日	縦切紙・1通	1185-2
仮売仕切(売り渡した荷物代の残金に付) 山田千代吉 →上高井郡坂田村山木屋照作様	(明治)29年1月23日	縦切紙・1通	1185-3
(書状、不納分の夫錢に付) 端裏に「□□田町忠之丞一件 書物」とあり。	10月14日	横切紙・1通	1185-4
(地代金5円50銭の合併筆に付) 1185-5-2～3と一括		縦切紙・1通	1185-5-1
記(券証書換のため、地券証御下げに付) 春日太左衛 門(印)→山田莊左衛門様	9月16日	縦切紙・1通	1185-5-2
奉願候田地売買之事(高井郡東江部村における畑の持 主・売渡人・買請人などに付) 野紙使用。		縦切紙・1通	1185-5-3
(券状書換のため、地券証御下げに付) 村用掛春日太左 衛門(印)→山田莊左衛門様 1185-6-2～3と一括	9月16日	縦切紙・1通	1185-6-1
(地代金15円95銭の合併筆などに付)		縦切紙・1通	1185-6-2
奉願候田地売買之事(高井郡東江部村における田の持 主・売渡人・買請人などに付)		縦切紙・1通	1185-6-3
(封筒) 長野縣長野町六百六十七番地彰真社→下高井郡江 部村山田莊左衛門殿要信	(明治20年)7月18日	封筒・1通	1121
(株金利益見込みなしに付、株主へ連絡のこと) 彰真 社長小出八郎右衛門(印)→山田莊左衛門殿 彰真社の野紙 を使用。	明治20年7月18日	縦切紙・1通	1121-1
郵便はがき(注文の銅鈿出来に付) 長野ます太→高井郡 江部村山田正左衛門様当用	明治20年7月16日	葉書・1通	1122-1-1
郵便はがき(7分金録公債と端利金御渡しに付) 日本 銀行長野代理店田中銀行長野支店(印、「田中銀行」)→下高 井郡江部村山田莊左衛門殿	明治20年6月6日	葉書・1通	1122-2
郵便はがき(新聞代前金請求に付) 東京薬研堀町報知新 聞社→信州下高井郡江部村山田莊左衛門様	明治20年4月20日	葉書・1通	1122-3
郵便はがき(山田莊左衛門・山田文六、明治20年度備 荒金上納に付) 若宮村外八ヶ村戸長役場印→江部村山 田莊左衛門殿	明治20年6月1日	葉書・1通	1122-4
郵便はがき(金録公債元金および端数利金お渡しのた め、証書持参に付、通知のこと) 日本銀行長野代理 店(印、「田中銀行」)→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治20年4月25日	葉書・1通	1122-5
郵便はがき(誌料50銭に付、照会のこと) (印、「東京 日本橋区葺屋町六番地東洋絵画会事務所」)→長野縣下高井 郡江部村十五番地山田莊左衛門様	明治20年3月25日	葉書・1通	1122-6

証(善光寺位牌堂再建寄附金受納に付) 信州善光寺随行坊(印)→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治20年6月29日	横切紙・1通	1130-1
記(20銭請取に付) 南屋伝吉(印、「善光寺権堂南屋伝吉」)→山田様	(明治期)4月23日	堅切紙・1通	1130-2
請取証(油3本の代金請取に付) 牧屋六之助(印、「信州善光寺大門町牧六」)→上	(明治期)4月23日	堅切紙・1通	1130-3
(書状、越後行に付) →米屋権之丞様	(明治期)	葉書・1通	1130-4
郵便はがき(書中見舞) 東京下谷名越弥五郎→山田莊左衛門様	(明治期)12月22日	切継紙・1通	1130-5
(封筒) 東京神田鎌倉町廿二番地玉井治賢→長野縣下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治20年5月6日	封筒・1通	1131
(越後鉄道会社創設に付、加入申込書雛形) →越後鉄道会社創立委員寺崎至殿・笠原克太郎殿 越後国直江津～新潟間の鉄道敷設に関わる請願書および照会書も記されている。	明治20年	堅切紙・1通	1131-1
記(板など代金5円30銭書上) 江沢村国木伊八→山田莊左衛門様	(明治)20年6月	横折紙・1通	1283
(過日、御頼の申御承諾被下候に付) 西原良八→山田莊左衛門様	明治28年1月30日	横切紙・1通	1226
(書状、稀成金詰りにつき差掛り百両御無心) 中村高盛儀十郎(小西屋)→中野富田屋御苗松五郎様	午12月8日	切継紙・1通	A274
(□何卒御かし此者ニ壱駄御渡し可被下候に付) 大徳寺→山田莊左衛門様	3月23日	堅紙・1通	1250
覚(源大夫他出のため、書状預かりに付) 山寺源大夫内中村弥作→山田莊左衛門殿御使中	4月24日	堅切継紙・1通	1180
(封筒) 横濱本町4丁目 山田松三郎→信濃下高井郡江部村山田莊左衛門様 「貳銭」切手あり	6月3日	封筒・	1232
(仮株券は各壱株に申込に付、書状) 松三郎拝→山田兄上様	3日	横切継紙・1通	1232-1
記(松板・杓板認め帳可被下候に付) 古田□□郎→山田本宅改	10月17日	横切紙・1通	1228
(歳暮の挨拶状) 山田→字矢岡重郎治様貴下 尚々書あり。尚々書では、地方高反別の書付写しを渡してほしいと記している。	臘月27日	堅切紙・1通	1119
(書状、御手馬拝借に付) 宇木郡堅造→山田老兄殿侍史	9日	堅切紙・1通	1145
(書状、飯米の津出しなどに付) 前欠・後欠		横切紙・1通	1191
安米皆済勘定(金458両2分2朱375文などに付、書上)		横切紙・1通	1192
(封筒) 表に「地券」とあり		封筒・	1246
(書籍などの写) 「共□会」の青野紙使用、虫損注意		堅紙・1冊	1248
(包紙) 絵図付き		包紙・	1265
洗濯法 青野紙使用		堅紙・1枚	1268
(第十八条山林反別調査に付など手続云々扣のこと)		折紙・1通(3枚)	1272
(更級郡ほか各郡内河川書上) 印刷物		折紙・1通	1280
「明治十年縣会書類」 北第十九大区→ 袋に「縣会数度分日来諸議按不抄」		袋・1袋	1285

書状入袋

(「県庁関係」挟み紙) ノート紙片			1292
(紙片) ノート紙片			1293
新律綱領改定律例合卷(上・中・下) 上・中・下三冊揃一括、「山田」印あり		半・3冊	1294
(金銭出入帳) 帳崩れ		豎半半・1冊	1295
偶評讀今體名家文抄(一～五)五卷三冊揃一括、「山田」印		半・3冊	1296
(運賃ほか金349匁2分など金銭書上)		折紙・1通	1299
(名古屋津島其外入金のこと、御屋敷様御用・御勘定所御用ほか書上) 綴り紐切れ		綴・1綴	1300
(名古屋行での舟代ほか覚など書上)		綴・1綴	1301-1
(正月年礼ほか年頭儀礼など書上) 虫損あり		綴・1綴	1301-2
(居屋敷の内訳書上)		豎紙・1通	B285-1
(分家につき田地譲渡候) 譲渡人久右衛門、親類伊右衛門		豎紙・1通	B285-2
(居屋敷の内訳書上)		豎紙・1通	B285-3
(居屋敷の内訳書上)		豎紙・1通	B285-4
(居屋敷の間取)		豎紙・1通	B285-5
(帰国仕につき) 前欠		豎切紙・1通	C325
(再建并修復等につき) 裏書		豎切紙・1通	C326
(包紙)		包紙・1枚	C334-1
(農業最早ニ相成につき) 富高金右衛門→平井彦七	9月24日	豎切紙・1通	C334-2
(「湯本中」下書)		舗・1枚	C346
(敷地絵図)		舗・1枚	C347
(戊辰戦争への出資に対する対する礼状)→山田莊左衛門	9月10日	切継紙・1通	A203-1
(添状、従四位様帰国につき御礼の品を送付) 謙兵衛→莊左衛門様	12月20日	切継紙・1通	A203-2
(短歌などに付、書留)		豎半半・1冊	1139
(行き倒れ人処理のため、寺へ支払いの代金に付、書上) 山田庄左衛門顕濟代		横半・1冊	1161
(欠番)			1093
「明治七年二月ヨリ来状入」(明治5～7年頃分)(書状を一括して袋に入れたもので、差出人に小林九之丞が多く見られ、請取は山田莊左衛門である。総点数：145件 枝番含めて225点)	(明治5～7年頃分)	1袋・(225点)	1282
「(明治9年分 書状一括)」(大区副区長期の書状で、人相書きなどの役向の書類も含まれる。総点数：43件 枝番含めて153点)	(明治9年分)	1袋・(153点)	1298
(包紙一括 明治24～27年頃分と41～43年頃分 請取書・書状類、受取人のほとんどが山田莊左衛門・奥向であり、衆議院選挙関係を含む 総点数：69件 枝番号含めて297点)	(明治24～27、41～43年分)	1包・(297点)	1270

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
「到来信書入 明治十二年二月ヨリ至明治十四年二月八日 山田」 (袋・990-1～251を一括)			整理番号 990
郵便はがき(2円50銭御入金のこと) 信濃日報社→高井郡江部村山田庄左衛門様	明治13年9月1日	はがき・1通	990-1
郵便はがき(無事着京に付報知のこと) 曾我欽次郎(印)→信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門様至急 はがき上書には「東京下谷区上野桜木町鷺溪医院」ともある	3月7日	はがき・1通	990-2
郵便はがき(滞在延日の儀など出京前伺のつものに付) 東京出石町2丁目5番地伏見屋重兵衛方止宿中沢正直→長野県下信州高井郡江部村山田庄左衛門様	2月19日	はがき・1通	990-3
断簡(長野飛脚小林猪助(印)書上)		切紙・1通	990-4
郵便はがき(畑方地方税収納に付催促のこと) 下高井郡穂高村戸長役場(印)→下高井郡東江部村山田庄左衛門殿要至	9月11日	はがき・1通	990-5
郵便はがき(旧地券還納に付、旧券・印形持参の上出張のこと) 同郡(高井郡)穂高村山崎平右衛門→下高井郡東江部村山田庄左衛門殿貴下	5月20日	はがき・1通	990-6
郵便はがき(無事消光に付御救心のこと) 東京上野桜木町1番地鷺溪医院曾我欽次郎(印)拜→信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門様机下	8月18日	はがき・1通	990-7
郵便はがき(招魂社建築并維持方法協議の儀に付、出頭のこと通知) 長野東之門町招魂社事務所鈴木朝恩、島津忠貞(印)→下高井郡江部村山田庄左衛門殿	明治13年5月21日	はがき・1通	990-8
(書状、借用金に付御有免願) 亘□□→山田貴兄	8月15日	横切紙・1通	990-9
(封筒) □長堂中沢正直→山田庄左衛門様御親展 990-1-1～5は一括、990-10-1-1～2は封筒一括		封筒・1通	990-10-1
(書状、金禄公債証に付) 正直→山田様	6月17日	横切継紙・1通	990-10-1-1
(書状、御融通のこと、幣行役員より確証に付) 正直		横切継紙・1通	990-10-1-2
(書状、柏原村村会議案戸数割の儀に付) 九之丞→庄左衛門様閣下	10月23日	横切継紙・1通	990-10-2
(封筒) 新野村中山寛之助→江部村山田庄左衛門様御親展 990-10-3-1は封筒入		封筒・1通	990-10-3
(書状、昨夕新町より帰宅のこと、今般御法会出張の儀に付) 中山寛之助→山田庄左衛門様侍史 根岸江川製野紙	11月22日	朱野紙・1通	990-10-3-1
(封筒) 横濱吉田方にて綿貫助太郎→信州下高井郡江部村山田松三郎様至急お渡	(明治12年)5月24日	封筒・1通	990-10-4
(書状、当港景況のこと、外国養蚕不作の風聞確説のことなどに付) 助太郎→松三郎様 青野紙に「吉田」・「ヤマニ」	5月24日	青野紙・1通	990-10-4-1
(書状、丸山の件に付、衆力をもって帰店も叶うに付) 990-10-4-1に挟込一括、青野紙に「吉田」・「ヤマニ」		青野紙・3枚	990-10-4-2
(書状、米受取方に付、金員入用の儀に付) 天神堂山田理兵衛→江部山田松三郎様 990-10-5-1～16折畳一括	12月12日	横切継紙・1通	990-10-5-1
(書状、証書出来に付証書の金額貸し渡しのこと) 天	6月28日	横切継紙・1通	990-10-5-2

## 書状入袋

神堂村佐藤方山田理兵衛→江部村山田松三郎様			
(書状、飯山町にて出火に付家数24・5軒焼失のことなど上申) 天神堂村佐藤方ニテ山田理兵衛→江部村山田松三郎様	明治12年12月19日	横切継紙・1通	990-10-5-3
(書状、野坂田村戸長役場へ出張種々談判に付、吉村清蔵金千円借用申し入れに付) 山田理兵衛→山田松三郎様机下	12月6日	横切継紙・1通	990-10-5-4
(書状、山口云々の件好都合に付、地所買入取り極めのことなど上申) 山田理兵衛→山田松三郎様	12月24日	横切継紙・1通	990-10-5-5
(書状、天神堂村佐藤次郎左衛門より金子200円借用願に付) 天神堂村にて山田理兵衛→山田松三郎様尊下	6月26日	横切継紙・1通	990-10-5-6
(書状、貸金証書二通入手に付) 山田理兵衛→山田松三郎様貴下	24日	横切継紙・1通	990-10-5-7
(書状、安田村出荷表取調に付、2俵不足のため御地蔵入帳御調べのこと願) 山田理兵衛→山田本宅蔵方御中	12月23日	横切紙・1通	990-10-5-8
(書状、当地米価大いに引下がりに付) 理兵衛→山田松三郎様	12月9日	横切継紙・1通	990-10-5-9
(書状、佐藤弥次兵衛殿・安田次郎左衛門殿渡し分の証書2通受取のこと) 天神堂山田理兵衛→江部村山田松三郎様	11月30日	横切継紙・1通	990-10-5-10
(書状、天神堂村にて少々地所買入に付ほか) 天神堂佐藤方(山田)理兵衛→江部村山田松三郎様	12月22日	横切継紙・1通	990-10-5-11
(書状、旧安田次郎左衛門他へ貸渡金の儀に付本月利子分急度相納めと談事置きのことなど) 山田理兵衛→山田松三郎様	12月26日	横切継紙・1通	990-10-5-12
(書状、天神堂村益々証書入手に付) 天神堂出張先山田理兵衛→江部村山田松三郎様貴下	11月28日	横切継紙・1通	990-10-5-13
(書状、貸金証書五通正に受取に付) 山田理兵衛→山田松三郎様	12月23日	横切継紙・1通	990-10-5-14
(書状、穂高村山崎平右衛門他金員借用に付など上申のこと) 山田理兵衛→山田松三郎様	11月27日	横切継紙・1通	990-10-5-15
(書状、天神堂村買入地三ヶ所小作取極に付など) 理兵衛→山田本宅御取次衆中		横切継紙・1通	990-10-5-16
(湯田中村湯本ノ八借用一件に付、證書認め持参のこと) 文六→山田庄左衛門様	4月2日	横切紙・1通	990-11
(封筒) 柏原中村六左衛門→江部山田熊太郎様、理兵衛様御回報 990-12-1は封筒入		封筒・1通	990-12
(書状、巖君廿一日頃まで滞留の趣御報知のこと) 中村六左衛門→山田熊太郎様、同理兵衛様、各御前		横切紙・1通	990-12-1
(封筒) 中村六左衛門→山田様御親展 990-13-1は封筒入		封筒・1通	990-13
口上(手代作次郎へ金員貸渡の儀正に入手に付) 中村六左衛門→山田様明治13年	明治13年11月26日	横切紙・1通	990-13-1
(封筒) 上水内郡柏原駅中村六左衛門→下高井郡江部村山田庄左衛門様親展 990-14-1は封筒入明治13年	明治13年12月18日	封筒・1通	990-14
(書状、金融の儀に付) 中村六左衛門→山田様御前明治13年	明治13年12月18日	横切継紙・1通	990-14-1

(封筒) 上水内郡赤塩村瀧澤覚重郎→長野県下高井郡江部村山田荘左衛門殿御親展 990-15-1は封筒入明治13年	明治13年10月19日	封筒・1通	990-15
(書状、金利上納の儀に付日延べのこと) 受人瀧澤覚重郎→山田荘左衛門殿明治13年	明治13年10月19日	横切継紙・1通	990-15-1
(封筒) 長野栄町北澤久右衛門→東江部村山田荘左衛門様尊下 990-16-1~2は封筒一括	12月18日	封筒・1通	990-16
(書状、金500円拝借願に付) 北澤久右衛門→山田荘左衛門様尊下	12月18日	横切継紙・1通	990-16-1
再伸(本文拝借願の趣に付聞き届けのこと懇願) 北澤久右衛門→山田様	12月20日	横切紙・1通	990-16-2
(書状、契約の金員の儀に付元金500円返却日延べ願) 駒沢貞水→山田荘左衛門様	10月31日	横切継紙・1通	990-17
(封筒) 長野栄町北澤久右衛門→江部村山田松三郎様親展 990-18-1~2は封筒一括	10月9日	封筒・1通	990-18
拝啓(調法の品沢山頂戴の儀に付) 北澤久右衛門→山田松三郎様	10月8日	横切継紙・1通	990-18-1
再伸(醸造税改正の儀に付北越筋一割方引き上げ売り出しのこと報知など) 北澤洋→山田様	8月8日	横切継紙・1通	990-18-2
(封筒) 間山小林九之丞→江部山田荘左衛門様親展 990-19-1は封筒入		封筒・1通	990-19
拝啓(村内の事件種々多忙のため他出仕兼ねの儀に付) 小林洋→山田様	9月16日	横切紙・1通	990-19-1
(書状、世話人一統会議のため出席のこと願) 大徳寺→江部山田庄左衛門様	10月5日	横切紙・1通	990-20
(包紙) 井上村坂本蔵之助→江部村山田荘左衛門様 990-21-1は包紙入		横切紙・1通	990-21
(書状、質素第一の心得に付ほか) 坂本ひて→山田庄左衛門様	10月21日	横切継紙・1通	990-21-1
(封筒) 下水内郡長野町表柱野町山本屋長五郎→信濃国高井郡江部村山田庄左衛門様親展 990-22-1は封筒入		封筒・1通	990-22
(書状、金50円拝借願に付) 柱野町師田長五郎→山田熊太郎様	11月9日	横切継紙・1通	990-22-1
(封筒) 長野之善町463番地清水良之→高井郡江部村山田荘左衛門様執事御中平信 990-23-1は封筒入	2月30日	封筒・1通	990-23
(書状、佐久間象山先生の青緑山水小物13円にて払い下げの儀に付) 志□良□行→山田様執事御中	30日	横切紙・1通	990-23-1
→990-24-1は封筒入		封筒・1通	990-24
(書状、夏秋両度御講中配札の儀に付) 武井磨→山田荘左衛門様	9月17日	横切継紙・1通	990-24-1
(書状、公債証書御引取などに付) 石黒勘助拝→山田理右衛門様 上書に「高井郡江部村山田理右衛門様玉展 飯山ヨリ石黒勘助(印)」あり	3月26日	横切継紙・1通	990-25
(封筒) 従長野金四郎方山田松三郎→江部村山田理兵衛様「錦國堂」印の封筒、990-26-1~2は封筒一括	15日	封筒・1通	990-26
(書状、病の儀に付小林先生殊の外親切のこと、金員10円ご送付願いのこと) 松三郎→山田御兄上様		横切紙・1通	990-26-1

## 書状入袋

(心憂之無様に病気症状など報知)		横切紙・1通	990-26-2
(封筒) 間山村小林九之丞→江部村山田莊左衛門様 990-27-1は封筒入、封筒上書「金貳百五十拾円添」		封筒・1通	990-27
拝啓(山代金の内金250円差上に付) 小林九之丞→山田莊左衛門様閣下	1月31日	横切継紙・1通	990-27-1
(封筒) 間山小林九之丞→江部山田莊左衛門様親展 990-28-1は封筒入		封筒・1通	990-28
拝啓(中野より出張のつもり出向の処大島君に行合に付帰宅のこと、徴兵事件の儀に付) 小林九之丞→山田莊左衛門様	4月28日	横切継紙・1通	990-28-1
(封筒) 名護屋鎮台山田浦次郎(印)→本家山田伯父上様呈膝下 990-29-1は封筒入	1月2日	封筒・1通	990-29
(書状、年賀新年の挨拶) 山田浦次郎(印)再拝→山田伯父君呈膝下	(明治)13年1月1日	朱野紙・1通	990-29-1
(封筒) 坂本弘之助→山田莊左衛門様御中 990-30-1は封筒入		封筒・1通	990-30
(書状、新年嘉祥の挨拶) 三加本→家満田様御中	1月30日	横切紙・1通	990-30-1
(封筒) 横濱より平信野村山宮崎町拾六番地三号綿貫助太郎→信州下高井郡江部村山田莊左衛門様大至急用 990-31-1は封筒入	(明治)12年6月1日	封筒・1通	990-31
(書状、上田から松代までの行程に付) 綿貫考造→山田御老君様	(明治)12年6月1日	横切継紙・1通	990-31-1
(封筒) 浅草御歩町篠田升□→山田庄左衛門様御申上 990-32-1は封筒入		封筒・1通	990-32
(書状、新年の挨拶) 志の田升より→山田庄左衛門様御申上	1月30日	横切継紙・1通	990-32-1
(封筒) 上水内郡柏原駅中村利周→下高井郡江部村山田莊左衛門様親展 990-33-1～3は封筒一括、月日は封筒書込の投函日より採用	5月4日	封筒・1通	990-33
拝啓(在職中勉勵のため御賞金拝戴に付) 中村利周→山田莊左衛門様机下 990-33-2～3は折畳一括	5月3日	横切紙・1通	990-33-1
(小林君方へ指出の一書同様の事を郵便を以て申し上げるに付)→山田様机下		横切紙・1通	990-33-2
副啓(本文の趣山田文六様外御親族様方へも御通知に付)		横切紙・1通	990-33-3
(封筒) 中沢正直→山田莊左衛門様 990-34-1は封筒入、封筒は東京横濱製紙分社印刷のもの		封筒・1通	990-34
(書状、金禄公債利子請取方日割に付) 正直→山田老台	5月4日	横切継紙・1通	990-34-1
(書状、相場など種々助太郎より宜しく申上に付) 横濱綿貫考造→江部村山田松三郎様尊机下	3月16日	横切紙・1通	990-35
(封筒) 牟礼ヨリ小川弥右衛門→江部村山田莊左衛門様 990-36-1は封筒入		封筒・1通	990-36
(書状、拝借金500円返済に付) 小川弥右衛門→山田様	4月5日	朱野紙・1通	990-36-1
(封筒) 中野松川大島善之助→江部村山田庄左衛門様 990-37-1は封筒入、封筒に「歳末御動止窺」、「粗品相添」とある		封筒・1通	990-37
(書状、歳末御動止伺に付) 大島善之助→山田尊老台	12月28日	横切継紙・1通	990-37-1

(封筒) 平穩村湯田中湯本五郎治殿方柳沢玄吉、小川千代吉 →下高井郡東江部村山田松三郎様平安用事 封筒崩れ、 990-38-1～2 は一括	7月7日	横切紙・1通	990-38-1
(書状、小閑を得て摂養に付) 柳沢、小川→	7月7日	横切紙・1通	990-38-2
(封筒) 上高井郡須坂号駒澤貞永→下高井郡江部村山田莊左 衛門様至急用シ親展 990-39-1は封筒入	明治13年11月1日	封筒・1通	990-39
(書状、十郎母病死に付) 駒澤貞永(印、「駒澤」)拝→山田 莊左衛門様親展	11月1日	横継野紙・1通	990-39-1
(封筒) 柏原中村六左衛門→江部山田莊左衛門様御親展 990-40-1は封筒入、「別ニ金壱円三拾六錢七厘、菰包二個相 添」		封筒・1通	990-40
(書状、越後筋にて買入物等の手繰についての拝借金 の内5月限返済の分に付ほか、) 中村六左衛門→山田 様机下	明治13年6月6日	横切継紙・1通	990-40-1
(書状、金録公債利子日限に付) 新役所ニテ同熊太郎→ 山田莊左衛門様 親展	5月14日	横切継紙・1通	990-41
記(ケフクシ、煉瓦他代金請取に付) 小丸屋善兵衛 (印、「信高中野小丸善兵衛」)→山田様	7月7日	横切継紙・1通	990-42
(封筒) 小布施市村忠助拝→江部山田熊太郎様 平信要行 990-43-1は封筒入	10月29日	封筒・1通	990-43
(書状、亡父三回忌法用に付) 市村忠助拝→山田熊太郎 様 机下	10月29日	横切継紙・1通	990-43-1
(書状、上等品之儀は精々入念申越などのことにつき) 町田萬四郎→山田様	11月21日	横切継野紙・1通	990-44
(書状、紙直段に付) 笠井長三郎(印、「水内郡権堂村笠井 長三郎」)→下高井郡江部村山田莊左衛門様 尊下	辰1月4日	横切継紙・1通	990-45
(封筒) 白鶴本村、笠井長三郎(印、「笠井」)→東江部ノ村山 田莊左衛門様 尊下 990-46-1は封筒入	11年6月16日	封筒・1通	990-46
(書状、金員お渡し願) 笠井長三郎→山田様、御取次中様	11年6月16日	横切継野紙・1通	990-46-1
口演(拝借願之儀ニ付御出張願) 長の岳ニ而丸山要左衛 門→江部村山田庄左衛門様 貴下	5月12日	横切紙・1通	990-47
(封筒) 長野栄町北澤久右衛門→高井郡江部村山田莊左衛門 様 平安書 990-48-1は封筒入	9月7日	封筒・1通	990-48
(書状、コレラ病及び類似病患者無御座に付安心すべ きこと) 北澤久右衛門→山田莊左衛門様、御家内中様	辰9月7日	横切継紙・1通	990-48-1
(封筒) 栄町北澤久右衛門→江部山田莊左衛門様 親展 990-49-1は封筒入	8月13日	封筒・1通	990-49
(書状、新味淋発売に付一樽恭呈のこと) 北澤久右衛門 →山田莊左衛門様、御家内中	8月13日	横切紙・1通	990-49-1
(封筒) 長野より、山口桑太→高井郡江部村山田莊左衛門様 拝答 990-50-1は封筒入	2月15日	封筒・1通	990-50
(書状、金録値段につき) 山口桑太拝→山田莊左衛門様 拝下	卯2月15日	横切継紙・1通	990-50-1
(封筒) 吉田店ニ而綿貫助太郎→信州下高井郡江部村山田松 三郎様 平安急用 990-51-1は封筒入	3月31日	封筒・1通	990-51
(書状、主人同道ニ而御地へ出張につき日限決まり次 第お知らせのこと) 劣弟助拝→松波老人 呈臺下	3月31日	野紙・2通	990-51-1



## 書状入袋

(封筒) 中村利周→山田莊左衛門様 進展 990-52-1は封筒入		封筒・1通	990-52
(書状、大井君御出向につき) 中村利周→山田様 机下	2月25日	横切継紙・1通	990-52-1
(封筒) 中野近山橋右衛門(印、「近山」)→江部村山田理兵衛様 呈机 990-53-1は封筒入	5月3日	封筒・1通	990-53
(書状、金式百円拝借につき) 近山橋右衛門(印、「近山」)→代理山田理兵衛様	明治11年5月3日	横切紙・1通	990-53-1
(書状、水代船賃御渡し他願) 牟礼小川弥右衛門→江部山田莊左衛門様	明治12年7月8日	横切継野紙・1通	990-54
(封筒) 下水内郡飯山町足立誠→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 990-55-1は封筒入		封筒・1通	990-55
(書状、役場及戸長調印につき) 足立誠→山田莊左衛門様	12月26日	野紙・1通	990-55-1
(封筒) 郡役所小林九之丞→山田莊左衛門様 990-56-1は封筒入	3月12日	封筒・1通	990-56
拝啓(会所引継書類に付) 小林九之丞→山田莊左衛門様	3月11日	野紙・1通	990-56-1
(封筒) 上水内郡柏原中村利周→下高井郡江部山田莊左衛門様 親展 990-57-1、990-57-2は封筒入	12年9月12日	封筒・1通	990-57
(書状、会議規則并議案原稿拝借願ほか) 中村利周→山田様 机下	9月12日	横切継紙・1通	990-57-1
(書状、金融之義につき) 中村利周→山田莊左衛門様	12月6日	横切継紙・1通	990-57-2
(封筒) 長野栄町北澤久右衛門→東江部郡山田莊左衛門様 990-58-1は封筒入	5月20日	封筒・1通	990-58
(書状、拝借金元利持通につき) 北澤久右衛門→山田莊左衛門様 尊下	5月20日	横切紙・1通	990-58-1
(封筒) 長野栄町北澤久右衛門→江部郡山田莊左衛門様 尊下 990-59-1は封筒入	12月25日	封筒・1通	990-59
(書状、金円御貸渡願) 北澤久右衛門→山田莊左衛門様 尊下	12月24日	横切継紙・1通	990-59-1
(封筒) 従間山村、小林永太郎→江部郡山田松三郎様 御親展 990-60-1は封筒入	1月27日	封筒・1通	990-60
(書状、小作相場之義につき) 小林永太郎→山田松三郎様 呈口閣下	1月27日	横切継紙・1通	990-60-1
(封筒) 従江部→上高井山田温泉松本屋御止宿山田莊左衛門様行 無事平安 990-61-1、990-61-2は封筒入	11月14日	封筒・1通	990-61
舌換(贈答品のこと他問合につき) 尊父へ松三郎再拜→山田御父上様 貴下	11月14日	横切継紙・1通	990-61-1
副白(中村小林の両氏へ宜敷御伝のこと) 在宅兩人→御父上様 座下 990-61-1に巻き込み	14日	横切紙・1通	990-61-2
(書状、打合なく近辺穿鑿見付次第申し上げること) みお拝→山田様貴酬	8月1日	横切継野紙・1通	990-62
覚(牛肉代請取) 李兵衛→上	1月29日	横切紙・1通	990-63
(封筒) 間山村小林九之丞、中野近山氏ノ使ニ附ス→下高井郡江部村山田莊左衛門様 親拆 990-64-1は封筒入	7月3日	封筒・1通	990-64
肅啓(郡役所合併に付) 小林九之丞→山田莊左衛門様	7月2日	横切継紙・1通	990-64-1
(書状、沸騰散頂戴願) 中山実之助→山田松三郎様机下	3日	横切紙・1通	990-65

(封筒) 中村利周→下高井郡江部村山田莊左衛門様 宅親展 990-66-1は封筒入	12年6月24日	封筒・1通	990-66
(書状、本月中は不奉伺、御様子報知願) 中村利周→山田様 机下	6月24日	横切紙・1通	990-66-1
(封筒) 長野栄町北澤久右衛門→江部山田莊左衛門様 御直披 990-67-1は封筒入	12月18日	封筒・1通	990-67
(書状、酒高直につき金拝借願) 北澤久右衛門→山田莊左衛門様 尊下	12月18日	横切継紙・1通	990-67-1
(達書、下水内郡上今井村贖米代ノ義ニ付山田莊左衛門出張すべきこと) 長野県庁(印、「長野縣」)→下高井郡江部村戸長役場	明治13年1月14日	横切紙・1通	990-68
(書状、荷物の礼として扇一本おくること) 麴池省三→山田様 呈臺下	9月11日	横切継紙・1通	990-69
(封筒) 山田浦次朗→御本家山田伯父様 奉閣下 990-70-1は封筒入	1月2日	封筒・1通	990-70
(書状、開歳の挨拶) 浦次朗拝→山田伯父様 呈閣下	1月2日	横切継紙・1通	990-70-1
(書状、拝借金利負につき) 中村六左衛門→山田莊左衛門様 机下	明治12年6月28日	横切紙・1通	990-71
(書状、学校新築ニテ多忙につき拝眉のこと) 永太郎拝→山田松三郎様 机下	8月5日	横切継紙・1通	990-72
(書状、拝借金利子上納他につき) 厦山尚光□→山田理兵衛様	12月30日	横切紙・1通	990-73-1
記(酒カス代) 尚光→理兵衛様 990-73-1に巻き込み	12月30日	横切紙・1通	990-73-2
(封筒) 坂本→山田様 990-74-1は封筒入		封筒・1通	990-74
(書状、着物遣わし願いなど) 坂もとすえ→山田様	11月21日	横切継紙・1通	990-74-1
(書状、帰省につきお伺い) 貴瀬堂□→山田様 尊下	8月12日	横切紙・1通	990-75
(封筒) 中山実之助拝→山田松三郎様 閣下 990-76-1は封筒入		封筒・1通	990-76
(書状、報知新聞借覧願) 中山実拝→山田老兄 閣下	2月23日	横切継紙・1通	990-76-1
(封筒) 柏原中村六左衛門→江部山田莊左衛門様 親展 990-77-1は封筒入		封筒・1通	990-77
肅啓(帰郷につき、面謁一件、御目作のことほか) 中村六左衛門→山田莊左衛門様 机下	明治13年4月25日	横切継紙・1通	990-77-1
(封筒) 長野鶴賀村栄屋ゆき方正宿更級久衛→江部村ノ山田庄左衛門様 親展 990-78-1は封筒入	6月30日	封筒・1通	990-78
(書状、金百円拝借の期限延期願) 更級久衛(印、「更級」)→山田庄左衛門様	6月30日	朱野紙・1通	990-78-1
(封筒) 戸山武井磨→江部村御世話人山田莊左衛門様 参合御中 990-79-1は封筒入		封筒・1通	990-79
(書状、改年の挨拶) 武井磨→山田莊左衛門様 参合御中	1月吉日	折紙・1通	990-79-1
(封筒) 東京浅草東三□三番地岡野方小林→長野県下高井郡東江部村山田莊左衛門様 侍史 990-80-1は封筒入、下部破損	13年1月10日	封筒・1通	990-80
(書状、新年の挨拶と新聞社入社のこと) 一宿→山田老兄さま	1月9日	横切継紙・1通	990-80-1

書状入袋

(封筒) 野毛山宮崎町16番地綿貫助太郎→信州高井郡江部村山田松三郎様平静 990-81-1~6は封筒一括	(明治)11年10月26日	封筒・1通	990-81
(書状、東京表神保町東京府脚気病院ほか脚気療養のこと、洋銀相場非常に騰貴のこと) 綿貫助太郎→松波御兄大人足下 青罫紙「(ヤマ記号に二)吉田」、990-81-1に990-81-2~6挟込一括	10月26日	青罫紙・5通	990-81-1
郵便はがき(洋銀相場非常に変を現すに付) 金港(印、「横濱」)綿貫助太郎(印、「ヤマ二蔵方」)→信州高井郡江部村山田松三郎様足下	(明治)11年10月28日	はがき・1通	990-81-2
(書状、取引相場報告のこと、洋銀相場報告のこと) →松波御兄足下青罫紙「(〇にキ)澁澤」	5月27日	青罫紙・1通	990-81-3
(書状、生糸景況など横濱の様子報告のこと) 栗田太助拝→山田松波先生閣下	6月5日	横切縦紙・1通	990-81-4
郵便はがき(主人東京発決定に付、行程のこと報告) 横はま綿貫助太郎→信州高井郡江部村山田松三郎様	(明治)12年5月31日	はがき・1通	990-81-5
(封筒) 吉田店綿貫助太郎→信州高井郡江部村山田松三郎様至急 990-81-6-1は封筒入	(明治)12年5月26日	封筒・1通	990-81-6
(書状、主人信州へ出張日限決定に付報知のこと) 助太郎拝→松波賢兄足下青罫紙「(ヤマ記号に二)吉田」		青罫紙・1通	990-81-6-1
(封筒) 都住村相場義七→江部村山田庄左衛門様至急 990-82-1は封筒入	明治13年4月12日	封筒・1通	990-82
(書状、秋葉社祭礼のご案内に付、日延べのこと願) 相場義七(印、「相場」)→山田庄左衛門様	明治13年4月12日	横切紙・1通	990-82-1
(封筒) 牟礼小川千代吉→信州高井郡江部村山田庄左衛門様 990-83-1は包紙入	2月22日	封筒・1通	990-83
(書状、出火烈風にて東西延焼のため戸数四十戸程焼失のこと、拙宅は微少の焼失に付) 小川千代吉→山田様御中	2月20日	堅切紙・1通	990-83-1
(封筒) 曾我新造→山田庄左衛門様 990-84-1は封筒入		封筒・1通	990-84
(書状、今日参殿仕る心得の処竹原村より未だ挨拶無きに付) 曾我新造→山田様	2月26日	堅切紙・1通	990-84-1
(封筒) 柏原中村利周→中野御出先山田庄左衛門様御親展 990-85-1は封筒入		封筒・1通	990-85
(書状、昨冬以来の病気のため未だ難儀のこと、長左衛門へ御内話の一条概略承知のこと、病絶次第罷出心算に付) 中村利周→山田庄左衛門様	3月19日	横切縦紙・1通	990-85-1
(封筒) 間山小林九之丞→江部山田庄左衛門様御回答 990-86-1は封筒入		封筒・1通	990-86
(書状、小作一件云々の儀に付、地所返還の趣のことなど回答) 小林拝→山田御氏様	3月11日	横切縦紙・1通	990-86-1
郵便はがき(今般山林原野旧券還納に付、原野所持の券状及び山崎六兵衛名前の分本月十四日戸長役場まで持参のこと) 戸長役場(印)→高井郡江部村山田庄左衛門殿「明治十三年一月八日附はがきを以穂高村戸長役場より一月十四日持参致し候株申越候に付遣し申候」ほか原野地価金など書上の貼紙あり	明治13年1月8日	はがき・1通	990-87
(封筒) 亘七坂町駒澤貞永→江部村山田庄左衛門様御親展 990-88-1は封筒入		封筒・1通	990-88
(書状、参館御厚情の礼に付ほか) 駒澤貞永→山田庄左	辰4月10日	朱罫紙・1通	990-88-1

衛門様御被下			
(封筒) 井上村坂本亀之助→東江部村山田荘左衛門様信書 990-89-1は封筒入	4月8日	封筒・1通	990-89
(書状、おすて婚姻の儀に付御厚情の礼) 坂もと→山田 荘左衛門様御机下	4月8日	横切継紙・1通	990-89-1
(封筒) 中野栄町北澤久右衛門→江部村山田荘左衛門様尊 下 990-90-1～2は封筒一括	4月5日	封筒・1通	990-90
(書状、地所一件の儀に付、様子承知仕り度伺いのこ と) 北澤久右衛門→山田荘左衛門様尊下 990-90-1に990- 90-2は挟込一括	4月5日	横切継紙・1通	990-90-1
再伸(本月五日飛脚出立の際不得の事があり本日まで 日延べに付お詫びのこと、尊家の一件新聞に記載に 付新聞一枚相添えのこと) 北澤久右衛門→山田荘左衛 門様尊下	4月7日	横切継紙・1通	990-90-2
(封筒) 山田温泉より→宅一同へ 990-90-1は封筒入		封筒・1通	990-91
(十七日1人遣しのこと、ケレー酒持参のことなど)		青野紙・1通	990-91-1
(書状、御厚情への恩謝に付) 泉龍寺住職渡辺作藏→山 田荘左衛門様	6月25日	横継紙・1通	990-92
(封筒) 間山村小林九之丞→江部村山田荘左衛門様親展 990-93-1は封筒入		封筒・1通	990-93
(書状、徴税事務・庶務事務伺いのこと、熊太郎様県 会議員に相定まりに付ほか) 小林九之丞→山田大君	2月21日	横継紙・1通	990-93-1
(封筒) 長野彰真社□□吉左衛門(印、「彰真社」)→江部村山 田荘左衛門様親展 封筒のみ、封筒に「一六六」と朱書有り	5月4日	封筒・1通	990-94-1
(封筒) 横濱より平信、野毛山宮崎町16番地綿貫助太郎→信 州高井郡江部村山田荘左衛門様至急用封筒のみ	12月10日	封筒・1通	990-94-2
(封筒) 横濱より平信、野毛山宮崎町第五十一番地百四十一 番綿貫助太郎→信州下高井郡江部村山田荘左衛門様至急用 990-95-1～2は封筒一括	明治13年辰1月10日	封筒・1通	990-95
(書状、生糸繭還会褒賞授与式などに付) 綿貫孝造→山 田御老君	12月10日	横切継紙・1通	990-95-1
(書状、年賀挨拶ほか) 綿貫助太郎、碧衛拜→山田尊老君	(明治)13年辰1月10日	横切継紙・1通	990-95-2
(書状、今般弊社改正株主承諾の上申込書送付に付) 長野日々新聞改正前起人嶋津忠貞、中野住之進→山田荘左 衛門様	8月3日	堅切紙・1通	990-96
(封筒) 上水内郡柏原村中村六左衛門→下高井郡江部村山田 荘左衛門様親展 990-97-1～2は封筒一括	明治13年5月16日	封筒・1通	990-97
(書状、過日来訪見舞いへの礼のこと、吉田・新保両 村小作事件などに付) 中村六左衛門再拜→山田様	明治13年5月15日	横切継紙・1通	990-97-1
(書状、松野君東帰承知に付) 中村再拜→山田様机下		横切紙・1通	990-97-2
(封筒) 長野近山ニテ小林九之丞→下高井郡江部村山田荘左 衛門様親展 990-98-1は封筒入	6月28日	封筒・1通	990-98
(書状、県会の儀に付) 小林拜→山田大君	6月28日	横切継紙・1通	990-98-1
(封筒) 上高井郡山田温泉松木屋良右衛門→下高井郡江部村 山田荘左衛門様尊下 990-99-1は封筒入	10月1日	封筒・1通	990-99
(書状、冷氣相増候に付御機嫌伺いのこと) 山田湯松木	10月1日	横切紙・1通	990-99-1

## 書状入袋

屋良右衛門拝→江部村山田大旦那様			
(封筒) 旧北第十九大区東区扱所下高井郡戸狩村戸長役場→ 旧北十九大区副区長山田莊左衛門殿 990-100-1は封筒入		封筒・1通	990-100
(書状、民費精算などの回章の儀に付) 旧北第十九大区 東区扱所下高井郡戸狩村戸長役場詰筆生宮崎嘉傳治(印)→ 旧北十九大区副区長山田莊左衛門殿	(明治)12年11月6日	朱罫紙・1通	990-100-1
記(座敷屋根坪などの代金19円8錢書上) 旧赤岩町屋根 師白石仙七→江部村山田様	7月28日	横切紙・1通	990-101
(封筒) 從霞ヶ関山田浦次郎(印)→□浅草八幡町□番地篠田 阿竹様方山田松三郎様至急平信 990-102-1は封筒入、封筒 上部破損	5月20日	封筒・1通	990-102
(書状、至急霞ヶ関まで御足労に付) 馨拝→松波親□□ 格下	5月20日	横切継紙・1通	990-102-1
郵便はがき(新年慶愛の挨拶) 東京尾張町壱丁目壱番地 日報社社長福地源一郎、仮編集長中林潔、印刷人岸田吟香 →信州下高井郡江部村山田庄左衛門様	明治13年1月2日	はがき・1通	990-104
(封筒) 上水内郡上須賀村栄屋せき方止宿更科久衛→下高井 郡江部村山田庄左衛門様緊要 990-105-1は封筒入		封筒・1通	990-105
(書状、去る月中丸山氏より委曲協議の儀に付) 更科 久衛→山田庄左衛門様	6月29日	朱罫紙・1通	990-105-1
(包紙) 豊御高橋吉太郎→江部御出張藤澤對治郎様 990- 106-1は包紙入	4月25日	包紙・1通	990-106
(書状、御書翰拝見し直様参上仕度処今日用事のため 参上致し難きに付) 高橋吉太郎→藤澤對治郎様	4月25日	横切紙・1通	990-106-1
(書状、下酒屋婚姻の儀などに付) 牟礼村小川弥右衛門 →江部村山田様要用	4月23日	横切継紙・1通	990-107
(広告、真製海苔時雨煮の儀に付) 御進物御土産等入念 奉調進候、品川新宿坂大村屋庄兵衛(印)		切紙・1通	990-108
(封筒) 長野縣下上高井郡須坂町駒澤貞永拝→長野縣下下高 井郡東江部村二而山田莊左衛門様要用親展	(明治)12年11月4日	封筒・1通	990-109
(書状、過日御馳走の儀萬謝のこと、勤録公債証書売 買の儀に付) 駒澤貞永拝→山田莊左衛門様	11月4日	朱罫紙・1通	990-109-1
(封筒) 下高井郡天天堂村佐藤善二郎方ニテ山田理兵衛→下 高井郡江部村山田松三郎様 封筒のみ、封筒に「与兵衛ニ 附ス」		封筒・1通	990-110
(封筒) 在宅一同→山田温泉山田莊左衛門様 990-111-1は封 筒入	11月13日	封筒・1通	990-111
(書状、小作初蔵入の儀など報知の上御様子伺いに付) 在宅一同→父上様	11月13日	横切継紙・1通	990-111-1
(封筒) 長野栄町北澤久右衛門→東江部村山田莊左衛門様尊 下親展 封筒のみ	(明治)13年12月20日	封筒・1通	990-112
(口演、梵鐘落成に付撞初のこと報知) 旧高石村泉龍寺 →江部村山田庄左衛門様要用事	7月10日	朱罫紙・1通	990-113
(封筒) 上水内郡柏原村中村六左衛門→下高井郡江部村山田 莊左衛門様乞親展 990-114-1は封筒入	明治13年12月30日	封筒・1通	990-114
(書状、予てからの金融の儀融通に付感謝のこと) 中 村六左衛門→山田庄左衛門様	明治13年12月30日	横切継紙・1通	990-114-1

(書状、戸長割の原案の儀に付御回答のこと) 間山小林九之丞→江部山田莊左衛門様御回答	10月23日	横切継紙・1通	990-115
(封筒) 上水内郡柏原村中村六左衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門様親展 990-116-1は封筒入、封筒上部破損	6月3日	封筒・1通	990-116
(書状、方今大蔵新築のため延引願に付) 中村六左衛門→山田様几下	明治13年6月2日	横切継紙・1通	990-116-1
(封筒) 岩舟村小古井新兵衛→東江部山田莊左衛門殿閣下 990-117-1は封筒入	1月31日	封筒・1通	990-117
(書状、明治十二年度小作収納定額金の儀に付) 小古井新兵衛→山田旦那様足下	1月31日	横切罫紙・1通	990-117-1
(書状、旧大区会所精算勘定の儀などに付) 間山小林九之丞→江部村山田莊左衛門様親展	11月2日	横切継紙・1通	990-118
(封筒) 柏原中村利周→江部山田莊左衛門様 990-119-1は封筒入、封筒に「金八百円添」手代作次郎ニ附上	(明治)12年6月1日	封筒・1通	990-119
(書状、客歳拝借金の内八百円本日返済のに付御入手のこと) 中村利周、中村利貞→山田様几下	6月1日	横切継紙・1通	990-119-1
(封筒) 下高井郡天堂村佐藤善二郎方止宿山田理兵衛→下高井郡江部村山田松三郎様御親展 封筒のみ、封筒に「穂高村山崎平右衛門殿使佐藤弥兵衛殿へ附ス」	11月27日	封筒・1通	990-120
(書状、命徳寺敷石修営のため、人夫招集・二輪借用に付) 命徳寺住職宮本通順(印、「宮本」)→江部山田様執事御中	9月15日	横継罫紙・1通	990-121
(封筒) 長野栄町北澤久右衛門平信→山田莊左衛門様尊下 122-1～2は封筒入り	2月11日	封筒・1通	990-122
(書状、妻持病のため、1月下旬より草臥れに付) 北沢久右衛門→山田莊左衛門様御家族様中	2月11日	横切紙・1通	990-122-1
(妻の持病、快方に付、再伸) 北沢→山田様		横切紙・1通	990-122-2
(封筒) 上水内郡柏原駅中村六左衛門→高井郡江部村山田莊左衛門様親展 123-1は封筒入り	明治13年5月23日	封筒・1通	990-123
(書状、家族病気のため、長野より医生請招に付) 中村六左衛門→山田様御下	明治13年5月22日	横切継紙・1通	990-123-1
(封筒) 間山村小林九之丞→江部村山田松三郎様親展 124-1は封筒入り		封筒・1通	990-124
(書状、間山村水論事件に付) 小林九之丞→山田松三郎様	9月19日	横継罫紙・1通	990-124-1
(書状、コレラ病難除け祈念に付) 大徳寺→東江部山田莊左衛門様	8月19日	堅切紙・1通	990-125
(封筒) 江部村山田莊左衛門→山田温泉松本屋御止宿山田莊左衛門様 126-1は封筒入り	11月16日	封筒・1通	990-126
(書状、米価日々高値に付) 山田松三郎→山田御父上様	11月16日	堅切継紙・1通	990-126-1
(封筒) 岩石町信濃日報社二面小川弥右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門様御親展 長野より	明治14年1月24日	封筒・1通	990-127
(書状、徴兵免役に付) 小川弥右衛門→山田莊左衛門様 127-1は封筒入り	明治14年1月24日	堅切紙・1通	990-127-1
(書状、郡長大井君死去のため、送葬に付) 山田熊太郎→山田莊左衛門様	17日	横切継紙・1通	990-128

## 書状入袋

(脚夫により通知のところ、為太郎遣わしに付、再伸) 128-1は封筒入り		堅切紙・1通	990-128-1
(書状、小川氏より塩1駄送上に付) 相原駅中村六左衛門→江部村山田莊左衛門様待使御中	3月19日	横切継紙・1通	990-129
(包紙) 石山良太郎→山田莊左衛門様親展 「下高井郡々役所」の罫紙使用。130-1は封筒入り。	17日	包紙・1通	990-130
(書状、新年慶賀の挨拶など) 石山良太郎→山田御府公閣下	17日	横切継紙・1通	990-130-1
郵便はがき(招魂社建築願免許の旨、報告に付) 長野東江部町招魂社建築事務所→高井郡江部村山田莊左衛門殿	正15日	はがき・1通	990-131
(封筒) 柏原中村六左衛門→江部山田莊左衛門様 「手代作次郎ニ托ス」とあり。132-1は封筒入り。	12月13日	封筒・1通	990-132
(書状、金融の件で、仮証書提供に付) 中村六左衛門→山田莊左衛門様	明治13年12月13日	横切継紙・1通	990-132-1
(封筒) 中野寓大島善之助→江部村山田莊左衛門 133-1は封筒入り。	明治13年12月9日	封筒・1通	990-133
(書状、歳暮の挨拶に付) 善之助→山田尊老台	極29日	横切継紙・1通	990-133-1
(封筒) 間山村小林→江部村山田様 134-1は封筒入り。		封筒・1通	990-134
(書状、毒蛇の害より徐々に回復の旨、報告に付) 小林→山田様	7月29日	横切継紙・1通	990-134-1
(封筒) 吉田村綿貫助之郎→信州高井郡江部村山田松三郎様 135-1は封筒入り。	3月3日	封筒・1通	990-135
(書状、洋銀相場高下などに付) 綿貫助之郎→山田様 「吉田」の罫紙使用。	3月3日	青罫紙・1通	990-135-1
(封筒) 小川弥右衛門→江部村山田莊左衛門様 136-1は封筒入り。	(明治)12年3月31日	封筒・1通	990-136
(書状、愚妻長病のため、田中へ湯治に付) 小川弥右衛門→山田様	3月31日	朱罫紙・1通	990-136-1
(封筒) 小林九之丞→江部山田庄左衛門様 137-1は封筒入り。		封筒・1通	990-137
(書状、明日休暇のため、自宅へのお誘いに付) 小林→山田店 「下高井郡々役所」の罫紙使用。	3月30日	朱罫紙・1通	990-137-1
(封筒) 長野東町花屋敷入方ニ而小川弥右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門様 138-1は封筒入り。	(明治)12年12月4日	封筒・1通	990-138
(書状、嘉寿を養女あるいは養孫にする件に付) 小川弥右衛門→山田莊左衛門様	12月4日	横切継紙・1通	990-138-1
(封筒) 野平山宮崎町拾六番地綿貫助太郎→信州下高井郡江部村山田莊左衛門様 139-1は封筒入り。	(明治)12年7月6日	封筒・1通	990-139
(書状、大坂府・兵庫縣において虎列軒流行のため、予防消毒などに付) 綿貫孝達→山田御老君様	(明治)12年7月6日	横切継紙・1通	990-139-1
(封筒) 坂本龍之助→山田莊左衛門様 140-1は封筒入り。	11月22日	封筒・1通	990-140
(書状、釈毛妙貞27回忌など法事執行に付) 坂本龍之助→山田莊左衛門様	11月21日	横切継紙・1通	990-140-1
(書状、辞職の件に付) 間山小林九之丞→江部山田莊左衛門様	2月26日	横切継紙・1通	990-141

(封筒) 井上村坂本龍之助→東江部邨山田莊左衛門様 142-1は封筒入り。	12月25日	封筒・1通	990-142
(書状、家女おすて縁談などに付) 坂もと才右衛門→山田莊左衛門様	12月25日	横切継紙・1通	990-142-1
(封筒) 吉田店綿貫助太郎→信州下高井郡江部村山田松三郎様 143-1は封筒入り。	4月17日	封筒・1通	990-143
(書状、洋銀高値の件などに付) 綿貫助太郎→山田松三郎様 「吉田」の罫紙使用。	4月7日	青罫紙・1通	990-143-1
(書状、暑中御見舞いに付) 東京下谷区上野桜木町一番地鶯溪医院ヨリ曾我金次郎→東江部山田様 罫紙使用。	7月24日	罫紙・1通	990-144
(書状、扇君への拝謁など近況報告に付) 柏原中村六左衛門→間山小林九之丞様	明治13年4月25日	横切継紙・1通	990-145
(書状、小作方の不穏な動向に付) 間山村小林九之丞→江部村山田莊左衛門様	2月1日	横切継紙・1通	990-146
(書状、亡父尚光への追答に付) 磨山陸夫→江部村山田莊左衛門様	1月17日	横切継紙・1通	990-147
(包紙) 飯山町進士義則→東江部村山田莊左衛門様 148-1・2は封筒入り。	3月28日	包紙・1通	990-148
口上(5円金と請取書の引き換えに付) 進士義則→山田莊左衛門様	3月28日	横切紙・1通	990-148-1
(5円の内訳に付、書上) 進士義則		横切紙・1通	990-148-2
(封筒) 上高井郡須坂村駒津貞永→下高井郡東江部村山田莊左衛門様 149-1は封筒入り。	3月2日	封筒・1通	990-149
(書状、返納の期日延長願に付) 上高井郡須坂村駒津貞永→山田莊左衛門様	3月2日	朱罫紙・1通	990-149-1
(封筒) 間山村小林九之丞→江部山田理兵衛様 150-1は封筒入り。		封筒・1通	990-150
(書状、小作方の不穏な動向などに付) 小林九之丞→山田理兵衛様	3月10日	横切継紙・1通	990-150-1
(封筒) 山田浦次郎→本家山田叔父上様 151-1・2は封筒入り。	10月13日	封筒・1通	990-151
(書状、悪病の流行と予防などに付) 浦次郎→山田叔父君 「第六聯隊」の罫紙使用。	10月13日	朱罫紙・1通	990-151-1
主長ノ祝詞(衆人一致の心得に付) 陸軍大佐々久間左通太→陸軍中佐山川浩 「第六聯隊」の罫紙使用。	明治12年10月12日	朱罫紙・1通	990-151-2
(書状、拝借金返済に付、返納通帳の作成願) 近山勝右衛門→山田莊左衛門様	正月30日	横切紙・1通	990-152
(封筒) 上水内郡長野町小林一省→下高井郡江部村山田莊左衛門様 153-1は封筒入り。	12月26日	封筒・1通	990-153
(書状、一省多病難渋のため、辞表提出に付) 一省→山田莊左衛門様	12月26日	朱罫紙・1通	990-153-1
(封筒) 平穩村市川和平→江部村山田莊左衛門様 154-1は封筒入り。	12月30日	封筒・1通	990-154
(書状、年末の挨拶と粗品進呈に付) 市川和平→山田尊公	12月30日	横切紙・1通	990-154-1
(封筒) 中村利周→山田莊左衛門様 「猶上水内郡柏原郷使	6月30日	封筒・1通	990-155



## 書状入袋

佐次郎附上」とあり。155-1・2は封筒入り。			
(書状、拝借金の残金700円返納などに付) 中村利周→山田様	6月29日	横切紙・1通	990-155-1
(書状、米価高騰の件などに付) 山田荘左衛門→中村様	6月30日	横切紙・1通	990-155-2
(封筒) 小川千代吉→江部山田松三郎様 156-1は封筒入り。	7月21日	封筒・1通	990-156
(書状、山田家訪問のお礼などに付) 小川良茂→山田尊兄	20日	横切紙・1通	990-156-1
(封筒) 間山村小林九之丞→江部東組山田荘左衛門様 157-1・2は封筒入り。	(明治)13年8月4日	封筒・1通	990-157
(書状、長野日々新聞株主募集に付) 小林→山田様	7月24日	横切紙・1通	990-157-1
郵便はがき(株主総会開催に付) 長野日日新聞改正発起人→下高井郡間山村小林九之丞様	明治13年7月27日	はがき・1通	990-157-2
(封筒) 間山村小林九之丞代小林永太郎→江部郡山田荘左衛門様 158-1は封筒入り。	8月5日	封筒・1通	990-158
(書状、松木出荷などに付) 小林九之丞他出ニ付永太郎代要→山田様	7月5日	横切紙・1通	990-158-1
(封筒) 小林多吉→江部村山田松三郎様 159-1は封筒入り。	8月9日	封筒・1通	990-159
(書状、糸1貫270目を抵当として、金10円借用願に付) 小林多吉→御本宅山田様		縦切紙・1通	990-159-1
(封筒) 平塩村吉田忠右衛門(印、「吉田」)→江部村山田荘左衛門様 160-1は封筒入り。	7月21日	封筒・1通	990-160
(書状、借入金返済の期限に付) 吉田忠右衛門(印、「吉田」)→山田荘左衛門様 罫紙使用。	7月21日	朱罫紙・1通	990-160-1
(封筒) 長野宮崎信友→下高井郡江部村山田荘左衛門様 990-161-1は封筒入		封筒・1通	990-161
(書状、甚だ唐突なれど今般南安曇郡の藤木氏なる人尊家へ伺いの儀に付) 信友拜→山田老兄格下	4月17日	横切紙・1通	990-161-1
(封筒) 上水内郡柏原中村利周→下高井郡江部山田荘左衛門様御親展至急 990-162-1は封筒入	(明治)12年11月25日	封筒・1通	990-162
(書状、金融願の儀評議に付) 中村利周→山田荘左衛門様	(明治)12年11月25日	横切紙・1通	990-162-1
(封筒) 牟礼駅小川弥右衛門→江部村東組山田荘左衛門様 990-163-1は封筒入	5月7日	封筒・1通	990-163
(書状、母儀養生相叶わず死去に付) 小川弥右衛門→山田荘左衛門様	(明治)12年5月7日	横切紙・1通	990-163-1
(封筒) 往郷村泉龍寺より渡辺俊龍→江部村山田荘左衛門様至急 990-164-1は封筒入、封筒に「(印)、渡辺」あり	8月22日	封筒・1通	990-164
(書状、充三儀長々病臥の処養生相叶わず死去に付お届けのこと) 渡辺俊龍→山田荘左衛門様	明治12年8月22日	朱罫紙・1通	990-164-1
(封筒) 上水内郡柏原中村利周→下高井郡江部山田荘左衛門様御親展 990-165-1は封筒入		封筒・1通	990-165
(書状、郡長関氏ご赴任の趣などに付) 中村利周、同利貞→山田荘左衛門様格下	明治13年1月28日	横切紙・1通	990-165-1

(封筒) 父より→山田本宅一同へ 990-166-1は封筒入		封筒・1通	990-166
(書状、井上にて法事二十二日の由間山へ頼入に付など) 山田荘左衛門→本宅一同へ	17日	横切継紙・1通	990-166-1
(書状、小林儀同道にて先程帰宅に付) 質家→本宅松三郎様要用	13日	横切紙・1通	990-167
(書状、旧大区民費決算の儀に付) 小林九之丞→山田御氏様	11月4日	横切継紙・1通	990-168
(封筒) 上水内郡牟礼駅小川弥右衛門→下高井郡江部村山田荘左衛門様尊下 990-169-1は封筒入	8月28日	封筒・1通	990-169
(書状、コレラ患者死者見聞の概数ほか実況概略に付) 小川弥右衛門→山田荘左衛門様	8月28日	横切継野紙・1通	990-169-1
(封筒) 横濱より平信野毛山宮崎町十六番地三号綿貫助太郎→信州下高井郡江部村山田荘左衛門様至急用 990-170-1は封筒入	(明治)12年3月16日	封筒・1通	990-170
(書状、郡区改正のため中野町に郡役所設置に付) 綿貫孝造、綿貫助太郎→山田御老君	3月16日	横切継紙・1通	990-170-1
(書状、金融願の儀方今不融通云々の御回答に付) 柏原中村利周再拝→江部山田様几下	(明治)12年10月4日	横切紙・1通	990-171
(封筒) 山田本家本宅衆中→山田湯松本やより 990-172-1は封筒入、封筒に「清吉帰便」	11月14日	封筒・1通	990-172
(書状、帰宅は二十一日の積もりなどに付)		横切紙・1通	990-172-1
(封筒) 柏原中村六左衛門→江部山田荘左衛門様侍史御中 990-173-1は封筒入、封筒上部破損、封筒に「手代作次郎に附」		封筒・1通	990-173
(書状、金融の儀について過日郵便回答に付) 中村六左衛門再拝→山田様御前	明治14年1月5日	横切継紙・1通	990-173-1
(封筒) 柏原中村六左衛門→江部山田荘左衛門様親展 990-174-1は封筒入、封筒に「家僕由松に附上」		封筒・1通	990-174
(書状、今回越後筋より酒及塩買入のため一時金融差支の儀に付仮証書を以て拝借のこと願) 中村六左衛門再拝→山田様几下	明治13年8月5日	横切紙・1通	990-174-1
(封筒) 東京府下神田区美土代町三丁目二番地田中清八旅宿丸山要左衛門→信州下高井郡江部村山田荘左衛門様平信 990-175-1は封筒入、封筒一部破損	7月25日	封筒・1通	990-175
(書状、二十日京着のこと報知、松原君・松野君へ伺いの儀未だ手配中に付) 丸山要左衛門、町田仲右衛門、高津市左衛門→山田荘左衛門様	7月25日	横切紙・1通	990-175-1
(封筒) 坂本亀之助→山田荘左衛門様呈机下 990-176-1は封筒入		封筒・1通	990-176
(書状、昨年来御所持地養作の儀などに付) 坂もと→山田御叔父様呈机下	5月18日	横切野紙・1通	990-176-1
(封筒) 従牟礼小川三郎右衛門拝→高井郡東江部村山田荘左衛門様平安要書 990-177-1は封筒入	12月21日	封筒・1通	990-177
(書状、当年米穀直卸高昇に付酒造家金貸し流通千変萬化の処金子50両程拝借のこと願) 小川三郎右衛門→山田荘左衛門様	12月19日	横切野紙・1通	990-177-1
(口上、新保村事件のこと評件の儀に付) 小林多吉(印、「長野縣管下信濃国高井郡吉田村小林多吉」)→山田御	5月9日	縦紙・1通	990-178

## 書状入袋

本宅御中			
(封筒) 間山村小林永太郎様→江部村山田松三郎様貴酬 990-179-1～2は封筒一括	1月5日	封筒・1通	990-179
(書状、役場用始めの儀などに付) 小林永太郎様→山田 盤兄閣下 990-179-2は990-179-1に挟込	(明治)13年1月5日	朱罫紙・1通	990-179-1
(副啓、兼ねて御通知の通り伝合申度に付)		切継紙・1通	990-179-2
(封筒) 従江部→長野大門町扇や金四郎方御止宿山田松三郎 様御親訴 990-180-1は封筒入、封筒に「小林弥蔵へ附上」	(明治)13年5月14日	封筒・1通	990-180
(書状、御出途車上御動揺のため御痛体の趣に付) 理 兵衛→山田松三郎様尊下	14日	横切継紙・1通	990-180-1
(封筒) 戸隠山武井磨→高井郡江部村山田莊左衛門 990- 181-1は封筒入	11月12日	封筒・1通	990-181
(書状、秋の講中配札の儀に付) 武井磨様→山田莊左衛 門様貴下	11月12日	横切継紙・1通	990-181-1
(書状、金200円調に付明日にでも請取方に御出のこ と) 江部村山田莊左衛門→上高井郡吉村岩崎清造様至急 要信	明治13年12月23日	横切継紙・1通	990-182
(封筒) 長野より山口衆太、仲之助様→山田莊左衛門様拜寿 990-183-1は封筒入	2月12日	封筒・1通	990-183
(書状、金祿証書御入用の儀東京株引相場種々沸騰に 付) 山口衆太、仲之助様→山田莊左衛門様	2月12日	横切継紙・1通	990-183-1
(書状、御蔵書里見八犬伝他長々恩借の儀今般返却に 付) 間山村永太郎→江部村山田様尊下	3月2日	横切継紙・1通	990-184
(封筒) 長野鶴賀村笠井長太郎(印)→江部村山田莊左衛門様 尊下 990-185-1は封筒入	4月3日	封筒・1通	990-185
(書状、金子50円元金利子の儀延引に付) 笠井長太郎→ 山田莊左衛門様、御家内衆中様	(明治)12年4月	横切継紙・1通	990-185-1
(封筒) 横濱より平信野毛山宮崎町五十一番地百四十一番綿 貫助太郎→信州下高井郡江部村山田松三郎様尊机下 990- 186-1は封筒入	(明治)13年1月10日	封筒・1通	990-186
(書状、新年の挨拶、生糸開港の儀店にても入荷沢山 に付) 綿貫助太郎、綿貫碧衛→山田松三郎様	(明治)13年1月10日	横切継紙・1通	990-186-1
(書状、帰省の節は御手厚錢別頂戴に付厚謝のこと) 従名古屋山田浦次郎→江部山田松三郎様親台	9月1日	横切継紙・1通	990-187
(書状、永太郎を以て御伺申し上げのこと宜敷御配慮 に付) 小林様→山田様御回答	8月17日	横切紙・1通	990-188
(封筒) 従東都府下本郷四丁目二拾六番地臼井為吉内小林景 一郎→長野縣信濃国下高井郡江部村山田莊左衛門様平信 990-189-1は包紙入の上に封筒入	(明治)13年1月6日	封筒・1通	990-189
(書状、年始の祝辞) 小林景一郎→山田莊左衛門様	(明治)13年1月6日	横切継紙・1通	990-189-1
(封筒) 山田理兵衛→下高井郡江部村山田松三郎様平安郵信 990-190-1は封筒入	(明治)13年7月18日	封筒・1通	990-190
(書状、塩入氏の件など当地用向少々手間取りに付) 山田理兵衛→山田松三郎様尊下	7月18日	横切紙・1通	990-190-1
(封筒) 下高井郡木島村戸長役場→江部村山田莊左衛門様貴 下用書 990-191-1～5は封筒一括	(明治)13年	封筒・1通	990-191

(道路并協議費金8円97銭5厘他書き上げ) 穂高村戸長役場→江部山田庄左衛門「地価金地方税書上」が貼付	(明治)13年8月3日	切紙・2通	990-191-1
(吉村七日立、金15円55銭7厘書上) 東江部村庄左衛門→		切紙・1通	990-191-2
(八月十日納、地価割地方税協議費共金3円63銭5厘) 江部村庄左衛門→		切紙・1通	990-191-3
(金2円26銭1厘書上)		切紙・1通	990-191-4
(当月八日納金48銭) 関澤組→		切紙・1通	990-191-5
(封筒) 従東筑摩郡出丘村之内百瀬百瀬田鶴→長野縣下高井郡江部村山田庄左衛門様要用平安 990-192-1は封筒入、封筒に「書留第二十九号」朱書あり	(明治)13年2月28日	封筒・1通	990-192
(書状、新年の挨拶などに付) 田鶴拜→山田庄左衛門様 貴下	2月28日	横切紙・1通	990-192-1
(封筒) 奥→江部村山田松三郎様 990-193-1～2封筒一括	5月3日	封筒・1通	990-193
(書状、長野表出向の儀御尊父様へ宜敷申し上げに付) 奥→山田松三郎様	5月3日	横切継紙・1通	990-193-1
(富士楨町行賃銭の儀に付)	2日	横切紙・1通	990-193-2
(封筒) 郡役所詰山田熊太郎→江部村山田理兵衛様当用書 990-194-1は封筒入	5月2日	封筒・1通	990-194
(書状、六川村井出栄治氏の儀に付使いを以て報知のこと) 山田熊太郎→山田理兵衛様	5月2日	横切紙・1通	990-194-1
口記(小作事件の儀出入の入費として金5銭宛取立に付) 小林多吉→山田利兵衛様	28日	青野紙・1通	990-195
(封筒) 小布施市村忠助→江部山田庄左衛門様要信 990-196-1は封筒入		封筒・1通	990-196
(書状、金銭貸渡の儀に付) 市村忠助→山田様閣下	4月16日	横切接野紙・1通	990-196-1
(封筒) 大井泉→山田庄左衛門様 990-197-1は封筒入		封筒・1通	990-197
(書状、頂戴ものの仕り有難き候に付)	8月9日	横切継紙・1通	990-197-1
(封筒) 従上水内郡柏原村中村利周拜復→下高井郡江部村山田庄左衛門様親展 990-198-1は封筒入	6月7日	封筒・1通	990-198
(書状、本月十八日より御年回の忌辰に付) 中村利周謹言→山田様几下	6月7日	横切紙・1通	990-198-1
(封筒) 上水内郡柏原村中村利周→上高井郡山田温泉場ニテ山田庄左衛門様、小林九之丞様 990-199-1～2は封筒一括、封筒に「雨天ニ付翌十五日ニ発書」とあり	11月14日	封筒・1通	990-199
(書状、今回御滞留中罷出難く遺憾の至りに付) 中村利周→山田様、小林様各几下	明治12年11月13日	横切継紙・1通	990-199-1
(復啓、拝借金速やかに御融通の儀に付) 中村利周→山田様几下	11月13日	横切継紙・1通	990-199-2
(口演、梵鐘落成に付撞初の案内のこと) 旧高石村泉龍寺→江部村山田利兵衛様要用書	7月10日	朱野紙・1通	990-200
(封筒) 上水内郡柏原町中村利周→下高井郡江部村山田庄左衛門様乞親展 990-201-1は封筒入	4月30日	封筒・1通	990-201
(書状、明日五月一日御用有之御達書到来に付情願の趣御採納のこと報知) 中村利周→山田庄左衛門様、小林九之丞様	明治12年4月30日	縦紙・1通	990-201-1

## 書状入袋

(封筒) 下高井郡平隠村竹節伊勢太→下高井郡江部村山田莊左衛門様 990-202-1は封筒入	2月26日	封筒・1通	990-202
(書状、平隠村平民雪風のため凍死に付親類組合の者一同にて引取方のこと) 旧北第拾九大区七小区高井郡平隠村村用係竹節伊勢太(印)→北第拾九大区旧区長山田莊左衛門様	明治12年2月26日	朱罫紙・1通	990-202-1
(封筒) 長野町信濃招魂社事務所(印、「信濃招魂社事務所印」)→下高井郡江部村山田莊左衛門様 990-203-1は封筒入		封筒・1通	990-203
(書状、招魂社建築事業募金方の儀に付) 長野町ニテ招魂社事務副総長島津忠貞(印)→下高井郡総代山田莊左衛門殿	明治14年2月1日	朱罫紙・1通	990-203-1
記(綿など品物代金2円58銭書上) 青木や弥兵衛→山田様	12月22日	横切紙・1通	990-204
(封筒) 長野町山口衆太→高井郡江部村山田莊左衛門様親展 990-205-1封筒入		封筒・1通	990-205
(書状、金録公債証書買入などの儀に付) 山口衆太→山田莊左衛門様	12月9日	横切紙・1通	990-205-1
(封筒) 牟礼宿小川千代吉→下高井郡江部村山田莊左衛門様平安貴酬 990-206-1～2は封筒一括	3月19日	封筒・1通	990-206
(書状、出火の節早々訪問の上鄭重な見舞いの儀などに付) 小川千代吉→山田御叔父上様	3月19日	横切紙・1通	990-206-1
(書状、昨年中願置候綿の儀出来に付) 下ノ酒屋→御本宅さま御勝手	3月19日	横切紙・1通	990-206-2
記(九月四人半金左衛門ほかメ代金1円76銭6厘書上)		横切紙・1通	990-207
(封筒) 江部村山田莊左衛門→小林九之丞様乞親展	3月13日	封筒・1通	990-208
(書状、拙生辞職願いの儀などに付) 山田莊左衛門→小林九之丞様 990-208-1封筒入	3月13日	横切紙・1通	990-208-1
(舌代、過日頂戴物についての挨拶) 関→山田様	6月12日	切紙・1通	990-209
(書状、来る三十日頼母子会合の儀に付) 中野町より近山勝右衛門→江部村山田様	(明治)13年9月28日	横切紙・1通	990-210
(書状、地方税金7銭5厘の儀四月徴収の運びに付) 郡役所ニ而渡辺享平→山田様御報ノミ	3月12日	横切紙・1通	990-211
(封筒) 従東都府下本郷湯島天神町二丁目女坂下亀田ニテ小林景一朗→長野縣信濃国下高井郡東江部山田莊左衛門様平信	明治14年1月3日	封筒・1通	990-212
(書状、新年の祝儀などに付) 小林景一朗→山田莊左衛門様	明治14年1月3日	横切紙・1通	990-212-1
(封筒) 従江部山田莊左衛門→第拾九国立銀行長野支店御中 990-213-1封筒入	2月2日	封筒・1通	990-213
(書状、此度金三・四千円預金の儀に付) 山田莊左衛門→第拾九国立銀行長野支店御役員御中	(明治)14年2月1日	横切紙・1通	990-213-1
(封筒) 990-214-1は封筒入、「十一月三十日手代作次郎ニ托」		封筒・1通	990-214
(書状、金融の儀に付仮証書手代作次郎へ貸渡のこと) 中村六左衛門→山田莊左衛門様	明治13年11月29日	横切紙・1通	990-214-1
(封筒) 井上坂本亀之輔→東江部山田莊左衛門様貴下 990-215-1は封筒入	1月30日	封筒・1通	990-215
(書状、新年の挨拶などに付) 坂本亀之輔→山田様	1月30日	横切紙・1通	990-215-1

(封筒) 大島善之助→山田熊太郎様報酬 990-216-1は封筒入	29日	封筒・1通	990-216
(書状、御尊母様病気のため看護の趣などに付) 大島 拜(印)→山田様	(明治)13年11月29日	切紙・1通	990-216-1
(書状、小作引方の儀小作人一同自宅へ呼寄談判に付) 間山小林九之丞→江部山田庄左衛門様親展	(明治)14年1月19日	朱罫紙・1通	990-217
(封筒) 東筑摩郡出丘村百瀬田鶴→長野縣下高井郡江部村山 田庄左衛門様書留至急要用平安 990-218-1~3は一括、990- 218-1-1は封筒入	1月5日	封筒・1通	990-218-1
(書状、御恩借之金子の儀に付) 百瀬田鶴拜→御尊父山 田庄左衛門様閣下	12月30日	横切継紙・1通	990-218-1
(包紙) 従長野篠田佐賢→下高井郡江部村山田庄左衛門様御 親展 990-218-2-1~3は包紙一括	12月6日	封筒・1通	990-218-2
(書状、丸山君より書面差越の儀小生在勤中諸事取扱 困却に付) 篠田佐賢→山田庄左衛門様、小林九之丞様	12月6日	横切継紙・1通	990-218-2
(書状、松本丸山登氏より旧伊奈縣事件拝借の儀に付) 山田、小林→更級久衛	12月6日	横切紙・1通	990-218-2
(書状、明治十二年伊奈縣贖金仕埋の儀に付) 山田庄 左衛門、小林九之丞→丸山登様	12月2日	横切継紙・1通	990-218-2
(封筒) 長野東町花屋儀八方二而小川弥右衛門→下高井郡江 部村山田庄左衛門様御報 990-218-3-1は封筒入		封筒・1通	990-218-3
(書状、下酒屋嫁の件若林氏へ探索依頼の儀に付) 小 川弥右衛門→山田庄左衛門様	(明治)12年11月10日	朱罫紙・1通	990-218-3
(封筒) 従横濱□□幸兵衛方栗田太助→東京浅草八幡町□番 地 990-219-1は封筒入、封筒上部破損	5月11日	封筒・1通	990-219
(書状、別条消光などの儀に付御報のこと) 栗田太助拜 →山田松三郎様貴下	5月11日	横切継紙・1通	990-219-1
(封筒) 更級郡今里村更級久衛(印)→下高井郡江部村山田庄 左衛門様緊要 990-220-1は封筒入		封筒・1通	990-220
(書状、拝借金返納の儀不融通に付) 更級久衛→山田尊 太人	8月9日	横切罫紙・1通	990-220-1
(書状、小田中村頼所市兵衛旅費金下渡し of 儀調中に 付) 武中豊寛→山田庄左衛門殿	(明治)12年3月8日	横切継紙・1通	990-221
(封筒) 長野栄町北澤久右衛門→高井郡江部村山田庄左衛門 様尊下平信 990-222-1は封筒入	10月14日	封筒・1通	990-222
(書状、弟長二郎死去の節御手厚御香典頂戴の儀に付 御礼のことなど) 北澤久右衛門→山田庄左衛門様尊下	10月14日	横切継紙・1通	990-222-1
(封筒) 中野廣山尚光→江部山田庄左衛門様 990-223-1は封 筒入	(明治)12年10月15日	封筒・1通	990-223
(書状、御恩借金一条年尾期限の儀に付日延願のこと) 尚光→庄左衛門様	卯10月15日	横切罫紙・1通	990-223-1
(封筒) 大井泉→山田庄左衛門様 990-224-1は封筒入		封筒・1通	990-224
(書状、毎々御寄の度御品頂戴の儀に付御厚礼のこと) 泉拜→山田賢臺机下		横切紙・1通	990-224-1
(封筒) 従飯山町石黒勘助(印)→高井郡江部村山田理右衛門 様貴酬 990-225-1は封筒入	(明治)12年3月14日	封筒・1通	990-225
(書状、金録公債証書周旋の儀に付) 石黒勘助拜→山田	3月13日	横切罫紙・1通	990-225-1

## 書状入袋

理右衛門様			
(封筒) 長野栄町北澤久右衛門→東江部村山田荘左衛門様尊下 990-226-1は封筒入	明治14年1月20日	封筒・1通	990-226
(書状、歳末の御祝儀として鮭一尾頂戴の儀に付御礼のことほか) 北澤久右衛門→山田荘左衛門様尊下	1月20日	横切野紙・1通	990-226-1
(封筒) 神奈川県神奈川駅青木町七拾番地綿貫助太郎→信州下高井郡江部村山田荘左衛門様至急用 990-227-1は封筒入	5月14日	封筒・1通	990-227
(書状、小生本月二日に神奈川駅青木町七拾番地に転居に付文通の際は右様ご承知のことなど) 碧衛拜→山田御老君	5月14日	横切継紙・1通	990-227-1
(書状、書物拝借願に付) 奥→山田松三郎様	8月3日	横切継紙・1通	990-228
(封筒) 従新野中山寛→松三郎山田大兄閣下 990-229-1～2は封筒一括		封筒・1通	990-229
(書状、昨日湊帰り後直に轎車を馳せ江部村へ到着の儀御老君并酒造大人へ御伝言に付) 中山寛→松三郎山田公 継目剥離か	8月22日	横切紙・2通	990-229-1
(書状、御馳走の儀拝謝に付ほか) 中山寛之助→山田松三郎様乞親展	26日	横切紙・1通	990-229-2
(書状、金10円御貸渡の儀に付) 従関澤佐藤金右衛門(印)→江部村山田理兵衛様尊下	7月22日	堅紙・1通	990-230
(封筒) 上水内郡赤塩邨瀧澤覚市郎→高井郡東江部村山田荘左衛門殿 231-1は封筒入り。		封筒・1通	990-231
(書状、山田家へ上納の利子金に付) 赤塩村保証人瀧澤覚市郎→山田荘左衛門様	明治13年9月5日	横切紙・1通	990-231-1
(封筒) 在宅一同→山田荘左衛門様 232-1は封筒入り。	11月16日	封筒・1通	990-232
(書状、拝借金返納の件などに付) 在宅一同→父上様	11月16日	横切継紙・1通	990-232-1
(封筒) 柏原駅中村六左衛門→江部村山田荘左衛門様 233-2は封筒入り。	11月14日	封筒・1通	990-233
(書状、御回報の郵送願に付) 中村六左衛門→山田様・御留守店中様 233の封筒に貼付	明治13年11月14日	横切紙・1通	990-233-1
(書状、掛入用出来のため、金銭の融通願に付) 中村六左衛門→山田荘左衛門様・同熊太郎様・理兵衛様	明治13年11月14日	横切継紙・1通	990-233-2
(書状、田村長治郎の葬送に付) 小沢久右衛門親類→東江部村山田荘左衛門様	8月30日	横切紙・1通	990-234
(書状、地租金の取立に付) 片塩村用掛→東江部村山田荘左衛門様 235-1・2は一括	4月18日	横切紙・1通	990-235-1
(片塩村・岩船村の人名書上) 235-1・2は一括		横切紙・1通	990-235-2
(封筒) 信濃日報社→東江部村山田荘左衛門様 236-1は封筒入り。		封筒・1通	990-236
(書状、株主募集に付) 信濃日報社発起人→山田荘左衛門様	明治13年10月16日	横切紙・1通	990-236-1
(封筒) 坂本→山田様 237-1は封筒入り。	8月29日	封筒・1通	990-237
(書状、青木勘左衛門死去のため、服忌中、杉亀之助の事務代理に付) さか本秀→山田様	8月29日	横切継紙・1通	990-237-1

(封筒) 町田常四郎→山田莊左衛門様 238-1は封筒入り。	8月24日	封筒・1通	990-238
(書状、珍藏のジュウタン拝謁などに付) 町田常四郎(印、「町田」)→山田	8月25日	青葺紙・1通	990-238-1
(封筒) 本所区八元町四番地上総屋嘉右衛門宅丸山要左衛門→長野縣下信濃国下高井郡伊那村山田莊左衛門様 239-1は封筒入り。	8月25日	封筒・1通	990-239
(書状、民情調査の件などに付) 丸山要左衛門・町田仲左衛門・寛沢市左衛門→山田莊左衛門様	8月25日	横切継紙・1通	990-239-1
(封筒) 間山村小林九之丞→江部村山田莊左衛門様 240-1は封筒入り。		封筒・1通	990-240
(書状、米穀値段佛騰などに付) 小林九之丞→山田莊左衛門様	12月12日	横切継紙・1通	990-240-1
(封筒) 竹中平造→山田松三郎様 241-1は封筒入り。		封筒・1通	990-241
(書状、近況報告のこと) まつ→山田松三郎様		横切継紙・1通	990-241-1
(封筒) 中村利周→下高井郡江部村山田莊左衛門様 242-1は封筒入り。	明治12年9月24日	封筒・1通	990-242
(書状、金500円拝借願に付) 中村利周→山田様	明治12年9月24日	横切紙・1通	990-242-1
覚(糸・麻などの代金1円24銭に付、書上) 新保若松屋波吉→江部村山田莊左衛門様	辰8月	横切紙・1通	990-243
(封筒) 篠田佐賢→高井郡江部村山田莊左衛門様 244-1は封筒入り。	5月10日	封筒・1通	990-244
(書状、丸山氏同伴来車のこと) 篠田→山田様	5月10日	横切継紙・1通	990-244-1
記(里道修復のため、車1輛借用に付) 泉屋扱所→旧会所御中	明治12年4月13日	横切紙・1通	990-245
(封筒) 間山村小林九之丞→江部村山田莊左衛門様 246-1は封筒入り。		封筒・1通	990-246
(書状、年末の祝儀として塩引き鮭1疋呈上などに付) 小林九之丞→山田兄君	12月20日	横切継紙・1通	990-246-1
(封筒) 長野栄町北沢久右衛門→江部村山田莊左衛門様 247-1は封筒入り。「使常助江托ス」とあり。	12月26日	封筒・1通	990-247
(書状、或胃症のため、脚使により拝借願の件、連絡のこと) 北沢久右衛門→山田莊左衛門様	12月26日	横切紙・1通	990-247-1
(書状、借財日延べ願に付) 穴田村金子伊助(印)→東江部村山田御主人様	辰1月22日	堅切紙・1通	990-248
(封筒) 新造(印、「曾我」)→山田様 249-1は封筒入り。	2月8日	封筒・1通	990-249
記(米1駄に付) 新造→山田利兵衛様	2月8日	横切野紙・1通	990-249-1
(書状、永太郎法事執行のため、中野より出張などに付) 小林拝→山田君	20日	横切紙・1通	990-250
(封筒) 中村利周→山田莊左衛門殿 251-1は封筒入り。		封筒・1通	990-251
(書状、酒造営業などに付) 中村利周→山田様	2月2日	朱野紙・1通	990-251-1



## 書状入袋

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
「明治十六年二月より至全十七年一月到来信書入 山田」 (袋・985-1～176を一括)		整理番号 985	
(書状、例之通、本月25日□) 小布施村高井道二→下高井郡江部村山田熊太郎様 封筒とも	10月21日	切継紙・1通	985-1
(書状、□左衛門(長野裏岩石町中村□左衛門)→山田様(上高井郡江部村山田熊太郎殿) 985-2-1と2は挟込一括、封筒とも	明治16年11月14日	切継紙・1通	985-2-1
(書状) 義寛九拝→中村様	明治16年11月13日	切紙・1通	985-2-2
封筒 江部山田荘左衛門→第十九国立銀行長野支店御中 開被不可		封筒・1通	985-3
(書状、昨日辞令書送り致し候につき) 小林永之助(間山村小林永太郎)→山田熊太郎様貴下(江部村山田熊太郎御史) 封筒とも	4月2日	切継紙・1通	985-4
(書状、植林条例議決につき) 小川彌右衛門(上水内郡年永村小川弥右衛門)→山田荘左衛門様(下高井郡江部村山田荘左衛門様) 封筒とも	(明治)16年3月13日	切継紙・1通	985-5
(書状、父上様上京につき) →封筒とも、985-6-1と2は挟込一括	3月26日	切継紙・1通	985-6-1
(書状、株券の高低を電信にて申送につき) 松三郎(弁式岩崎商店山田松三郎)→山田理兵衛様、熊太郎様(信州下高井郡江部村山田熊太郎様)	(明治)16年3月26日	切継紙・1通	985-6-2
(書状、損株につき) 山田松三郎→山田理兵衛様、本家御父上様 封筒とも、985-7-1～3は挟込一括	3月6日	切継紙・1通	985-7-1
横浜株式取引所相場附	明治16年3月6日	切紙・1通	985-7-2
横浜株式取引所相場附	明治16年3月5日	切紙・1通	985-7-3
(書状、株券買入は見送りにつき) 山田松三郎(弁二岩崎商店山田松三郎)→山田御本宅様、外皆々様御中(信州下高井郡江部村山田庄左衛門様) 封筒とも、985-8-1～3は挟込一括	2月19日	切継紙・1通	985-8-1
横浜株式取引所相場附	明治16年2月16日	切紙・1通	985-8-2
横浜株式取引所相場附	明治16年2月17日	切紙・1通	985-8-3
(書状、借金日延につき) 野沢いづみや孫左衛門方高野村武内建覚拝(印、「武内」)→江部村山田庄左衛門様 封筒とも	2月24日	切紙・1通	985-9
(書状、一月二日開店につき) 綿貫孝造(弁二岩崎商店綿貫孝造)→山田熊太郎様(信州下高井郡江部村山田熊太郎様) 封筒とも	12月25日	縦紙・1通	985-10
(書状、眼鏡を直した上で返上につき) 中山拝(中山真之助)→山田大兄(山田熊太郎様) 封筒とも	10月8日	切継紙・1通	985-11
記(売渡証券他代金559円45銭書上)		切継紙・1通	985-12
(書状、公債証書50円券以下の分運搬につき) 本県会斗課公債掛(印)→右戸長役場(下高井郡江部村戸長役場) 封筒とも	10月18日	切継紙・1通	985-13
(書状、出立の日限につき) 昌夫(小川昌夫)→山田御伯父様貴下(浅草御蔵前八幡町信濃屋利助様方山田荘左衛門	6月4日	切継紙・1通	985-14

様 京橋より) 封筒とも			
(書状、亡父桂一郎分返金につき) 中野町行運寺住職金井秀覚→山田様奏者御中(江部村山田荘左衛門御内奏中) 封筒とも	9月6日	切継紙・1通	985-15
(書状、継母疾病危篤につき看護のため帰省につき) 第五半小隊長山田浦次郎→江部村山田文六殿呈閣下	(明治)16年11月21日	切継紙・1通	985-16
口上(土佐流御珠蔵の分拝読につき) 北澤(長野北澤久右衛門)→山田様(江部村山田荘左衛門様) 封筒とも、985-17-1と2は挟込一括	7月15日	切継紙・1通	985-17-1
(書状、病気の伯父の近況につき) 北澤久右衛門→山田荘左衛門様貴下(江部村山田荘左衛門様)	7月15日	切継紙・1通	985-17-2
御啓(クサリ縮緬入落につき) 市村拝(小布施市村善輔)→山田様(江部山田熊太郎様) 封筒とも、985-18-1と2は挟込一括	6月22日	切継紙・1通	985-18-1
(書状、額縁落掌につき) 市村善輔拝(小布施市村善輔)→山田賢兄閣下	6月23日	切継紙・1通	985-18-2
(書状、病気の伯父の近況について) 北澤久右衛門(長野栄町北澤久右衛門)→山田荘左衛門様貴下(江部村山田荘左衛門様親展) 封筒とも	明治16年7月12日	切継紙・1通	985-19
(書状、拝借500円返金の延引願い) 大久保守衛→山田荘左衛門様、山田理兵衛様伝史 封筒とも	9月11日	切紙・1通	985-20
(書状) 中山拝→江部村山田賢兄	6月	切紙・1通	985-21
(書状、アケビの蔓の儀につき) 小林永三郎(間山村小林永三郎)→江部山田熊太郎様(江部山田熊太郎様) 封筒とも	5月17日	切継紙・1通	985-22
(書状、拝借金返納の延引願い) 新津貞永→山田荘左衛門様(上高井郡江部村山田荘左衛門様御親展) 封筒とも	4月30日	切紙・1通	985-23
(書状、政平について万端御教諭願い) 綿貫碧濤拝(青木町七拾番地綿貫孝造)→山田御老君様、同熊太郎様(信州下高井郡江部村山田荘左衛門様) 封筒とも	明治16年6月24日	切継紙・1通	985-24
(書状、請負証券の儀了承につき) 小林永三郎→山田熊太郎様(江部山田熊太郎様) 封筒とも	11月13日	切継紙・1通	985-25
(書状) 熊太郎拝(上高井郡江部山田熊太郎)→父上様(東京浅草八幡町三番町藤田和子様方山田荘左衛門様) 封筒とも	5月28日	切継紙・1通	985-26
(書状、昨日より持病にて案内せざるにつき) 麴池省三→山田御隠居様 封筒とも	4月28日	切継紙・1通	985-27
(書状、融通金300円利子の儀につき) 中村継三(第六十三銀行中野支店中村継三)→山田荘左衛門様 封筒とも	8月16日	切継紙・1通	985-28
謹啓(明六日にお礼申し上げ候) 中村六左衛門(柏原中村六左衛門)→山田様(江部山田様) 封筒とも	12月5日	切紙・1通	985-29
(書状、安田村清左衛門粉納につき) 清左衛門方山田□→江部山田本宅御取次御中	12月5日	切継紙・1通	985-30
(地券他書上) 山田□兵衛→山田御本宅サマ 封筒とも	12月10日	切継紙・1通	985-31
(書状) 封筒とも、985-32-1と2は挟込一括	1月2日	切紙・1通	985-32-1
(書状、年賀につき) 浦次郎拝→山田父上様(山田熊太郎殿閣下)	明治15年1月2日	切紙・1通	985-32-2

## 書状入袋

(書状、父上御病気につき) 中村六左衛門(柏原中村六左衛門)→山田莊左衛門様 封筒とも、985-33-1と2は挟込一括	(明治)16年7月29日	切継紙・1通	985-33-1
萬啓(書状、去月以来の病状につき) 再拝→		切継紙・1通	985-33-2
(書状、常岩寺翁建碑募資録の儀につき) みさきや出張先光□再拝(平穩村宮崎□左衛門方出張松代春原光□拝)→山田さ大人御伝史(江部村山田庄左衛門様) 封筒とも	(明治)16年8月15日	切紙・1通	985-34
(書状、先日依頼の品につき) 麴池省三→山田御隠居様 封筒とも	5月9日	切継紙・1通	985-35
(書状、拝借金遅延につき) 中山實之助→山田熊太郎様 封筒とも	2月18日	切継紙・1通	985-36
(書状、所蔵の頼山陽を此度売却したき儀につき) 市村善輔拜(小布施市村善輔)→山田賢兄閣下(江部山田熊太郎様玉展) 封筒とも	2月25日	切継紙・1通	985-37
(書状、山陽翁幅売却につき) 市村善輔拜(小布施市村善輔)→山田賢兄(下高井郡江部山田熊太郎様) 封筒とも	6月26日	切継紙・1通	985-38
(書状) 新□(間山ヨリ新□信貫)→熊太郎様 封筒とも	10月15日	切紙・1通	985-39
(書状、当地へ明六日出張につき) 小林九之丞(間山村小林九之丞)→山田様机下(江部山田様) 封筒とも	12月5日	切継紙・1通	985-40
(書状、御尊父君山田温泉御入津に付) (間山村)小林九之丞→山田熊太郎様 封筒とも	明治16年10月8日	切継紙・1通	985-41
(書状、御馳走の礼、東京の方引上ケ家居致し事を決心に付) (牟礼)昌夫拜(小川昌夫)→(下高井郡江部村)熊太郎賢兄貴下(山田熊太郎) 封筒とも	2月22日	切継紙・1通	985-42
(書状、御回報書拝見、金1000円御貸輿の礼) (上水内郡柏原村)中村六左衛門→(下高井郡江部村)山田庄左衛門様、緊要書 封筒とも、二伸挟込一括	(明治16)年1月24日	切紙・2通	985-43
(書状、下水内郡奥里村耕地の地価金書上) (長野裏□秋葉社前より原山多吉方)石田彰→(下高井郡江部村)山田熊太郎様、親展 封筒とも、二伸貼付	明治16年11月17日	切継紙・1通	985-44
(書状、金子恩借願) (弁原村)下田半亮(印)→(江部村)山田莊左衛門様、親展 封筒とも	7月2日	切紙・1通	985-45
(書状、横浜株相場報告、全国一体の不良未だ立直様子之無に付) (濱より、弁二岩崎商店)松三郎拜(山田松三郎)→(信州下高井郡江部村)山田庄左衛門 封筒とも、985-46-1~3は封筒一括、封筒上書「横浜取引所報告□ニ要書在中」	(明治16)年1月21日	切継紙・1通	985-46-1
横濱株式取引所相場附(明治16年2月20日分) 985-46-1に挟込一括		切紙・1通	985-46-2
横濱株式取引所相場附(明治16年2月19日分) 985-46-1に挟込一括		切紙・1通	985-46-3
(書状、東京横濱等の景況報告) (浅草区八幡町3番地信濃屋和助方)久保田和三郎拜→(信濃国下高井郡江部村)山田熊太郎様(山田庄左衛門)尊□ 封筒とも	2月28日	切継紙・1通	985-47
(書状、横濱株式御渡与の礼、株式売買の報告) (牟礼より)小川弥右衛門→(下高井郡江部村)山田庄左衛門様、閣下(至急要(電カ)信) 封筒とも	(明治16)年4月7日	切継紙・1通	985-48
(書状、釋教信倍士(祖父幸右衛門)33回忌他御法会の案内) (上高井郡より井上村)坂本亀之助→(下高井郡江部	9月20日	切継紙・1通	985-49

村)山田庄左衛門様、至急伝書 封筒とも			
(書状、治療のため在京中の御心配などの礼、帰宅の報告) (上高井郡井上村20番地)坂本亀之助→下高井郡江部村山田庄左衛門様、御中 封筒とも	10月21日	切継紙・1通	985-50
拝啓(書状、□□商社借金的一条に付、御指令御下興の礼) (柏原村)中村六左衛門→(下高井郡江部村)山田庄左衛門様、小林九之丞様、右几下 封筒とも	(明治16)年2月17日	切継紙・1通	985-51
(書状、八日午前八時頃より尊来のこと) 濱丁高橋(印、「東京日本橋区濱町2丁目3番地高橋由一」)→(浅草区八幡町3番地信濃屋和助氏方)山田様(山田庄左衛門)研心 封筒とも、紫色紙	5月6日	切継紙・1通	985-52
(書状、御深切への礼) (長野榮町)北澤久右衛門→(東江部村)山田庄左衛門様、閣下 封筒とも	12月29日	切紙・1通	985-53
(書状、建具屋金次へ談判仕に付) (安田にて)理兵衛→(江部村)山田熊太郎様、大至急要用 封筒とも	12月9日	切継紙・1通	985-54
(書状、多吉儀勤身中既に改心の上精勤致すに付、慎みを解き帰宅の旨報告) 北澤久右衛門→山田庄左衛門様、山田熊太郎様、閣下	12月26日	切紙・1通	985-55
(書状、昨年畑方御扶杏に付) 岩舟村町田八兵衛→江部村山田熊太郎様 端裏書あり	1月24日	切継紙・1通	985-56
(書状、年頭の挨拶、年賦金遅延の段使いを以金100円差上に付御落手のこと) (間山)小林拜(小林九之丞)→(江部)山田大君(山田庄左衛門様) 封筒とも、封筒上書「金百円添」	1月14日	切継紙・1通	985-57
(書状、御茶をいただいて) (百山村)新介拜→(江部土豪)山田熊太郎様 封筒とも	8月14日	切継紙・1通	985-58
記(押羽村の内273番田反別1反5畝20分地価71円39銭証書認願) (押羽村)土屋助右衛門→(東江部村)山田庄左衛門様 封筒とも	5月10日	切紙・1通	985-59
(書状、長野表へ転居に付) 石山礼太郎→山田庄左衛門様 封筒とも、端裏書あり	4月6日	切継紙・1通	985-60
(書状、宅地居宅等の仕訳差出のこと) 下高井郡役所庶務掛(印、「下高井郡役所庶務掛」)→山田理兵衛殿 封筒とも、「下高井郡役所」印のある朱罫紙	(明治16)年6月5日	切紙・1通	985-61
(書状、外国電報の不況到達のこと、一層の安値想像の御由、金禄公債証書のこと) (横濱より、弁二岩崎商店)松三郎拜→(信州下高井郡江部村)山田熊太郎様、山田理兵衛様 封筒とも、封筒上書「至急当用」、「岩崎」印の青罫紙	1月11日	切紙・3通	985-62
拝啓(拝借金の内300円返上のこと) (柏原村)中村六左衛門→(江部)山田庄左衛門様 封筒とも、封筒上書「金300円相添」	7月14日	切継紙・1通	985-63
(書状、御客様三名貴家より御案内に付) 花房屋→追分宿大黒屋様	4月13日	切紙・1通	985-64
(書状、東京出立の儀急に十一日立に付、御用向御調置のこと報知) (小布施より)高津猪八郎(印)→(下高井郡江部村)山田庄左衛門様、至急用 封筒とも、青色紙	4月8日	切継紙・1通	985-65
(書状、金融入金次第お預け込みに付) (信州より、下高井郡江部村)山田熊太郎→東京浅草区八幡町3番地信濃屋和助様方)山田庄左衛門様 封筒とも、年月日は郵便印より	(明治16年5月7日)	切継紙・1通	985-66

## 書状入袋

(書状、金禄寄附案内) 横井孝助→山田松三郎様 封筒とも、985-67-1～2は封筒一括、985-67-2に挟込、985-67-2の副書	5月1日	切継紙・1通	985-67-1
(書状、金禄公債証書額面3000円買付のこと) (濱より、弁天通2丁目岩崎商店) 山田松三郎様→(東京浅草区八幡町3番地信濃屋和助様方) 山田御父上様(山田荘左衛門)、閣下	5月1日	切継紙・1通	985-67-2
(書状、小型のポンプ買入、長野県監獄署新築に付) (江部) 山田熊太郎→(東京浅草区八幡町3番地信濃屋和助様方) 父上さま(山田荘左衛門)、閣下	5月21日	切継紙・1通	985-68
(書状、御国より御書翰郵着に付、直に御郵送のこと) 和助様→山田様 封筒とも、985-69-1～2は封筒一括、985-69-2に挟込	4月25日	切紙・1通	985-69-1
(書状、長野表より差越の公債証書の儀に付) (信州より、下高井郡江部) 熊太郎(山田熊太郎)、理兵衛、各様→(東京浅草区八幡町3番地信濃屋和助様方) 父上様(山田荘左衛門)、侍者	4月22日	切継紙・1通	985-69-2
郵便はがき(地方税第二期学校費金6円82銭3厘取立) 同郡吉村戸長役場→下高井郡江部村山田荘左衛門殿	(明治15)年9月17日	葉書・1通	985-70
郵便はがき(14年度協議費他取立) 同郡吉村戸長役場→下高井郡江部村山田荘左衛門殿 月日は郵便印より	(2月8日)	葉書・1通	985-72
郵便はがき(地方税第1期学校費金6円14銭8厘取立) 下高井郡吉村戸長役場→下高井郡東江部村山田荘左衛門殿	明治15年7月20日	葉書・1通	985-73
郵便はがき(協議費金5円66銭2厘取立) 同郡吉村戸長役場→下高井郡江部村山田荘左衛門殿 月日は郵便印より	(8月4日)	葉書・1通	985-71
郵便はがき(15年度地価割税並学校費金7円78銭1厘取立) 同郡吉村戸長役場→下高井郡江部村山田荘左衛門殿 月日は郵便印より	(3月20日)	葉書・1通	985-74
郵便はがき(池の尾他物品価格引下げ販売の案内) 上水内郡吉田本町 昇龍瀧の音 本舗瀧屋 瀧澤又右衛門→下高井郡永部村山田正左衛門様、貴下 月日は郵便印より	(3月9日)	葉書・1通	985-75
郵便はがき(新聞発行停止ノ旨達に付、停刊のこと報知) 長野町661番地信濃新聞社→下高井郡江部村山田荘左衛門様	明治15年2月7日	葉書・1通	985-76
郵便はがき(昨日廻文願之通に付) 小布施市村善輔(印)→下高井郡江部村山田熊太郎様、几下	7月6日	葉書・1通	985-77
郵便はがき(在京及帰路の儀に付伺) 上水内郡牟礼小川昌夫→下高井郡江部村山田荘左衛門様	6月25日	葉書・1通	985-78
郵便はがき(16年度学校費・村内協議費2ヶ月分金16円82銭1厘取立) 同郡吉村戸長役場→下高井郡江部村山田荘左衛門殿 月日は郵便印より	(12月16日)	葉書・1通	985-79
郵便はがき(恭賀新禧の挨拶) 矢澤綱四郎→長野県下高井郡江部村山田荘左衛門様	明治17年1月1日	葉書・1通	985-80
郵便はがき(地租三期分12月4日立金29円66銭4厘書上) 下高井郡吉村戸長役場→同郡江部村山田荘左衛門殿	11月29日	葉書・1通	985-81
郵便はがき(信濃毎日新聞11月・12月分代金他1円23銭支払請求) 信州長野信濃新聞社(印、「信濃国長野信濃新聞社」)→下高井郡江部村山田荘左衛門様	明治15年1月28日	葉書・1通	985-82
郵便はがき(年賀の挨拶) 東京本□□□水町13番地松原屋文君→長野県下高井郡江部村山田荘左衛門様	明治17年1月4日	葉書・1通	985-83

郵便はがき(前橋表へ一泊) 神奈川山田松兵衛→信州下高井郡江部村山田熊太郎様、同理兵衛様	11月16日	葉書・1通	985-84
郵便はがき(恭賀新年の挨拶) 長野県管下松本北深志町1丁萬丸山登→下高井郡江部村山田庄左衛門	明治15年1月8日	葉書・1通	985-85
郵便はがき(先師常山の寺蔵石碑建設募資禄に付) 上高井郡仁礼村出張先春原光雄(印、「春原」)→下高井郡江部村山田庄左衛門様	(明治16)年8月10日	葉書・1通	985-86
郵便はがき(年賀の挨拶、少甥も無事加年に付) 東京芝区より小川千代吉→信州下高井郡江部村山田庄左衛門殿、人々御中	1月3日	葉書・1通	985-87
郵便はがき(恭賀新年の挨拶) 東京下□長□町1丁目13番地寺田孝志方曾我次治(印、「曾我」)→信濃国下高井郡東江部村山田庄左衛門様	(明治15)年1月2日	葉書・1通	985-88
郵便はがき(御返報延引申し訳なく、東京出立の見込みに付御報) 小布施高津猪八郎→下高井郡江部村山田庄左衛門様、至急用	5月9日	葉書・1通	985-89
(書状、学校費3円79銭1厘取立に付御送願) 吉村戸長役場(印)→江部村山田庄左衛門殿 封筒とも	(明治16)年10月30日	切紙・1通	985-90
(書状、山田温泉入湯の際御馳走の礼、□酔梅三冊返却に付続き分拝借願、井特の幽霊式軸)(牟礼)昌夫拜(小川昌夫)→(江部)山田御叔父上様(山田御本宅様) 封筒とも	10月30日	切継紙・1通	985-91
記(中野新町長谷川青吉の御救願に大徳寺住職頭痛に付、白米1俵拝借願) 大徳寺→山田庄左衛門様		切継紙・1通	985-92
(書状、本村字中町西側宅地一ヶ所字上原水本なる宅地抵当のこと、右宅地拝借懇願)(小布施)市村善輔拜→下高井郡江部山田熊太郎様、要信 封筒とも、黄色紙	7月21日	切継紙・1通	985-93
(書状、高津氏懇願の儀に付) 市村拜→山田様、机下 封筒とも、黄色紙	7月22日	切継紙・1通	985-94
(書状、高津氏嘆願の儀に付、居宅・土蔵他悉皆抵当として金1600円のこと)(小布施)市村善輔拜→(江部)山田賢兄閣下(山田熊太郎様) 封筒とも、赤色紙、封筒緑色	10月19日	切継紙・1通	985-95
(書状、横濱株格別変わりなし)(横濱より、弁二岩崎商店方)山田松三郎→(信州下高井郡江部村)山田庄左衛門様、至急要信 封筒とも、朱野紙	4月13日	切継紙・1通	985-96
(書状、栄華の祝儀につき) 東京下谷区上野桜木町29番地養寿院寄留)小林景一郎→(長野県信濃国下高井郡江部村)山田庄左衛門様 封筒とも、破損有り(一部焼損)	明治15年1月11日	切紙・1通	985-97
(書状、急病に付本日死去仕、出棺の儀お知らせ、病名腹膜炎) 綿貫市郎→(江部村)山田隈太郎様 封筒とも	8月18日	切紙・1通	985-98
(書状、御訪の段拝謝のこと) 綿貫市郎→(下高井郡江部村)山田熊太郎様、御家内中様 封筒とも、封筒一部破損有り	10月1日	切紙・1通	985-99
(書状、御厚情への礼、12日帰村のことご承知のこと、沈香中位の品1円程) 貞→(しなのやにて)山田様 封筒とも、青野紙	5月20日	切継紙・1通	985-100
(書状、新町出張中シカラキカン1勺入用に付買入)(安田にて)山田理兵衛→(江部)山田熊太郎様 封筒とも、985-101-1~2同封	12月10日	切継紙・1通	985-101-1

## 書状入袋

(書状、長野光石大内昌次君宅へお尋ねに付) 熊太郎 →山田理兵衛様	12月8日	切継紙・1通	985-101-2
(書状、御像画二面落成に付、横濱出張の願) (濱町1 丁目3番地)天繪学舎幹事拝→(浅草区八幡町3番地信濃屋和 助氏方)山田様(山田庄左衛門)御侍史 封筒とも、紫色紙	5月8日	切継紙・1通	985-102
(書状、12日より開庁に付) (長野県衛生課)石山礼太郎 →(長野県下高井郡江部村)山田庄左衛門様、親展 封筒と も、端裏書あり	4月17日	切継紙・1通	985-103
(書状、来る23日一日法事執行に付) (新野村)中山寛之 助→(江部村)山田熊太郎様、侍史中 封筒とも、朱罫紙	4月21日	切継紙・1通	985-104
(書状、金禄公債証書利子に付) (上高井郡須坂町)駒沢 貞永→(下高井郡江部村)山田庄左衛門様、親展 封筒とも	11月9日	切継紙・1通	985-105
(書状、当座お預けとして金1000円拝承に付、預かり 証差上のこと) 第63国立銀行中野支店→山田熊太郎様 封筒とも、封筒上書「証書在中」	5月2日	切継紙・1通	985-106
(書状、留守中に出張先のことなど報告) 熊太郎拝→ (山田温泉松本屋にて)山田庄左衛門様、侍史 封筒とも、 封筒水色	10月23日	切継紙・1通	985-107
(書状、藤吉御用に付) 市村□介拝→山田熊太郎様、貴報 封筒とも、赤色紙	4月18日	切継紙・1通	985-108
(書状、遠藤小生目論見の融通講金員不足に付) (牟礼) 小川弥右衛門→(下高井郡江部村)山田庄左衛門様、閣下 封筒とも	(明治16)年11月4日	切紙・1通	985-109
(書状、本年1月中借入金員本月返済期日に付、利子の みにて勘弁のこと) 湯田中湯本五郎治拝(印)→江部村 山田隈太郎様、御机下 封筒とも	11月6日	切紙・1通	985-110
(書状、厳寒の節挨拶、転任のため昨11日赴任に付、 亡父以来の懇意に付) 赤色紙		切紙・1通	985-111
封筒 長野新町林又右衛門方宿荻野重省→高井郡本江部村山 田庄左衛門様、要々		1 通	985-112
(書状、横株の儀1株に付、金50円のこと) (神奈川台青 木町70番地)山田松三郎→山田家両御兄上様、貴下 封筒 とも、水色紙	7月11日	切継紙・1通	985-113
(書状、岩崎主人当方御帰りに付、) (神奈川駅より、 青木町70番地)綿貫碧濤→(信州下高井郡江部村)山田熊太郎 様にて)山田松三郎様、至急用 封筒とも	11月21日	切継紙・1通	985-114
(書状、祝儀の節ご馳走の礼) 坂本亀之助→山田庄左衛 門様、閣下 封筒とも	4月22日	切継紙・1通	985-115
(書状、神奈川松三郎様より横株割賦金500円為替に 付) (牟礼より)小川弥右衛門→(下高井郡江部村)山田庄 左衛門様、閣下 封筒とも	7月15日	切紙・1通	985-116
(書状、本月出京の趣、中山道往来も道路悪敷に付、 旅人難渋の様子) (東京浅草榮久街35番地)麴池省三拝 →(長野県下高井郡江部村)山田御隠居様(山田庄左衛門様) 至急用事 封筒とも、年は郵便印より	(明治16)年3月6日	切継紙・1通	985-117
(書状、恭祝新年の挨拶) (上水内郡柏原村)中村六左衛門 →(長野県下高井郡江部村)山田庄左衛門様、几下 封筒と も	(明治15)年1月10日	切紙・1通	985-118
(書状、白瓜沢山通送への礼) 市村忠助→山田様貴下 985-119-1~2封筒一括、封筒とも	8月21日	切紙・1通	985-119-1

(書状、中野新町弥右衛門方不幸に付) 市村忠助拜→山田莊左衛門様、尊下	8月21日	切紙・1通	985-119-2
(書状、換暦の御嘉承の挨拶) 綿貫碧濤、綿貫孝造→山田御老君様(山田莊左衛門)、山田熊太郎様 封筒とも、985-120-1～2封筒に折畳一括	(明治15年午)1月5日	切紙・2通	985-120-1
(書状、岩崎様前橋表にて越年に付) 碧濤拜→山田様 985-120-1の追伸	5日	切紙・1通	985-120-2
(書状、三国史恩借、北魏南梁軍證他長々留置に付、返上領収のこと) (間山村)小林永太郎→(江部)山田熊太郎様、閣下 封筒とも	明治16年10月14日	切継紙・1通	985-121
(書状、新野へ立寄) 間山村新□信貫→山田熊太郎様、侍史 封筒とも、桃色封筒	6月1日	切紙・1通	985-122
(書状、公債証書利子金都合400円預け込みに付) (下高井郡江部)熊太郎拜→(東京浅草区八幡町信濃屋和介様方)父上様(山田莊左衛門)、侍史 封筒とも、985-123-1～2封筒一括	5月12日	切継紙・1通	985-123-1
(書状、御厚情の礼) 貞→山田様	5月11日	切継紙・1通	985-123-2
(書状、帙代運賃迄メ10円遣わしの願) 大徳寺→東江部山田御本宅様行		堅紙・1通	985-124
(書状、御像画一条に付) (濱町1丁目)天絵学会幹事→(浅草区八幡町3番地信濃屋和介方)山田莊左衛門様 封筒とも、封筒一部破損、像画のスケッチあり	5月1日	切継紙・1通	985-125
封筒 東筑摩郡山丘村之内百瀬百瀬田鶴→長野県下高井郡江部村山田莊左衛門様、平信	7月13日	1通	985-126
(書状、面談に付、諸見伝知) 萩野馬鹿子息省之介筆竹洩→山田尊兄君 赤野紙	1月12日	切紙・1通	985-127
(書状、東京発汽車にて御帰宅に付) 綿貫孝造、綿貫碧濤→山田御老君様、山田熊太郎様	2月19日	切継紙・1通	985-128
(書状、腰痛にて漸く帰村のこと通告) 越後赤津村高橋又兵衛→信州江部村山田莊左衛門、尊下 封筒とも、封筒破損あり		切継紙・1通	985-129
(書状、御親父様御多忙中妹遣わしに付) (長野栄町)北澤久右衛門→(東江部村)山田熊太郎様、尊下 封筒とも	5月9日	切紙・1通	985-130
(書状、掛り金融通に付) 篠田和三郎拜→江部山田御本宅様、尊下	5月26日	切紙・1通	985-131
(書状、拝借金御利子猶予願) (立ヶ蔵村)西原良八拜→(江部村)山田莊左衛門様 封筒とも	12月19日	切紙・1通	985-132
(書状、中野町に於いて集会の儀に付) 中村六左衛門→山田莊左衛門様、小林九之丞様 封筒とも	明治14年10月31日	切継紙・1通	985-133
(書状、柳長亭において頼母子初会取結に付) (中野)石毛兵作(桂林堂)→(江部)山田旦那様、貴下 封筒とも	10月5日	切継紙・1通	985-134
謹啓(拝借金1000円返納に付) (柏原駅)中村六左衛門→(江部)山田熊太郎様、親展 封筒とも	明治16年5月1日	切継紙・1通	985-135
(書状、両家祖先の年回に付、法会執行の知らせ) (牟礼駅)弥右衛門(小川)、昌夫→(下高井郡江部村)庄左衛門様、貴下 封筒とも	7月8日	切継紙・1通	985-136
(書状、横濱株式利益残金に付) (牟礼村)小川弥右衛門→(江部村)山田莊左衛門様 封筒とも、985-137-1～2封筒一括	(明治16)年4月5日	切継紙・1通	985-137-1



## 書状入袋

(書状、信濃貯金銀行株式売り出しに付) 985-137-1に差込		切紙・1通	985-137-2
(書状、郡長公他□会の儀に付山亭へ来訪のこと) (中野春水)篠田佐賢拜→(江部村)山田御老公、小林賢兄 封筒とも	3月16日	切紙・1通	985-138
(書状、馳走の礼、金圓送届の儀遅延に付) (上水内郡牟礼駅)小川昌夫→(下高井郡江部村)山田熊太郎賢兄、貴下 封筒とも、封筒青色	12月18日	切紙・1通	985-139
(書状、長野出途以来の行程) (浅草八幡町信濃屋止宿) 莊左衛門→(下高井郡江部村)熊太郎殿、理兵衛殿、貴下 封筒とも	4月16日	切紙・1通	985-140
(書状、先日馳走の礼、飯田表へ商用に付) 松代町玉井功藏→高井郡江部村山田熊太郎様 封筒とも	5月15日	切紙・1通	985-141
口上(苞板付二枚入進呈) (柏原駅)中村六左衛門→(江部)山田莊左衛門様 封筒とも	(明治16)年4月10日	切紙・1通	985-142
(書状、松三郎帰省の砌伝言、文晁屏風の儀に付) (東京浅草築久町35番地)麴池省三拜→(長野県下高井郡江部村)山田熊太郎様、至急用事 封筒とも、985-143-1~2封筒一括	(明治14)年12月14日	切紙・1通	985-143-1
(書状、文晁屏風の節の金相場に付) 985-143-1に挟込、追伸か		切紙・1通	985-143-2
(書状、通送の荷物に付) (東筑摩郡山ノ丘村百瀬)百瀬田鶴→(長野県下高井郡江部村)山田莊左衛門様、閣下 封筒とも	8月8日	切紙・1通	985-144
(書状、新禧の挨拶他) (東筑摩郡山ノ丘村)百瀬田鶴百拜→(長野県下高井郡江部村)山田莊左衛門様、閣下 封筒とも、985-145-1~2封筒一括、封筒水色	2月25日	切紙・1通	985-145-1
(書状、早々参上仕るに付) 985-145-1に挟込、追伸か		切紙・1通	985-145-2
(書状、帰省の砌御厚情の礼) (横濱より、弁式岩崎商店二面)綿貫孝造→(信下高井郡江部村)山田御尊父様(山田莊左衛門)、閣下 青野紙、「岩罌」印あり	11月21日	堅紙・1通	985-146
(書状、内海旭嶋死去の報知) (中野町商)内海親類安達彦元→(江部村)山田莊左衛門様 赤野紙	明治16年4月30日	堅紙・1通	985-147
(書状、軍艦の見物の儀横須賀在勤北里氏よりの返答に付) (神奈川青木町70番地)綿貫碧濤、綿貫孝造→(東京浅草八幡町3番地信濃屋和助様方)山田御尊父様、貴下 封筒とも、985-148-1~2封筒に折畳一括	5月9日	切紙・1通	985-148-1
(書状、親類山田御老人軍艦見物の執成に付) 北里重信→碧濤大人、孝造賢兄 青色紙	5月7日	切紙・1通	985-148-2
(書状、第19銀行における金録公債買入に付) (長野出立)莊左衛門→(下高井郡江部村)熊太郎殿、親展 封筒とも、桃色封筒	4月12日	切紙・1通	985-149
(書状、郵便為替も少しばかりの事に付) (長野県下高井郡江部村)新□信貫→(東京浅草八幡町信濃屋和助様方)山田莊左衛門様、平安 封筒とも	4月24日	切紙・1通	985-150
(書状、公債書書き換えにつき) 弟松三郎より(神奈川臺青木町七拾番地山田松三郎)→御兄上様、酒屋ッ兄上様(信州下高井郡江部村山田熊太郎様) 封筒とも	7月9日	切紙・1通	985-151
(書状、東京府公債課出張につき) 松三郎拜(信州下高井郡江部村山田熊太郎様)→山田御兄様(神奈川臺青木町七拾	7月2日	切紙・1通	985-152

番地山田松三郎) 封筒とも			
(書状) 稲岡兼吉→山田松三郎様貴下(信州下高井郡江部村山田松三郎様) 封筒とも、「神奈川縣下」の印あり	酉12月1日	青野紙・1通	985-153
(書状、屏風売却につき) 市村善輔→山田様 封筒とも	8月2日	切継紙・1通	985-154
(書状、大雪のため馬車が通行せざるにつき) 麴池省三(東京浅草栄久町三拾五番地麴池省三)→山田熊太郎様、同理兵衛様(長野縣下高井郡江部村山田熊太郎様、山田理兵衛様) 封筒とも	2月9日	切継紙・1通	985-155
(書状) 綿貫孝造百拜(横濱綿貫孝造)→香□、松濤御賢兄机下(山田熊太郎様、山田理兵衛様机下) 封筒とも	11月27日	青野紙・2通	985-156
(書状、公債証書入手の節は早速報知願い) 小川弥右衛門(上水内郡年永村小川弥右衛門)→山田莊左衛門様(下高井郡江部村山田莊左衛門) 封筒とも	(明治)16年3月31日	切継紙・1通	985-157
謹啓(入用につき拝借願い) 中村六左衛門(柏原村中村六左衛門)→山田莊左衛門様御前(江部村山田莊左衛門様親展) 封筒とも	明治14年11月29日	切紙・1通	985-158
(書状、返納金延引につき) 北澤久右衛門(長野栄町北澤久右衛門)→山田熊太郎様閣下(江部村山田莊左衛門様閣下) 封筒とも	明治16年5月25日	切継紙・1通	985-159
(書状、煙管張替につき) 小林永三郎(間山村小林永三郎)→山田熊太郎様机下(江部村山田熊太郎様) 封筒とも	4月6日	切継紙・1通	985-160
(書状、家産売却につき) 小林永三郎拜(間山村小林永三郎)→山田熊太郎様机下(江部山田熊太郎様) 封筒とも	6月5日	切紙・1通	985-161
(書状、正金銀行株他につき) 松三郎再拜→御父上様、熊太郎様、理兵衛様、孝之助様		青野紙・1通	985-162
(書状、法事の法会品ほかにつき) 上山田丞太郎(印、「山田」)→下大徳寺様	正月20日	切紙・1通	985-163
(書状、常磐座において劇場始まるにつき) 北澤久右衛門(長野栄町北澤久右衛門)→山田熊太郎様(下高井郡東江部村山田莊左衛門様) 封筒とも	明治16年4月25日	切紙・1通	985-164
(書状、花月□の内かか見一時返却願い) 篠田拜→山田様 封筒とも、985-165-1と2は挟込一括	4月22日	切紙・1通	985-165-1
(書状、代金元利足60円になるが55円にて引取たき旨) 賢→熊太郎様	4月20日	切紙・1通	985-165-2
(書状) 新□拜(間山村新□拜)→田熊太郎様(江部村山田熊太郎様御取次中) 封筒とも	12日	切継紙・1通	985-166
(書状、金円の儀につき) 北澤久右衛門(長野栄町北澤久右衛門)→山田熊太郎様貴下(江部村山田熊太郎様閣下) 封筒とも	5月30日	切紙・1通	985-167
(書状) 礼太郎拜(石山礼太郎拜)→山田様 封筒とも	7日	切紙・1通	985-168
(書状、繰り金お貸し願い) 中村六左衛門(柏原村中村六左衛門)→山田莊左衛門様御前(江部村山田莊左衛門様) 封筒とも	(明治)14年12月25日	切紙・1通	985-169
(書状、竹の枝入用につき) 小林九之丞(間山村小林拜)→山田御老君机下(江部山田様) 封筒とも	8月5日	切継紙・1通	985-170
□啓(別紙仮証書持参につき) 中村六左衛門(柏原村中村六左衛門)→山田莊左衛門坂、同熊太郎様御前(江部村山田莊左衛門様親展) 封筒とも、985-171-1と2は挟込一括	(明治)14年12月6日	切継紙・1通	985-171-1

## 書状入袋

謹啓(この頃佐久郡箕場土結社につき) 再拝		切継紙・1通	985-171-2
(書状、数奇形一冊相添につき) しのた拝(松川篠田拝) →山田様(江部山田様) 封筒とも	3月14日	切紙・1通	985-172
(書状、更科村勘兵衛倅嘉太郎儀に付) (間山村)新□拝 →山熊兄(山田熊太郎) 封筒とも	3月19日	切継紙・1通	985-173
(書状、ご機嫌伺いの挨拶) (小布施)市村拝(市村善輔) →(江部)山田様(山田熊太郎)、尊下 封筒とも	3月29日	切継紙・1通	985-174
(書状、ご機嫌伺いの挨拶) ゾラ→おうさま、尊下	7月12日	切継紙・1通	985-175
(書状、商売道具お送りに付) (間山村)新□信貫→(土 豪)熊太郎様、侍史 封筒とも	3月2日	切継紙・1通	985-176

## 書状入袋

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
「到来信書入 明治18年2月」 (袋・993を一括)			整理番号 993
(葉書、荷物受取につき) 山田莊左衛門→山田熊太郎殿 郵便印あり	7月20日	葉書・1通	993-1
(葉書、御恩借仕置候金負御返済可申候処) 小布施村佐 藤享平→江部村山田熊太郎殿閣下 郵便印あり	11月24日	葉書・1通	993-2
(葉書、年賀状) 綿貫孝造→信州高井郡江部村山田熊太郎 様、山田理兵衛様 郵便印あり	卯1月2日	葉書・1通	993-3
(葉書、年賀状) →信州高井郡江部村山田莊左衛門、山田 莊三郎様 郵便印あり	1月2日	葉書・1通	993-4
(葉書、年賀状) 越後中野城郡大貫村矢沢綱四郎→長野縣 下高井郡江部村山田莊左衛門様 郵便印あり	明治19年1月1日	葉書・1通	993-5
(葉書、年賀状) 松本莊平→長野縣信濃國東江部山田莊左 衛門様 郵便印あり	1月2日	葉書・1通	993-6
(葉書、灌湯器入用に付) 山田温泉莊藏→下高井郡江部村 山田熊太郎殿 郵便印あり	9月26日	葉書・1通	993-7
(葉書、雛形願上申候に付) 山田理兵衛→下高井郡江部 山田莊左衛門様 郵便印あり	4月27日	葉書・1通	993-8
(葉書、新野村旅寓中に御伺申度存候に付き) 越後高 田春日町春山頼母→信濃國下高井郡江部村山田庄左衛門殿 郵便印あり	8月8日	葉書・1通	993-9
(封筒、願用御親展) 駒澤貞永→莊左エ門様 993-10-1は 封筒入		封筒・1通	993-10
(書状、一筆啓上仕候、京掛物共進会へ御用有之出京 仕事) 貞永→山田様	5月15日	切継紙・1通	993-10-1
(封筒) 信濃貯金銀行長野支店→下高井郡江部村山田庄左衛 門様 993-11-1は封筒入	(明治)18年7月13日	封筒・1通	993-11
(書状、信濃貯金銀行上田本店に於いて定式総会相開 候事) 信濃貯金銀行長野支店(印)→山田庄左衛門様、篠 田佐資様、山田文六様	明治18年7月13日	書状・1通	993-11-1
(封筒、小布施村市村善輔→下高井郡江部村山田熊太郎様 993-12-1は封筒入		封筒・1通	993-12
(書状、金縁公債証売却人有之候に付)	11月3日	切継紙・1通	993-12-1
(封筒) 飯山山田利兵衛→江部村山田御本宅 993-13-1は 封筒入	12月18日	封筒・1通	993-13
(書状、地券証券被計下度奉願上候に付) 山田利兵衛→ 御本宅様	12月18日	切継紙・1通	993-13-1
(包紙、大至急要用) 山田利兵衛→下高井郡江部村山田熊 太郎様 993-14-1は封筒入	2月23日	包紙・1通	993-14
(書状、時候の挨拶) 山田利兵衛→山田熊太郎様	明治18年2月23日	切継紙・1通	993-14-1
(封筒) 信州店山宿篠田佐資→長野県下信濃國下高井郡江部 村山田熊太郎様 993-15-1は封筒入	6月23日	封筒・1通	993-15
(書状、諸穀等もそろそろ引揚候様子に付)	6月23日	切継紙・1通	993-15-1
(封筒、至急用件) 横浜桜木町山田杉三郎→信州下高井郡	2月22日	封筒・1通	993-16

## 書状入袋

江部村山田庄左衛門様 993-16-1は封筒入			
(書状、姉疾病に付) 山田杉三郎→山田御本宅様	2月22日	切継紙・1通	993-16-1
(封筒) 綿貫碧兵衛→下高井郡江部村山田熊太郎様 993-17-1は封筒入	6月2日	封筒・1通	993-17
(書状、当方へお越し被成、猶又御土産頂戴仕、御祝儀難有仕合ニ奉存候に付) 綿貫碧兵衛→山田熊太郎様、山田利兵衛様	6月2日	切継紙・1通	993-17-1
(封筒、要用) 水内郡飯山町山田利兵衛→下高井郡江部村山田熊太郎様 993-18-1は封筒入		封筒・1通	993-18
(書状、証券至急要用ニ相成候間、明日帰り郵便に御送り附奉願上候) 山田利兵衛→山田熊太郎様	5月28日	切継紙・1通	993-18-1
(封筒、書留) 上水内郡長ノ町三橋晋→下高井郡江部村山田庄左衛門殿 993-19-1は封筒入	(明治)18年7月18日	封筒・1通	993-19
(書状、借用の月紙返納金ノ由に付) 三橋晋→山田庄左衛門様	(明治)18年7月18日	切継紙・1通	993-19-1
(封筒) 高田呉服町→長野県下高井郡江部村山田庄左衛門様 993-20-1は封筒入	(明治)18年8月21日	封筒・1通	993-20
(書状、兼て申上置候物出荷の事) 麴池省三→山田熊太郎様	8月21日	切継紙・1通	993-20-1
(封筒) 清楚松之助→長野県濃国下高井郡江部村山田熊太郎様 993-21-1は封筒入	明治18年6月28日	封筒・1通	993-21
(書状、本月より牛込町浅田ト申医師病院に参る事に付一筆啓上) 清楚松之助→山田熊太郎様	明治18年6月28日	切継紙・1通	993-21-1
(封筒) 牟禮駅小川昌夫→下高井郡江部村山田熊太郎様 993-22-1は封筒入	8月12日	封筒・1通	993-22
(書状、先般在濱松三郎様よりの信書に付) 小川弥右衛門、小川昌夫→山田熊太郎様	8月12日	切継紙・1通	993-22-1
(封筒) 麴池省三→長野縣下高井郡江部村山田庄左衛門様 993-23-1は封筒入	11月12日	封筒・1通	993-23
(書状、帰京御報告申上候事) 麴池省三→山田熊太郎様	11月12日	切継紙・1通	993-23-1
(封筒) 阪本則敏→長野縣下高井郡江部村山田熊太郎様		封筒	993-24
屋敷絵図面		切紙・1通	993-24-1
(書状、追々相催候処に付) 阪本則敏→山田閣下	9月23日		-2
(封筒) 麴池省三→長野縣下高井郡江部村山田庄左衛門様 993-25-1は封筒入	(明治)18年6月27日	封筒・1通	993-25
(書状、先般相願御方へ相来訪に相成に付) 麴池省三→山田熊太郎様	6月27日	切継紙・1通	993-25-1
(封筒) 阪本則敏→山田庄左衛門殿 993-26-1は封筒入		封筒・1通	993-26
(書状、書留に付) 阪本則敏→山田庄左衛門様	9月26日	切継紙・1通	993-26-1
(封筒) 小川弥右衛門→下高井郡江部村山田熊太郎様 993-27-1は封筒入	4月1日	封筒・1通	993-27
(書状、病氣追々重体最早全治ノ目途無之に候ニ付) 小川弥右衛門→山田熊太郎様	4月1日	切継紙・1通	993-27-1
(封筒) 浅草区八幡町信和方止宿山田庄左衛門→信州下高井郡江部村山田熊太郎殿 993-28-1、993-28-2は封筒入	7月7日	封筒・1通	993-28

(書状、拙者共義婦国ノ道程に付) 庄蔵→熊太郎殿、利兵衛殿		切継紙・1通	993-28-1
(書状、諸品賃金拂ニテ相渡申に付) 庄蔵→熊太郎殿、利兵衛殿	6月29日	切継紙・1通	993-28-2
(封筒) 東京浅草栄久町麴池省三→長野縣下高井郡江部村山田庄左衛門様 993-29-1は封筒入		封筒・1通	993-29
(書状、清使本日横浜解艦に相成候事他) 麴池省三→山田熊太郎様	2月26日	切継紙・1通	993-29-1
(封筒、願用至急) 根岸□杉村山本虎方止宿曾我欽次郎→信州下高井郡中野東町曾我新造様 993-30-1は封筒入	1月14日	封筒・1通	993-30
(書状、拙者義大学試問書籍入用に付、至急代金御送願度存候に付) 欽次郎→御両親様	1月14日	切継紙・1通	993-30-1
(封筒) 関壬四郎→高井郡東江部村山田熊太郎殿 993-31-1は封筒入	明治18年12月5日	封筒・1通	993-31
(書状、当地関物ニテ差向入用之旨依頼之处折節持合無御座候故貸借いたし候事) 関壬四郎→山田熊太郎様		切継紙・1通	993-31-1
(封筒) 上水内郡長埜町三橋晋→下高井郡江部村山田庄左衛門殿 993-32-1は封筒入	(明治)10月20日	封筒・1通	993-32
(書状、金返済仕候間書付) 山田晋→山田庄左衛門殿	10月20日	切継紙・1通	993-32-1
(封筒) 上高井郡井上村阪本喜之助→高井郡東江部村山田庄左衛門様御中 993-33-1は封筒入	11月10日	封筒・1通	993-33
(書状、本日より法事仕に付) 阪本喜之助→山田庄左衛門様	11月10日	切継紙・1通	993-33-1
(封筒) 上水内郡北長池町吉松集松代三橋晋→長野縣下高井郡江部村山田庄左衛門殿 993-34-1は封筒入	(明治18年)6月18日	封筒・1通	993-34
(借ノ錢返納金に付) 三橋晋→山田庄左衛門様	6月18日	切継紙・1通	993-34-1
(封筒)		封筒・1通	993-35-0
(おりん子引越につき書状) 小川弥右衛門→山田熊太郎閣下	明治18年7月24日	堅切継紙・1通	993-35-1
(封筒) 山田熊太郎→山田理兵衛様 中身なし	(明治18年)2月16日	封筒・1通	993-36-0
(封筒)		封筒・1通	993-37-0
(自分并ニ木村氏出頭願候につき) 山本芳造→山田理兵衛様	明治18年2月16日	堅切紙・1通	993-37-1
(封筒)		封筒・1通	993-38-0
(曾我氏本日入営候につき) 中野町中澤由兵衛宿山本芳造→下高井郡江都村山田理兵衛殿	明治18年2月16日	堅切紙・1通	993-38-1
(封筒)		封筒・1通	993-39-0
(拝借金返済につき) 北原弥右衛門→山田熊太郎	西11月30日	堅切紙・1通	993-39-1
(封筒)		封筒・1通	993-40-0
(無尽掛金御下ヶ差下候につき) 直江省三(印)→山田旦那様	5月7日	堅切紙・1通	993-40-1
(封筒) 飯山町山田理兵衛→江部村山田熊太郎様、金四郎様 993-41-1は封筒入、封筒に「為□券在中」、裏に入金に関する文言あり。		封筒・1通	993-41

## 書状入袋

(書状、証券送りつけに付) 山田理兵衛→山田熊五郎様	6月2日	横切継紙・1通	993-41-1
(封筒) 駒澤貞永→山田庄左エ門様 993-42-1は封筒入り、封筒に「金円在中」、継ぎ目に印あり。	6月29日	封筒・1通	993-42
(書状、金銭調達に付) 駒澤貞永→山田庄左エ門様	6月29日	横切紙・1通	993-42-1
(封筒) 坂木亀之助→[山]田庄左衛門様 993-42-1は封筒入り、封筒破損。	11月24日	封筒・1通	993-43
(書状、当家法会に付) 坂木亀之助→山田庄左衛門様	11月24日	横切紙・1通	993-43-1
(封筒) 長野北沢久右衛門→江部村山田熊五郎様 993-44-1は封筒入り、封筒裏に配達の使用人名あり。		封筒・1通	993-44
(書状、本日午後より亡き父の中陰に付) 家内→江部村山田熊五郎様	2月5日	横切紙・1通	993-44-1
(封筒) 市川助次郎→山田熊五郎様 993-45-1は封筒入り。	12月18日	封筒・1通	993-45
(書状、お尋ねの代償お預かりに付) 市川助次郎(印)→江部村山田熊五郎様	12月18日	横切紙・1通	993-45-1
(封筒) 黒木国蔵→山田熊五郎様 993-46-1は封筒入り。	4月2日	封筒・1通	993-46
(書状、種々御饗応頼まれに付) 黒木国蔵→山田熊五郎様 間に粗品進呈の一紙あり。	4月2日	横切継紙・1通	993-46-1
(書状、御返書に付) 山田理兵衛→山田熊五郎様 端裏書あり。	6月12日	横切紙・1通	993-47
(書状、証書送付されたくに付) 山田理兵衛→山田熊五郎様、山田御本宅様	6月12日	横切継紙・1通	993-48
上水内郡善光寺前中島小左衛門→下高井郡江部町山田庄左衛門様 「長野貯蔵銀行積立金規約」の裏紙使用	17年11月21日	封筒・1通	993-49
中島小左衛門→山田庄左衛門様	17年11月21日	横切継紙・1通	993-1
(封筒) 〔下高〕井郡江部村山田庄左衛門殿→下高井郡往郷村穂高村戸長役場 封筒上部破損、宛名横に「要領」		封筒・1通	993-50
(書状、畦畔帳整頓に付) 下高井郡往郷村穂高村戸長役場(印)→同郡江部村山田庄左衛門	10月21日	横切紙・1通	993-50-1
(封筒) 吉田市小井多吉→本宅山田熊太郎様 993-53-1は封筒入り。	5月22日	横封筒・1通	993-51
(書状、時候の挨拶) 小井多吉→山田熊太郎	5月22日	横切紙・1通	993-51-1
(書状、金捨五両貸借に付) 山田理兵衛→山田熊五郎	6月5日	横切紙・1通	993-52
請取証(金拾円郵便為換にて落掌に付、書状) 東京麻布大学兼諸清野古顕出代裡高津珉恭(印)→江部村山田熊太郎様	6月20日	横切紙・1通	993-53
(封筒) 松代第六十三国立銀行→下高井郡江部村山田熊五郎様 993-54-1~2は封筒入り。		封筒・1通	993-54
(書状、当銀行取締役補欠選挙に付) 松代第六十三国立銀行→山田熊太郎様	9月25日	横切紙・1通	993-54-1
補欠取締役投票点数			993-54-2
(封筒) 第六十三国立銀行→高井郡江部村山田庄左衛門様 993-55-1~2は封筒入り。封筒表に「従松代」、朱書で「至急」とあり。第六十三国立銀行の朱印あり。	明治18年8月3日	封筒・1通	993-55
(書状、当銀行取締役補欠選挙に付) 松代第六十三国立銀行(印)→山田熊太郎様 松代第六十三国立銀行の朱野紙	明治18年8月3日	朱野紙・1通	993-55-1

使用。			
補欠取締役投票点数		横切継紙・1通	993-55-2
(封筒) 牟礼郡小川弥右衛門→江部村山田熊太郎様 993-56-1は封筒入り。封筒表に「金九円弍拾三銭在中」とあり。	5月31日	封筒・1通	993-56
(書状、謝金受取り、残金返上に付) 小川弥右衛門→山田熊五郎様閣下	5月31日	横切紙・1通	993-56-1
(封筒) 小川昌夫→山田熊太郎様 993-57-1は封筒入り。	5月31日	封筒・1通	993-57
(書状、結納その他相談に付) 小川昌夫→山田□□	5月31日	横切紙・1通	993-57-1
(封筒) 高井郡役所→〔江〕部郡山田莊左衛門殿 993-58-1～2は封筒入り。封筒表に朱印で「公用」とあり。	18年4月25日	封筒・1通	993-58
(書状、東洋絵会創立に付) 993-1～2は紐綴じ。下高井郡役所の朱罫紙使用。		朱罫紙・1通	993-58-1
記(入会金など) 下高井郡役所観賞掛(印)→ 下高井郡役所の朱罫紙使用。		朱罫紙・1通	993-2
(封筒) 第六十三国立銀行中野支店→江部村山田莊左衛門様 993-59-1は封筒入り。		封筒・1通	993-59
(書状、至急本店へ使をして罷り出のこと) 中野支店(印)→山田莊左衛門様	8月7日	切継紙・1通	993-59-1
(封筒) 高井郡木島村外八ヶ村戸長役場→江部村山田熊太郎殿		封筒・1通	993-60
(書状、部内吉村佐藤孫左衛門財産公買に付、役場へ代金上納のこと) 高井郡木島村外八ヶ村戸長役場(印)→江部村山田熊太郎殿		朱罫紙・1通	993-60-1
(封筒) 中野町西川方綿田□造(印)→江部村山田御本宅 993-61-1は封筒入り。	明治19年1月19日	封筒・1通	993-61
(書状、煩いに付怠りなく服用のこと) 西川方綿田□造(印)→江部村山田様	1月19日	横切継紙・1通	993-61-1
(封筒) 駒澤貞永→山田莊左衛門様 封筒表に「証書案在中」とあり。		封筒・1通	993-62
(包紙) 山田理兵衛→下高井郡江部村山田熊五郎様 993-63-1は包紙入り。裏に「長野・町御役所ニテ」とあり。	4日	横切紙・1通	993-63
(書状、下谷中徒士町今泉丘之に諸事件始審の代言人頼みに付) 山田理兵衛→山田熊五郎様	未8月4日	横切紙・2通	993-63-1
(書状、時候の挨拶) 山田理兵衛(印)→山田熊五郎様	6月5日	青罫紙・1通	993-64
(封筒) 大徳寺→江部村山田莊左衛門様 993-65-1は封筒入り。			993-65
(書状、大徳寺屋根の萱不足に付) 大徳寺→山田当主殿	6月14日	朱罫紙・2通	993-65-1
換舌(只今電報披見に付) 相馬敬白→山田当主様	7月11日	横切紙・1通	993-66
(封筒) 本多政実→下高井郡江部村山田熊太郎殿 993-67-1は封筒入り。	明治19年3月1日	封筒・1通	993-67
(書状、時候の挨拶) 本多政実→熊太郎殿・利兵衛殿	2月28日		993-67-1
(書状、新井村取立地租税その他上納方依頼に付) 木島村外八ヶ村戸長役場(印)→江部村山田莊左衛門殿			993-68
(封筒) 往郷村泉龍寺渡辺俊龍→江部村山田理兵衛様 993-69-1は封筒入り。	8月6日	封筒・1通	993-69



## 書状入袋

(書状、預け置きし弟子ご恩に付、礼文) 渡辺俊龍(印)→山田理平様 緑色の切紙使用。	明治14年8月6日	横切紙・1通	993-69-1
(封筒) 平川村外四ヶ村戸長役場ニ而小川弥右衛門(印)→江部村山田熊五郎様閣下 993-70-1は封筒入り。	10月15日	封筒・1通	993-70
(書状、老翁様お祝いに付) 弥右衛門→山田熊太郎様	10月12日	横切紙・1通	993-70-1
(封筒) 畏三堂書房須原鉄二(印)→長野県下高井郡江部村山田莊右衛門 993-71-1は封筒入り。「要至急事」の文言あり。封筒裏に切手あり。	明治18年8月22日	封筒・1通	993-71
(書状、賃銀先払いにて返送に付) 須原鉄二(印)→山田大旦那		横切紙・1通	993-71-1
(封筒) 青木→山田熊太郎様 993-72-1は封筒入り。封筒裏に「山田温泉客会ニテ」とあり。		封筒・1通	993-72
(書状、時候の挨拶) 青木→山田様	10月6日	横切紙・1通	993-72-1
(封筒) 〔吉〕田熊太郎様→牟礼小川昌夫 993-73-1は封筒入り。	9月20日		993-73
(書状、松三郎兄よりの為替を使者に相渡すことなど願) 昌夫→熊太郎□□	9月20日	横切紙・1通	993-73-1
(封筒) 牟礼酒屋→山田御本宅様 993-74-1は封筒入り。	10月8日	封筒・1通	993-74
(書状、両替金先に治め入れ置き候に付) 下部分欠損。	8日	横切紙・1通	993-74-1
(書状、めもり代金正に請取、先方へ相渡しに付) 田中作次(印)→御旦那様	9月12日	横切紙・1通	993-75
(封筒) 御□村元方→〔欠損〕江部村山田本宅様御中 993-76-1は封筒入り。	明治18年9月14日	封筒・1通	993-76
(書状、芝居興行に付招待状) →山田様		切紙・1通	993-76-1
(封筒) 柏原村中村六左衛門→〔江〕部村山田莊左衛門様 993-77-1は封筒入り。		封筒・1通	993-77
(書状、時候の挨拶) 中村六左衛門家内→山田莊左衛門様	18年8月28日	横切紙・1通	993-77-1
(封筒) 村越茂助→山田熊太郎様 993-78-1は封筒入り。	9月13日	封筒・1通	993-78
(書状、返金に付) 村越茂助→江部村山田熊太郎様	9月13日	横切紙・1通	993-78-1
(封筒) 長野吉杳果明→山田理兵衛様 993-79-1は封筒入り。		封筒・1通	993-79
(書状、本月分金罷り越しに付) 吉松果明→山田理兵衛様	8月20日	青野紙・1通	993-79-1
(書状、代言人を東京徒士町の今泉某にお頼みに付) 山田理兵衛→山田熊五郎様 「金証書委皆御返済被下度」との端書あり。		青野紙・1通	993-80
(書状、金銭受領書雛形) 山田理兵衛→江部郡山田熊太郎	9月15日	横紙・1通・(青野紙使用)	993-81
(封筒) 小川弥左衛門→江部郡山田熊太郎	7月18日	封筒・1通・993-82-1、2封筒入	993-82
(書状、急ぎ紛レ伺洩候裁縫女子の一件)		横紙・1通	993-82-1
(書状、横浜株式取引二付) 小川弥左衛門→江部郡山田熊太郎	7月18日	横紙・1通	993-82-2

(封筒) 東京浅草 8 番丁 篠田佐資→信州江部郡山田熊太郎		封筒・1通・993-83-1 封筒入	993-83
(書状) →山田熊太郎	7月7日	横継紙・1通・(朱野紙使用)	993-83-1
(書状、病僧看護二付依頼状ヲ一通願度申候二付) →山田庄左右衛門		横継紙・1通・(朱野紙使用)	993-84
(書状、おふくろサマ病節二付)	12月9日	横切紙・1通	993-85
(封筒) 同 浦次郎→山田熊太郎	7月3日	横継紙・1通	993-86
(書状)	7月3日	1通	993-86-1
(書状、時候の挨拶) 下田半高→江部郡山田熊太郎	11月6日	横継紙・1通	993-87
(封筒) ミツ和村小村平八→江部村山田庄左衛門	18年10月26日	封筒・1通	993-88
(書状、帰国の義二付礼文) 東京大伝馬塩町上屋敷平助殿方ニテミツ和村小林平八→江部村山田	10月26日	横継紙・1通	993-88-1
(書状、荒井村江代納もの依頼二付) 木島村外ハヶ村戸長役場→江部村山田		横継紙・1通・(損傷あり、取扱注意)	993-89
(封筒) 牟礼駅小川弥右衛門→江部村山田熊太郎		封筒・1通	993-90
(書状、国内御購入ノ新宅へ近々御引渡二付) 小川弥右衛門→山田熊太郎	11月26日	横切紙・1通	993-90-1
(書状、山田理兵衛→江部郡山田熊太郎	7月16日	横継紙・1通	993-91
(封筒) 惣兵衛→下高井郡江部村山田	11月20日	封筒・1通・(車夫□次第托ス)	993-92
(書状、芝居に付) 長野□関惣兵衛→山田旦那	11月20日	横切紙・1通	993-92-1
(封筒) 長野窪賀町→山田庄左衛門	18年12月18日	封筒・1通	993-93
	12月18日	横継紙・1通	993-93-1
(封筒) 間山村小林永太郎→江部郡山田熊太郎 94-1は封筒入り。	12月9日	封筒・1通	993-94
(書状、鈴木長兵衛より買入の地所に付、示談のこと) 小林九之丞・同永太郎→山田熊太郎様	12月9日	横切継紙・1通	993-94-1
(書状、小見組所持の地面開墾に付、中野町近山勝右衛門宅へ印形持参の旨、通知のこと) 穂高村戸長岡田→江部村山田庄左衛門殿	11月22日	朱色野紙・1通	993-95
(封筒) 小林多吉→江部本宅山田熊太郎様 96-1は封筒入り。	7月20日	封筒・1通	993-96
(書状、金10円の返済と残金返済猶予願に付) 小林多吉→山田様閣下	7月20日	横切紙・1通	993-96-1
(封筒) 小布施市村善輔→江部山田熊太郎様 97-1は封筒入り。		封筒・1通	993-97
(書状、柏原の中村氏へ杜氏の件、ご照会願いなどに付) 市郷善輔→山田賢兄様	8月8日	横切継紙・1通	993-97-1
(封筒) 幡場慎左衛門→江部村山田利兵衛様 98-1は封筒入り。		封筒・1通	993-98
(書状、政府へ申請の金30万円拝借の件、受理に付) 慎左衛門→理兵衛様	8月22日	横切継紙・1通	993-98-1
(封筒) 山田理兵衛→江部村山田熊太郎様	2月20日	封筒・1通	993-99

## 書状入袋

(封筒) 山田浦次郎→山田熊太郎殿 100-1は封筒入り。	7月16日	封筒・1通	993-100
(書状、7月1日の暴風雨と大洪水に付、お見舞いのこと) 浦次郎拜→山田熊太郎殿呈膝下	7月16日	横切継紙・1通	993-100-1
(封筒) 新潟縣下頸城郡高田呉服町村井与平方寄留麴池省三(印、「麴池」)→長野縣下高井郡江部村山田熊太郎様 101-1は封筒入り。	18年7月20日	封筒・1通	993-101
(書状、米穀高騰と不景気などに付) 麴池省三→山田熊太郎様	7月20日	横切継紙・1通	993-101-1
(封筒) 八幡町信和方山田莊左衛門→信州下高井郡江部郷十五番地山田熊太郎殿 102-1は封筒入り。	7月12日	封筒・1通	993-102
(書状、横濱株式一件に付) 莊左衛門→熊太郎殿・理兵衛殿	7月12日	横切継紙・1通	993-102-1
(封筒) 安源寺村外八ヶ村戸長役場→江部村山田庄左衛門殿 103-1は封筒入り。		封筒・1通	993-103
(書状、礼服用の上、郡庁へ出頭の際、通知に付) 安源寺村外八ヶ村戸長役場(印、「長野縣下高井郡安源寺村外八ヶ村戸長役場印」)→江部村山田庄左衛門殿 「安源寺村外八ヶ村戸長役場」の罫紙使用。	明治月18年7月18日	朱色罫紙・1通	993-103-1
(封筒) 山田熊太郎→山田莊左衛門様 104-1は封筒入り。	10月2日	封筒・1通	993-104
(書状、間山・篠田の来訪や降雨の件など、近況報告に付) 熊太郎拜→御尊父様	10月2日	横切紙・1通	993-104-1
(封筒) 駒澤貞永→山田莊左衛門様 993-105-1～2は封筒入り。		封筒・1通	993-105
(書状、組合設立に付) 駒澤貞永→山田莊左衛門様	2月2日	横切紙・1通	993-105-1
(書状、組合設立に付願い書き)		横切紙・1通	993-105-2
(書状、金円借用証書受取に付) 山田理兵衛→江部村山田熊太郎様 調印の上送付するよう端裏書あり。	6月3日	横切継紙・1通	993-106
(封筒) 竹條井村外六ヶ村戸長役場→江部村山田利兵衛殿 993-107-1は封筒入り。	明治18年6月1日	封筒・1通	993-107
(書状、捺印無之に付、今般却下二相成候) 竹條井村外六ヶ村戸長役場(印)→江部村山田利兵衛殿	明治18年6月1日	朱罫紙・1通	993-107-1
(封筒) 小池善之助→下高井郡江部村山田熊太郎様 993-106-1は封筒入り。封筒表に「要用」、裏に「夫辰五郎持参」とあり。	12月28日	封筒・1通	993-108
(書状、兼ての御恩借を返納に付) 小池善之助→山田熊太郎様		横切継紙・1通	993-108-1
(書状、呼吸病全癒次第参上に付) 駒澤貞永→山田莊左衛門様	8月28日	横切紙・1通	993-109
(封筒) 吉奎集輯→下高井郡江部村山田熊太郎様 993-110-1は封筒入り。	2月19日	封筒・1通	993-110
(書状、金捨五両受取に付) 吉奎集輯→山田熊太郎様		横切継紙・1通	993-110-1
(封筒) 佐藤享平→江部村山田熊太郎様 998-111-1は封筒入り。	12月20日	封筒・1通	993-111
(書状、金欠調達しかねに付、日延のこと願) 佐藤享平→山田熊太郎様閣下	12月20日	横切継紙・1通	993-111-1
(封筒) 中野町奈良定助→下高井郡江部村山田庄左衛門 998-112-1は封筒入り。切手あり。封筒に「急件」とあり。	12月16日	封筒・1通	993-112

(書状、拝借金壹円返納に付) 奈良定助(印)→山田莊左衛門様	12月15日	横切継紙・1通	993-112-1
(書状、東京仮居に付) 中口明宜→下高井郡江部村山田熊太郎様	1月5日	朱罫紙・1通	993-113
(書状、東京表にて相調べ、持参に付) 青木→山田様	12月4日	横切継紙・1通	993-114
口換(代言届委任状相届に付) 小林小太郎→山田様	6月20日	横切継紙・1通	993-115
(書状、証文のこと) 山田御本宅サマ→山田理兵衛	4月9日	横切継紙・1通	993-116
(封筒) 高野村村越茂助→山田兵衛殿「依頼書」とあり。	10月12日	封筒・1通	993-117
(封筒) 麴池[破損]→山田熊太郎様 993-118-1は封筒入り。	2月7日	封筒・1通	993-118
(書状、神奈川様お調べに付) 麴池省三→山田熊太郎	2月7日	横切継紙・1通	993-118-1
(封筒) 山田理兵衛→江部村山田熊太郎様 993-119-1は封筒入り。封筒に「急用」とあり。	4月20日	封筒・1通	993-119
(書状、拝借金百円に付) 山田理兵衛→山田熊太郎様	4月20日	横切紙・1通	993-119-1
(封筒) 永龍寺→高井郡江部村山田熊太郎様 993-120-1は封筒入り。	1月11日	封筒・1通	993-120
(書状、病人のこと) →山田様	1月11日	横切継紙・1通	993-120-1
(書状、牟礼きくや縁談の一件の儀などに付お伺いのこと) 熊太郎→山田父上様御案下 993-121-1~123は折畳一括	5月28日	横切継紙・1通	993-121-1
追徴証書(不足分金3銭追納に付) 長の電信分局主務秋里竜男→山田松三郎	明治19年1月	切紙・1通	993-121-2
追徴証書(追徴証書第三号記載の事由に付金3銭正に受領のこと) 長の電信分局主務秋里竜男(印)→山田松三郎	明治18年1月8日	切紙・1通	993-121-3
(封筒) 従名古屋同(山田)浦次郎→信州下高井郡江部村山田熊太郎殿親展 993-122-1は封筒入	4月5日	封筒・1通	993-122
(書状、養家ご厄介の儀萬謝に付など近況報告) 浦次郎拝→山田兄上様呈膝下	4月5日	横切継紙・1通	993-122-1
(封筒) 江部山田熊太郎→飯山讃小路本多政用殿方山田理兵衛様 封筒開披不可	12月16日	封筒・1通	993-123
(封筒) 従小布施市村善輔→江部山田熊太郎様格下 993-124-1は封筒入		封筒・1通	993-124
(書状、先日願置き候公債証書の儀などに付) 市村善輔拝→山田尊兄閣下	3月31日	横切継紙・1通	993-124-1
(書状、明日常平寺における展観舎の儀に付) 麴池省三(印)→江部山田御本宅様用事	4月30日	横切罫紙・1通	993-125
(封筒) 牟礼小川昌夫→江部村山田莊左衛門様乞御中 993-126-1は封筒入	3月29日	封筒・1通	993-126
(書状、御法会の儀などに付金子拝借願のこと) 小川昌夫→山田御伯父上様閣下 経目剥離か	3月29日	横切紙・2通	993-126-1
(封筒) 中野町篠田和三郎→江部村山田熊太郎様侍史 993-127-1は封筒入	4月8日	封筒・1通	993-127
(書状、若月郡衛より証書払下げの節手数料請求書書式の儀に付) 篠田和三郎→山田熊太郎様尊下	4月8日	横切紙・1通	993-127-1
(書状、拝借の金員期限の儀に付) 佐野村古幡佐一郎(印、「古幡」)→江部村山田莊左衛門殿「下高井郡平隠村」	4月7日	朱罫紙・1通	993-128

## 書状入袋

の罫紙			
(封筒) 中野曾我方ニテ山田理兵衛→御在宅山田熊太郎様御用 993-129-1は封筒入	5月3日	封筒・1通	993-129
(書状、小作一件の儀に付) 山田理兵衛→山田熊太郎	5月3日	横切罫紙・1通	993-129-1
(封筒) 間山村小林九之丞→江部村山田熊太郎様侍史 993-130-1は封筒入	8月7日	封筒・1通	993-130
(書状、御尊父君の儀などに付お伺いのこと) 小林九之丞拜→山田熊太郎様呈机下	8月7日	横切罫紙・1通	993-130-1
(封筒) 飯山山田理兵衛→御在宅山田熊太郎様御用 993-131-1は封筒入、封筒に「利右衛門へ附上」	5月2日	封筒・1通	993-131
(書状、取集金ほか証書などの儀に付) 山田理兵衛→山田熊太郎様	5月2日	横切継紙・1通	993-131-1
(封筒) 同(山田)浦次郎→山田熊太郎殿至急平音 993-132-1は封筒入	11月10日	封筒・1通	993-132
(書状、種々御厄介御懇精の儀萬謝のこと、事故有之に付名古屋に逗留のこと) 浦次郎再拜→山田熊太郎殿呈足下	11月10日	横切継紙・1通	993-132-1
(封筒) 飯山ニテ山田理兵衛→江部村山田熊太郎様 993-133-1は封筒入、封筒に「吉蔵へ附上」	12月19日	封筒・1通	993-133
(書状、御尊父君の病体異常の御様子に付) 山田理兵衛→山田熊太郎様	12月19日	横切継紙・1通	993-133-1
(封筒) 町田儀平→山田隈太郎様呈御机下 993-134-1は封筒入	2月1日	封筒・1通	993-134
(書状、昨年十二月の御老君御逝去の儀に付、昨年中拝借金に付) 町田儀平→山田隈太郎様机下	2月1日	横切継紙・1通	993-134-1
(封筒) 東京府下浅草区牢右衛門町拾番地井上久左衛門方坂本則敏→長野縣下高井郡江部村拾五番地山田莊左衛門殿、山田理兵衛殿親展 993-135-1～2は封筒一括、年月日は消印より	明治19年2月7日	封筒・1通	993-135
(書状、本日顕善院殿五十日御祭に付) 坂本則敏(花押)→山田莊左衛門殿、山田理兵衛殿各位衆中 「訴訟文通用」罫紙	(明治)19年2月7日	朱罫紙・1通	993-135-1
(副啓、理兵衛君御出京中の儀などに付) 坂本則敏→山田莊左衛門様、山田理兵衛様各位御中 「訴訟文通用」罫紙	(明治)19年2月7日	朱罫紙・1通	993-135-2
(封筒) 間山村仕立屋つい→江部村山田庄左衛門様要用急 993-136-1は封筒入	7月15日	封筒・1通	993-136
(書状、無礼内の儀甚だ延引の儀に付) 仕立屋つい→山田様	7月15日	横切継紙・1通	993-136-1
(封筒) 赤塩村瀧沢覚重郎→下高井郡江部村山田庄左衛門様大至急用 993-137-1は封筒入	12月3日	封筒・1通	993-137
(書状、本月五日六日両日の内推参仕るとの約定の儀に付延引願のこと) 瀧沢覚重郎→山田庄左衛門様	12月3日	朱罫紙・1通	993-137-1
(封筒) 長野表権堂山本や長五郎→山田庄左衛門様御直披 993-138-1は封筒入		封筒・1通	993-138
(書状、拝借金今月中返済の儀などに付) 山本や長五郎→江部村山田庄左衛門様貴下	(明治)18年11月21日	横切継紙・1通	993-138-1
(封筒) 安源寺村外八ヶ村戸長役場→江部村山田莊左衛門殿		封筒・1通	993-139

993-139-1～2は封筒一括			
(書状、過般駒澤貞永所有金録公債証書500円買受に係る捺印願の儀売渡人駒澤の印影相違に付) 下高井郡役所→「安源寺村外八ヶ村戸長役場」野紙	明治18年9月14日	朱野紙・1通	993-139-1
(書状、別紙の儀は駒澤貞永改印せしために付その旨届け出ること) 安源寺村外八ヶ村戸長役場(印)→江部村山田莊左衛門殿 「安源寺村外八ヶ村戸長役場」野紙	明治18年9月18日	朱野紙・1通	993-139-2
(封筒) 山田理兵衛→江部村山田熊太郎様無事平申	7月4日	封筒・1通	993-140
(書状、引続大雨のため渡船の道一切無之に付、当方流家・土手切流死人など実に目もあてられぬ儀に付)	7月4日	横切継野紙・1通	993-140-1
(封筒) 中野町山田理兵衛→江部村山田熊太郎様貴下 993-141-1は封筒入	7月6日	封筒・1通	993-141
(書状、本日中野へ立寄のこと、六月より利子の件などに付) 山田理兵衛→山田熊太郎様	7月5日	横切紙・1通	993-141-1
(封筒) (印、「信州上水内郡牟礼駅小川昌夫」)→江部山田熊太郎様親展 993-142-1は封筒入	6月25日	封筒・1通	993-142
(書状、先日御厄介御馳走の儀のお礼のこと、過日頼入の金子の件下僕へ御交付の儀に付) 昌夫(印、「をがは」)→山田賢愛貴下	6月25日	横切継紙・1通	993-142-1
(書状、屋根東南不残西北六ト通り挟了りの儀に付) 大徳寺→東江部山田庄左エ門様	6月24日	堅紙・1通	993-143
(封筒) 牟礼駅小川弥右衛門→下高井郡江部村山田熊太郎様親展 993-144-1は封筒入	3月2日	封筒・1通	993-144
(書状、小生持病の脚気など併発し公務難儀のため辞表差出の儀などに付) 小川弥右衛門→山田熊太郎様足下	3月2日	横切継紙・1通	993-144-1
(封筒) 牟礼駅小川弥右衛門→下高井郡江部村山田熊太郎様至急要信 993-145-1は封筒入	2月26日	封筒・1通	993-145
(書状、森氏借入金抵当の件などに付) 小川弥右衛門→山田熊太郎様	2月26日	横切紙・1通	993-145-1
(書状、入湯致し至極心能に付御案事のことほか) 莊左衛門→山田熊太郎殿返報	24日	横切継紙・1通	993-146
(封筒) 東京浅草区八幡町信兵衛方山田莊左衛門平安→信州下高井郡江部村十五番地山田熊太郎殿親展 封筒のみ	6月29日	封筒・1通	993-147
(封筒) 自東京浅草八幡町信和方山田莊左衛門(印、「山田」)→信州下高井郡江部村十五番地山田熊太郎殿親展 993-148-1は封筒入、封筒一部破損	24日	封筒・1通	993-148
(書状、きくや縁談の儀委曲承知などに付) 莊拝→熊太郎殿、理兵衛殿	6月24日	横切継紙・1通	993-148-1
(封筒) 東京本郷四丁目三十五番地篠田和助→信濃国下高井郡江部村山田庄左衛門様格下平安 993-149-1は封筒入、年月日は消印より	(明治)18年9月11日	封筒・1通	993-149
(書状、先月本郷区本郷四丁目に転居致しなどに付) 篠田和助拝→山田庄左エ門様格下平安 「医療器械舖」野紙	9月10日	青野紙・1通	993-149-1
(封筒) 上田第十九国立銀行阿部弥惣太(印、「上田第十九国立銀行蔵」)→下高井郡江部村山田庄左衛門様御直披 993-150-1は封筒入	6月20日	封筒・1通	993-150

## 書状入袋

(書状、過般依頼申上の御所有公債借用の儀に付) 第十九国立銀行頭取阿部弥惣太(印、「阿部」)→山田庄左衛門様侍史	明治18年6月20日	朱罫紙・1通(2枚)	993-150-1
(封筒) 飯山町本多方ニテ山田理兵衛→下高井郡江部村山田熊太郎様要用 993-151-1は封筒入	4月29日	封筒・1通	993-151
(書状、証書一通正に入手の儀などに付) 山田理兵衛→山田熊太郎様尊下	4月29日	横切継紙・1通	993-151-1
(封筒) 長野縣上高井郡須坂町駒澤貞永(印、「駒澤貞永」)→長野縣下高井郡江部村山田庄左衛門様至急要用貴酬 993-152-1は封筒入	(明治)18年9月21日	封筒・1通	993-152
(書状、印鑑御入用の趣に付拝承のことなど) 駒澤貞永拝→山田熊太郎様御机下	9月21日	横切紙・1通	993-152-1
(封筒) 間山村仕立屋ついで→東江部村山田庄左衛門様至急回書 993-153-1は封筒入	7月4日	封筒・1通	993-153
(書状、大満水の趣心配のため御見舞に付) 仕立屋黒岩ついで→山田庄左衛門様	7月4日	横切継罫紙・1通	993-153-1
記(金99銭7厘請取に付) 紺屋縫右衛門(印、「小布施上町関谷」)→江部山田様	8月23日	横切継紙・1通	993-154
(封筒) 東京赤坂青山北町四丁目一番地青原寺内発仙秀壮多→信州江部山田庄左衛門様平安用書 993-155-1は封筒入、年月日は消印	(明治)18年11月15日	封筒・1通	993-155
(書状、目下東京においてコレラ病流行のため毎日五六人程づつ死去に付) 仙秀壮多→山田庄左衛門殿	11月15日	青罫紙・1通	993-155-1
(封筒) 山田温泉松本や止宿山田庄左衛門平安→下高井郡江部村第十五番地山田熊太郎殿親展 993-156-1は封筒入	9月21日	封筒・1通	993-156
(書状、持参失念の儀送付依頼に付) 莊拝→熊太郎殿	9月21日	横切継紙・1通	993-156-1
(封筒) 上水内郡西長野町九ばん地吉松某躬(印)→下高井郡江部村山田理兵衛様要用 993-157-1は封筒入	11月27日	封筒・1通	993-157
(書状、本月分15円に付御落手のこと) 某躬拝→理兵衛様几下	11月26日	横切継罫紙・1通	993-157-1
(封筒) 従東京浅草八幡町信和方ニテ山田庄左衛門→信州下高井郡江部村第十五番地山田熊太郎殿平安親展 993-158-1は封筒入、年月日は消印	6月16日	封筒・1通	993-158
(書状、貿易商会一件松三郎関係の儀などに付) 莊拝→熊太郎殿、理兵衛殿貴下	6月16日	横切継紙・1通	993-158-1
(封筒) 新潟県下高田茶街□□與平方止宿麴池省三(印、「麴池」)→長野縣下高井郡江部村山田庄左衛門要件 993-159-1は封筒入	9月23日	封筒・1通	993-159
(書状、兼ねてよりの売約定の儀先方より金員延滞に付) 麴池省三拝→山田熊太郎様乞机下	9月23日	横切継紙・1通	993-159-1
(封筒) 東京根岸金杉村三百五十番地長井方曾我欽二郎拝→信州下高井郡東江部村山田庄左衛門様	8月5日	封筒・1通	993-160
(書状、帰省中の手厚御配慮の儀多謝などに付) 欽二郎拝→山田庄左衛門様	8月5日	横切継紙・1通	993-160-1
(封筒) 長野表権堂山本屋長五郎→下高井郡江部村山田庄左衛門様へ 161-1は封筒入り。	11月24日	封筒・1通	993-161
(書状、入費嵩みのため、借金の返済猶予願に付) 山本屋長五郎→山田庄左衛門様	明治18年11月24日	横切継紙・1通	993-161-1

(封筒) 東京浅草栄久町三拾五番地麴池省三(印、「浅草栄久町三十五番地麴池省三」)→長野縣下高井郡江部村山田莊左衛門様 162-1・2は封筒入り。	4月8日	封筒・1通	993-162
(書状、公債証書10枚お預かりの上、神奈川より帰京に付) 麴池省三→山田莊左衛門様	4月8日	横切紙・1通	993-162-1
(書状、横濱銀貨・織物類の低価に付)		横切紙・1通	993-162-2
(封筒) 東京神田区旭町貳拾六番地小林運重方小林嘉重郎→下高井郡江部村山田莊左衛門様 163-1は封筒入り。	9日	封筒・1通	993-163
(書状、中野表を出立後、伊香保温泉入湯など、近況報告に付) 小林嘉重郎→山田莊左衛門様・山田熊太郎様 紙は紫色。	10月9日	横切紙・1通	993-163-1
(封筒) 上水内長野栄町北澤久右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門様 164-1は封筒入り。	明治18年7月12日	封筒・1通	993-164
(書状、水害の見舞いに赴くべきところ、足痛などのため手紙で近況報告に付) 北澤久右衛門→山田熊太郎様	18年7月12日	横切紙・1通	993-164-1
(封筒) 下水内郡飯山町山田理兵衛→下高井郡江部村山田熊太郎様 165-1は封筒入り。	18年6月30日	封筒・1通	993-165
(書状、本多宇左衛門に対する貸金の件などに付)		横切紙・1通	993-165-1
(封筒) 小川弥右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門様 166-1は封筒入り。	5月10日	封筒・1通	993-166
(書状、亡妻の77日法事に付) 小川弥右衛門→山田莊左衛門様	5月10日	横切紙・1通	993-166-1
(封筒) 木村善蔵→下高井郡江部山田熊太郎様 167-1は封筒入り。	1月19日	封筒・1通	993-167
(封筒) きく→山田御姉上様 167-1-1は封筒入り。	1月19日	封筒・1通	993-167-1
(書状、母上様ご病気のため、容態伺いに付) きく→山田御姉上様	1月19日	横切紙・1通	993-167-1-1
(封筒) 東京浅草八幡町篠田和助→信濃国下高井郡江部村山田莊左衛門様 168-1は封筒入り。		封筒・1通	993-168
(書状、年始の挨拶と借用金の返済猶予願に付) 和助→山田様	1月15日	横切紙・1通	993-168-1
(封筒) 東京浅草栄久町三拾五番地麴池省三(印、「浅草栄久町三十五番地麴池省三」)→長野縣下高井郡江部村山田莊左衛門様 169-1・2は封筒入り。	明治18年1月8日	封筒・1通	993-169
(書状、朝鮮事件開戦の風説などに付) 麴池省三→山田御隠居様	1月8日	横切紙・1通	993-169-1
(書状、年始挨拶に付) 麴池省三→山田莊左衛門様	明治18年1月8日	横切紙・1通	993-169-2
(封筒) 東京浅草栄久町三拾五番地麴池省三(印、「麴池」)→長野縣下高井郡江部村山田莊左衛門様 170-1は封筒入り。	3月26日	封筒・1通	993-170
(書状、東京の気候、神奈川様の配慮により度々出港の件などに付) 麴池省三→山田莊左衛門様	3月26日	横切紙・1通	993-170-1
(封筒) 紺屋町岩崎宿店綿貫□造→□□下高井郡江部村山田熊太郎様 171-1は封筒入り。	12月31日	封筒・1通	993-171
(書状、時事新報の記事などに付) □造→秀雲・春斎・春決三兄		横切紙・1通	993-171-1



## 書状入袋

(封筒) 奈良定助→下高井郡江部村山田莊左衛門様 172-1は封筒入り。	19年1月24日	封筒・1通	993-172
(書状、返金猶予願に付) 奈良定助(印、「定」)→山田莊左衛門様	19年1月24日	横切継紙・1通	993-172-1
(封筒) 山田理兵衛→山田熊太郎様 173-1は封筒入り。	4月21日	封筒・1通	993-173
(書状、入用のため、小見村徳兵衛などへ証券を引き渡すように願い出に付) 山田理兵衛→山田熊太郎様	4月21日	横切継紙・1通	993-173-1
(封筒) 下高井郡平穂村山本権六郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿下 174-1は封筒入り。	2月18日	封筒・1通	993-174
(書状、借金の返済方猶予願に付) 下高井郡平穂村山本権六郎→同郡江部村山田莊左衛門殿下		横切継紙・1通	993-174-1
(封筒) ボウエキアラカワ→高井郡江部村山田シヨウサエモン方ヤマダ 175-1は封筒入り。	19年1月5日	封筒・1通	993-175
明治年送達紙(イワタの娘出産に付) ボウエキアラカワ→エベムラヤマダシヨウサヘモンカタヤマダ	1月5日	切紙・1通	993-175-1
(封筒) (印、「越後高田町室孝次郎方旧信越鉄道会社事務残務掛」)→長野縣下高井郡江部村山田莊左衛門様 176-1は封筒入り。	明治18年10月25日	封筒・1通	993-176
信越鉄道会社第三総会決議報告(会社解散のため、残務取り扱いに付) 信越鉄道会社残務取扱委員→	明治18年10月	切紙・1通	993-176-1
(封筒) 須坂桐屋栄蔵ニテ東京八丁堀北島町三丁目□□→下高井郡江部村山田莊左衛門様 177-1は封筒入り。	10月29日	封筒・1通	993-177
(書状、須坂町表具屋の西海堂などに付) □□→山田莊左衛門様	10月28日	横切紙・1通	993-177-1
(封筒) 上水内郡鶴賀町表権堂小池質店(印、「上水内郡鶴賀権堂小池質店」)→下高井郡江部村山田熊太郎様 178-1は封筒入り。	明治18年12月22日	封筒・1通	993-178
(書状、公債証書買い集めに付) 小池善之助→山田熊太郎様	12月21日	横切紙・1通	993-178-1
(封筒) 南佐久郡三塚村箕輪日折→信州上水内郡鶴賀村裏権堂小林元辰殿・中村兵左衛門殿	明治18年11月16日	封筒・1通	993-179
(書状、暴臣事件後における周辺村々の情勢聞き込みに付)		横切継紙・1通	993-179-1
(岩村田・南北相木などの地形図に付)		朱色罫紙・1通	993-179-2
(封筒) (印、「長野縣下信濃国長野西之門田丁第十九国立銀行支店」・「第拾九国立銀行長野支店緘」)→下高井郡江部村山田莊左衛門様	明治18年7月13日	封筒・1通	993-180
(書状、公債証書借用に付) (印、「第拾九国立銀行長野支店」)→山田莊左衛門様	明治18年7月13日	黄緑色罫紙・1通	993-180-1
(封筒) 小川弥右衛門→下高井郡江部村山田熊太郎様 181-1は封筒入り。	3月8日	封筒・1通	993-181
(書状、村々戸長の年俸などに付) 小川弥右衛門→山田熊太郎様	3月8日	横切紙・1通	993-181-1
(封筒) 横濱本町四丁目山田松三郎→信州下高井江部村山田熊太郎様 182-1は封筒入り。	明治18年4月28日	封筒・1通	993-182
(書状、公債証書の依頼返付などに付) 弟松三郎→山田御兄上様	4月27日	横切継紙・1通	993-182-1

(封筒) 山田理兵衛→江部邨山田熊太郎 183-1は封筒入り。		封筒・1通	993-183
(書状、山石や一件取り掛かりに付) 山田理兵衛→山田熊太郎様	3月1日	横切野紙・1通	993-183-1
(書状、大雨のため、酒蔵など浸水に付) 熊太郎→父上様	7月4日	横切紙・1通	993-184
(書状、篠田と神奈川へ本文の通知願に付)		横切紙・1通	993-184-1
(封筒) 判読不能→信州高井郡江部村山田荘左衛門様方山田松三郎様 書状が封筒内に入っているが、糊付けのため、開封不可。	19年1月4日	封筒・1通	993-185
(封筒) 神奈川青木町七十番地山田松三郎→信州下高井郡江部村山田荘左衛門様 186-1は封筒入り。		封筒・1通	993-186
(書状、御機嫌伺いに付) こう→御母上様	3月25日	横切継紙・1通	993-186-1
(封筒) 下高井郡住郷村渡辺俊龍→江部村山田荘左衛門様 187-1は封筒入り。		封筒・1通	993-187
(書状、花長々厄介のため、兄惣太郎お礼として参上に付) 渡辺俊龍→山田御本宅様	3月3日	横切継紙・1通	993-187-1
(封筒) 高野村吉越善右衛門→高井郡江部村山田荘左衛門様 188-1は封筒入り。	18年3月19日	封筒・1通	993-188
(書状、逃亡者重助の借財返済方法に付、願書) 下高井郡高野村吉越善宇右衛門(印、「吉越」)→下高井郡江部村山田荘左衛門様	明治18年3月19日	朱色野紙・1通	993-188-1
(封筒) 牟礼村小川弥右衛門→江部村山田荘左衛門様 189-1は封筒入り。	18年4月8日	封筒・1通	993-189
(書状、妻くま死去のため、出棺の日時お知らせに付) 小川弥右衛門→山田荘左衛門様	4月8日	横切紙・1通	993-189-1
(封筒) 清野古貌→江部村山田荘左衛門様 190-1は封筒入り。	3月22日	封筒・1通	993-190
(書状、飯倉町五丁目熊谷方へ下宿の旨など報告に付) 清野古貌(印、「清野古貌」)→山田尊聖前	3月22日	横切継野紙・1通	993-190-1
(書状、大徳寺へ1戸あたり縄2把づつ送付の旨、村中へ伝達願に付) 大徳寺→ヒガシ江部山田荘左衛門様	5月30日	横切継紙・1通	993-191
(封筒) 坂本亀之助→山田荘左衛門様 192-1は封筒入り。		封筒・1通	993-192
(書状、法会営みに付) さか本→山田荘左衛門様	3月29日	横切紙・1通	993-192-1
(封筒) 第六十三国立銀行中野支店→山田熊太郎様 193-1は封筒入り。		封筒・1通	993-193
(書状、山田理兵衛よりの封金700円、お預かりに付) 第六十三ノ榎左衛門→熊太郎様	正月2日	横切継紙・1通	993-193-1
(封筒) 下高井郡穂高村山崎平右衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿 194-1は封筒入り。	18年2月28日	封筒・1通	993-194
(書状、新年の挨拶と山崎芳三郎の子供奉公願に付) 山崎平右衛門→山田理兵衛様	228日	横切紙・1通	993-194-1
(封筒) 山田理兵衛→江部村山田熊太郎 195-1は封筒入り。	6月30日	封筒・1通	993-195
(書状、飯山町本多氏への貸金2000円に付) 山田理兵衛→山田熊太郎	6月30日	横切紙・1通	993-195-1

## 書状入袋

(書状、小子出家の際のお礼などに付) 山田吉太郎→御本宅様	7月5日	横切紙・1通	993-196
(書状、中野町徳武多助より貯蓄講受取切手 3 本買入に付) 山田理兵衛→山田熊太郎様	7月9日	横切紙・1通	993-197
(封筒) 牟礼村小川昌夫→山田御本宅様 198-1は封筒入り。	7月10日	封筒・1通	993-198
(書状、洪水の損害お見舞いに付) 小川昌夫→山田御本宅様人々御中	7月10日	横切紙・1通	993-198-1
(書状、庫裏勝手普請のため、手間・材木代25円無心に付) 大徳寺→山田庄左衛門様	8月30日	横切紙・1通	993-199
(封筒) 新野村中山寛之助→江部村山田熊太郎様 200-1は封筒入り。		封筒・1通	993-200
(書状、ご秘蔵の品、一時借用の願に付) 中山寛之助→山田熊太郎賢兄	3月18日	横切紙・1通	993-200-1
(封筒) 小布施市邨善輔→[江部山]田熊太郎様 993-201-1は封筒入り。	3月	封筒・1通	993-201
(書状、証印宜敷の義に付) 市邨善輔→山田実兄君	3月7日	横切紙・1通	993-201-1
(封筒) 古田村山田伝助→江部村山田御別荘御隠居様 993-202-1は封筒入り。	1月16日	封筒・1通	993-202
(書状、時候の挨拶) 古田村山田伝助→御別荘御隠居様	1月16日	横切紙・1通	993-202-1
(封筒) 長野県下信濃国長野西之門町第十九国立銀行支店→山田庄右衛門様 993-203-1は封筒入り。	8月29日	封筒・1通	993-203
(書状、貯金御返し二付) 十九銀行支店→山田庄右衛門様		横切紙・1通	993-203-1
(封筒) 第六十三国立銀行中野支店→江部村山田様 993-204-1は封筒入り。	4月22日	封筒・1通	993-204
(書状、公債貨の義に付) 第六十三国立銀行中野支店(印)→山田様玉机下	4月26日	横切紙・1通	993-204-1
換言(当村政吉寺の地券証書換の由申すに付) 大徳寺→東江部山田庄左衛門貴下	4月1日	横切紙・1通	993-205
(封筒) 科野村湯本宜成→下高井郡江部村山田熊太郎様 993-206-1は封筒入り。封筒に「至急用」とあり、式錢切手つき。	明治18年3月18日	封筒・1通	993-206
(書状、証書の一件返答に付) 湯本宜成→山田熊太郎様	3月18日	横切紙・1通	993-206-1
(書状、代償二円五十七銭働きに付) 山城屋伸之助→山田理兵衛様		横切紙・1通	993-207
(書状、静岡村田中市四郎へ御貸付証券の儀などに付) 堀内九兵衛→山田熊太郎様	明治19年1月7日	横切紙・1通	993-208
(封筒) 坂本亀之助→山田庄左衛門様窺ヒ 993-209-1は封筒入り		封筒・1通	993-209
(書状、先般御葬送の儀に付) さかもと→山田様	1月16日	横切紙・1通	993-209-1
(封筒) 松代第六十三国立銀行→下高井郡江部村山田熊太郎様 993-210-1封筒入り	1月18日	封筒・1通	993-210
(書状、当銀行取締役投票の儀開札のところ貴君御当確に付) 松代第六十三国立銀行→山田熊太郎様	1月18日	横切紙・1通	993-210-1
(封筒) 従松代第六十三国立銀行(印)→下高井郡江部村山田熊太郎様大至急用 993-211-1~3封筒一括	1月12日	封筒・1通	993-211

(書状、考課状正副二冊の儀御調印のことなどに付) 松代本店(印、「第六十三国立銀行」)→山田熊太郎様	1月12日	横切継紙・1通	993-211-1
(書添、考課状正副二冊の趣に付)	1月12日	横切紙・1通	993-211-2
(書状、荘左衛門様御病氣療養の儀に付) 第六十三銀行 一同(印)→山田熊太郎様	1月11日	横切紙・1通	993-211-3
(封筒) 湯本五郎治宅ニテ山田松三郎→江部山田新荘左衛門 様 993-212-1は封筒入		封筒・1通	993-212
(書状、降雪のため湯本宅滞在延長の旨報告に付) 弟 松三郎→兄君閣下	明治19年1月3日	横切継紙・1通	993-212-1
(封筒) おもたかやニテ山田理兵衛→江部山田荘左衛門様要 用 993-213-1は封筒入	明治19年1月2日	封筒・1通	993-213
(書状、東京控訴一件に付) 山田理兵衛→山田荘左衛門 様	1月2日	横切紙・1通	993-213-1
(封筒) 山田吉太郎拝→御本宅様閣下 993-214-1は封筒入	明治18年12月25日	封筒・1通	993-214
(書状、御老父様御死去に付お悔やみのこと) 山田吉 太郎拝→御本宅様貴下	12月25日	横切野紙・1通	993-214-1
(封筒) 松代第六十三国立銀行(印)→下高井郡江部村山田熊 太郎様 993-215-1は封筒入		封筒・1通	993-215
(書状、来る17日定式総会に付御出頭のこと) 松代第 六十三国立銀行(印)→山田熊太郎様	1月11日	横切継紙・1通	993-215-1
(封筒) まん→かめや御姉君 993-216-1は封筒入		封筒・1通	993-216
(書状、御本宅御病人様子の儀御案じに付) まん→御姉 君		横切継紙・1通	993-216-1
(封筒) 細野善作、谷本助之丞→山田熊太郎殿、山田文六殿 993-217-1は封筒入		封筒・1通	993-217
(書状、本郡長都合により依願退職のため決別として 宴会開催に付通知のこと) 細野善作(印)、谷本助之丞 (印)→江部村山田熊太郎殿、山田文六殿	(明治)18年3月12日	横切継紙・1通	993-217-1
(封筒) 長野栄町北澤久右衛門→江部村山田熊太郎様足下 993-218-1は封筒入	1月7日	封筒・1通	993-218
(書状、松三郎様御帰宅の途御立ち寄りのことなどに 付) 北澤久右衛門→山田熊太郎様御家族中様	(明治)19年1月7日	切継紙・1通	993-218-1
(封筒) 高崎営所山田吉太郎拝→江部村山田熊太郎様閣下 993-219-1は封筒入	(明治)19年1月2日	封筒・1通	993-219
(書状、新歳の賀慶に付) 高崎営所山田吉太郎拝→江部村 山田熊太郎様貴下	明治19年1月2日	横切紙・1通	993-219-1
(封筒) 長野栄町北澤久右衛門→東江部村山田熊太郎様足下 993-220-1は封筒入		封筒・1通	993-220
(書状、御家政様未だ病臥に付) 北澤久右衛門→山田熊 太郎様尊下	1月18日	切紙・1通	993-220-1
(封筒) 中野弥田誠一→江部村山田熊太郎様至急 993-221- 1は封筒入		封筒・1通	993-221
(書状、御内君御病症診断に付) 弥田誠一→山田様	1月21日	横切継紙・1通	993-221-1
(封筒) 大徳寺→江部山田庄左衛門様要用 993-222-1は封筒 入	1月21日	封筒・1通	993-222

## 書状入袋

(書状、卜籤天水訟の卦に付) 相馬拝→山田熊太郎様		罫紙・1通	993-222-1
(書状、桜井勘右衛門金250円御送付の件など小作取立に付) 山田理兵衛→山田熊太郎様	11月29日	横切継紙・1通	993-223
(封筒) 坂本亀之助→山田熊太郎様御中 993-224-1～2は封筒一括	2月5日	封筒・1通	993-224
(書状、今般御法会執行に付) 坂本亀之助→山田熊太郎様御中	2月5日	横切継紙・1通	993-224-1
(副啓、御家政様御容体伺いに付) 坂本亀→家満田様御中	1月26日	横切継紙・1通	993-224-2
(書状、御病人様子伺いに付) 奥→山田理右衛門様		横切継紙・1通	993-225
(封筒) 渡辺→山田御本宅御奥方へ要用 993-226-1は封筒入	1月8日	封筒・1通	993-226
(書状、年賀の挨拶に付) 渡辺→御奥方へ		横切紙・1通	993-226-1
(封筒) 戸隠山武井磨→高井郡江部村山田庄左衛門様 993-227-1は封筒入	1月吉日	封筒・1通	993-227
(書状、神前御祈禱修行仕り御守礼并御籤文呈上に付) 武井磨拝→山田庄左衛門様	2月6日	青罫紙・1通	993-227-1
(封筒) 町田儀平→山田庄左衛門様御侍史御中 993-228-1は封筒入	6日	封筒・1通	993-228
(書状、年賦金の一條に付) 町田儀平→山田御老君乞貴下	2月9日	横切紙・1通	993-228-1
(封筒) 小布施市村善輔→江部山田熊太郎様格下 993-229-1は封筒入	2月9日	封筒・1通	993-229
(書状、渡辺事件金禄公債証に付) 市村善輔→山田尊兄閣下	5月12日	朱罫紙・1通	993-229-1
(封筒) 松崎→山田老台惣拝 993-230-1は封筒入	明治18年2月10日	封筒・1通	993-230
(書状、金員融通に付御厚謝のこと)		横切継紙・1通	993-230-1
(封筒) 下水内郡上金井村西田喜一郎→下高井郡江部村山田庄左衛門様 231-1は封筒入り。	18年2月10日	封筒・1通	993-231
(書状、借金返済の期日、猶予願に付) 下水内郡上金井村西田喜一郎→下高井郡江部村山田庄左衛門様	4月22日	横切紙・1通	993-231-1
(封筒) 飯山出張先山田理兵衛→江部御本宅山田熊太郎様 232-1は封筒入り。	4月22日	封筒・1通	993-232
(書状、静間村山崎長右衛門一件と証書封印の証書受取の件、報告に付) 山田理兵衛→山田熊太郎様		横切継紙・1通	993-232-1
(封筒) 長野より山田理兵衛→江部村山田熊太郎様 233-1は封筒入り。		封筒・1通	993-233
(書状、曾我一件に付、免訴の言渡の件、報告のこと) 山田理兵衛→山田熊太郎様	明治18年4月24日	横切紙・1通	993-233-1
(封筒) 安源寺村外八ヶ村戸長役場→江部村山田庄左衛門殿 234-1は封筒入り。	明治18年4月24日	封筒・1通	993-234
(書状、本縣会計課公債掛へ検印提出の旨、連絡に付) 安源寺村外八ヶ村戸長役場(印、「長野縣下高井郡安源寺村外八ヶ村戸長役場印」)→江部村山田庄左衛門殿 本縣会計課公債掛の奥書・奥印あり。		朱罫紙・1綴(2枚)	993-234-1
(封筒) 川内明照→山田熊太郎殿 235-1は封筒入り。		封筒・1通	993-235

(書状、駒澤貞永の負債返済方法に付) 川内明照→山田熊太郎殿	18年11月21日	横切継紙・1通	993-235-1
(封筒) 高崎太兵衛にて山田吉太郎様→清水宅様 236-1は封筒入り。	18年12月16日	封筒・1通	993-236
(書状、叔母様安産に付、お見舞いのこと)		横切野紙・1通	993-236-1
(書状、山田・小川の両家縁談に付) 昌夫→御伯父上様	6月25日	横切継紙・1通	993-237
(封筒) 小布セ市邸善輔→江部山田熊太郎様 238-1は封筒入り。	5月6日	封筒・1通	993-238
(書状、伊之松氏慰労の寸志不受理のため、山田賢兄へ伊之松氏の説諭依頼に付) 市邸善輔→山田賢兄君	5月6日	横切継紙・1通	993-238-1
(書状、田税支払いのため、28円無心のこと) 大徳寺→山田庄左衛門様	3月22日	横切紙・1通	993-239
口上(敷もの不足のため、毛氈あるいは緋羅紗の拝借願) 小布セより麴池省三→東江部村山田御本宅様	4月26日	横切継紙・1通	993-240
(封筒) 長野縣為替方→江部村山田庄左衛門様 241-1は封筒入り。	5月12日	封筒・1通	933-241
(書状、金受取のため、金札5円差し遣わしに付) 長野縣為替方→山田庄左衛門君	5月12日	横切継紙・1通	933-241-1
(封筒) 長野□岩石町中村玄左衛門→下高井郡江部村山田庄左衛門殿 242-1は封筒入り。	1月19日	封筒・1通	933-242
(書状、農談会開設に付) 玄左衛門→山田様	1月19日	横切継紙・1通	933-242-1
(書状、地価修正のところ、地券証不足に付、その旨堀内政吉へ通知願) 片塩村地主惣代→江部村山田理兵衛様「安源寺村外八ヶ村戸長役場」の野紙を使用。		朱色野紙・1通	933-243
(封筒) 東京浅草栄久町三拾五番地麴池省三(印、「浅草栄久町三十五番地麴池省三」)→長野縣下高井郡江部村山田熊太郎様 244-1は封筒入り。	4月18日	封筒・1通	933-244
(書状、神奈川様よりの公債証書紛失により、検査官探索のため、出張などに付) 麴池省三→山田熊太郎様	4月18日	横切継紙・1通	933-244-1
(封筒) 柏原村中村六左衛門→江部村山田庄左衛門様 245-1は封筒入り。		封筒・1通	933-245
(書状、金500円返納と残金返済猶予願に付) 中村六左衛門→山田庄左衛門様	18年3月5日	横切紙・1通	933-245-1
(封筒) 奥→江部村山田庄左衛門様 246-1は封筒入り。	5月8日	封筒・1通	933-246
(書状、長野行きの件など延日に付) 奥→やまたおとう様	5月8日	横切継紙・1通	933-246-1
(封筒) 片塩村堀内栄三郎・大澤喜三郎→江部村東組山田殿 247-1は封筒入り。	3月10日	封筒・1通	933-247
(書状、金策滞りのため、借金返済猶予願に付) 片塩村堀内栄三郎・大澤喜三郎→山田殿	3月10日	切紙・1通	933-247-1
(封筒) 神奈川岩崎宿店綿貫孝造→信州下高井郡江部村山田熊太郎様 248-1は封筒入り。	12月30日	封筒・1通	933-248
(書状、横濱を10日頃出港予定の旨、報告に付) 綿貫孝造→山田熊太郎様・同理兵衛様・同松三郎様	12月30日	横切継紙・1通	933-248-1
(封筒) 浅草富士横町岩井方奥→信濃国下高井郡江部村山田庄左衛門様 249-1は封筒入り。	7月31日	封筒・1通	933-249

書状入袋

(書状、小沼平八荷物 3 包持参に付)		横切紙・1通	933-249-1
(封筒) 湯田中湯本五郎治→江部村山田隈太郎様 250-1 は封筒入り。	6月26日	封筒・1通	933-250
(書状、不景気のため、利分の差し出し日延に付) 湯本五郎治→山田隈太郎様	6月26日	横切継紙・1通	933-250-1
(封筒) 中野篠田佐賢→江部村山田熊太郎様 251-1は封筒入り。		封筒・1通	933-251
(書状、六三銀行への返済金不足のため、100円拝借願に付) 篠田佐賢→山田熊太郎様	5月26日	横切紙・1通	933-251-1
(封筒) 間山小林九之丞→江部山田莊左衛門様 252-1は封筒入り。		封筒・1通	933-252
(書状、柏原中郎への年礼祝儀の件などに付) 小林九之丞→山田莊左衛門様	5月17日	横切継紙・1通	933-252-1
(封筒) 小川弥右衛門→下高井郡江部村山田熊太郎様 253-1は封筒入り。	正月13日	封筒・1通	933-253
(書状、愚妹の仕事などに付、小生不在の間、留守頼み入りのこと) 小川弥右衛門→山田熊太郎様	正月13日	横切紙・1通	933-253-1
(書状、地券書替願書への調印願に付) 山田理兵衛→山田熊太郎様	7月23日	横切継紙・1通	933-254

---

## 渡 辺 家

---

年 代 成立年代 宝永4 (1707) ~明治初年

数 量 1,338点

### 歴 史

中野村(町)西町の渡辺家、屋号が米屋の史料である。渡辺家は、享保9(1724)年「中野村名主彦之丞」(A127-1)、同11年「中野西町渡辺彦之丞」(A211-5)として記載され、享保12(1727)年の箕作村入用にある郡中割取扱を担った「中野村名主彦之丞」(『中野市誌・歴史編(前編)』1981年)とは同一人物と判断できる。居所は陣屋の西側にあたる西町にあった。当主は享保・元文期が彦之丞、宝暦・明和期に十郎(重郎)次、天明期以降、林右衛門、寛政10年頃に八十五郎、文化文政期権之丞・彦之丞、天保期には林輔である。屋号を「米屋」「よねや」と称していた。

中野村の名主役として享保9(1724)年から嘉永2(1849)年まで勤めていたことが確認できる。

郡中代としての初出は、寛政6(1794)年「中野村郡中代林右衛門・同村郷宿林兵衛・同断弥左衛門」であり、その後も寛政7(1795)年「中野村名主伝右衛門・郡中代林右衛門・郷宿弥左衛門」、寛政9(1797)年「中野村名主彦兵衛・郡中代林右衛門・郷宿孫助」とある。天保8(1837)年「郡中代林輔」までは当館史料によっておうことができる。

### 構造と内容

この渡辺家の文書は、昭和32年の史料館受け入れ時に山田家文書として番号を大まかに付し、その中から渡辺家文書を抜き出して整理をはじめている。史料館旧封筒での整理が進められ、全体解題の説明のごとく、Aとして渡辺家分を抜き出し、小段ボール箱の史料館旧封筒にもBとしてまとめられていた。今回全史料を点検すると、山田家として整理したものの中にも渡辺家は混在していた。よって、山田家文書にどのような経緯で含まれたのか、目録(その2)の「郷村会所・富田屋」と同様明確にできなかった。現地分の目録は現在刊行中であり、渡辺家の混在の確認も含め、今後の課題としたい。

本サブフォンド(大項目)は、渡辺家が中野村(町)の名主として在職した享保9(1724)年から嘉永2(1849)年に、中野村(町)の名主として作成または授受した文書を主体とし、中野陣屋の郡中代として在職した寛政7(1795)年から天保8(1837)年の文書と渡辺家という家組織の経営に関わって蓄積された文書から構成した。各シリーズ内の配列は、年次順としたが、数通から数十通の束の場合には年順となっていない。検索の不便を伴うが、無年号の推定の助けとしての原形順序のままであることを理解頂きたい。

「郡中代」は、名主としての職務機能との判別が難しいところであるが、郡中代を勤めていた時期の内容を配列した。郡中代としての年貢収納と江戸役所への書類差立て、陣屋内のおよび牢舎の維持管理、郡中入用の取り立てなど、争論訴訟関係の史料である。

「中野村名主」は、名主職務に関する文書をまとめた。「送り状」の量が多く、一括されていたため、分けて配列した。『中野市誌』には、安永6(1777)年、中野村重郎治・伝右衛門・彦市・清左衛門・市右衛門5人より、郡中代を選んで順番に勤め、名主役との兼任はしなかったとある(前編、538頁)。

「家・米屋」の経営活動に関する借家経営や小作地経営、および金融などに関する文書である。公用私用両方の事を記した書状もあるが、渡辺家の私信と見なされるものは少ない。



表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
<b>渡辺家</b>			
<b>郡中代</b>			
差出申一札之事(庄屋跡役の儀に付、熟談のこと) 上条村名主浅左衛門(印)、組頭茂八(印)、同文左衛門(印)、百姓代甚左衛門(印)、百姓惣代文右衛門(印)、同甚之助(印)、同九兵衛(印)、同彦五郎(印)、同佐野右衛門(印)、百姓代利兵衛(印)→中野町郡中代衆中、郷宿衆中 奥書あり	安永6年酉11月	縦継紙・1通	B-47
一札之事(庄屋跡役の儀に付、熟談のこと) 上条村百姓与兵衛→中野町郡中代衆中、郷宿衆中 付札あり、48-1~2折疊一括	安永6年酉11月	縦継紙・1通	B-48-1
(跡役に付熟談のこと) 中野町郡中代十郎次、伝右衛門、彦市、清左衛門、市右衛門→上条村名主、組頭、百姓代衆中		堅切紙・1通	B-48-2
乍恐以書付奉願上候(中野騒動後の臨時牢屋設置入用立替につき返金願) 郡中代五人→御役所 写	安永7年戌6月	縦継紙・1通	A-32
書付を以御答申上候(入牢人番役の儀に付、柳尾村他16ヶ村名主頼書糺しの上、回答のこと) 中野村牢守穢多孫右衛門(印)、同同三九郎(印)→中野村御役人中様 20-1~8は旧封筒一括、中野村名主伝右衛門、組頭彦兵衛、同林右衛門、百姓代市右衛門の奥書あり	寛政3年亥2月	縦継紙・1通	B-20-1
乍恐以書付奉願上候(郡中廻村の穢多近来我俣仕り、報告等閑の儀に付、牢守孫右衛門よりの願) 高井郡中野村名主林右衛門、組頭彦兵衛、百姓代嘉右衛門、同久兵衛→上野四郎三郎様御役所	酉11月	縦継紙・1通	B-20-2
乍恐以書付奉願上候(牢番勤方役割不同の儀に付、割合郡中一統平均のこと願)	天明8年申4月	縦継紙・1通	B-20-3
差出申一札之事(牢番番割甲乙ある儀に付、仲間打ち寄せ廻り場割合相究のこと) 中野村牢守孫右衛門、同断三九郎→中野郡中代御会所、□(後欠) 後欠	天明8年申3月	縦継紙・1通	B-20-4
乍恐以書付奉願上候(御支配替えのため牢番仲間相減り困窮難儀の儀に付、越後国仲間牢番割合同様のこと) 中野村牢守穢多惣代孫右衛門(印)、同断三九郎(印)、夜間瀬村穢多孫六(印)、柳沢村穢多又助(印)→中野村御役人中様	寛政2年戌7月	縦継紙・1通	B-20-5
乍恐以書付奉願上候(越後国支配村々牢番欠勤に付、番人賃銭差出のこと願) 郡中代林右衛門、彦兵衛、市右衛門→風祭求馬様御役所	寛政3年亥2月	縦継紙・1通	B-20-6
乍恐以書付奉願上候(入牢人番役の儀に付、越後国御支配村々へも番役差し出しのこと願) 高井郡中野村郡中代林右衛門、同彦兵衛、同市右衛門→風祭求馬様御役所	寛政2年戌8月	縦継紙・1通	B-20-7
(牢番勤め方に付書付) 中野村牢守孫右衛門→御役所 林右衛門奥書あり	申7月	堅切紙・1通	B-20-8
盗賊六人御差出ニ付目籠六挺仕立入用帳 高井郡中野村郡中代市右衛門→久保平三郎様中野御役所	天明8年申4月	縦長・1冊	C-399
乍恐書付を以奉願上候(増米御免の上定免十ヶ年季願) 定免年季明村々名主→御役所	寛政2年戌2月	縦継紙・1通	A-160-1

(定免更新の願、下書)		縦紙・1通	A-160-2
乍恐書付を以奉願上候(正月納上納金延期願) →上野四郎三郎様御役所	享和2戌年12月	縦継紙・1通	A-194-1
乍恐書付を以奉願上候(正月納年貢金延納願、後欠) 高井郡長瀬村名主喜右衛門、ほか7名→	寛政2戌3月	縦継紙・1通	A-194-2
乍恐以書付奉願上候(正月皆済延期願) 信州高井郡安田村名主又左衛門、ほか75ヶ村78名→河尻甚五郎様御役所	寛政5丑年11月	縦継紙・1通	A-194-3
乍恐書付を以奉願上候(正月皆済延期願、控) 高井水内両郡村々連印→古橋隼人様中野御役所	文化4卯年10月	縦継紙・1通	A-194-4
乍恐以書付奉願上候(11月納金半減、残金皆済延期願、控) 高井水内両郡村々組合限り名主印→井上十左衛門様中野御役所	天保4巳年10月	縦継紙・1通	A-194-5
乍恐以書付奉願上候(11月納金半減、残金皆済延期願、控) 高井水内両郡村々組合限り名主印→井上十左衛門様中野御役所 惣代4名・郡中代の継添請書とも	天保4巳年10月	縦継紙・1通	A-194-6
(不熟につき安石代ほか御慈悲願、前欠) 郡中村々名主惣連印→大原左近様御役所	天保7申10月	縦紙・1通	A-194-7
乍恐以書付奉願上候(二納金延納願、下書)	天保期、同4年以降)	縦継紙・1通	A-194-8
差出申内済証文之事(庚新田村御林下菊出入に付、和談内済のこと) 庚新田村願人名主伝右衛門(印)、組頭重左衛門(印)、百姓代六兵衛(印)、百姓惣代新五右衛門(印)、相手百姓九郎右衛門(印)、同人五人組惣代音右衛門(印)→扱人郡中代林右衛門殿、同郷宿銀八殿、同同要左衛門殿 61-1～2は旧封筒一括	寛政2年戌3月	切継紙・1通	B-61-1
(御林絵図) 高井郡庚新田村願人名主伝右衛門(印)、同断組頭重左衛門(印)、同断百姓代六兵衛(印)、同断百姓惣代新五右衛門(印)、相手百姓九郎右衛門(印)、同人五人組惣代音右衛門(印)→林右衛門殿、銀八殿、要左衛門殿	寛政2年戌3月	切継紙・1通	B-61-2
一札之事(結束村百姓高井郡内にて雑物盗取召捕に付、入牢中飯料代・賄い方の儀宜しく取計願) 越後国魚沼郡結束村百姓久四郎(印)、右五人組惣代与惣次郎(印)、右村庄屋代又四郎(印)→中野村郡中代林右衛門殿	寛政2年戌6月13日	堅切紙・1通	B-11
乍恐以書付奉願上候(米穀下直につき三分二休石之分御免、本石之通造酒願) 越後国魚沼郡伊達村造酒人伊兵衛印、馬場村造酒人次郎左衛門印、川沼村造酒人清次郎印、大井平村造酒人又兵衛印→風祭求馬様中野御役所 写	寛政2年10月	縦紙・1通	B-224
乍恐以書付奉願上候(牢番勤め方の儀に付、熟談の上取極のこと) 高井郡柏尾村名主大助(印)、関沢村名主伸右衛門(印)、犬飼村名主三左衛門、中村名主十左衛門(印)、斗見村名主惣右衛門(印)、上木嶋之内大町名主庄左衛門(印)、安田村名主又左衛門(印)、荒井村名主養八(印)、柳沢村名主七右衛門(印)、赤岩村名主八兵衛(印)、越村名主定右衛門(印)、竹原村名主幸七(印)、金井村名主市左衛門(印)、若宮村名主富右衛門(印)、夜間瀬村名主惣兵衛(印)→中野村名主伝右衛門殿、郡中代林右衛門殿、同彦兵衛殿	寛政3年亥2月	縦継紙・1通	B-23
乍恐以書付奉願上候(出入一件雑用割合に付、出金滞り甚だ差し支えのこと) 魚沼郡宮野原村願人庄屋近右衛門(印)、同村百姓代太惣右衛門(印)→風祭求馬様中野村御役所	寛政3年亥10月	切継紙・1通	B-63
差上申出入済口証文之事(高井郡山口新田村庄左衛門女房しめ宅狼藉出入に付、内済のこと) 高井郡山田新田村訴訟人しめ(印)、相手十五人引受佐吉(印)、同仙次	寛政4年子5月	切継紙・1通	B-64

郎(印)、同道右衛門(印)、山口新田村名主三左衛門(印)、組頭平左衛門(印)、百姓代久左衛門(印)、右一件懸り合右同村市左衛門(印)→中野郡中代扱人林右衛門(印)、和栗村名主同断四郎左衛門(印)、稲荷村名主同断伊兵衛(印)、郷宿扱人銀八(印)、同断弥右衛門(印)、同断要左衛門殿 風祭求馬役所へ差出の済口証文の写あり			
覚(宿泊時年貢金預証文、雛形) 何之誰領分何国何郡何宿問屋たれ、年寄たれ、同たれ→河尻甚五郎様御支配所御金御宰領中 端裏書「御年貢預証文案」	寛政4子年10月	縦継紙・1通	A-185-1
奉願一札之事(宿泊時年貢金預証文の雛形) 誰御代官所・御預り所・何之誰領分、何国何郡何宿問屋何、同断年寄誰、同断御宿何→御代官井上十左右衛門様御金御宰領中	年号月日	縦継紙・1通	A-185-2
(代官河尻の手代など名前書)			
差上申内済証文之事(伐木出入に付、内済のこと) 高井郡越村百姓治郎吉母訴訟人まつ(印)、同村本家付添人忠左衛門(印)、同郡同村百姓代相手又五郎(印)、同村百姓同要七(印)、同断同文八(印)、同村名主仙助(印)→中野郡中代林右衛門殿、同郷宿弥右衛門殿、同伊由右衛門殿	寛政4年以降)	切継紙・1通	A-215
	寛政5年丑4月	切継紙・1通	B-65
差上申済口証文之事(高井郡赤岩村越村山境松立木伐取出入に付、内済のこと) 赤岩村願人八兵衛(印)、同村名主十兵衛(印)、同村組頭金次郎(印)、同断善八(印)、同断権九郎(印)、同断郡次郎(印)百姓代平八(印)、越村百姓代相手又五郎(印)、百姓同次郎吉(印)、同断平藏(印)、同断与七(印)、同断文八(印)、右村名主平助(印)、組頭富右衛門(印)、百姓惣代彦市(印)→林右衛門殿、彦兵衛殿、銀八殿、弥右衛門殿 河尻甚五郎役所宛済口証文の写あり	寛政5年丑5月	切継紙・1通	B-66
奉差上内済証文之事(高井郡竹原村下男真木にて打擲狼藉に付、和融内済のこと) 竹原村紺右衛門(印)、同入下男儀八(爪印カ)、中野村枝栗和田義八親庄左衛門(印)、竹原村久左衛門下男作右衛門(印)、同村久左衛門(印)、同村名主幸七(印)→中野村郡中代林右衛門殿、竹原村治助殿、中野村郷宿銀八殿、同断要左衛門殿 河尻甚五郎中野役所宛済口証文の写あり	寛政5年丑10月	切継紙・1通	B-67
乍恐以書付奉願上候(古今稀なる凶年ゆえ年貢金延納願) 写	寛政5年丑11月	縦紙・1通	A-153
借用申証文之事(郡中割金不足につき、永350文余) 越後国魚沼郡□?生組中子庄屋運八、木津組庄屋久八、中野立会人郷宿伊野右衛門→信州中野郡中代林右衛門殿 全面抹消あり	寛政5丑12月	1通	A-9
借用申金子之事(出入一件諸入用不足につき金2分) 魚沼郡倉俣村借用人伊右衛門(印)、中野村郷宿請人弥右衛門→中野郡中代林右衛門殿 墨消	寛政6寅5月	縦紙・1通	D-810
乍恐以書付奉願上候(打擲出入一件中野村役人并郷宿取扱内済仕り済口証文差出の節、相手方名前相違に付御高免願) 魚沼郡倉俣村伊右衛門(印消し)→河尻甚五郎様御役所宛 名主文左衛門の奥書あり	寛政6年寅6月	切継紙・1通	B-69
一札之事(獅子舞・狂言村々興行の吟味につき上様へ取りなしの願) 魚沼郡倉俣村庄屋文左衛門ほか3名、子種新田庄屋佐兵衛ほか3名→中野村郡中代林右衛門殿、宮野村庄屋近右衛門殿	寛政6寅年8月	1通	A-7
乍恐以書付奉願上候(箕作村百姓の博奕吟味御免願) 高井郡東大瀧村名主浅右衛門、志久見村名主清右衛門、七ヶ巻村名主清助、虫生村又右衛門、平林村名主久左衛門、同郡中野村郡中代林右衛門、同断彦兵衛→河尻甚五郎様中野御役所	寛政6年寅8月	縦継紙・1通	A-209

為取替申証文之事(穀留番所跡地上畑22歩御払い出入に付、熟談のこと) 右村(高井郡安田村)名主清左衛門(印)、組頭惣左衛門(印)、百姓代治助(印)、高井郡安田村小前百姓惣代清次郎(印)、同断友八(印)→高井郡中野村郡中代林右衛門殿、同村郷宿林兵衛殿、同断孫左衛門殿 121-1～4は旧封筒一括。高井郡安田村長左衛門宛一札写あり	寛政6年寅8月	豎継紙・1通	B-121-1
乍恐以書付奉願上候(穀留番所跡地御払いに付、村持願または又左衛門持願のこと御礼願) 高井郡安田村名主清右衛門(印)、組頭惣左衛門(印)、百姓代治助(印)、久七(印)、角右衛門(印)、春右衛門(印)、重兵衛(印)、伊右衛門(印)、直右衛門(印)、惣七(印)、平治郎(印)、重三郎(印)、磯右衛門(印)、清助(印)、文之丞(印)、七郎右衛門(印)、八十八(印)市郎左衛門(印)、八郎右衛門(印)長左衛門(印)、弥助(印)久左衛門(印)、善助(印)、奥治郎(印)、伝之丞(印)、権兵衛(印)、六左衛門(印)、九市(印)、藤兵衛(印)、政右衛門(印)、仁右衛門(印)、惣吉(印)、弥左衛門(印)、与四郎(印)、清五郎(印)、国右衛門(印)、篠右衛門(印)、庄右衛門(印)、甚四郎(印)、幸七(印)、万蔵(印)、弥五左衛門(印)、伝蔵(印)、谷右衛門(印)、太四郎(印)、友左衛門(印)、平治郎(印)、友八(印)、平左衛門(印)、与助(印)、久三郎(印)、源五右衛門(印)、義左衛門(印)、金兵衛(印)、武右衛門(印)、与右衛門(印)→河尻甚五郎様中野御役所 端裏書「高井郡安田村」	寛政6年寅8月	豎継紙・1通	B-121-2
差上申済口証文之事(穀留番所跡地御払出入に付、和談内済のこと) 安田村名主願人清右衛門(印)、組頭惣左衛門(印)、百姓代同次助(印)、小前惣代同友八(印)、同断清次郎(印)、同村先名主又左衛門代俵相手長右衛門(印)、谷右衛門(印)→中野村郡中代林右衛門殿、同村郷宿林兵衛殿、同断弥左衛門殿 河尻甚五郎役所宛済口証文写あり	寛政6年寅8月	豎継紙・1通	B-121-3
為取替申証文之事(穀留番所跡地御払い出入に付、北境より6間は又左衛門持・南境より6間は村持のこと) 高井郡安田村先名主又左衛門代俵長右衛門(印)、親類惣代名左衛門(印)、右村名主清左衛門(印)、同組頭惣左衛門(印)、同百姓代次助(印)→中野村郡中代林右衛門殿、同村郷宿林兵衛殿、同断弥左衛門殿 端裏書「安田村一件内済証文」、高井郡安田村惣百姓宛証文写あり	寛政6年寅8月	豎継紙・1通	B-121-4
奉差上内済証文之事(高井郡戸狩村百姓高右衛門、廻状継送の当番を勤めないなど村役滞り一件に付、内済のこと) 高井郡戸狩村願人名主孫助(印)、組頭直右衛門(印)、百姓代武右衛門(印)、同孫左衛門(印)、同文助(印)、相手右村高右衛門(印)、同人五人組喜八(印)→中野村郡中代林右衛門殿、同郷宿銀八殿、同断林兵衛殿 河尻甚五郎役所宛内済願書写あり。継ぎ目に連印あり。	寛政7年卯2月	切継紙・1通	B-232
差上申出入内済証文之事(高井郡金井村百姓庄造と多市口論に付、熟談内済のこと) 高井郡金井村百姓庄蔵(印)、百姓多市(印)、名主市左衛門(印)、与頭助右衛門(印)、百姓代吉右衛門(印)→同郡中野村名主伝右衛門殿、郡中代林右衛門殿、郷宿弥五左衛門殿、同岩右衛門殿、同要左衛門殿 河尻甚五郎役所宛内済願書あり。継ぎ目に連印あり、剥離しかけている。	寛政7年卯2月	切継紙・1通	B-233
差上申出入済口証文之事(越後国魚沼郡伊達村枝当間村百姓五人組組替出入に付、熟談内済のこと) 越後国魚沼郡伊達村枝当間村十左衛門五人組市右衛門、藤兵衛、久左衛門、右代兼願人安右衛門(印)、相手方十左衛門(印)、庄屋藤蔵(印)、重立百姓作左衛門(印)、十左衛門親類八左衛門(印)→信州高井郡中野村郡中代林右衛門殿、郷宿伊由右衛門殿、同新右衛門殿、同善右衛門殿 河尻甚五	寛政7年卯3月	豎継紙・1通	B-118

<p>郎役所宛済口証文写あり</p>			
<p>和談内熟添口證文之事(同村要左衛門娘貫請度一件) 高井郡西江都村訴訟人文藏(印)、同郡同村相手惣七(印)、 同断同倉二郎(印)、同断文蔵親類弥之助(印)→中野村郡中 代林右衛門殿、同村新右衛門殿</p>	<p>寛政7年卯4月</p>	<p>堅切継紙・1通</p>	<p>B-299</p>
<p>借用申金子之事(御役所入用につき、金50両) 中野郡 中代林右衛門、横倉組請人佐右衛門→ 全面抹消あり</p>	<p>寛政7卯年4月16日</p>	<p>堅紙・1通</p>	<p>A-24</p>
<p>内済之趣左二申上候(水内郡大小間村年貢滞り出入の こと内済に付、役所へ提出した書上の控) 中野郡中 代林右衛門→竹内様御役所 旧封筒234-1～4は一括。端裏 書「御役所江書上控」</p>	<p>寛政8年辰5月</p>	<p>切継紙・1通</p>	<p>B-234-1</p>
<p>乍恐以書付奉願上候(水内郡大小間村年貢滞り出入の こと内済したく、吟味日限引き延ばしのこと願) 高 井郡中野村郡中代林右衛門、右村郷宿善右衛門、同断要左 衛門、蓑笠之助御代官所牟礼宿五郎右衛門→御役所 水内 郡小間村願人弥三八、同断善右衛門、同村名主清右衛門の 奥書あり。案文か。</p>	<p>寛政8年辰7月</p>	<p>切継紙・1通</p>	<p>B-234-2</p>
<p>差上申和談内済証文之事(水内郡大小間村年貢滞り出 入のこと内済に付、済口証文) 水内郡大小間村 百姓拾六人惣代願人弥三八(印)、同断専左衛門(印)、弥三 八親平蔵(印)、右村名主相手清右衛門(印)→中野村郡中代 林右衛門殿、牟礼宿五郎右衛門殿、小玉村儀右衛門殿、中 野村郷宿善右衛門殿、同要左衛門殿 竹内平右衛門役所宛 済口証文あり。</p>	<p>辰8月</p>	<p>切継紙・1通</p>	<p>B-234-3</p>
<p>一札之事(水内郡大小間村年貢滞り出入のこと熟談内 済の上皆済一件に付、一札) 小間村拾六人惣代弥三 八、善左衛門、平蔵→小間村名主清右衛門殿</p>		<p>切継紙・1通</p>	<p>B-234-4</p>
<p>乍恐以書付を以奉願上候(手鎖村預の藤蔵を村役人差 添えず出頭させたことの詫) 水内郡野尻村名主代百姓 代誰、同郡古間村名主清右衛門、同郡牟礼村五郎右衛門、 蓑笠之助様御代官所高井郡中野村郡中代林右衛門、同村名 主彦兵衛、郷宿要左衛門→竹田平右衛門様中野御役所 下 書</p>	<p>寛政8辰年8月</p>	<p>堅継紙・1通</p>	<p>A-184</p>
<p>差上申済口證文之事(横倉組若者共大勢罷越打擲仕手 疵数ヶ所負候につき) 高井郡夜間瀬村之内次ヶ川組座 当願人佐夜都、同組百姓同断勝蔵、小一右衛門、同人女房 せん、同人母いき、同人弟茂八、同郡同村之内横倉組政右 衛門病氣ニ付代倅与惣右衛門、同人倅金吉、同組名主与一 右衛門病氣ニ付代倅三右右衛門、組頭根右衛門、百姓代平 兵衛、同郡同村之内前坂組百姓八右衛門、同人下男国松、 次ヶ川組名主次郎右衛門、前坂組名主次右衛門、中野村名 主彦兵衛、郡中代淋右衛門、郷宿要左衛門、同断銀八、同 断伊野右衛門、佐藤組五人組代八、同断安兵衛→竹内平右 衛門様御役所</p>	<p>寛政8年辰8月</p>	<p>堅切継紙・1通</p>	<p>B-235</p>
<p>和談内済証文之事(村役人長百姓召出され御吟味申 候につき) 高井郡戸狩村願人高右衛門(印)、右村名主孫 助(印)、組頭半左衛門(印)、百姓代孫左衛門(印)、藤兵衛 (印)、文助(印)、百姓代武右衛門→中野村郡中代淋右衛門 殿 剥離あり</p>	<p>寛政8年辰9月</p>	<p>堅切継紙・1通</p>	<p>B-236-1</p>
<p>乍恐以書付奉御願申上候(堀起シ願いにつき) 高井郡 戸狩村堀起シ願人高右衛門(印)→竹之内平右衛門様御役所</p>	<p>寛政8年辰8月</p>	<p>堅切継紙・1通</p>	<p>B-236-2</p>
<p>乍恐書付を以奉願上候(欠込訴訟につき) 高井郡戸狩村 百姓願人高右衛門、同村名主孫助、組頭、百姓代孫左衛門 →竹内平右衛門様中野御役所</p>	<p>寛政8年辰9月</p>	<p>堅切継紙・1通</p>	<p>B-236-3</p>

乍恐書付を以奉願上候(水除普請故障糺の場で不埒をした小前惣代の赦免願) 高井郡中野村郡中代林右衛門、同村郷宿孫助→竹内平右衛門様中野御役所	寛政8年辰10月	縦継紙・1通	A-26
乍恐以書付越願奉申上候(御年貢金ニ差詰り難義につき) 高井郡吉田村百姓訴訟人八郎次→竹内平右衛門様中野御役所 奥書あり	寛政8年辰10月	縦切継紙・1通	B-196
乍恐書付を以奉願上候(若もの共酒□仕私□□につき) 水内郡桑名川邑百姓願人松之助→竹内平右衛門様中野御役所 奥書あり	寛政8年辰11月	縦切継紙・1通	B-237
乍恐書付を以奉願上候(年貢金包違による平林村役人宿預けの赦免願) 高井郡中野村郡中代林右衛門、郡中代林右衛門→竹内平右衛門様御役所 下書	寛政8辰12月	縦継紙・1通	A-22-1
(年貢金包違による平林村役人宿預けの赦免願書、下書の下書)		縦継紙・2通	A-22-2
乍恐書付を以奉願上候(年貢金包違による古海村役人宿預けの赦免願) 高井郡中野村郡中代林右衛門、水内郡野尻村名主安右衛門、高井郡中野村郷宿伊野右衛門→竹内平右衛門様中野御役所	寛政8辰年12月	縦継紙・1通	A-23
覚(寛政4年高井郡寒沢村之内菅組百姓10名へ貸渡金高書上) 高井郡吉田村百姓訴訟人八郎次→竹内平左衛門様中野御役所 77-1~2は旧封筒一括	寛政8年辰12月	縦継紙・1通	B-77-1
(種手貸金滞出入に付、和談内済済口証文) 高井郡吉田村願人八郎次(印)、貸主作左衛門(印)、同郡寒沢村之内菅組相手磯八(印)、同断久五郎(爪印)、同断多五郎(爪印)、同断栄七(印)、同断五郎八(爪印)、同断嘉助(爪印)、同断彦次郎(爪印)、同断新助(印)、同断藤助(印)、同断良右衛門(印)、名主庄助→中野村善右衛門、同断彦兵衛殿、郡中代林右衛門殿 竹内平左衛門役所宛内済願書写あり	寛政8年辰12月	縦継紙・1通	B-77-2
差出申一札之事(酒隠造の仕置につき御高免願) 平瀧村富右衛門(印)、組頭庄右衛門(印)、百姓代幸次郎(印)→中野村郡中代林右衛門殿、同村名主彦兵衛殿、同郷宿孫助殿	寛政9年2月	縦継紙・1通	B-263-1
乍恐以書付奉願上候(水内郡平田木村富右衛門隠酒造のことにつき御高免願) 水内郡桑名川村名主伊由左衛門、同郡西大滝村名主太左衛門、同郡白鳥村名主三右衛門、同郡青倉村名主磯左衛門、同郡森村名主病氣ニ付代組頭太郎左衛門、同郡平滝村組頭庄右衛門、百姓代幸次郎、高井郡中野村名主彦兵衛、郡中代林右衛門、郷宿孫助→竹内平右衛門様御役所 案、端裏書「扣」	寛政9年2月	縦継紙・1通	B-263-2
乍恐以書付奉願上候(水内郡平田木村富右衛門隠酒造のことにつき御高免願) 水内郡桑名川村名主伊由左衛門、同郡西大滝村名主太左衛門、同郡白鳥村名主三右衛門、同郡青倉村名主磯左衛門、同郡森村名主病氣ニ付代組頭太郎左衛門、高井郡中野村名主彦兵衛、郡中代林右衛門、郷宿孫助→竹内平右衛門様御役所 案	寛政9年2月	縦継紙・1通	B-263-3
乍恐以書付奉願上候(高井郡戸狩村百姓盜賊懸り合い吟味に付、御高免願) 高井郡寒沢村名主庄助、同村之内菅組名主糸七、同郡上末村名主清七、同郡中野村郷宿銀八、同村郡中代林右衛門→竹内平左衛門様御役所	寛政9年巳5月	縦継紙・1通	B-78
乍恐以書付奉願上候(高井郡坪山村・平林村秣場山場出入一件に付、欠込御訴訟のこと御高免願) 水内郡小沼村名主治左衛門(印)、同郡三ッ家村誠左衛門(印)、同郡戸隠新田名主政右衛門(印)、同郡稗新田村名主治郎左衛門(印)、同郡大塚新田名主幸三郎(印)、同郡水沢下組名主	寛政9年巳9月	縦継紙・1通	B-79

佐左衛門(印)、同村上村名主太惣次(印)、高井郡中野村郡中代林右衛門(印)、同村郷宿郷宿弥助(印)→竹内平左衛門様御役所			
差上申一札之事(高井郡柳沢村百姓盗み一件に付、お沙汰請書) 竹内平右衛門御代官所信州高井郡柳沢村百姓仙蔵伴兵蔵、百姓仙蔵、同人女房はつね、同人兄五右衛門、五人組七右衛門、定八、定吉、乙全、名主幸右衛門、組頭彦右衛門、百姓代岡右衛門、同国同郡戸狩村百姓五右衛門、名主四郎兵衛、同国同郡安田村百姓初祢親清右衛門、名主久右衛門、同国同郡岩井村百姓伴助、名主佐右衛門、同国同郡同百瀬新田内百姓惣吉、名主民右衛門、同国同郡中野村組頭忠七、本多豊後守領分同国水内郡飯山前町治助、組頭佐右衛門、御年寄五右衛門、同所本町弥右衛門、組頭仁太夫、同国同郡静岡村百姓九兵衛、組頭庄右衛門→竹内平左衛門様 78と関連あり、本多豊後守家来矢野太六の奥書あり	寛政9年巳12月19日	堅継紙・1通	B-80
乍恐書付以奉願上候(郡中代の交替) 郡中村々名主印→	天保2卯年4月	堅紙・1通	A-29
差上申一札之事(江戸役所差立金550両受取) 高井郡安田村幸吉代小右衛門、同郡中野村郡中代林輔→井上五郎左衛門様中野御役所	天保2卯年5月	堅継紙・1通	A-208
覚(初納年貢金預かり、金170両余) 林輔→御役所	辰10月17日	1通	A-4-1
差上申一札之事(二納年貢金・国役金を江戸差立まで一時預かり、金3244両余) 中野村郡中代→後欠		1通	A-4-2
差上申一札之事(年貢・上納金を江戸差立まで一時預かり、金962両余) 中野村郡中代林輔→中野御役所	天保8酉年12月8日	1通	A-4-3
覚(初納年貢金の預かり、金627両余) 林輔→御役所	辰10月14日	1通	A-4-4
(断簡、年貢金2968両などの書上)		1通	A-4-5
差上申一札之事(年貢・上納金を江戸差立まで一時預かり、金1793両余) 中野村郡中代林輔→中野御役所	天保8酉年12月9日	1通	A-4-6
覚(年貢金・国役金の預かり、金4236両余) 郡中代林輔→中野御役所	卯11月15日	1通	A-4-7
覚(金113両余の預かり) 林輔→中野御役所	辰10月18日	1通	A-4-8
覚(初納年貢金の預かり、金76両余) 中野村郡中代林輔→中野御役所	辰10月13日	1通	A-4-9
覚(買上代金請取につき) 中野村組頭林輔→中野御役所	戌2月10日	堅切継紙・1通	C-348-1
覚(買上代金書上)		堅切紙・1通	C-348-2
覚(買上代金請取につき) 中野村組頭林輔(印)→中野御役所	戌2月10日	堅切紙・1通	C-348-3
覚(買上代金請取につき) 中野村組頭林輔→中野御役所	戌2月10日	堅切紙・1通	C-348-4
覚(郡中諸入用請取につき) 郡中代林輔→御名主衆中	天保8年3月	堅切紙・綴一括	C-348-5
御廻状持送り人足覚(人足数書上および賃銭郡中割入込願) 安田村名主→中野御郡中代様 岩井村分の追記あり	辰12月朔日	折紙・1通	A-36-1
御廻状持送り人足覚(人足数書上および賃銭郡中割入込願) 上新田村→中野御郡中代様	辰12月朔日	折紙・1通	A-36-2
覚(廻状持送り人足数および賃銭書上) 天神堂→		折紙・1通	A-36-3
覚(人足数および賃銭書上) 桑名川、西大瀧村、白鳥村、平瀧村、青倉村、森村→		折紙・1通	A-36-4

覚(初納年貢金のうち刳金133両余の預かり) 郡中代林輔→中野御役所 全面抹消あり	酉12月7日	1通	A-8-1
覚(初納刳金25両余の預かり) 郡中代林輔→御役所	卯11月	1通	A-8-2
覚(三納刳金75両余の預かり) 郡中代林輔→中野御役所 全面抹消あり	戌10月8日	1通	A-8-3
覚(二納金のうち御改刳出金の受取、金81両余) 中野村郡中代林輔→中野御役所 全面抹消あり	酉12月8日	1通	A-8-4
乍恐以書付奉申上候(村々納の過料銭払い下げにつき値段交渉) 郡中代五人印→中野御役所 扣	卯9月	縦紙・1通	A-25
(廻状写、御会日出席無きものは御沙汰あり) 最終丁に「廻状 役元」とあり	寅11月23日	美・1冊	D-1026
覚(御用金の預かり、金666両余) 郡中代林輔→中野御役所	未2月6日	1通	A-6
乍恐以書付御届奉申上候(郡中代私共5人にて勤める旨) 下書		縦紙・1通	A-30
口演(清右衛門領山表の店明渡し、中野村へ罷越候一件に付) 安田村願主清右衛門→郡中代渡部林右衛門様 端裏書「上」、鉛筆で「安田村清右衛門口上書 郡中代渡部林右衛門宛」。継ぎ目が剥離しかけている。	5月24日	切縦紙・1通	B-201
差上申一札之事(飯山領分水内郡赤塩村百姓酒乱酔にて陣屋入込不埒の儀に付、御詫び御免のこと) 赤塩村文蔵(爪印)→中野御役所 控、中野村名主十郎次、郡中代彦兵衛奥書あり、「北大熊村より当御役所江御訴申上候尤松代より御役所御懸合可被成候」	卯5月6日	縦紙・1通	B-7
御尋ニ付奉申上候(役料并給分など御尋の儀に付回答のこと) 郡中代→御役所 端裏書「下書」あり	酉11月20日	縦紙・1通	B-8

## 中野村名主

宗旨御改ニ付一札之事(東江部村吉右衛門につき) 金丸又左衛門殿支配所高井郡飯田村玄照寺末寺市川孫右衛門支配所高井郡片塩村禅宗延命山大徳寺→上田御奉行様 印の切取あり	宝永4年亥霜月	縦紙・1通	A-131
覚(諸国豊熟之候間新酒等一切止せられ候)	正徳5年末10月	縦切紙・1通	C-359
扱証文之事(買得地出入一件に付、埒明けのこと) 西間村嘉右衛門(印)、同断宇兵衛(印)、岩舟村武右衛門(印)、同断文六(印)、同断名主角兵衛(印)、同所組頭半左衛門(印)、西間村名主善右衛門(印)、同所組頭九郎右衛門(印)→中山五郎右衛門殿、同三右衛門殿、源井勘左衛門殿、渡部彦右衛門殿 継ぎ目に印あり。	享保3年戌6月	切縦紙・1通	B-250
一札之事(引越につき身元保証) 吉田村引越人傳之丞、当村請合七左衛門→中野村名主彦之丞殿 五人組の奥書あり	享保9年辰4月	縦紙・1通	A-127-1
差出申一札之事(引越につき身元保証) 替佐村引越人権太郎事伊兵衛、ほか親類・口入3名→名主渡辺彦之丞殿、御組頭衆中	享保18年丑4月	縦紙・1通	A-127-2
出入済口証文之事(寒沢村内田場用水口明替出入一件に付、内済のこと) 寒沢村訴人四郎兵衛(印)、六右衛	享保9年辰4月10日	切縦紙・1通	B-254-1



門(印)、文右衛門(印)、源八(印)、次右衛門(印)、清右衛門(印)、長助(印)、甚左衛門(印)、利左衛門(印)、八郎兵衛(印)、三右衛門(印)、傳十郎(印)、小右衛門(印)、新八(印)、□兵衛(印)、吉右衛門(印)、加左衛門(印)、仁右衛門(印)、彦右衛門(印)、岡右衛門(印)、利兵衛(印)、平兵衛(印)、次右衛門(印)、与四右衛門(印)、弥五八(印)、八郎右衛門(印)、又右衛門、七郎右衛門(印)、平左衛門(印)、源八(印)、角助(印)→中野町名主彦之丞殿、長百姓庄兵衛殿、同弥五右衛門殿、同宿与市殿、同宿賀兵衛殿 継ぎ目に連印あり。寒沢村名主善左衛門、同庄兵衛、組頭傳八、同□兵衛の奥書と連印あり。			
出入済口証文之事(寒沢村内田場用水口明替出入一件に付、内済のこと) 寒沢村相手与左衛門(印)、親類□右衛門(印)、立合半左衛門(印)、親類伊左衛門(印)、同捨左衛門(印)→中野町名主彦之丞殿、長百姓庄兵衛殿、同弥五右衛門殿、同宿与市殿、同宿賀兵衛殿 継ぎ目に連印あり。寒沢村名主善左衛門、同庄兵衛、組頭傳八、同□兵衛の奥書と連印あり。	享保9年辰4月10日	切継紙・1通	B-254-2
指上ヶ申一札之事(宝永6年小沼村より小見村新田内出作地の道付替を願い出、示談まとまり、取り交わした証文写差し出しのこと) 水内郡小沼村名主仁左衛門(印)、同六右衛門(印)、組頭七右衛門(印)、同加右衛門(印)、惣百姓代新七(印)→中野御役所	享保10年巳2月	切継紙・1通	B-253
乍恐以返答書申上ヶ候御事(神戸村との渡場出入に付、回答のこと) 水内郡大倉崎村名主佐五左衛門(印)、組頭木右衛門(印)、高井郡関沢村名主才兵衛(印)、船せわやき九郎兵衛(印)→中野御役所様 34-1~2旧封筒一括	享保10年巳6月	堅継紙・1通	B-34-1
乍恐書付ヲ以御訴訟申上候御事(大倉崎渡場出入に付、関沢村・大倉崎村名主呼出の上御吟味のこと) 高井郡神戸村名主新之丞(印)、組頭新右衛門(印)、同甚五兵衛(印)、百姓代太兵衛(印)→中野御役所 関沢村・大倉崎村名主を役所呼出の付紙あり	享保10年5月	堅継紙・1通	B-34-2
出入済口証文之事(大倉崎村舟渡し出入に付、双方和談のこと) 高井郡神戸村名主新之丞(印)、組頭新右衛門(印)、同甚五兵衛(印)、百姓代太兵衛(印)、水内郡大倉崎村名主佐五左衛門(印)、組頭木右衛門(印)、高井郡関沢村名主才兵衛(印)、同村舟世話人九郎兵衛(印)→中野村名主渡戸彦之丞殿、組頭鎮目武右衛門殿、立合鎮目庄兵衛殿 端裏書「神戸村関沢村大倉崎村舟渡出入扱済口証文 享保十年巳六月三日ニ相済申候」	享保10年巳6月3日	堅継紙・1通	B-35
御扱二付指出シ申済口証文之事(忠右衛門と村中57人違論二付、村中一志和合のこと) 安源寺村組頭半兵衛(印)、同伝兵衛(印)、名主藤右衛門(印)、村中惣代半七(印)、宇右衛門(印)、千助(印)、平左衛門(印)、三郎兵衛(印)、佐右衛門(印)、甚兵衛(印)、佐次右衛門(印)、仁兵衛(印)、利右衛門(印)、徳右衛門(印)、甚五右衛門(印)、六兵衛(印)、安右衛門(印)、儀左衛門(印)、次右衛門(印)、勘兵衛(印)、平六(印)、忠右衛門(印)、伊右衛門(印)、十右衛門(印)、平七(印)、武右衛門(印)、十兵衛(印)、平右衛門(印)、庄右衛門(印)、伝之丞(印)→中野御名主彦之丞殿、御同所宿忠兵衛殿、片塩村清右衛門殿、両名主御同所伝五右衛門殿	享保11年午4月2日	堅継紙・1通	B-37
済口証文之事(御巢鷹御用の儀に付、和談のこと) 箕作村巢守吉右衛門(印)、善四郎(印)、太兵衛(印)、六之丞(印)、作兵衛(印)、名主三左衛門(印)、組頭十右衛門(印)、与右衛門(印)、百姓代源右衛門(印)、志久見村巢守五郎右衛門(印)、九左衛門(印)、半兵衛(印)、新右衛門(印)、三左衛門(印)、名主長右衛門(印)、組頭三九郎	享保11年午5月25日	堅継紙・1通	B-38

(印)、百姓代善右衛門(印)→中野村彦之丞殿			
御取扱証文之事(年貢金出入二付、和談のこと) 新保村訴人と十郎(印)、相手与右衛門(印)、名主儀右衛門(印)、同六兵衛(印)、組頭五人組市右衛門(印)、同惣左衛門(印)、同平左衛門(印)、組頭新右衛門(印)→中野名主渡辺彦之丞殿、白井賀兵衛殿、宿畔上又右衛門殿、新保村西沢佐五右衛門殿	享保12年未2月21日	縦継紙・1通	B-39
乍恐以書付ヲ奉願候御事(繰綿借くれのため金1両3分永118文貸付二付、金子返済仰せ付けのこと願) 中野願主与市(印)→御役所 41-1~2は一紙一括	享保12年未4月	縦継紙・1通	B-41-1
乍恐以書付奉願上候(金1両3歩永118文貸付二付、金子返済仰せ付けのこと願) 願主西町治兵衛(印)→中野御役所	享保12年未4月	縦継紙・1通	B-41-2
乍恐以書付奉願候御事(借金出入の儀に付、差紙日延のこと願) 若宮村名主宇右衛門(印)、同所願人五右衛門(印)→中野御役所 端裏書「若宮村五右衛門日延願書」あり	享保12年未5月24日	縦継紙・1通	B-42-1
差上申一札之事(借金出入に付、返済日限受入のこと) 高井郡若宮村借り主五右衛門(印)、兄弟文右衛門(印)、名主宇右衛門(印)、組頭七郎兵衛(印)、五人組孫左衛門(印)→中野御役所 端裏書「若宮村五右衛門日延願書」	享保12年未5月25日	堅切紙・1通	B-43
覚(法運寺普請費用受取) 当村大工請負重兵衛、立合仁右衛門→渡部彦之丞殿	享保15年戌5月26日	縦継紙・1通	A-259
一札之事(川除御普請入用材木の買入請負につき) 中野町伊野右衛門、同嘉右衛門、同弥五右衛門→中野村彦之丞殿	享保15年戌11月25日	堅紙・1通	A-179
乍恐以口上書奉願上候御事(早損につき高役小物成赦免願) 高井郡間山村名主重右衛門、ほか村名主6名→中野御役所	享保15年戌12月	堅紙・1通	A-27
以書付御訴訟申上候御事(悪作ゆえ諸浮役・小物成・高掛御普請入用・国役金など捨免願) 高井郡草間村名主忠左衛門、同郡両安源寺村名主藤右衛門、同郡七瀬村名主喜右衛門、同郡吉田村名主清左衛門、同郡壁田村名主新左衛門、同次郎右衛門、同郡厚貝村名主長右衛門、同郡田麦村名主又左衛門→中野御役所	享保15年戌12月	堅紙・1通	A-157
本堂造作之入用覚(法運寺分、三両余受取) 当村大工請負人重兵衛→渡辺彦之丞殿	享保16年亥3月2日	縦継紙・1通	A-110
本堂さしかやしふく[指茅修復]覚(法運寺茅代、屋根大工手間ほか金1両1分余受取) 新田町喜左衛門→渡辺彦之丞殿 1通	享保16年亥6月10日	堅紙	D-1031
請取申金子之事(中野村に陣屋引取長屋建て請負の儀に付、金23両3分ト銭792文請取のこと) 請負人南弥五右衛門(印)、立会人芝草伊由右衛門(印)→名主渡辺彦之丞殿	享保16年亥11月	堅切紙・1通	B-16
[ ]之事(傳八後家入、跡目相続願) 新之丞後家、ほか4名、五人組源右衛門、ほか5名→名主渡辺彦之丞殿、御組頭衆中 前欠	享保17年子正月	縦継紙・1通	A-171
差上申證文之事(高井郡計見村新田谷上百姓炭焼出入につき内済証文) 信州高井郡計見村名主七郎右衛門印、組頭伊兵衛同、百姓代半右衛門同、計見新田名主五郎左衛門同、組頭庄へ衛、百姓代長九郎同→中野松平九郎左衛門様御役所 写、継目剥離、裏書あり	享保17年6月13日	縦継紙・1通	B-242
指出シ申一札之事(引越につき身元保証) 佐野村願主	享保18年丑之2月	堅紙・1通	A-128

渡辺家/中野村名主

儀野右衛門、ほか親類 3 名→中野村名主渡辺彦之丞殿、御 与頭衆中			
質物ニ相渡申家屋敷之事(御建立金より 3 両 3 分永 1 15 文借用) 中野村置主五郎助、同所請人喜右衛門、同所 請人助右衛門→松川村南照寺様	享保18癸丑ノ年極月日	堅紙・1通	A-150
一札之事(当村御普請所材木調達方につき) 相之嶋村名 主市郎右衛門、ほか4名→中野村渡辺彦之丞殿、深井惣左 衛門殿 貴殿が木本の場合は1割5分拙者共で受取の奥書あ り	享保20年卯10月28日	堅紙・1通	D-888
一札之事(当村御普請所材木調達方につき) 天神堂村名 主半左衛門、ほか1名、下木嶋村名主清右衛門、ほか1名→ 中野村渡辺彦之丞殿、深井惣左衛門殿 端裏書「下木嶋組 合」	享保20年卯10月28日	堅紙・1通	D-889
一札之事(当村御普請所材木調達方につき) 草間村名主 忠左衛門、ほか1名、安源寺村名主藤右衛門、ほか1名、栗 林村名主与太夫、ほか1名→中野村渡辺彦之丞殿、深井惣 左衛門殿 端裏書「草間村組合」	享保20年卯10月28日	堅紙・1通	D-890
指出申一札之事(火の用心、自身番・矢倉番の精勤、 不身持者の改につき請書) 西町五人組治兵衛、ほか 2 名→名主組頭衆中 端裏書「西町」	元文2年巳5月	堅紙・1通	A-163-1
指出申一札之事(火の用心、自身番・矢倉番の精勤、 不身持者の改につき請書) 西町五人組次郎左衛門、ほ か 8 名→名主組頭衆中 端裏書「西町」	元文2年巳5月	堅紙・1通	A-163-2
指出申一札之事(火の用心、自身番・矢倉番の精勤、 不身持者の改につき請書) 宇兵衛、ほか 8 名→名主組 頭衆中 端裏書「西町」	元文2年巳5月	堅紙・1通	A-163-3
指出申一札之事(火の用心、自身番・矢倉番の精勤、 不身持者の改につき請書) 長八、弥五八、七左衛門→ 名主組頭衆中 端裏書(一部欠)「七左衛門組」	元文2年巳5月	堅紙・1通	A-163-4
差出申一札之事(火の用心、自身番・矢倉番の精勤、 不身持者の改につき請書) 七兵衛、ほか 8 名→名主組 頭衆中 上部欠、端裏書?	元文2年巳5月	堅紙・1通	A-163-5
指出申一札之事(火の用心、自身番・矢倉番の精勤、 不身持者の改につき請書) 中町五人組又八、ほか 8 名 →名主組頭衆中	元文2年巳5月	堅紙・1通	A-163-6
指出申一札之事(火の用心、自身番・矢倉番の精勤、 不身持者の改につき請書) 西町傳兵衛、ほか 5 名→名 主組頭衆中 端裏書「西町」	元文2年巳5月	堅紙・1通	A-163-7
指出申一札之事(火の用心、自身番・矢倉番の精勤、 不身持者の改につき請書) 新右衛門、ほか 5 名→名主 組頭衆中 端裏書「西町」	元文2年巳5月	堅紙・1通	A-163-8
差出シ申一札之事(火の用心、自身番・矢倉番の精 勤、不身持者の改につき請書) 中町五人組利右衛門、 ほか 2 名→名主組頭衆中 端裏書「中町利右衛門組」	元文2年巳5月	堅紙・1通	A-163-9
指出シ申一札之事(火の用心、自身番・矢倉番の精 勤、不身持者の改につき請書) 長八、ほか 5 名→名主 組頭衆中 端裏書「中町長八従市兵衛」	元文2年巳5月	堅紙・1通	A-163-10
差出申一札之事(火の用心、自身番・矢倉番の精勤、 不身持者の改につき請書) 甚兵衛、ほか 2 名→名主組 頭衆中 端裏書「中町甚兵衛 喜右衛門」	元文2年巳5月	堅紙・1通	A-163-11
指出シ申一札之事(火の用心、自身番・矢倉番の精 勤、不身持者の改につき請書) 勘右衛門、ほか 7 名→	元文2年巳5月	堅紙・1通	A-163-12

名主組頭衆中 端裏書「西町」			
差出シ申一札之事(火の用心、自身番・矢倉番の精勤、不身持者の改につき請書) 吉兵衛、ほか6名→名主組頭衆中 端裏書「中町定右衛門 吉兵衛」	元文2年巳6月	縦継紙・1通	A-163-13
指出シ申一札之事(火の用心、自身番・矢倉番の精勤、不身持者の改につき請書) 七兵衛、ほか4名→名主組頭衆中 端裏書「西町下」	元文2年巳5月	縦紙・1通	A-163-14
指出申一札之事(松川村百姓跡式をめぐる江戸表出訴に際して村中に負担をかけない旨) 中野村利左衛門→名主組頭衆中	元文2年巳5月29日	縦紙・1通	A-60
(小源次帳外願の一札) 中野村小源次願主母、ほか2名→中野村名主彦之丞殿、御組頭衆中 前欠破損甚大	元文3年午2月	縦紙・1通	A-85
差上申一札之事(高井郡犬飼村田畑質地小作初滞り一件に付) 信州高井郡犬飼村次兵衛後家そめ(印)辰三十三歳、同人名跡幸右衛門(爪印)辰十六歳、同郡高石村そめ姉むこ勘右衛門(印)、山口新田幸右衛門実父丈左衛門(印)、犬飼村次兵衛兄勘左衛門(印)、山口新田名主善兵衛(印)、犬飼村名主文左衛門(印)、同三左衛門(印)、同清兵衛(印)→鈴木平十郎様中野御役所 端裏書「犬飼村次兵衛名跡出入小作初滞裁許証文写」	元文元年辰11月12日	縦継紙・1通	B-44
以書付を奉願上候御事(佐野村への帰村願) 中野普代村願主此右衛門、ほか五人組・組頭5名→名主渡辺彦之丞殿、御与頭衆中	元文4未正月日	縦紙・1通	A-123
指出申一札之事(行方不明の源六帳除願) 源六母、ほか兄弟・親類・五人組8名→名主渡辺彦之丞殿、御与頭衆中	元文4年未2月	縦紙・1通	A-130
一札之事(火の用心・盗人召捕など五人組限請書) 喜三郎、ほか10名→名主彦之丞殿、御組頭衆中	元文4年未ノ3月日	縦継紙・1通	A-214-1
一札之事(火の用心・盗人召捕など五人組限請書) 半四郎、ほか5名→名主彦之丞殿、御組頭衆中	元文4年未ノ3月日	縦継紙・1通	A-214-2
一札之事(火の用心・盗人召捕など五人組限請書) 次郎左衛門、ほか6名→名主彦之丞殿、御組頭衆中	元文4年未2月	縦継紙・1通	A-214-3
一札之事(火の用心・盗人召捕など五人組限請書) 中町五人組佐市、ほか4名→名主彦之丞殿、組頭嘉兵衛殿、同武右衛門殿、同新左衛門殿、同弥五右衛門殿、同惣左衛門殿	元文4年未2月	縦継紙・1通	A-214-4
一札之事(火の用心・盗人召捕など五人組限請書) 五人組傳兵衛、ほか5名→名主彦之丞殿、御組頭衆中	元文4年未2月	縦継紙・1通	A-214-5
一札之事(火の用心・盗人召捕など五人組限請書) 五人組源右衛門、ほか7名→名主彦之丞殿、与頭衆中	元文4年巳未2月	縦継紙・1通	A-214-6
一札之事(火の用心・盗人召捕など五人組限請書) 半平、ほか6名→名主彦之丞殿、御与頭衆中	元文4年未ノ2月29日	縦継紙・1通	A-214-7
一札之事(火の用心・盗人召捕など五人組限請書) 松三郎、彦兵衛、清兵衛→名主彦之丞殿、御組頭衆中	元文4年未3月	縦継紙・1通	A-214-8
一札之事(火の用心・盗人召捕など五人組限請書) 長八、ほか5名→名主彦之丞殿、御組頭衆中	元文4年未2月	縦継紙・1通	A-214-9
一札之事(火の用心・盗人召捕など五人組限請書) 西町宇兵衛、ほか8名→名主彦之丞殿、御与頭衆中	元文4年未3月	縦継紙・1通	A-214-10
一札之事(火の用心・盗人召捕など五人組限請書) 吉右衛門、ほか7名→御名主彦之丞殿、御組頭衆中	元文4年未2月	縦継紙・1通	A-214-11

渡辺家/中野村名主

指出申一札之事(年貢過納分受取) 栗和田半六→名主彦之丞殿	元文4年未9月11日	堅紙・1通	A-192
覚(江戸表江出訴につき) 西町伊平兵衛→中野善右衛門殿 奥書あり	寛保3年	堅切継紙・1通	B-275
乍恐以書付奉願上候御事(御役所酒株御帳面、年季之内ハ源助ニ御直願) 中野町願人源助→御役所 扣、「同所百姓酒株主十郎次」の奥書1あり、「名主惣左衛門、組頭伊由右衛門、同久兵衛、同孫兵衛、百姓代甚兵衛、同勘右衛門、十郎次五人組政右衛門、同平五郎、同金兵衛、同辰五郎、同嘉惣次」の奥書2あり、紙背に願書あり「乍恐以書付奉願上候御事(店、酒株、酒道具、蔵、源助方江借渡につき)」	宝暦2年2月	堅継紙・1通	B-262-1
乍恐以書付御届申上候御事(店、酒株、酒造道具、蔵、源助方江貸渡年季明候ニ付) 高井郡中野町彦兵衛組十郎次(印)→天野助次郎様御役所 扣、端裏書「如此認上ル所不持請取之段書上候趣従不差出し而返ル」	宝暦7年2月	堅紙・1通	B-262-2
乍恐以書付奉願上候御事(御役所酒株御帳面、年季之内ハ源助ニ御直願) 中野町願人源助→御役所 扣、「同所百姓酒株主十郎次」の奥書1あり、「名主惣左衛門、組頭伊由右衛門、同久兵衛、同孫兵衛、百姓代甚兵衛、同勘右衛門、十郎次五人組政右衛門、同平五郎、同金兵衛、同辰五郎、同嘉惣治」の奥書2あり、端裏書「店借願書 御役所へ差上扣」	宝暦2年2月	堅継紙・1通	B-262-3
乍恐以書付御届申上御事(酒道具不足物店代差滞につき) 中野町十郎次(印)→天野助治郎様御役所 裏書あり	宝暦7年丑2月	堅切継紙・1通	B-314
乍恐書付を以奉願上候(源助店代済シ口不埒につき) 高井郡中野町願人十郎次→天野助次郎様御役所 扣、端裏書「三月六日ニ上ル扣」	宝暦7年2月27日	堅切紙・1通	B-255-1
乍恐以書付奉願上候御事(高井郡中野町源助、店代、酒造道具代など差滞につき) 高井郡中野町願人十郎次→天野助次郎様御役所 扣、端裏書「三月六日ニ上ル扣」	宝暦7年3月6日	堅紙・1通	B-255-2
乍恐以書付奉願上候御事(高井郡中野町源助、店代、酒造道具代など差滞につき) 高井郡中野町願人十郎次(印)→天野助次郎様御役所 扣、端裏書「初認」	宝暦7年2月	堅継紙・1通	B-255-3
乍恐以書付奉願上候御事(高井郡中野町源助、店代、酒造道具代など差滞につき) 高井郡中野町願人十郎次(印)→天野助次郎様御役所 「丑二月廿六日 名主吉左衛門(印)」の奥書あり、端裏書「指上候所致願下返ル」	宝暦7年2月	堅継紙・1通	B-255-4
此通仰付□□談遣し□仕出ス(中野長借家店代差滞につき詫入) 源助宅→ 下書、「伊左衛門、満助」の奥書あり、紙背に證文の写あり「乍恐以書付奉願上候御事(高井郡中野町源助、店代、酒造道具代など差滞につき)」	宝暦7年20日	堅継紙・1通	B-255-5
乍恐以書付奉願上候御事(高井郡中野町源助、水車貸礼金滞につき) 中野町願人十郎次(印抹消)→天野助次郎様御役所 扣	宝暦7年2月	堅継紙・1通	B-255-6
乍恐以書付奉願上候御事(高井郡中野町源助、店代、酒造道具代など差滞につき) 中野町願人十郎次(印抹消)→天野助次郎様御役所 扣、端裏書「指上候扣」	宝暦7年2月	堅継紙・1通	B-255-7
乍恐以書付奉願上候御事(高井郡中野町源助、店代、酒造道具代など差滞につき) 中野町願人十郎次(印抹消)→天野助次郎様御役所 扣、端裏書「丑二月五日談上候扣」、切紙挟込あり、年月日は宝暦6年閏11月26日を修正	宝暦7年2月	堅継紙・1通	B-255-8
覚(品代金書上につき) 中野村源助→御名主・御組頭衆中	宝暦7年丑3月22日	堅切紙・1通	C-332

端裏書「源助六出候二付□致□候控」			
(借金出入引合勘定の日延願書、控) 中野町願人十郎次 →天野助次郎様御役所 村役人奥書共、紙背に中野町酒造 人相手の貸金相論訴状(部分)あり、□	宝暦7年丑4月6日	縦継紙・1通	D-548
一札之事(酒蔵店借賃滞り出入に付、和談内済のこと 一札) 中野町源助(印)、同所伯父八右衛門(印)→中野西 町重郎次殿 継ぎ目に印あり。与頭扱人伊野右衛門、同甚 兵衛の奥書と連印あり。	宝暦7年丑5月	切継紙・1通	B-252
(片塩村小作年貢滞りに付、小作人銘々呼出の上吟味 のこと願) 信濃国高井郡東江部村願人庄左衛門、同断 同人伴文次郎→天野助次郎様御役所 貼紙あり、名主理 右衛門奥印あり	宝暦7年丑7月26日	縦継紙・1通	B-45
相渡申一札之事(質流年延につき) 夜間瀬村仁兵衛→十 郎次殿 仁兵衛奥書あり	宝暦7年丑11月	縦紙・1通	A-144-1
指上申一札之事(稽古鉄砲3挺預り) 高井郡中野村預り 主嘉右衛門、ほか村役人・五人組8名→志村新右衛門様御 役所 端裏書「威筒」	宝暦11年3月	縦継紙・1通	A-169
酉御年貢皆済目録 宗八→中野村十郎治殿	明和3年戌12月	縦切紙・1通	C-383
乍恐以書付御訴申上候(質地請戻相論裁許後の元金 済方につき) 御支配所信州高井郡東江部村百姓庄左衛 門煩代伴文次郎→大野佐左衛門様御役所	明和5子年8月朔日	1通	A-10
乍恐以書付奉願上候御事(新保村百姓と庄左衛門の出 入雑用をめぐる訴状願下済口書付) 高井郡新保村名 主弥左衛門ほか3名、同郡東江部村百姓庄吉ほか1名、同 郡中野町扱人平右衛門→大野佐左衛門様御役所 奥書	明和6年丑2月	1通	A-5
(浪人取締の触書、写) 奉行→	明和6年丑9月	縦紙・1通	A-77
職法書附之事(神主宮持社役等之分有之御朱印配地或 ハ御除地等ニ罷有神事祭礼相動につき) 江戸浅草三 社権現神主、支配頭田村八太夫(印)→	明和7年寅2月	縦切紙・1通	C-361
酒造屋高役永定納被仰渡請書 挿入文書あり	安永2年巳3月15日	縦長・1冊	C-403
梓神子法例(習合神道而檀中之祈祷相動につき) 神事 舞太夫田村八太夫判→ 添書あり	安永2年巳10月18日	縦切継紙・1通	B-291
江戸表二而免願二付請事證文指上候扣 □→御役所	延享2年丑12月	縦長・1冊	C-406
出入江戸留守見舞諸事覚帳	安永4年未12月29日	横長判・1冊	A-222
差上申一札之事(此度の村々役人并百姓大勢吟味に際 し、郷宿は諸色高値にしない旨) 中野村郷宿伊右衛 門、ほか11名→臼井吉之丞様御役所 写	安永6酉2月	縦紙・1通	A-67
差上申一札之事(江戸役人罷越し、諸色下値仰渡につ き請書) 高井郡中野村組頭十郎次、同傳右衛門、同彦 市、百姓代清左衛門、同市右衛門→臼井吉之丞様御役所	安永6酉年2月	縦紙・1通	A-133
御年貢金日限りニ付利害申聞候請書 村々名主→御役所 写	安永6年酉2月	綴崩れ・1通(3枚)	A-156-1
御年貢金日限りニ付利害申聞候請書 写、後欠		縦紙・1通	A-156-2
(騒動百姓同意之筋につき) 御支配村々→御役所	安永6年酉2月	縦切紙・1通	C-340
乍恐以書付御注進奉申上候(中町弥七出火届、下書)		縦紙・1通	A-218-1
乍恐書付を以御届ヶ申上候(上町弥七出火届) 高井郡 中野村組頭十郎次、ほか4名→臼井吉之丞様御役所	安永6年酉2月21日	縦紙・1通	A-218-2

渡辺家/中野村名主

乍恐以書付御届奉申上候(枝郷五箇組百姓代宅出火届) 高井郡中野村百姓代市右衛門、組頭彦兵衛、同清左衛門、名主権之丞→森親之助様中野御役所	天保14卯年3月20日	竪継紙・1通	A-218-3
借用申金子之事(金子受取借用につき) 中野預り主廣吉(印)、同断請人十郎次(印)→新井村佐右衛門殿 端裏書「廣吉□り證文」	安永6年酉2月27日	竪切継紙・1通	B-277-1
(借金受取につき) 店間屋年兵衛、代源七(印)→中野村御役人中様 前欠	午2月24日	竪切継紙・1通	B-277-2
借用申金子之事(金2両借用につき) 上木嶋□□、借主重藏(印)→中野町治左衛門殿	文政8年酉12月	竪切継紙・1通	B-277-3
添證文之事(金200両借用につき) 中野村林右衛門(印)→犬飼村三左衛門殿	寛政6年寅12月	竪切継紙・1通	B-277-4
御訴訟證文之事(御建立金御無心仕につき) 中野村質置主五郎助(印)、同所請人喜左衛門(印)、同所請人助右衛門(印)→松川村南照寺様 端裏書鉛筆書きあり	享保20年卯2月	竪切継紙・1通	B-277-5
借用金證文之事(金子受取借用につき) 中野借用人与吉(印)、同断受人与兵衛(印)→亀倉村長左衛門殿 端裏書あり	天保14年正月	竪切継紙・1通	B-277-6
借用申金子證文之事(金子借用申候につき) 中野村借用人権之丞(印)、松川村請人元右衛門→宇木組□兵衛殿 端裏書あり	天保14年卯12月	竪切継紙・1通	B-277-7
預り申金子之事(金10両請取につき) 預り人林□、請人彦兵衛→□光寺様 反故	寛政10年午12月	竪切継紙・1通	B-277-8
借用申金子之事(金5両借用につき) 大熊村名主藤兵衛(印)、同村組頭文八(印)→庄左衛門 端裏書鉛筆書きあり	享和元年酉12月	竪切継紙・1通	B-277-9
借用申金子之事(金2両受取借用につき) 借用人松川安兵衛、受人中野正右衛門、同断源十郎、立合松川市太郎→中野由兵衛殿	天保8年酉正月	竪切継紙・1通	B-277-10
借用申金子證文事(金借用受取につき) 借用人松堂利左衛門(印)、受人同所勝左衛門(印)→押切村要右衛門 端裏書筆書きあり		竪切継紙・1通	B-277-11
借用申金子之事(金25両受取につき) 高井郡中野村借用人彦三郎(印)、請人留右衛門(印)→毛野川村徳三郎殿 端裏書筆書きあり	天保12年丑正月	竪切継紙・1通	B-277-12
借用申金子之事(金4両借用につき) 中野湯町借用人力藏(印)→湯町要右衛門 端裏書筆書きあり	8月7日	竪切継紙・1通	B-277-13
預り金子之事(金10両請取につき) 西条村預り主佐七、中野町請人十郎次→伝右衛門殿 奥書あり	宝暦7年丑12月	竪切継紙・1通	B-277-14
借用金證文之事(金30両受取借用につき) 借用人十藏、請人太助、請人後庵→五左衛門殿		竪切継紙・1通	B-277-15
借用申金子之事(金15両請取借用につき) 中野村金借主嘉右衛門(印)、同所請人大乗寺(印)→桜沢村林右衛門	享和3年亥12月	竪切継紙・1通	B-277-16
借用申金子之事(金1両借用につき) 荒谷村七郎右衛門(印)→林右衛門殿 端裏書筆書きあり	寛政4年子12月	竪切継紙・1通	B-277-17
乍恐以書付奉願上候(町方土藏の牟利用迷惑につき新牟舎建築願) 高井郡中野村百姓宇八、与兵衛、長左衛門、又右衛門→	安永6年酉3月	竪継紙・1通	A-253-1
乍恐以書付奉願上候(鬩引による町藏差出に先立ち村役人分土藏差出願) 組頭十郎治、同傳右衛門、同彦	安永6酉3月	竪紙・1通	A-253-2

市、百姓代清左衛門、同市右衛門→御役所			
乍恐以書付奉申上候(惣百姓不殘委細認差出候につき) 高井郡中野組頭、百姓代→御役所 端裏書「御触書御答扣」	安永6年酉3月4日	堅切紙・1通	C-357
覚(御触書・御請印帳宿継送の添触、写) 板橋宿間屋 豊田孫右衛門→中山道蔵宿 追分宿迄、夫 小諸田中海野 上田坂木戸倉矢代松代川田福嶋右宿々問屋年寄衆中、右継 場村々名主与頭中	安永6年7月29日	堅紙・1通	A-78
乍恐以書付奉願上候(村中相談の上、惣連印にて名主 跡役のこと願) 高井郡上条村名主浅右衛門(印)、組頭 茂八(印)、同断文左衛門(印)、跡役文右衛門(印)、百姓代 利兵衛(印)、甚左衛門(印)、彦四郎(印)、藤左衛門(印)、 九郎兵衛(印)、三五郎(印)、新左衛門(印)、孫左衛門 (印)、弥三郎(印)、文兵衛(印)、与一兵衛(印)、林右衛 門(印)、忠兵衛(印)、理右衛門(印)、権之助(印)、惣兵衛 (印)、庄助(印)、新八(印)、作兵衛(印)、喜右衛門(印)、 金六(印)、藤兵衛(印)、勘右衛門(印)、尚兵衛(印)、助七 (印)、友七(印)、平八(印)、久助(印)、平右衛門(印)、伊 右衛門(印)、清兵衛(印)、勘七(印)、茂右衛門(印)、太兵 衛(印)、麦右衛門(印)、久七(印)平七(印)、守蔵(印)、弥 左衛門(印)、六之助(印)、勘六(印)、嘉七(印)、甚六 (印)、利助(印)、沢右衛門(印)、三郎兵衛(印)、茂左衛門 (印)、伴右衛門(印)、助八(印)、庄右衛門(印)、善左衛門 (印)、吉右衛門(印)、水右衛門(印)、与助(印)、佐野右衛 門(印)、佐左衛門(印)、六郎右衛門(印)、安右衛門(印)、 伊兵衛(印)、小三郎(印)、甚之助(印)、由空(印)、治右衛 門(印)、市右衛門(印)、与左衛門(印)、惣左衛門(印)、久 蔵(印)、重右衛門(印)、与平治(印)、要助(印)、三郎右衛 門(印)、文吉(印)、源左衛門(印)、郡兵衛(印)、新六 (印)、市弥(印)、太右衛門(印)、宮蔵(印)、佐右衛門 (印)、六右衛門(印)、友右衛門(印)、紗右衛門(印)、作左 衛門(印)、千蔵(印)、又左衛門(印)、与市(印)、甚之丞 (印)、六兵衛(印)、為右衛門(印)、庄七(印)、新右衛門 (印)、与次兵衛(印)、吉之丞(印)、惣二郎(印)、嘉右衛門 (印)、勘右衛門(印)、平右衛門(印)権左衛門(印)、与三郎 (印)、重左衛門(印)、五右衛門(印)、織右衛門(印)、助右 衛門(印)、善右衛門(印)、伊野右衛門(印)、新之丞(印)、 二郎兵衛(印)、四郎治(印)、清三郎(印)、九兵衛(印)、市 右衛門(印)、仁左衛門(印)、権右衛門(印)、与四郎(印)、 源右衛門(印)、松右衛門(印)、吉郎右衛門(印)、新七 (印)、雲八(印)、伊左衛門(印)、与市(印)、長三郎(印)、 惣助(印)、五郎右衛門(印)、惣次郎(印)、又右衛門(印)、 長八(印)、金右衛門(印)、半内(印)、七郎左衛門(印)、清 左衛門(印)、武右衛門(印)、要右衛門(印)、千助(印)、三 右衛門(印)、近右衛門(印)、藤助(印)、四郎兵衛(印)、八 郎左衛門(印)、彦右衛門(印)、与次右衛門(印)、羽右衛門 (印)、太右衛門(印)、嘉左衛門(印)、猶右衛門(印)、源三 郎(印)、武左衛門(印)、長左衛門(印)、七郎右衛門(印)、 惣兵衛(印)、市郎兵衛(印)、文六(印)、平左衛門(印)、権 左衛門(印)、源左衛門(印)、忠右衛門(印)、常右衛門(印) →臼井吉之丞様御役所	安永6年酉8月	堅継紙・1通	B-46
覚(過料銭預り一札控) 十郎次、傳右衛門、彦市、清左 衛門、市右衛門→臼井吉之丞様御役所	安永6酉年9月20日	堅継紙・1通	A-210
(強訴徒党禁止幕令を高札場などに掲げるべき旨の廻 状写) 臼井吉之丞御役所→中野、ほか13村、右村々名主 組頭百姓代	(安永6)酉10月5日	堅紙・1通	A-81
差上申一札之事(名主退役を強而差し押さえず村方相 談すべき仰付につき請書) 中野村組頭十郎次印、ほか 4名→臼井吉之丞様御役所 写	安永6酉年11月11日	堅紙・1通	A-233



渡辺家/中野村名主

(苗木植付届、用水御普請・自普請の別届などの下書) 1～3は史料館封筒に一括、82-1は青銅20疋進上の包紙紙背を利用	安永7カ)	縦紙・1通	A-82-1
乍恐以書付奉申上候(中野村御林の儀御尋につき返答、下書)		縦紙・1通	A-82-2
(御勘定様御林見分の際松川村名主不行届の詫書、下書)		縦紙・1通	A-82-3
乍恐以書付奉申上候(地引帳・絵図のほかは切添・切開地ない旨、下書) 名主→万年一重郎様	安永7年戌6月	縦紙・1通	A-94
一札之事(預ヶ金滞りの儀に付、吟味のこと) 元七五人組元右衛門(印)、伊野右衛門(印)、彦八(印)、六之助後家(印)→名主、組頭衆中 50-1～2旧封筒一括、臼井吉之丞役所宛奥書有	安永7年戌11月	縦継紙・1通	B-50-1
乍恐以書付奉願上候(預り金元利滞り出入に付、相手方吟味のこと) 中野村百姓願人元七(印)→臼井吉之丞様中野御役所	安永7年戌10月	縦継紙・1通	B-50-2
差出申御請書之事(質物請戻に大勢で質入先へ押し寄せたことの詫び) 惣太郎、文吉、ほか2名→町御役人衆中 1、2は史料館封筒で一括	安永8年亥正月	縦紙・1通	A-57-1
差出し申御請書之事(前件の下書) 惣太郎、文吉、ほか2名→町御役人中	安永8亥正月	縦紙・1通	A-57-2
(威鉄砲拝借証文) 村(町)役人の役所宛願書・請書の写に栗和田組頭から町役人宛の奥書を付したもの	安永8年亥2月	縦継紙・1通	A-243
御取扱内済証文之事(金子借用の儀に付、和談内済のこと) 中野中町願人善次郎(印)、間長瀬村相手名主奎右衛門(印)→中野町名主十郎次殿、郡中代傳右衛門殿、郷宿平右衛門殿 51-1～2旧封筒一括、岩出伊右衛門役所宛奥書有	安永8年亥3月	縦継紙・1通	B-51-1
乍恐書付ヲ以奉願上候(金子借用の儀に付、吟味のこと) 高井郡中野村願人金物屋善次郎(印)→岩出伊右衛門様御役所	安永8年亥正月	縦継紙・1通	B-51-2
一札之事(質地代金利足の儀年中一割半之御約速二相極申候一札) 中野村廣吉(印)→玄但老 継目に印あり	安永8年亥3月	切継紙・1通	B-318
乍恐以書付奉願上候(私共出入之義につき) 願人善次郎、相手松右衛門、名主十郎次、郡中代傳右衛門、宿平右衛門→岩出伊右衛門様御役所	安永8年亥3月	堅切紙・1通	C-339
乍恐書付ヲ以奉願上候(質流地代金の儀に付) 高井郡中野村百姓願人元七(印)→岩出伊右衛門様御役所 52-1～2旧封筒一括、端裏書「西町庄七願書写相手東江部村巳之助」	安永8年亥6月	縦継紙・1通	B-52-1
(質流地代金の儀に付) 高井郡中野村百姓願人元七(印)→岩出伊右衛門様御役所 中野村名主十郎次奥書有	安永8年亥10月	縦継紙・1通	B-52-2
一札之事(畑田成願に付、水下村々差障り出入に付、内済のこと)	安永8年亥7月	堅切紙・1通	B-120
(天王免御見分の上高請・村持に仰せ付けられたき願) 高井郡中野村先名主願人善右衛門→岩出伊右衛門様御役所 前欠	安永8年亥8月	縦継紙・1通	A-244
差出申一札之事(酒狂狼藉の詫び、御吟味下願) 清水左膳、清水式部→町御役人衆中 法運寺ほか3名の町役人宛奥書あり	安永9子正月	縦継紙・1通	A-256

乍恐書付ヲ以奉願上候(倅狼藉者ゆえ入牢仰付願) 中野村西宮神職清水式部→岩出伊右衛門様御役所 式部の請書、中野村役人の奥書あり	安永9年子正月3日	縦継紙・1通	A-216-1
差上申一札之事(身持不埒者の手鎖組預かり) 五人組判頭新七、ほか3名→中野御役所	文政12丑年3月	縦紙・1通	A-216-2
奉差上一札之事(御札中の百姓村預かり) 高井郡中野村百姓代市右衛門、彦兵衛、清右衛門、直兵衛、権之丞→北條雄之助様、一	天保10亥年9月	縦紙・1通	A-216-3
差上申一札之事(御吟味中の百姓手鎖村預かり) 百姓代儀兵衛、組頭市右衛門、同彦兵衛、同昇之丞、名主権之丞→中野御役所	酉 12月8日	縦継紙・1通	A-216-4
差上申御請証文之事(当村借地人の御吟味中村預かり) 高井郡中野村百姓代儀兵衛、ほか4名→高木清左衛門様御役所	弘化3午年12月25日	縦継紙・1通	A-216-5
奉差上一札之事(中野村百姓の御吟味中村預かり) 高井郡中野村百姓代儀兵衛、ほか4名→高木清左衛門様御役所	弘化4未年正月25日	縦紙・1通	A-216-6
乍恐書付ヲ以御注進奉申上候(中野えびす式部養子佐膳狼藉に付見分願) 中野村神事舞太夫清水頼母(印)他8名→岩出伊右衛門御役所様	安永9年子正月3日	切継紙・1通	B-53
乍恐以書付奉願上候(旦家佐膳狼藉のことと和談に付、願書取り下げ願) 法運寺→岩出伊右衛門様中野御役所 端裏書「扣」、奥書「高井郡中野村名主重郎次他組頭2名・百姓代4名」	安永9年子正月17日	切継紙・1通	B-54
乍恐以書付奉願上候(畑田成再願、前回の願を届け出す年貢差額分を横領した前名主の糾弾) 信州高井郡中野村願人組頭傳右衛門→御奉行所様 名主奥書あり	安永8年亥12月	縦継紙・1通	A-173
乍恐以書付奉願上候(懸貸金出入和談内済に付、願書取り下げ願) 中野町法運寺境内願人門悦(印)、西条村相手佐右衛門(印)→原田清右衛門様御役所 奥書あり、剥がれた付け紙あり	天明元年丑8月	切継紙・1通	B-55
(風来者・胡乱者を隠さず申し出るべき仰付への請書) 高井郡中野村名主十郎次、与頭傳右衛門、同彦兵衛、百姓代清左衛門、同市右衛門、ほか39名→原田清右衛門役所の触への請書	天明元年丑10月	縦継紙・1通	A-247
乍恐書付を以奉願上候(盜賊類召捕願) 高井郡中野村名主十郎次、ほか組頭・百姓代4名→原田清右衛門様中野御役所	天明元丑年11月	縦継紙・1通	A-195
一札之事(屋敷質入に留守中の兄が反対しない旨) 中野中町与兵衛、同人親寿膳、親類西町広吉→町御役人衆中	天明元年丑12月	縦紙・1通	A-202
乍恐以書付奉願上候(継目官位・神道葬祭の件で京都吉田宛添翰願) 高井郡中野町傳田岩尾→御役所 1、2は史料館封筒に一括、86-1は写、名主奥書あり	天明元丑閏5月	縦紙・1通	A-86-1
乍恐以書付奉願上候(官位・代継のため上京許可願) 高井郡中野村神職傳田要人→森八右衛門様御役所 名主奥書あり	弘化2巳年5月3日	縦紙・1通	A-86-2
差上申上一札之事(出入再応御吟味につき) 原田清右衛門御代官所信州高井郡西江部村名主市左衛門倅五左衛門、組頭九右衛門、同郡中江部村百姓口親利七、伝兵衛、名主・組頭代林右衛門→御奉行所	天明(2)寅7月11日	縦切紙・1通	C-344
小作証文之事(粉計57俵納、小作人中町源兵衛安永7年分写) 高井郡中野町十郎次代梓林右衛門(印)→原田清	天明3年卯4月	切継紙・1通	B-56-1

右衛門様御役所 56-1~2折畳一括			
乍恐以書付奉願上候(一質金滞り出入一件) 高井郡中野町十郎次病氣に付代林右衛門(印)→原田清右衛門様御役所 奥書あり、端裏書「市右衛門相手取金子滞り出入扣」	天明3年卯4月	切継紙・1通	B-56-2
覚(当年御高入新田村持田の高反別届) 信州高井郡中野村名主十郎次、与頭伝右衛門、同藤兵衛、百姓代清左衛門、同市右衛門→原田清右衛門様中野御役所 正文控	天明3卯年9月	縦紙・1通	A-155-1
覚(当年御高入新田村持田の高反別届) 信州高井郡中野村名主十郎次、与頭伝右衛門、同藤兵衛、百姓代清左衛門、同市右衛門→原田清右衛門様御役所 後欠、写	天明3卯年9月	縦紙・1通	A-155-2
乍恐以書付御届奉申上候(田麦村清次郎の須坂町穀屋宛附出大豆差押につき) 高井郡中野村百姓文六、同村丈右衛門→原田清右衛門御役所 名主奥書あり	天明3年卯10月	縦紙・1通	A-40
寅之御年貢皆済目録(石代金并ニ高懸り小物成等請取候につき) 中野町□名主長左衛門→同村組頭権右衛門	天明3年卯10月	堅切継紙・1通	C-363
乍恐以書付御伺奉申上候(当年信州不作にて酒造りも相休のため、御神酒などのこと村々迷惑の儀に付) 中野村酒造屋十郎次、同彦兵衛、同市右衛門、同弥右衛門、同清吉、同長三郎→ 伝右衛門、佐左衛門奥書あり	天明3年卯11月	縦継紙・1通	B-25
差出申一札之事(米1駄差留に付、小布施村文蔵方へ代金お渡のこと) 高井郡中村市郎兵衛(印)、同郡金井村市左衛門、同郡中野村元七代伴佐市→中野村名主十郎次殿	天明3年卯12月	切紙・1通	B-57
(栗和田仙右衛門欠落届・願書一括) 縦紙3通・切紙1通の貼継	天明3~天明4年		A-255
当村持□配分一札之事写シ(割符定候につき) 堀ノ内村配分本家千治郎、柏尾村親類源次郎、堀ノ内村同断善八、五木村同断作右衛門→次郎三郎後家徳□郎殿、壁田村立添冲右衛門殿	天明4年辰閏正月	堅切継紙・1通	B-310
乍恐以書付奉願上候(不作のため穀留の節猥りに穀物差出手鎖組預の儀に付、御免願)	天明4年辰2月	縦継紙・1通	B-9
差出申一札之事(自括人の遺骸取扱方) 要右衛門下男水内郡蓮村百姓藤八兄五郎右衛門、中町加判人要右衛門、組合惣代幸助→町御役人衆中様 上半分欠損	天明4年辰5月4日	縦継紙・1通	A-249
乍恐以書付奉願上候(質代金滞り家屋敷明け渡しに付、住所無之難儀のこと) 高井郡中野村願人丈右衛門(印)→久保平三郎様御役所 名主十郎次の奥書あり	天明4年辰11月	切継紙・1通	B-58
乍恐以書付奉願上候(取替金返済滞り出入内済に付、済口証文) 本多豊後守領分水内郡上金井村願人所助、付添人喜惣治、組頭和太七、高井郡中野村相手市右衛門、同富右衛門、名主扱人十郎治他3名→久保平三郎様中野御役所 端裏書「扣」、59-1~3は旧封筒時に一括か	天明4年辰11月	切継紙・1通	B-59-1
差出申和談内済一札之事(取替金返済出入一件に付、双方和談内済のこと) 水内郡上今井村願人所助(印)、同村付添人喜惣治(印)、高井郡中野相手方市右衛門(印)、同富右衛門(印)→中野扱人名主十郎次殿、同組頭伝右衛門殿、同組頭彦兵衛殿、同郷宿伊由右衛門殿 端裏書「市右衛門内済証文」	天明4年辰11月	切継紙・1通	B-59-2
差出申和談内済一札之事(取替金返済出入一件に付、双方和談内済のこと) 水内郡上今井村願人所助、同村付添人喜惣治、高井郡中野相手方市右衛門、同富右衛門→中野扱人十郎次殿、同伝右衛門殿、同彦兵衛殿、同伊由右衛門殿 59-2と同文、控えか	天明4年辰11月	切継紙・1通	B-59-3

一札之事(金四郎殿より書面の金子メ8両3分2朱取立に付、各様御扱いを以て相済のこと) 安原寺村弥五郎(印)→御名主十郎次殿、御組頭長兵衛殿 60-1~2は旧封筒時一括	天明4年辰12月28日	切紙・1通	B-60-1
一札之事(金四郎引負金4両2分2朱御取扱を以て相済) 江戸下谷長者町2丁目大和屋清右衛門(印)、安原寺村立会人弥五郎(印)→中野御名主十郎次殿、御組頭彦兵衛殿	天明4年辰12月	切紙・1通	B-60-2
乍恐書付を以奉願上候(名主交替願) 退役願人十郎治、跡役名主傳右衛門、跡役組頭林右衛門、惣百姓→御役所彦兵衛、清左衛門、市右衛門の奥書あり	天明5巳年正月	縦紙・1通	A-257
差出申一札之事(酒造株譲渡願申上候につき) 高井郡片塩村口添借請人九兵衛(印)、同所請人親類幸右衛門(印)→中野村傳右衛門殿	天明6年午3月	縦切紙・1通	C-385
乍恐書付を以奉願上候(酒株休株のところ、酒造稼仕度につき) 中野村願人傳右衛門→御役所 下書、「彦兵衛、庄右衛門、市右衛門」の奥書あり、端裏書「御役所江差上候願書下書」	天明6年8月	縦継紙・1通	B-256
覚(酒造株高につき冥加永、酒船、桶など書上) 中野村傳右衛門→久保平三郎様御役所 下書、端裏書「御役所江差上候書付下書」	天明6年8月	縦紙・1通	B-258-1
覚(高井郡中野村六兵衛、長次郎、新左衛門、勘左衛門、水内郡大古間村七兵衛酒造株高書上) 扣	宝永3年6月	縦紙・1通	B-258-2
(酒造石高、冥加永書上覚) 信州高井郡中野村酒造人林左衛門印→ 扣、「高井郡中野村名主傳右衛門、組頭彦兵衛、同林右衛門、百姓代惣七→河尻甚五郎様御役所」の奥書あり	寛政6年6月	縦紙・1通	B-258-3
(酒株高、冥加永書上覚) 何村誰→ ひな形		縦切紙・1通	B-258-4
乍恐以書付奉願上候御事(金子返済相滞につき) 久保平三郎御代官所高井郡中野村願人林右衛門(印)、差添幸次郎(印)、市ノ口利左衛門(印)、同所百姓代市郎左衛門(印)、同所組頭伴助(印)→〔 〕山御役所 上部破損、奥書あり	天明7年未5月	縦切継紙・1通	B-305
覚(日影山御林木払下の買請希望額書上、下書) 高井郡中野村名主傳右衛門、ほか3名→河尻甚五郎様御役所 1、2は史料館封筒に一括	寛政6寅年3月	縦紙・1通	A-84-1
覚(日影山御林木払下の買請希望額書上、下書) 中野村名主傳右衛門、ほか3名→久保平三郎様御役所 増永になった旨裏書あり、味噌云々の書付はさみこみあり	天明7未年7月	縦紙・1通	A-84-2
覚(酒造石高ならびに此造桶、小道具、ほか不用之造桶、諸道具) 高井郡中野村酒造稼人林右衛門(印)、同村名主傳右衛門(印)→守屋弥惣左衛門様、竹垣三衛門様中野御役所 扣	天明8年8月	縦継紙・1通	B-223-1
覚(未十二月酒造道具三分一之積以御改御極印請候桶数并造込諸道具不用之分御改諸道具書) 高井郡中野村酒造人林右衛門(印)、同村名主傳左衛門→風祭求馬様中野御役所 扣	寛政元年2月	縦継紙・1通	B-223-2
覚(酒造石高ならびに此造桶、小道具、ほか不用之造桶、諸道具) 高井郡中野村酒造屋林右衛門、同村名主傳左衛門→風祭求馬様中野御役所 下書	天明9年1月	縦継紙・1通	B-223-3
御尋ニ付申上候書付(酒株休株につき) 中野村願人傳右衛門→御役所 案、「三役人」の奥書あり、端裏書「休株御糺ニ付書上下 伝右衛門」	寛政元年3月	縦紙・1通	B-257-1

御尋ニ付申上候書付(酒株高百石のうち八拾石当町休株につき) 高井郡中野村百姓清二郎組引受親類嘉右衛門→御役所 案、「三役人」の奥書あり、端裏書「休株御札ニ付書上下 嘉右衛門」	寛政元年2月	縦紙・1通	B-257-2
差上申済口証文之事(宮野原村秣山出入一件に付、内済のこと) 越後国魚沼郡宮野原村之内本郷并枝郷林木沢六拾六人惣代庄屋近右衛門(印)、訴訟方百姓代太惣右衛門(印)、同国同郡同村之内加用組、百木組、同新田、小池組、右四組四拾六人惣代仁三郎(印)、百姓喜右衛門(印)、相手方同三郎右衛門(印)、同安右衛門(印)、信州高井郡中野村組頭彦兵衛(印)、同林右衛門(印)、同村郷宿善右衛門(印)、弥右衛門(印)→風祭求馬様中野御役所 62-1~2は旧封筒一括、虫損甚だし、奥書として内済連印一札あり	寛政2年戌10月	切継紙・1通	B-62-1
為取替証文之事(秣山入会出入一件に付、内済のこと) 宮野原村之内加用組仁三郎(印)、小池組喜右衛門(印)同三郎右衛門(印)、安右衛門(印)、長右衛門(印)→中野村組頭彦兵衛殿、同林右衛門殿、同村郷宿善右衛門殿 奥書として、「為取替証文立会印形」一札あり	寛政2年戌10月	切継紙・1通	B-62-2
譲渡シ申酒株之事(酒株礼金として15両請取につき) 高井郡中野村清次郎病死ニ付親類譲渡シ人字八、右同断林右衛門→片塩村清蔵殿	寛政4年子10月	堅切継紙・1通	B-270
(奇特者の飢饉備出穀分は領知替あるとも取上なき旨書付、写) 河甚五郎→高井郡中野村江渡置	寛政4年月	縦紙・1通	A-96-1
(奇特者の飢饉備出穀分は領知替あるとも取上なき旨書付、写) 河尻甚五郎→何郡何村江渡置	寛政4年月	縦紙・1通	A-96-2
差上申一札之事(越後国魚沼郡年貢金490両余の江戸差立宰料請書) 高井郡中野村組頭彦兵衛俵御金宰料久米蔵、同郡安田村百姓同断惣吉、中野村郡中代林右衛門、同断彦兵衛→河尻甚五郎様御役所	寛政6寅5月	縦継紙・1通	A-31
乍恐書付を以奉願上候(盗難一件取斗方不調法の者共の吟味御免願) 高井郡中野村鈴泉寺、同郡赤岩村正源寺、中野村名主傳右衛門、郡中代兼林右衛門→河尻甚五右衛門様御役所	寛政6寅年5月	縦継紙・1通	A-39
差出申一札之事(諸役懈怠吟味の御免取成願) 魚沼郡大井平村頼人奥之丞、中野宿立合新右衛門→高井郡中野村御役人中	寛政6寅5月	縦紙・1通	A-183
乍恐以書付奉願上候(越後国魚沼郡倉俣村打擲出入一件内済のところ、農業第一の時節に付、江戸表御伺相済迄帰村願) 高井郡中野村名主伝右衛門、同組頭彦兵衛、同断林右衛門→河尻甚五郎様御役所宛 旧68~70括り紐にて一括、68-1~2は旧封筒一括、端裏書「倉俣帰村願下書 中野村役人」	寛政6年寅5月	切紙・1通	B-68-1
乍恐以書付奉願上候(越後国魚沼郡倉俣村御訴訟一件懸り合いの者并村役人遅参に付、御高免願) 高井郡中野村伝右衛門、組頭彦兵衛、同断林右衛門→河尻甚五郎様御役所宛	寛政6年寅5月	切継紙・1通	B-68-2
差上申済口証文之事(打擲出入一件に付、和談内済のこと) 倉俣村百姓伊右衛門(印)、同与七(印)、同定右衛門(印)、同源治郎(印)、同彦右衛門(印)、同伝右衛門(印)、同三右衛門(印)、同助左衛門(印)、同伝右衛門(印)、同空之丞(印)、同与惣左衛門(印)、同伊兵衛(印)、同文左衛門、同惣右衛門(印)→中野村名主伝右衛門殿、組頭彦兵衛殿、同林右衛門殿、郷宿弥右衛門殿、同善右衛門殿、同伊由右衛門殿、同要左衛門殿 70-1~3は旧封筒一括、端裏書「魚沼郡倉俣村内済証文」、河尻甚五郎役所宛の内済証文の写あり	寅5月	切継紙・1通	B-70-1

乍恐書付ヲ以内済奉願上候(倉俣村伊右衛門打擲出入一件に付、熟談の上内済願書) 信州高井郡中野村名主伝右衛門(印)、組頭彦兵衛(印)、同断柿右衛門(印)同所郷宿弥右衛門(印)、同善右衛門(印)、同伊由右衛門(印)、同要左衛門(印)→越後国魚沼郡倉俣村願人伊右衛門殿 河尻甚五郎役所宛内済願書写あり	寅5月	切継紙・1通	B-70-2
差出申済口証文之事(倉俣村打擲出入一件に付、和談内済のこと) 越後国魚沼郡倉俣村百姓訴訟方伊右衛門、同相手方与七、同同断定右衛門、同源治郎、同彦左衛門、同伝右衛門、源治郎隣家同三右衛門、同助左衛門、同伝右衛門、源治郎五人組惣代同空之丞、伝右衛門組合惣代同与惣右衛門、同伊兵衛、庄屋文左衛門、百姓代惣右衛門、信州高井郡中野村名主取扱人伝右衛門、組頭同断彦兵衛、組頭同断林右衛門、郷宿同断弥右衛門、同同断善右衛門、同同断伊由右衛門、同同断要左衛門→河尻甚五郎様中野御役所宛 端裏書「抜証文写」	寛政6年寅5月	切継紙・1通	B-70-3
酒造株高書上帳 信州高井郡中野村→	寛政6年寅6月	豎長・1冊	C-404-1
(酒造株高書上につき) 酒造人久兵衛、右村名主弥右衛門、組頭彦兵衛、同林右衛門、百姓代惣七→河尻甚五郎様御役所	寛政7年卯4月	豎長・1冊	C-404-2
酒造株高帳 宇木村平右衛門→	文政11年寅12月17日	豎長・1冊	C-404-3
威鉄砲證文 信州高井郡中野村持主嘉右衛門、五人組惣代弥右衛門、名主伝右衛門、与頭彦兵衛、同林右衛門、百姓代惣七→河尻甚五郎様御役所	寛政6年寅10月	豎長・1冊	C-400-1
鉄砲拝借證文 中野預り人嘉右衛門、同村林右衛門、組頭源太左衛門、同彦兵衛、百姓代久兵衛→竹内平左衛門様御役所	寛政12年申3月	豎長・1冊	C-400-2
鉄砲御預り證文 中野村嘉右衛門(印)、右村林右衛門(印)、与頭彦兵衛(印)、百姓代久兵衛(印)→上野四郎三郎様御役所	享和4年子正月	豎長・1冊	C-400-3
鉄砲御預り證文扣 中野村預り人嘉右衛門、右村百姓代孫兵衛、与頭彦兵衛、同久兵衛、名主権之丞→杉庄兵衛様中野御役所	文化10年酉正月	豎長・1冊	C-400-4
鉄砲御預り證文 高井郡中野村預り人嘉右衛門、右村百姓代清左衛門、与頭彦兵衛、同彦之丞、名主廣右衛門→大草太郎右馬様中野御役所	文化15年寅正月	豎長・1冊	C-400-5
御貸附拝借金証文之事(関東川船方御役船会所助成貸付金より30両) 高井郡中野村拝借人林右衛門、同村請人半兵衛→河尻甚五郎様御役所 村方三役の奥書あり、印鑑の抹消あり	寛政6寅年11月	豎継紙・1通	A-17
拝借金証文之事(関東川船方御役船会所助成御貸附金30両、下書) 高井郡中野村組頭林右衛門、同村請人久兵衛→河尻甚五郎様御役所 名主傳右衛門・組頭彦兵衛・百姓代惣七の奥書あり	寛政6寅年11月	豎継紙・1通	D-835
酒造改請證文 右村名主酒造人彦平、組頭同林右衛門、組頭惣七、酒造人弥右衛門、百姓代同久兵衛、百姓代清右衛門、酒造人彦次郎→	寛政8年辰2月	豎長・1冊	C-405-2
乍恐書付を以御届奉申上候(草津へ商稼の豊松行方不明) 高井郡中野村和助、親類惣代利助、五人組惣代儀兵衛、名主、組頭、同、百姓代→御役所	寛政7卯年8月	豎継紙・1通	A-251-1
乍恐以書付御届奉申上候(豊松家出行方不明) 高井郡中野村和助、ほか6名→竹内平右衛門様御役所	寛政7卯年9月26日	豎紙・1通	A-251-2

渡辺家/中野村名主

乍恐以書付御届奉申上候(豊松家出行方不明) 高井郡中野村和助、ほか7名→竹内平右衛門様御役所	寛政7卯年10月26日	縦紙・1通	A-251-3
(酒造石高天明六年以前迄の通りに酒造可仕仰渡につき請書) 案	寛政7年10月	縦紙・1通	B-268
覚(江戸行き年貢金預かり証文、雛形) 何之誰領分何国何郡何宿間屋たれ、年寄たれ、同断たれ→竹内平右衛門様御金宰料中 端裏書「御金預り証文控」	寛政7卯年11月	縦紙・1通	D-843
拝借仕金子之事(30両) 高井郡中野村拝借人林右衛門(印)、同村請人名主彦兵衛(印)→石川弥一右衛門様 印墨消	寛政7卯年11月18日	縦紙・1通	D-826
乍恐書付ヲ以御願奉申上候(高井郡松川村佐右衛門店借家音吉打擲手疵負一件糾明に付、御検使のこと願) 高井郡夜間瀬村内須ヶ川組音吉兄訴訟人佐与都(印)、音吉叔父同断勝蔵(印)→竹内平右衛門様中野御役所須ヶ川組名主次郎右衛門奥書あり	寛政8年辰7月	縦継紙・1通	B-122
差上申一札之事(江戸定飛脚惣兵衛の御用状運引受、下書) 本田豊後守様領分水内郡赤塩村庄屋誰、組頭誰、百姓代誰、定飛脚惣助→竹内平右衛門様中野御役所	寛政9巳年正月	縦紙・1通	A-190-1
(定飛脚の出立日、江戸宿、料金など書付)		切紙・1通	A-190-1-1
差出申一札之事(御役所定飛脚引受) 水内郡蓮村新七、ほか5名→高井郡中野村御役人衆中	天保10亥年11月	縦継紙・1通	A-190-2
乍恐以書付奉願上候(威鉄砲返上) 高井郡中野村百姓代市右衛門、ほか与頭・名主4名→北條雄之助様御役所	天保10亥年11月	縦継紙・1通	A-198
松川通橋永代建立之事(村々などへの助成金願) 高井郡発起大嶋村、同飯田村、ほか庵主2名→	寛政9巳2月	縦紙・1通	A-70
乍恐以書付奉願上候(年貢金宰領が帰途に御預りの天秤台を壊し赦免願、下書) 高井郡夜間瀬村組頭幸八、ほか9名→竹内平右衛門様御役所	寛政9巳年2月	縦継紙・1通	A-187-1
乍恐以書付奉願上候(右同様大小を壊し赦免願) 高井郡夜間瀬村組頭幸八、ほか9名→中野三左右衛門様	寛政9巳年2月	縦継紙・1通	A-187-2
覚(江戸・国元間の飛脚代など書上) 水内郡赤塩村定飛脚惣助→竹内平右衛門様中野御役所 端裏書「赤塩村飛脚惣助より書上控」、13-1~2旧封筒一括	寛政9年巳2月	縦継紙・1通	B-13-1
覚(江戸・国元間の飛脚代など書上) 水内郡赤塩村定飛脚惣助→竹内平右衛門様中野御役所 端裏書「赤塩村定飛脚惣助差上控」	寛政9年巳2月	縦継紙・1通	B-13-2
差出申借地証文之事 中野村新田町地借人又兵衛判、同所請人又三郎判、同所五人組立会助右衛門判→鈴泉寺様	寛政9年巳3月	縦紙・1通	A-197
乍恐以書付奉願上候(村内各組夜番勤方不埒の旨御咎めにつき御高免願) 高井郡夜間瀬村本郷名主惣兵衛、組頭幸八、百姓代重治郎、ほか4組14名→竹田平右衛門様御役所 下書	寛政9巳年8月	縦紙・1通	A-58
差上シ申一札之事(長太夫母ぬさ不埒成義有之候につき) 横倉組五人組惣代紺右衛門、同断仙助、親類惣代同村宗左衛門、同奥五郎、行原村直右衛門、横倉組ぬさ→名主与一右衛門殿、組頭平七殿、百姓代年兵衛殿	寛政9年巳8月	堅切継紙・1通	B-295
乍恐以書付奉願上候(当村百姓長太夫母ぬさ義不埒義有之候につき) 五人組惣代、親類惣代、名主、組頭、百姓代→御役所	寛政9年8月	堅切継紙・1通	C-351
差上申内済証文事(高井郡夜間瀬川通字上川原壁田村	寛政10年午4月	縦継紙・1通	B-81-1

地境川除普請出入に付、和融内済のこと) 柳沢村名主幸右衛門(印)、組頭仙助(印)、同清五郎、百姓代栄助(印)、壁田村名主新左衛門(印)、同庄左衛門(印)、組頭九右衛門(印)、同彦市(印)、同市右衛門(印)、同伊左衛門(印)、百姓代平兵衛(印)、同九左衛門(印)→中野村林右衛門殿、銀八殿、新右衛門殿 81-1~3は旧封筒一括、竹内平左衛門役所宛済口証文写あり			
差上申内済証文之事(高井郡夜間瀬川通字上川原壁田村地境川除普請出入に付、和融内済のこと) 柳沢村名主幸右衛門、組頭仙助、清五郎、百姓代栄助、同郡壁田村名主新左衛門、同庄左衛門、組頭九右衛門、彦市、市右衛門、伊左衛門、百姓代平兵衛、九左衛門、同郡中野村郷宿銀八、同新右衛門、組頭林右衛門→竹内平左衛門様御役所 竹内平左衛門役所宛内済証文控カ	寛政10年午4月	縦継紙・1通	B-81-2
差上申内済証文之事(高井郡夜間瀬川通字上川原壁田村地境川除普請出入に付、和融内済のこと) 柳沢村名主幸右衛門、組頭仙助、清五郎、百姓代栄助、同郡壁田村名主新左衛門、同庄左衛門、組頭九右衛門、彦市、市右衛門、伊左衛門、百姓代平兵衛、九左衛門、同郡中野村郷宿銀八、同新右衛門、組頭林右衛門→竹内平左衛門様御役所 竹内平左衛門役所宛内済証文控カ	寛政10年午4月	縦継紙・1通	B-81-3
屋敷分一札之事 屋敷持主新八、同断音八、立合源之丞→御名主林右衛門様	寛政12年申正月	縦紙・1通	A-236
差出シ申一札之事(湯屋商売の営み方) 中野西町宗五郎、同所親類立合喜八、同所組立合伊野右衛門→中野村御村役人中	寛政10年午9月	縦紙・1通	A-201
乍恐以書付奉願上候(大火難渋につき拝借金返済延期願) 高井郡中野村拝借人・名主権之丞、ほか3名→大草太郎右衛門様中野御役所 与頭・百姓代の奥書あり	文化12亥年11月	縦紙・1通	A-118
一札之事(牢番役勤め方の儀に付他) 22-1~3は旧封筒一括	寛政12年申3月20日	縦切紙・1通	B-22-1
一札之事(牢屋御番の儀に付他) 村々穢多連印→中野村牢守孫右衛門 中野村名主林右衛門奥書を記した付紙あり	享和元年酉12月	縦継紙・1通	B-22-2
一札之事(牢屋御番の儀に付他) 村々穢多連印→中野村牢守孫右衛門	寛政11年未3月	縦継紙・1通	B-22-3
乍恐以書付奉願上候(字いかり場鮭川獵出入に付、和談内済のこと) 水内郡青倉村訴訟人忠右衛門(印)、与右衛門(印)、治左衛門(印)、重右衛門(印)、金兵衛(印)、新左衛門(印)、佐右衛門(印)、彦右衛門(印)、由左衛門(印)、助左衛門(印)、藤助(印)、相手庄左衛門(印)、磯右衛門(印)、八郎右衛門(印)、藤五郎(印)、源太郎(印)、佐五右衛門(印)、市郎右衛門(印)、五左衛門(印)、勘右衛門(印)、伊右衛門(印)→中野村名主林右衛門殿、郡中代源太左衛門殿、郷宿弥助殿、同弥五左衛門殿、西大瀧村名主善右衛門殿、白鳥村三右衛門殿、平瀧村名主富右衛門殿 84-1~2は旧封筒一括、上野四郎三郎役所宛済口証文写あり	寛政12年申10月	縦継紙・1通	B-84-1
(字いかり場鮭川獵出入に付、和談内済のこと) 84-1の下書		縦継紙・1通	B-84-2
(産神江相納候願書につき) 信州中野村大乘寺→間山村与惣右衛門殿、芦沢長門殿	寛政12年申11月	縦紙・1通	B-286
(質地証文、質代金6両) 中野村質渡主久兵衛、請人嘉右衛門→小田中村忠左衛門殿 前欠、印に墨消	寛政12年申12月	縦継紙・1通	A-164
乍恐以書付奉願上候(上条村喜簾次欠込訴一件に付、	寛政12年申12月	縦継紙・1通	B-82



熟談内済のこと) 喜藤次(印)、彦四郎(印)、喜藤次親類伴右衛門(印)、彦四郎五人組又右衛門(印)、名主幸右衛門(印)→善応寺殿、林右衛門殿、源太左衛門殿、伊由右衛門殿、佐右衛門殿 端裏書「上条喜藤次済口証文」			
差出申一札之事(下木嶋村百姓女房組替不調法に付、諸帳面願下げ頼入のこと) 高井郡下木嶋村東組名主弥五郎(印)、西組名主七郎右衛門(印)、郷宿立会要右衛門(印)→中野村名主林右衛門殿、郡中代源太左衛門殿 旧封筒85と86はクリップ一括	享和元年酉3月	縦継紙・1通	B-85
乍恐以書付奉願上候(取替金返済滞出入に付、内済の手段無之こと届) 高井郡中野村名主林右衛門、郡中代源太左衛門、郷宿善右衛門、同伊由右衛門→上野四郎三郎様御役所	享和元年酉3月	縦継紙・1通	B-87
差出申一札之事(当年限人別帳尻付願) 中野村和助、加判人八十八、同断安兵衛→名主林右衛門殿	享和元酉年4月	縦紙・1通	A-232
請取一札之事(大倉崎村地内新堰堀割内熟の祝儀金返却につき受取) 水内郡小沼村郷宿孫助→名主林右衛門殿	享和元酉年4月	縦紙・1通	A-234
(中野村役人の役所宛書上 4点控、酒株高覚・酒株譲渡届・家数人別覚・御尋の人別帳一部不所持の旨書付)	享和元酉年6月	縦継紙・1通	A-262
乍恐書付ヲ以内済奉願上候(水内郡中尾村百姓喧嘩打擲出入に付、内済願) 中尾村願人伴右衛門、同伴団右衛門、相手五郎兵衛、名主五郎右衛門、組頭長蔵、同弥兵衛、百姓代庄左衛門、中野村名主取扱人林右衛門、郡中代源太左衛門、郷宿伊由右衛門、同金兵衛→上野四郎三郎様御役所 旧封筒88と89はクリップ一括、88-1～2は旧封筒一括	享和元年酉6月	縦継紙・1通	B-88-1
乍恐以書付内済奉願上候(水内郡中尾村百姓喧嘩打擲出入に付、和談内済のこと) 水内郡中野村願人伴右衛門(印)、同人伴団右衛門(爪印)、同村相手五郎兵衛(印)、同村名主五郎左衛門(印)、組頭長蔵(印)、同源兵衛(印)、百姓代庄左衛門(印)→中野村名主林右衛門殿、郡中代源太左衛門殿、郷宿伊由右衛門殿、同金兵衛殿 端裏書「扱」	享和元年酉7月	縦継紙・1通	B-88-2
奉差上済口証文之事(堀内蔵頭領分高井郡須坂新町百姓質地代金并小作粉代滞出入に付、和融内済のこと) 堀内蔵頭領分高井郡須坂新町田中新十郎代願人甚五兵衛(印)、当御支配所高井郡牛出村□(以下後欠)→ 端裏書「田中新十郎済口証文」、後欠	享和元年酉6月	縦継紙・1通	B-92
請取一札之事(葭畑一件内熟御祝儀に付、金3両請取) 水内郡小沼村郷宿孫助(印)→名主林右衛門殿	享和元年酉6月	縦切紙・1通	B-127
書付を以御頼申上候(神社号の儀など金子多方入用に付、御世話御免勸化のこと) 間山村神主芹沢長門→中野村名主林右衛門殿 端裏書「間山村神主芹沢長門頼主」あり	享和元年酉7月	縦継紙・1通	B-5
乍恐書付ヲ以奉願上候(上条新田川原湯奉公人理不尽ニ奪取不相返に付、相手方召出御料明のこと願) 忠七借家よと、差添親類宗兵衛→箕笠之助様中野条御代官所	享和元年酉7月	縦継紙・1通	B-90
乍恐以書付ヲ奉願上候(水内郡新井村・黒川村・小玉村・落影村用水差障出入に付、相手方召出の上御吟味のこと願) 水内郡新井村惣代甚左衛門、同郡黒川村惣代藤作、同左兵衛→上野四郎三郎様中野御役所 114-1～3旧封筒一括	享和元年酉7月	縦継紙・1通	B-114-1
乍恐以書付奉願上候(水内郡新井村・黒川村・小玉村・落影村用水出入に付、熟談相調不申のこと) 中	享和元年酉8月	縦継紙・1通	B-114-2

野村名主林右衛門(印)、郷宿伊由右衛門(印)、同要左衛門(印)、同金兵衛(印)→上野四郎三郎様御役所 下書 (水内郡新井村・黒川村・小玉村・落影村用水出入に付、済口証文下書) 端裏書「此口熟談不相調江戸表へ出ル」	享和元年酉8月	縦継紙・1通	B-114-3
乍恐以書付奉願上候(代官荒地見分時の夜間瀬村役人不埒につき御高免訴訟の願) 高井郡中野村名主林右衛門、同郡上條村→横山孫左衛門様、富沢善太夫様、大井田門蔵様	享和元酉年8月	縦継紙・1通	A-265
乍恐書付以奉願上候(若宮村神主中野村百姓打擲一件に付) 後欠		堅切紙・1通	B-30-1
差上申済口証文之事(若宮村神主中野村百姓打擲一件に付、内済熟談のこと) 高井郡中野村願人和助(印)、同彦五郎(印)、親類嘉右衛門(印)、五人組惣代忠三郎(印)、同郡若宮村相手岩戸撰津(印)、同孫次郎(爪印)、万蔵弟同豊吉(爪印)、良右衛門倅同和四郎(爪印)、撰津下男小八(印)、孫次郎五人組惣代要右衛門(印)、和四郎五人組惣代民右衛門(印) 豊吉五人組惣代駒五郎(印)、名主富右衛門(印)、組頭弥左衛門(印) 百姓代九郎左衛門(印)、同郡中野村名主林右衛門(印)、組頭彦兵衛(印)、百姓代嘉右衛門(印)、同久三郎(印)、同郡金井村名主扱人市左衛門(印)、同断嘉左衛門(印)、同郡笠原村名主同断庄八(印)→ 端裏書「彦五郎済口証文願書控」、後欠	享和元年酉9月	縦継紙・1通	B-30-2
乍恐書付ヲ以奉願上候(貸付金元利滞に付、相手方召出御吟味のこと願) 田中新十郎願人代甚五兵衛(印)→上野四郎三郎様中野御役所 取扱人宛内済願書挟込一括	享和元年酉11月	縦継紙・2通	B-91
差出し申一札之事(不埒御察当につき温泉場規則再確認) 高井郡三条村新田川原宗蔵、ほか10名→中野村林右衛門殿、横倉組佐右衛門殿、戸狩村孫左衛門殿、本郷名主幸右衛門殿	享和2年戌8月	縦継紙・1通	A-221
乍恐書付を以奉申上候(栄左衛門ほか5名の余業につき) 高井郡中野村名主林右衛門、組頭彦兵衛、百姓代嘉右衛門、同久兵衛→上野四郎三郎様中野御役所 1、2は史料館封筒に一括	享和2年戌9月	堅紙・1通	A-64-1
乍恐書付を以奉申上候(前件の下書、栄左衛門らかつて悪事携候者の身上糺につき) 高井郡中野村名主林右衛門、組頭彦兵衛、百姓代嘉右衛門、同久兵衛→上野四郎三郎様御役所 端裏書「下書」	享和2戌年9月	堅紙・1通	A-64-2
差出申一札之事(家業出精につき悪事吟味御高免訴訟の願) 栄左衛門、ほか6名→村御役人中 端裏書「入用書付品々」	享和2戌年9月	堅紙・1通	A-65
差出し申一札之事(日料稼の娘自害につき身柄引取) 岩佐郷蔵様御預り所越後国頸城郡直海浜村太次右衛門本家・引請人太平次、右村同人親類同断孫助、中野法運寺門前借屋・立会・専立→信州高井郡中野村林右衛門殿	享和2戌年11月	堅紙・1通	A-89
差上申御請証文之事(酒造米高之内十分一役米差出銘々酒造人手元ニ置置につき) 水内郡大古間務村酒造人名主寿六、右村組頭清蔵、同郡西柏原村酒造人右衛門、他26名→上野四郎三郎様御役所	享和3年亥閏正月	堅切継紙・1通	B-247
差上申一札之事(戸狩村半六相手取口論候につき) 河原湯宗蔵(印)→中野村林右衛門殿	享和3年亥2月	堅切継紙・1通	B-296
差上申済口証文之事(水内郡古間宿人馬入用出入に付、和談内済のこと) 水内郡大古間村名主兼問屋小右衛門(印)、組頭専六(印)、同伝左衛門(印)、百姓代年寄角	享和3年亥5月	縦継紙・1通	B-94-1

兵衛(印)、箕笠之助様御代官所同郡原村三人惣代軍次郎(印)、右村名主弥右衛門(印)、同御支配同郡落合村回人惣代五右衛門(印)、右村名主勘左衛門(印)、組頭伝右衛門(印)、百姓代幸右衛門(印)→高井郡中野町林右衛門殿、水内郡中宿村宇右衛門殿、同郡坂中新田政右衛門殿 94-1~3は旧封筒一括、端裏書「古間村済口証文」			
乍恐以書付奉願上候(大古間村宿人馬一件出入に付、内済願) 坂中新田政右衛門(印)、中宿村宇右衛門→上野四郎三郎様中野御役所 端裏書「大古間一件書付」	享和3年亥4月	縦継紙・1通	B-94-2
乍恐以書付御訴訟奉願上候(大古間宿越石泉村の者共伝馬役滞に付、宿方お救い願) 水内郡大古間宿訴訟人間屋名主小右衛門、年寄百姓代角兵衛→上野四郎三郎様中野御役所	享和3年亥4月	縦継紙・1通	B-94-3
乍恐以書付奉願上候(高井郡若宮村組頭孫左衛門新田形り出入に付、用水流末の古田井水車稼の者難儀・差障のこと) 高井郡若宮村百姓願人助次郎(印)、同要右衛門(印)→上野四郎三郎様中野御役所 95-1~2は旧封筒一括、名主富右衛門奥書あり	享和3年亥5月	縦継紙・1通	B-95-1
差上申済口証文之事(若宮村組頭孫左衛門持ち地字堂上新田形り出入に付、済口証文のこと) 高井郡若宮村百姓願人助次郎(印)、同要右衛門(印)、相手孫左衛門(印)、名主富右衛門(印)、百姓代九郎左衛門(印)→中野村名主林右衛門殿、郷宿要左衛門殿 端裏書「若宮要右衛門済口証文」、上野四郎三郎役所宛済口証文写あり	享和3年亥6月	縦継紙・1通	B-95-2
差上申済口証文之事(質地請戻し出入に付、熟談内済のこと) 水内郡向島村訴訟人長次郎(印)、同村相手市郎右衛門(印)、同村親類市之丞(爪印)、同断次右衛門(印)、同村名主三右衛門(印)→中野村名主林右衛門殿、郷宿孫助殿、同要左衛門殿 端裏書「向島長次郎済口証文」	享和2年戌7月	縦継紙・1通	B-93
差上申済口証文之事(貸金返済滞り出入りに付、和談内済のこと) 高井郡中野村願人安兵衛、同郡坂井村相手七兵衛、加判人善右衛門、同断七右衛門、右村名主扱人清左衛門、中野村□□□(後欠)→ 後欠カ	享和3年亥7月	縦継紙・1通	B-96
乍恐以書付御届奉申上候(返済滞り出入りに付、内済相整不申のこと届) 高井郡中野村郡中代伝右衛門、右村名主林右衛門→上野四郎三郎様御役所	享和3年亥8月	縦継紙・1通	B-97
乍恐以書付奉願申上候(水内郡西大瀧村三郎右衛門減石願い出の所、高井郡間山村与惣右衛門増石願い出に付、相談の上酒造株引替のこと願) 内水郡西大瀧村願人三郎右衛門、高井郡間山村願人与惣右衛門→上野四郎三郎様御役所 旧封筒231-1~2は一括。奥書と、水内郡西大瀧村名主藤右衛門、組頭又兵衛、百姓代孫助、高井郡間山村名主嘉右衛門、与頭佐助、百姓代要助の連名あり。	享和3年亥9月	切継紙・1通	B-231-1
乍恐以書付奉願上候(高井郡片塩村九兵衛減石願い出の所、同郡金井村嘉左衛門増石願い出につき、相談の上酒造株引替のこと願) 高井郡片塩村願人九兵衛、同郡金井村願人嘉左衛門→上野四郎三郎様御役所 奥書と、片塩名主伊左衛門、与頭清蔵、百姓代久蔵、金井村名主市左衛門、与頭要七、百姓代宇右衛門の連名あり。	享和3年亥9月	切継紙・1通	B-231-2
(御縫書、改名忠左衛門書上) 24-1~9旧封筒一括		縦切紙・1通	B-24-1
(切紙)		横切紙・1通	B-24-2
(横切継紙)		横切継紙・1通	B-24-3
(縦切継紙)		縦継紙・1通	B-24-4

(堅切紙)		堅切紙・1通	B-24-5
(西江部村一之丞後家せい盗賊立入の儀に付、盗まれた品物書上のこと)	享和4年子正月	堅継紙・1通	B-24-6
差上申一札之事(威鉄砲三挺拝借願)		堅切紙・1通	B-24-7
(用水掛差支に付、他書上) 端裏書「山組合庚新田高石南野上新田山根ヶ割坂井野坂田」		堅切紙・1通	B-24-8
乍恐以書付を始末方奉申上候(仏壇に入置いた残金詮索に付)			B-24-9
差上申済口証文之事(奉公給金出入に付、熟談内済のこと) 高井郡関沢村願人利八(印)、同村相手仲右衛門(印)→同郡仲野村名主林右衛門殿、郷宿伊由右衛門殿、同弥五右衛門殿、同郡関沢村名主次郎左衛門殿、組頭藤助殿、百姓代九郎右衛門殿 端裏書「関沢村利八済口証文」	享和4年子2月	堅継紙・1通	B-98
差上申済口証文之事(塩荷物切落出入雑用金面割出入に付、熟談内済のこと) 古海村名主願人作左衛門(印)、組頭同小兵衛(印)、同同七郎右衛門、百姓代同久右衛門(印)、同同六左衛門(印)、同村相手藤右衛門(印)、同新太郎(印)、同伝右衛門(印)→中野町名主林右衛門殿、郷宿伊由右衛門殿、同要左衛門殿、古海村新光寺様 継目剥離	享和4年子2月	堅継紙・4通	B-125
乍恐書付を以奉願上候(高井郡上木嶋村之内大町村役人引替一件内済につき訴御下願)→→写カ	享和4年2月	堅継紙・1通	B-243-1
乍恐以書付奉願上候(高井郡上木嶋村之内大町村役人引替一件内済につき訴御下願) 名主沢右衛門(印)、与頭伊左衛門(印)、百姓代市郎左衛門(印)、重立惣代惣八(印)、同久右衛門印、同庄左衛門(印)、同文左衛門(印)、同七郎次(印)、同原右衛門印、小前惣代佐次右衛門(印)、同九郎右衛門(印)、清左衛門伴喜原太(印)、茂八三衛門代兼利八(印)、八郎右衛門茂右衛門嘉右衛門代兼利惣次(印)→中野村名主林右衛門殿、一ノ割村名主安兵衛殿、郷宿銀八殿、同弥五左衛門殿 「上野四郎三郎様中野御役所」宛の証文の内容を、扱人の4人にあてたもの	享和4年2月	堅継紙・1通	B-243-2
乍恐以書付奉願上候(酒株譲請につき) 榊原小翁御代官料佐久郡追分宿年寄久左衛門→上野四郎三郎様御役所 奥書あり	享和4年子2月	堅切継紙・1通	B-281
乍恐以書付奉願上候(酒造高増石願) 高井郡小見村木嶋太右衛門→上野四郎三郎様御役所 村役人奥書あり	文化元子年3月	堅紙・1通(2枚)	A-134
乍恐以書付奉願上候(酒造潰米負数御取調につき) 高井郡中野村酒造人林左衛門、同断彦兵衛、同断久兵衛、同断彦次郎、同断金兵衛→上野四郎三郎様御役所 「右村百姓代嘉右衛門」の奥書あり	文化元年4月	堅継紙・1通	B-259
乍恐以書付奉願上候(酒造潰米高減石願) 高井郡片塩村酒造人九兵衛→ 写、「右村名主伊左衛門、組頭清蔵、百姓代久蔵」の奥書あり	文化元年4月	堅継紙・1通	B-265
差出申済口証文之事(専蔵相続差障りに付、和談内済のこと) 専蔵母きん(爪印)、親類助左衛門(印)、同柳八(爪印)、専蔵後家さき(印)、間山村角右衛門(印)→名主林右衛門殿、組頭彦兵衛殿	文化元年子5月	堅継紙・1通	B-100
差上申済口証文之事(質地小作代金滞り出入に付、和融内済のこと) 高井郡間長瀬村善太郎病氣ニ付代中野村利兵衛(印)、同郡深沢村茂七(印)、孫八(印)、伊右衛門(印)、三右衛門(印)、理兵衛(印)、間長瀬村名主次郎右衛門(印)、深沢村名主佐右衛門(印)→中野村名主林右衛門	文化元年子6月	堅継紙・1通	B-116

殿、郷宿弥五左衛門殿、同彦兵衛殿、同要左衛門殿			
差出申一札之事(与兵衛倅欠落一件につき役所へ御吟味下訴訟の願) 高井郡赤岩村百姓与兵衛、親類太七、同伴四郎、五人組頭庄左衛門→中野村御名主林右衛門殿、郡中代傳右衛門殿 赤岩村名主奥書あり	文化元年子7月	縦継紙・1通	A-264
乍恐以書付奉願上候(吉田村不取締の件につき御高免願) 高井郡中野村名主林右衛門、郡中代傳右衛門、郷宿善右衛門→吉田村村役人3名の奥書あり	文化元子8月	縦継紙・1通	A-219
差出申済口証文之事(水内郡小玉村百姓質物出入りに付、熟談内済のこと) 水内郡小玉村願人菊次郎(印)、差添親類十蔵(印)、同断源右衛門(印)、同村相手秀松(印)、同断吉左衛門(印)→高井郡中野村名主林右衛門殿、郷宿伊由右衛門殿、小玉村名主善右衛門殿、同村徳左衛門殿	文化元年子11月	縦継紙・1通	B-101
覚(御囲初払代貸付金利息受取) 古橋隼人手附中川良左衛門→中野村拝借人清左衛門	文化元)子12月	縦紙・1通	A-120
質物相渡し申畑地之事(質代金拾八両請取候につき) 中野新田町質地口主庄九郎(印)、同町請人太七(印)、立合甚左衛門(印)、五人組与四郎(印)、立合治郎左衛門(印)→同町嘉七殿	文化元年子12月	堅切縦紙・1通	C-410
乍恐書付ヲ以御願奉願上候(片塩村大徳寺寺法折々潰れに付、御本山に御訴えのこと) 高井郡片塩村名主伊右衛門、組頭清兵衛、百姓代久郎右衛門→同郡飯田村御本寺云賢寺様	文化2年丑正月	切紙・3通	B-103
乍恐書付ヲ以奉願上候(高井郡栗林村小作初代滞り出入に付、口上書のこと) 高井郡栗林村三郎治、弥三郎、茂七右衛門、嘉左衛門、孫兵衛、銀八、新八右衛門、和三郎、又右衛門、善右衛門、理助、庄之助→古橋隼人様中野御役所 104-1～2は旧封筒一括	文化2年丑正月	縦継紙・1通	B-104-1
差上申済口証文之事(高井郡栗林村小作初代滞り出入に付、熟談内済のこと) 栗林村名主仁左衛門(印)、同与右衛門(印)、組頭万吉(印)、百姓代武右衛門(印)、与五作(印)、重助(印)、百助(印)、多四郎(印)、相手三郎次(印)、弥三郎(印)、茂右衛門(印)、嘉左衛門(印)、孫兵衛(印)、銀八(印)、新左衛門(印)、利助(印)、善左衛門(印)、和三郎(印)、又右衛門(印)、庄之助(印)→中野村名主扱人林右衛門殿、郷宿同善右衛門殿、同同要左衛門殿 古橋隼人役所宛済口証文写あり	文化2年丑2月	縦継紙・1通	B-104-2
熟談取極証文之事(高井郡前坂村・小菅村・関沢村・針田村・笹沢村入会山出入に付、熟談内済のこと) 高井郡小菅村名主利助(印)、組頭安兵衛(印)、同勘兵衛(印)百姓代茂八(印)、同郡関沢村名主長作(印)、組頭勘右衛門(印)、百姓代九郎右衛門(印)、同郡針田村名主新右衛門(印)、組頭五右衛門(印)、百姓代平兵衛(印)、同郡笹沢村名主清右衛門(印)、百姓代清左衛門(印)、同郡前坂村名主彦兵衛(印)、先名主惣右衛門(印)、組頭文左衛門(印)、百姓代市三郎(印)、長百姓庄左衛門(印)→中野村御名主林右衛門殿、郷宿伊由右衛門殿	文化2年丑2月	縦継紙・1通	B-105
差出申一札之事(中野村市内抱女さよ欠落に付、尋入用20両受取のこと) 中野村市内(印)→中野林右衛門殿、横倉衛右衛門殿、中野又兵衛殿	文化2年丑3月	縦継紙・1通	B-106
乍恐書付ヲ以奉願上候(高井郡片塩村大徳寺施餓鬼興行席論出入に付、和熟のこと願案文)	文化2年丑3月	堅切紙・2通	B-107
差上申済口証文之事(高井郡大徳寺施餓鬼興行席論出入に付、和談内済のこと証文案文) 作左衛門、嘉右	文化2年丑4月	縦継紙・1通	B-108

衛門、伊右衛門、治藏、久藏、林右衛門→			
指出申一札之事(水内郡葭畑一件出入に付、葭畑平均の上宛歩のこと) 高井郡中野村郡中代伝右衛門、同村名主林右衛門、同郡小見村木嶋太右衛門、同郡犬飼村池田宇源次、同郡七瀬村嘉右衛門、水内郡柳新田村作左衛門→水内郡大倉崎村拾壹人惣代七郎右衛門殿	文化2年丑7月	堅継紙・1通	B-126-1
乍恐書付ヲ以奉願上候(葭畑地境出入内済破談に付、地改手間取小前未々難儀のため願書御下置願) 水内郡大倉崎村百姓拾壹人惣代七郎右衛門(印)、名主新左衛門(印)、組頭蔵之助(印)、百姓代善藏(印)→伝右衛門殿、林右衛門殿、池田右源次殿、木嶋太右衛門殿、嘉右衛門殿、作左衛門殿 古橋隼人役所宛願書写あり	文化2年丑7月	堅継紙・1通	B-126-2
差出申一札之事(出生や行衛が不明の商人を泊めない旨) 高井郡中野村宿屋安兵衛、同平五郎、同惣右衛門→村役人衆中	文化2年閏8月	堅継紙・1通	A-196
差出申一札之事(博奕一件御吟味御高免願) 中野西町式部、同人店国松→長蔵殿、ほか7名 西町長蔵ほかより村役人衆中宛の奥書あり	文化2年丑9月	堅紙・1通	A-105
差出シ申一札之事(上条村山字越土立木伐取出入に付、和談内済のこと) 高井郡中野御支配所上条村名主利兵衛(印)、組頭伊兵衛(印)、百姓代幸右衛門(印)、同郡松代御領田中村名主磯右衛門(印)、組頭儀右衛門(印)、長百姓斧右衛門(印)→中野村林右衛門殿、夜間瀬村横倉村佐右衛門殿	文化2年丑9月	堅継紙・1通	B-109
差上申済口証文之事(高井郡栗林村百姓貸金年賦滞出入に付、和談内済のこと) 栗林村願人半右衛門(印)、右村名主仁左衛門(印)、牛出村相手文五郎(印)、右村名主五左衛門(印)→中野村名主林右衛門殿、郷宿善右衛門殿、同弥五左衛門殿 古橋隼人役所宛済口証文写あり	文化3年寅4月	堅継紙・1通	B-110
差上申済口証文之事(初代金滞出入に付、和融内済のこと) 願人嘉右衛門(印)、差添人源兵衛(印)、相手善八(印)、差添人半左衛門(印)→中野村名主林右衛門殿、郷宿金兵衛殿、同専十郎殿	文化3年寅11月	堅継紙・1通	B-111
(仙助跡式をめぐる相論の内済証文、前欠) 高井郡間山村勝五郎、ほか6名→中野村御名主林右衛門殿、郷宿善右衛門殿	文化3年寅12月	堅継紙・1通	D-547
拝借仕金子之事(御役所貸附金より20両) 高井郡中野村拝借人林右衛門(印)、同村請人久兵衛(印)→中川良左衛門様 墨消	文化3年寅12月11日	堅紙・1通	D-841
差出申一札之事(中野村女子への狼藉一件熟談につき) 新保村名主次郎左衛門、組頭忠右衛門→中野村御役人中	文化5辰年3月	堅継紙・1通	A-239
預り申金子証文之事(金60両) 高井野村源之丞、同請人と治右衛門→牛窪湯場吉蔵殿 墨消あり	文化4年卯4月	堅紙・1通	A-142
乍恐以書付奉願上候(如何しき風聞ある丹蔵たちの御札高免願) 丹蔵寅蔵組合文蔵、ほか組合・村役人など16名→古橋隼人様御役所 端裏書「下書」	文化4卯年5月	堅紙・1通	A-62
差出申一札之事(博奕により村預の者共詫書) 忠兵衛、ほか16名→御役人中、組合中	文化4卯年5月	堅紙・1通	A-104
往来一札之事 信州高井郡中野西町名主林右衛門→宿々村々御役人衆中 下書	文化4卯年8月	堅紙・1通	A-121
差上申済口証文之事(水内郡柏原村明雪寺且中出入に付、熟談内済のこと) 牟礼宿五郎右衛門代浅右衛門(印)、差添人名主五郎左衛門代清太夫(印)、柏原村明雪寺	文化4年卯9月	堅継紙・2通	B-128

渡辺家/中野村名主

(印)、明願寺(印)、四郎兵衛(印)、治兵衛(印)、右村差添人市郎左衛門(印)、古間村小右衛門(印)、古海村籐右衛門(印)→中野村名主林右衛門殿、荒井村甚左衛門殿 継目剥離、古橋隼人役所宛済口証文写あり			
借用申金子証文之事(大般若并金毘羅堂建立金60両借用) 山田牛久保式湯場借り主古蔵、上条村新田河原湯請人宗蔵→松代御領柴村慶宝院様 上半分破損、墨消あり	文化4年卯12月	堅紙・1通	A-139
差出申一札之事(高井郡上条村新田川原湯宗蔵下女はる奪取一件に付、熟談のこと一札) 高井郡上条村新田川原湯宗蔵(印)、差添人組頭幸右衛門(印)、同郡安田村与惣治(印)、同村名主圓左衛門(印)、上条村新田名主宇内(印)→中野村彦治郎殿、彦兵衛殿、林右衛門殿	文化4年卯12月	堅継紙・1通	B-129
差上申済口証文之事(高井郡上条村新田川原湯宗蔵下女はる連行一件に付、和談内済のこと) 川原湯宗蔵(印)、差添人幸右衛門(印)、安田村与惣治(印)、差添人治郎右衛門(印)→郡中代彦治郎殿、組頭彦兵衛殿、名主林右衛門殿 古橋隼人役所宛済口証文写あり	文化4年卯12月	堅継紙・1通	B-130
差上申済口証文之事(高井郡野坂田村百姓打擲一件に付、和融内済のこと) 当御代官所信州高井郡野坂田村願人伝右衛門(印)、同人親類平内(印)、同為右衛門(印)、同重蔵(印)、同定右衛門(印)、同人隣家久蔵(印)、同沢右衛門(印)、組合兵右衛門(印)、同常右衛門(印)、同作五郎(印)、同治右衛門(印)、相手七郎治(印)、同人親類吉兵衛(印)、組合兵左衛門(印)、同蟹八(印)、同定八(印)、右村名主正作(印)、組頭吉兵衛(印)、百姓代儀右衛門(印)→中村名主重蔵殿、下木嶋村名主七郎右衛門殿、中野村名主林右衛門殿、郡中代彦治郎殿 古橋隼人役所宛済口証文写あり	文化4年卯12月	堅継紙・1通	B-131
乍恐以書付奉願上候(高井郡雑用金出入に付、駆込訴のこと) 高井郡安田村願人伝右衛門→古山善吉様中野御役所	文化5年午正月	堅継紙・1通	B-112
乍恐以書付奉申上候(飛脚賃銭滞一件に付、年貢金差立の節賃銭残り渡しのこと) 信州高井郡中野村忠左衛門婿養子弥八→御役所 端裏書「下書」、中野村組頭利兵衛、名主林右衛門奥印あり	文化5年辰正月	堅継紙・1通	B-132
乍恐以返答書奉申上候(高井郡夜間瀬村他百姓江戸御役所へ訴訟に付、相手方返答書のこと案文) 高井郡中野村名主廣右衛門、右村年寄組頭兼差添人倉之丞→矢嶋藤蔵様中野御役所	文化5年午8月	堅継紙・1通	B-113
質物ニ相渡シ申酒造蔵之事(質代金100両請取借用につき) 中野中町質地渡シ人金兵衛、請人、五人組惣代→松川村元右衛門殿 下書	文化5年辰8月	堅切継紙・1通	B-272-1
質物ニ相渡シ申酒造蔵之事(質代金100両請取借用につき) 中野中町質地渡シ人金兵衛、請人久兵衛、五人組惣代彦兵衛→	文化5年辰8月	堅切継紙・1通	B-273-2
(近年潰高格別減少酒造仕につき) 裏書あり		堅切継紙・1通	B-273
乍恐書付ヲ以御届奉申上候(水内郡神代宿百姓持分赤沼村地境字堰代地二ヶ所大麦・大豆他刈取争論に付、内済破談のこと届案文) 本多豊後守領分水内郡神代宿吉蔵、嘉四郎、右兩人代兼伝右衛門、松蔵、差添人弥次右衛門、同郡赤沼村伊平次、差添人庄蔵、名主伝右衛門、中野村扱人彦二郎、林右衛門→古橋隼人様御役所 旧封筒134~141は紐一括、134-1~2は旧封筒一括	文化5年辰10月	堅継紙・2通	B-134-1
(書状、前欠、水内郡神代宿百姓持分堰敷代地争論一件に付、熟談調申さず破談のこと届) 本多豊後守領	文化5年辰10月	堅継紙・1通	B-134-2

分水内郡神代宿吉蔵、嘉四郎、右兩人代兼伝右衛門、松蔵、差添人弥次右衛門、同郡赤沼村伊平次、差添人庄蔵、名主伝右衛門、高井郡中野村扱人彦次郎、同林右衛門→古橋隼人様御役所 虫損あり			
乍恐以書付奉願上候(水内郡堰敷代地の儀に付、小作年貢勘定滞のため熟談内済破談のこと) 本多豊後守領分水内郡神代宿吉蔵、嘉四郎、右兩人代兼伝右衛門、松蔵、差添人弥次右衛門、同郡赤沼村伊平次、差添人庄蔵、名主伝右衛門、高井郡中野村扱人彦次郎、同林右衛門→古橋隼人様御役所 写	文化5年辰10月	堅継紙・1通	B-142
店証文之事(酒造蔵并ニ穀蔵桶蔵借家仕候実証に付) 中野中町借家人金兵衛→松川元右衛門殿 「下書扣」の端裏書きあり	文化5年辰	切紙・1通	B-303
乍恐以書付御訴訟奉申上候(水内郡神代宿百姓持分赤沼村地境字堰代地理不尽出入に付、御吟味のこと願) 本多豊後守領分信州水内郡神代宿屋嘉四郎、百姓吉蔵、右兩人代兼訴訟人年寄伝右衛門、同百姓松蔵→寺社御奉行所様	文化6年巳2月	堅継紙・1通	B-135
乍恐以書付奉願上候(買預置候種油五駄差滞不相渡出入に付、相手方召出の上御糺しのこと願) 本多豊後守城下水内郡飯山上町訴訟人九兵衛、差添人組頭助六→古橋隼人様中野御役所 写	文化6年巳2月	堅継紙・1通	B-143
御用留并御宿帳	文化6年巳3月	横長・1冊	C-389
拝見証文之事(理不尽出入御高判頂戴に付、拝見のこと)、高井郡中野村林右衛門、五人組長左衛門、組頭嘉右衛門→水内郡神代村伝右衛門殿、松蔵殿	文化6年巳3月10日	堅切紙・1通	B-137
乍恐以返答書奉申上候(伝右衛門百姓松蔵、赤沼村伊平次相手取地所出入一件出訴中に盗難逢うにつき) 古橋隼人御代官所信州高井郡中野村名主返答人林右衛門→寺社御奉行所様 210と211は紐一括	文化6年4月	堅継紙・1通	B-212
乍恐書付を以奉願上候(高井郡中野西町儀右衛門願上候につき) 高井郡中野西町儀右衛門→古橋隼人様中野御役所 裏書「入用出入願書済口外□□」	文化6年巳5月	堅切紙・1通	B-171
乍恐以書付奉申上候(水内郡神代宿一件に付、一件一同呼出し吟味の処、大助眼病のため帰村願) 信州高井郡中野村郷宿専十郎煩ニ付代同人兄大助代引請人名主林右衛門、右婦村人大助→杉庄兵衛様御役所 140-1~2は旧封筒一括	文化6年巳6月27日	堅切紙・1通	B-140-1
乍恐以書付奉申上候(寺社奉行所より差紙頂戴に付、兄大助付添出立の処、煩いのため兄のみ出府のこと届下書) 高井郡中野町郷宿専十郎→中野村組頭嘉右衛門奥書あり、虫損あり	文化6年巳6月16日	堅切紙・1通	B-140-2
差出申一札之事(小懸郡長嶋村百姓酒乱にて役元へ不埒の儀に付、御有免願) 稲垣藤次郎御代官所埴科郡今井村惣右衛門(印)、組頭兼右衛門(印)→高井郡中野村御役人中	文化6年巳10月	堅継紙・1通	B-12
乍恐書付を以奉願上候(入札ヲ以名主跡役取極につき) 当御支配高井郡新井村名主重右衛門、同人倅民蔵、組頭次郎兵衛、同断金助、百姓代安五郎、小前惣代勝五郎、百姓平五郎、同断弥吉、論外小前惣代弥右衛門、同断太右衛門→杉庄兵衛様御役所 端裏書「新井村出入りに付き御役所江差上候書付扣」	文化6年巳10月	堅切紙・1通	B-172
差上申一札之事(質屋鑑札御渡時の仰せへの請書) 下書	文化6巳年11月	堅継紙・1通	A-180



借用申夜具之事(御返済不申候而御催促につき) 新田町石借用主みき(印)、同町請人四郎左衛門(印)→西町久兵衛様	文化6年巳12月25日	堅切紙・1通	B-174
往來一札之事(所々関所中御通シ願につき) 信州高井郡高石村泉龍寺(印)→諸国御関所町在御役人中	文化7年午正月28日	堅切継紙・1通	B-311
□(前欠)取扱之趣意仮議定左之通(水内郡神代村・赤沼村百姓論地一件に付、内済5ヶ条のこと) 神代宿訴訟人伝右衛門、吉蔵、赤沼村扱人重右衛門、太左衛門、川原新田治左衛門、石村弥七→赤沼村庄蔵殿 141-1~7は旧封簡一括、下書	文化7年午2月4日	堅継紙・1通	B-141-1
(書状、水内郡神代村百姓地所出入吟味中のため、中野村郷宿逗留中盗難一件に付、熟談内済のこと届案文)		堅継紙・1通	B-141-2
訴訟方堰地他与相手方高内申出入取扱仮議定左之通(水内郡神代村・赤沼村百姓論地一件に付、内済5ヶ条のこと) 扱人石村弥七、川原新田次左衛門、同当村重左衛門、同忠右衛門→ 下書	文化7年午2月4日	堅継紙・1通	B-141-3
乍恐口上書を以御願奉申上候(水内郡神代宿一件に付、内熟手段書差出のこと) 後欠		堅切紙・1通	B-141-4
(書状下書、前欠、水内郡神代宿・赤沼村百姓出入一件に付、済口証文下書)「謝礼 夫々酒肴差送り」と書上た切紙挟込		堅継紙・1通	B-141-5
御尋ニ付申上候書付(水内郡神代宿・赤沼村百姓出入一件に付)		堅継紙・1通	B-141-6
(書状下書、前欠、後欠、取扱手段に付、内熟破談のこと)		堅切紙・1通	B-141-7
奉差上済口証文之事(高井郡中村百姓配財借入金済方新旧村役人出入に付、扱人連印和融内済のこと) 惣左衛門(印)、清七(印)、四郎左衛門(印)、与右衛門(印)、文蔵(印)、嘉左衛門(印)、嘉右衛門(印)、源兵衛(印)→中野村権之丞殿、彦次郎殿 虫損あり、杉庄兵衛中野役所宛済口証文写あり	文化7年午4月	堅継紙・1通	B-117
乍恐以書付御届奉申上候(新野村宗五郎方江小児引渡一件につき) 高井郡中野村願人忠兵衛→ 175-1と175-2は同一紙に連続、「元付権之丞」の奥書あり、写	文化7年5月21日	堅継紙・1通	B-175-1
乍恐以書付奉願上候(禾負渡世の者罷越、はみつぎ根之類売払願) 175-1と175-2は同一紙に連続、下書		堅継紙・1通	B-175-2
差出シ申一札之事(当村百姓并借家人のうち無商売で悪事携候者なき旨) 普代村平八、ほか10名→村役人中	文化7年午7月	堅紙・1通	A-75-1
差出シ申一札之事(当村百姓并借家人のうち無商売で悪事携候者なき旨) 惣左衛門、ほか5名→村御役人中 端裏書「□□」	文化7年午7月	堅紙・1通	A-75-2
差上申一札之事(当村百姓并借家人のうち無商売で悪事携候者なき旨) 林兵衛、ほか6名→村御役人中 端裏書「下町」	文化7年午7月	堅紙・1通	A-75-3
差出シ申一札之事(金五十両、金十二両二朱取替につき願) 新田川原場借用人惣蔵、同所請人又右衛門→本郷幸右衛門殿 176-1~176-3は同一紙に連続、前欠、写	文化7年9月	堅継紙・1通	B-176-1
差出シ申一札之事(金十両借用に付つき願) 新田川原場借用人惣蔵、同所請人又右衛門→本郷幸右衛門殿 176-1~176-3は同一紙に連続、「組頭安左兵衛」の奥書あり、写	文化7年9月	堅継紙・1通	B-176-2

借地証文之事(川原堺屋敷地之内間口六間半之所につき) 新田川原場借用人惣蔵、請人同所又右衛門→本郷幸右衛門殿 176-1~176-3は同一紙に連続、写	文化7年9月	縦継紙・1通	B-176-3
奉差上済口証文之事(高井郡上条村願人幸右衛門、同村新田川原場相手宗蔵、各々熟談内済済口証文之事) 高井郡上条村願人幸右衛門、同村新田川原場相手宗蔵、右村差添人組頭与惣右衛門、同郡中野村扱人名主権之丞、同所郡中代彦次郎→杉庄三郎様御役所 継目に連印あり	文化7年午9月	切継紙・1通	B-300
借用申金子之事(酒造仕入金ニ差詰りにつき) 中野町□屋金兵衛(印)、同請人元右衛門(印)→本屋元右衛門殿 端裏書筆書きあり、反故	文化7年午10月	縦切継紙・1通	B-278-1
借用申金子之事(金50兩酒造仕入金差詰につき) 中野西町米屋蔵借用人喜七(印)、立合彦之丞(印)、田□村請人喜惣治(印)→松川村東屋元右衛門殿 反故	文化5年辰12月	縦切継紙・1通	B-278-2
(断簡、差出・宛所・奥書部分のみ) 信州高井郡中野村、松川村、荷檐商人、百八拾五人惣代和助(印)、安左衛門(印)→杉庄兵衛様中野御役所 1通	文化7午年10月	縦継紙	D-540
御代官御旅宿覚	文化7年午10月2日	横長・1冊	C-390
差出申一札之事(勇右衛門跡相続のため同人娘見育願) 高井郡中野村権之丞、同村伴之丞、同郡江部村利右衛門→水内郡神代宿幾右衛門殿 控、下書	文化7午年12月	縦継紙・2通	A-263
乍恐以書附奉願上候(高井郡上条村宗蔵弟吉蔵借金のことにつき、中山田村名主与治右衛門吟味願) 端裏書「川原宗蔵 下書」、下書、願人は「高井郡上条村願人宗蔵」	文化7年12月	縦継紙・1通	B-178
御用御止宿覚帳	文化8年未正月	横長・1冊	C-391
乍恐以書付奉願上候(荷担商人取締願の願い下げ) 高井郡中野村名主権之丞→杉庄兵衛様御役所 控、組頭の奥書あり	文化8未年閏2月	縦紙・1通	A-228
為取替一札之事(上条新田川原場和忠次家内宗判の義につき) 高井郡塩野村温宗寺、同郡米子村東照寺、右村名主伊太夫、同郡中野村名主権之丞、上條村名主幸左衛門、同村新田川原堺場和忠次→ 写	文化8年4月	縦継紙・1通	B-177
乍恐以書付奉願上候(高井郡上条村いそ中野村喜十親相手取夫義出入り一件につき御吟味御日延願) 高井郡上条村違いそ、右村名主幸太夫、同郡中野村導順、同人組合文兵衛、同村郷宿金兵衛、右村名主権之丞→ 案	文化8年6月7日	縦継紙・1通	B-179-1
奉差上済口証文之事(高井郡上条村百姓いそ、中野村金八親遵則、密夫のことにつき内済証文) 高井郡上条村いそ、同郡中野村遵則、上条村名主扱人幸右衛門、中野村郷宿同断金兵衛、同断同断文兵衛右村名主同断権之丞→杉庄兵衛様中野御役所 扣	文化8年6月	縦継紙・1通	B-179-2
乍恐以書付奉願上候(呉服江戸商いの代金取立願) 高井郡中野村重郎次店・願人源兵衛→善光寺御役人中様 名主奥印あり	文化8年8月	縦継紙・1通	A-168
御尋ニ付奉申上候(銅像など大造停止令の先例) 高井郡中野村名主権之丞→杉庄兵衛様御役所 控	文化8未年9月	縦紙・1通	A-248
乍恐書付を以奉願上候(貸応シ夜具返し不申候につき) 高井郡中野村願人忠兵衛(印)→杉庄兵衛様中野御役所	文化8年未9月	縦切継紙・1通	B-180
差上済済口証文之事(四人にて酒にしめでんかく等喰代銭不相払につき) 高井郡中野村願人平七(印)、同郡	文化8年未9月	縦切継紙・1通	B-181

田麦村相手重兵衛、同清左衛門、同喜藤次、重兵衛親類作右衛門、同人五人組茂八、右村名主平七五人組又左衛門、扱人吉右衛門、郷宿同忠兵衛、名主同権之丞→杉庄兵衛様御役所 奥書あり			
乍恐以書付奉申上候(犬飼村名主荒地起返につき御目見願) 高井郡中野村郡中代彦次郎、同村名主権之丞→端裏書「不用」、端裏書鉛筆書き	文化8年末9月	堅切継紙・1通	B-292-1
(菩提寺本堂造立等仕小作人并村内難渋につき) 中野村名主権之丞→下又一様		堅切継紙・1通	B-292-2
乍恐書付を以奉申上候(養母諸国神仏順拝之砌高野山花坂ニ而病死につき)	文化13年子9月	堅切継紙・1通	B-292-3
借家証文之事(長屋表間口4間裏畑店賃年1両) 水内郡小嶋村借家人久左衛門(印)、同村請人弥曾兵衛(印)、中野同断柳八(印)→高井郡中野米屋権之丞殿 1通	文化9年申10月	堅切紙	D-1083
去ル酉ノ皆済目録之事(御年貢石代金請取につき) □ □村名主治郎右衛門→中野町組頭春八殿	文化9年戌11月10日	堅切紙・1通	C-364
差上申済口證文之事(地所小作相断地境も不分時ニ付證文通境相立候様懸合候行共等閑ニいたし候) 稲垣藤四郎支配所高井郡江都村願人市左衛門、右村与頭七郎右衛門、同郡新井村相手織右衛門、右村先名主平五郎、同断重右衛門、名主民蔵、同郡中野村名主扱人權之丞→杉庄兵衛様中野御役所 奥書あり	文化9年申2月	堅切継紙・1通	B-182-1
差上申済口證文之事(地所小作相断地境も不分時ニ付證文通境相立候様掛合候行共等閑ニいたし候) 稲垣藤四郎支配所高井郡西江都村願人市左衛門、右村与頭七郎右衛門、高井郡新井村相手織右衛門、右村先名主平五郎、同断重右衛門、右村名主民蔵、同郡中野村名主扱人權之丞→杉庄兵衛様御役所	文化8年末12月	堅切継紙・1通	B-182-2
差上申済口證文之事(地所小作相断地境も不分時ニ付證文通境相立候様掛合候行共等閑ニいたし候)	文化8年12月	堅切継紙・1通	B-182-3
乍恐以書付奉願上候(身上不明意ニ付他所稼につき) 高井郡西江都村願人市左衛門→杉庄兵衛様中野御役所 端裏書「西江都村市左衛門織右衛門会手取之願書」、奥書あり	文化8年末12月	堅切継紙・1通	B-182-4
乍恐以書付奉願上候(御領主様ニ而御領分爲御救年賦御貸付御頼母志御企取極候につき) 高井郡馬曲村願人孫右衛門、同郡前坂村名代惣右衛門→飯山御役所	文化9年申6月	堅切継紙・1通	B-183
差上申済口證文[之事](金子致横取候につき) 水内郡小沼村願人左五右衛門、同勘介、同村相手清兵衛、同太郎兵衛、明德寺、右村名主六左衛門病氣ニ付代兼与頭金太夫、同郡戸隠新田村名主取扱半左衛門、高井郡中野村郷宿同文左衛門、右村名主同権之丞→杉庄兵衛様御役所 取扱注意、継ぎ目が剥離するおそれあり、奥書あり	文化9年申8月	堅切継紙・1通	B-184
乍恐以書付奉願上候(家財諸道具等不残焼失につき) 高井郡中野村願人伊野右衛門→杉庄兵衛様御役所 端裏書「」	文化9年申9月	堅切継紙・1通	B-185
御代官御旅宿諸入用覚并川田様御泊り入用	文化9年9月29日	横長・1冊	C-393
拝借仕金子之事(金60両) 中野村拝借人權之丞、同村受人彦兵衛→下又一様	文化10酉年2月	堅紙・1通	A-116-1
拝借仕金子之事(金50両) 中野村拝借人權之丞殿、同所受人彦兵衛→下又一様	文化10酉年11月	堅紙・1通	A-116-2
金子拝借証文之事(金50両) 中野村拝借人名主権之丞殿、松川村請人元右衛門→北條雄之助様御役所 控	天保13寅年正月	堅紙・1通	A-116-3

奉差上済口證文之事(赤尾村平吉跡式横領出入につき) 本多豊後守城下飯山町願人半左衛門、同町組頭孫右衛門、相手弥七、右村名主徳兵衛、扱人弥五左衛門、同断定兵衛、同村名主扱人權之丞→杉庄兵衛様中野御役所 奥書あり	文化10年酉9月	堅切継紙・1通	B-186
差上申拝借証文之事(宿助成貸付金より金50両) 高井郡中野村拝借人權之丞、親類請人久兵衛、ほか村役人4名→杉庄兵衛様御役所 写	文化11戌年正月	堅紙・1通	A-115
乍恐以書付奉申上候(古着・古鉄屑・紙屑商人の名前書) 中野村権之丞→杉庄兵衛様中野御役所 写	文化11戌年8月	堅紙・1通	A-136
差出シ申一札之事(御用飛脚勤向不埒につき詫書) 水内郡今井村弥四郎、ほか2名→中野村名主権之丞殿、同村郡中代彦次郎殿 権之丞、彦次郎の役所宛奥書あり	文化11戌年8月	堅継紙・1通	A-206
奉差上済口證文之事(取替金返済相滞り候につき) 高井郡夜間瀬村之内横倉村願人佐右衛門(印)、右村名主弥之助、同郡上条村新田川原場惣蔵、右村名主利兵衛、同郡中野村御宿扱人金兵衛、同断同断定兵衛、同村名主同断権之丞上条村同断幸右衛門→杉庄兵衛様中野御役所 端裏書「横倉さ佐右衛門済口證文」、奥書あり	文化11年戌8月	堅切継紙・1通	B-187
覚(御役所御囲穀拝借証文) 水内郡古海村組頭小兵衛、名主作左衛門→高井郡中野村名主権之丞殿	文化11戌年10月	堅継紙・2通	A-188-1
差出申一札之事(御役所御囲穀拝借証文) 水内郡野尻村組頭十蔵、名主市右衛門→高井郡中野村名主権之丞殿	文化11戌年10月	堅継紙・1通	A-188-2
差出申一札之事(御役所御囲穀拝借証文) 水内郡柏原村組頭市郎左衛門、名主嘉左衛門→高井郡中野村名主権之丞殿	文化11戌年10月	堅継紙・2通	A-188-3
差出シ申一札之事(油稼も不仕種莊胡麻等直立いたし買取候につき) 高井郡岩船村林蔵、同郡深澤村吉蔵、同郡下木嶋村清左衛門→三組油稼人惣代中野町松兵衛殿、同断文兵衛殿、同断八作殿、同断要右衛門殿、同断松川村与惣兵衛殿 端裏書「下書」、奥書あり	文化11年戌10月	堅切継紙・1通	B-188
差出申一札之事(役所囲枌拝借受取書、下半分欠) [ ]→高井郡中野村名主権之丞[ ]	文化11戌年10月	堅紙・1通	D-782
乍恐以書付奉願上候(金子返済いたし呉候につき) 高井郡中野村願人重太郎(印)→杉庄兵衛様御役所 奥書あり	文化11年戌11月	堅切継紙・1通	B-189
奉差上済口證文之事(男谷彦四郎様御代官所高井郡押切村永井重右衛門養母ちよ、重右衛門兄同郡栗原村弥三郎、音信不通規定のことにつき内済証文) 願人伊野吉(印)、親類与助(印)、与頭平右衛門(印)、相手弥三郎(印)、名主与惣右衛門(印)→御名主権之丞様、郷宿金兵衛様、同忠兵衛様「杵庄兵衛様、中野御役所」宛証文の写しを扱人にあてたもの	文化12年2月	堅継紙・1通	B-190
乍恐以書附奉願上候(大古間村役人取極のこと他で磯八強勢につき御吟味願) 水内郡大古間村与頭願人次兵衛、同断同断又六、名主問屋仮役百姓代年寄兼同断小右衛門名主問屋仮役同断惣代清右衛門→杵庄兵衛様中野御役所 写、端裏書「大古間村清右衛門外三人より同村儀八を相手取候願書」	文化12年2月	堅継紙・1通	B-191
乍恐以書付奉願上候(御普請所杭木代金滞り出入につき高井郡安田村与惣次に済口仰付願) 高井郡中野村願人林兵衛→御役所 案、金差引の切紙の巻き込みあり、端裏書「中野村林兵衛より安田村与惣次相手取候願書」	文化12年7月	堅継紙・1通	B-192
差出申一札之事(竹原村五郎次馬草刈取詫一札) 竹原	文化12年亥7月	切継紙・1通	B-302

村五郎次、中野村詫人惣五郎→中野村之内栗和田組判組中 三右衛門 継目に連印あり			
差上申済口証文之事(水内郡野尻宿天明年中小布施村 作左衛門より差出シ候小前手当金之儀に付) 野尻宿 問屋傳九郎(印)、与頭重郎兵衛、百姓代甚右衛門(印)、百 姓重兵衛、同断傳右衛門(印)、与頭年寄兼牧三郎(印)、伴 右衛門伴元治郎(印)、百姓孫右衛門(印)、右村名主市右衛 門(印)→中野村名主権之丞殿、柳沢村名主安左衛門殿、熊 坂村新八殿「大草太郎右へ門様、中野御役所」宛証文の写 しを扱人にあてたもの	文化12年10月	縦継紙・1通	B-193
奉差上済口証文之事(水内郡大古間村宿村役儀差障出 入につき) 大古間村訴訟方清右衛門(印)、小右衛門 (印)、治右衛門(印)、又六(印)、相手方磯八(印)、勘左衛 門(印)、惣太郎(印)→野尻村市右衛門殿、熊坂村新八殿、 中野村権之丞殿、柳沢村安左衛門殿「大草太郎右衛門様 中野御役所」宛の証文の内容を、扱人の4人へあてたもの	文化12年10月	縦継紙・1通	B-240
差出シ申一札之事(酒狂口論の詫び) 当人清太郎、立 入人重右衛門、同新兵衛→御名主権之丞様	天保13寅年9月	縦紙・1通	A-252-1
差出申一札之事(身持不埒の詫び) 当所新町由兵衛、組 合弥兵衛、立入人戸右衛門→中野御役元権之丞様	弘化4未2月	縦紙・1通	A-252-2
差上申一札之事(日商売衆抱女心安くいたし詫び) 湯 町幾三郎→御役人中様	文政12丑年4月	縦紙・1通	A-252-3
一札之事(村役人蔑みの詫び) 当人五郎右衛門、一→村 役人中、惣村中 下書		縦継紙・1通	A-252-4
御詫証文之事(御役所に対し過言との風聞につき) 亀 八伴栄治→御名主広右衛門様	文政9戌年3月	縦継紙・1通	A-252-5
一札之事(両親への心得違いにつき詫び) 中野村広右衛 門伴祐作、立会人清右衛門、松川村同元右衛門→同村林輔 殿、直兵衛殿、儀兵衛殿	天保8酉年10月	縦継紙・1通	A-252-6
差出申一札之事(身持不埒につき詫び) 新町詫人戸右衛 門、ほか7名→西町権之丞殿	文化13子年4月	縦継紙・1通	A-252-7
差出申一札之事(笠原村百姓娘との件) 水内郡真光寺村 喜作伴藤作、高井郡大俣村八郎右衛門→権之丞殿 控	天保12丑年8月	縦紙・1通	A-252-8
乍恐以書付奉願上候(当村西国巡礼者の途中逗留の件 不届につき詫書、下書) 中野村三役人→中野御役所	文化13子年10月	縦紙・1通	A-93
乍恐以書付奉願上候(栗田御殿御貸付金につき日延願) 高井郡坪山村増右衛門代新右衛門、同郡中野村瀬左衛門 (印抹消)、同村与頭彦兵衛(印抹消)、同村受人定三郎→大 草太郎右衛門様中野御役所 案、端裏書「坪山増より瀬左 へ□り出入日延下書」	文化14年5月	縦継紙・1通	B-194
奉差上済口証文之事(水内郡小玉村百姓年貢金取替分 滞り出入に付、熟談内済のこと) 水内郡小玉村富八 (印)、同断きよ(印)、浅次郎(印)、右村名主儀右衛門(印) →中野村名主林右衛門殿、同所郷宿伊由右衛門殿、同断林 兵衛殿、当村善右衛門殿 古橋隼人役所宛済口証文写あり	文化5年辰6月	縦継紙・1通	B-133
去ル丑皆済目録之事 名主清左衛門(印)→中□川親類元八 □	文政元年寅11月11日	堅切継紙・1通	B-282
借入金証文事(商売仕入金100両) 中野御支配中野西町金 借主清之丞、右同断新保村受人善左衛門、善光寺堅町親類 受人庄左衛門→松代松沢武兵衛殿 写	文政元寅年12月	縦紙・1通	A-140-1
差添申一札之事(清之丞借金につき請負一札) 中野御 支配所新保村親類清之丞、善光寺堅町同断庄左衛門→松代	(文政元)(12月)	縦紙・1通	A-140-2

松沢武兵衛殿			
乍恐書付を以奉願上候(重右衛門・同弟弥吉を相手取私欲横道取闘いたし候につき) 当御代官所信州高井郡新井村小前惣代訴訟方勝五郎、百姓代同安五郎、組頭同金助、同同次郎兵衛、同村名主相手方重右衛門、同人弟百姓弥吉、七瀬村名主扱人喜右衛門、中野村名主権之丞、郡中代同彦次郎、郷宿定兵衛、同専十郎→杉庄兵衛様中野御役所 端裏書「新井村内済証文」、奥書あり	文化6年巳11月	堅切紙・1通	B-173
亥御年貢皆済勘定覚 下書		堅継紙・1通	A-182-1
卯御年貢皆済勘定覚	(文政2カ)	堅継紙・1通	A-182-2
酉御年貢皆済勘定覚	(寛政12)	堅継紙・1通	A-182-3
子御年貢金皆済勘定覚 端裏書「下書不用、子年本書彦兵衛引渡シ申候」(「不用」部分に墨消)		堅継紙・1通	A-182-4
(年貢金皆済勘定覚、下書)		堅継紙・2通	A-182-5
乍恐以書付奉願上候(江戸表親類方へ罷越度願) 高井郡犬飼村年寄市左衛門、ほか名主2名→古山善吉様中野御役所	文政4年巳3月	堅継紙・1通	A-189
御貸附金拝借証文之事(雛型) 何誰領分信州一、拝借人、親類、組合、百姓代、与頭、名主→杉庄兵衛様中野御役所	文化6酉年10月	堅紙・1通	A-143-1
質地証文之事(当御貸附金拝借につき、雛型) 何誰領分信州何郡何村、拝借人、親類、組合、百姓代、与頭、名主→杉庄兵衛様中野御役所	文化6酉年10月	堅紙・1通	A-143-2
差上申済口証文之事(北鴨ヶ原村若者共騒立につき) 高井郡北鴨ヶ原村願人長七、同村相手弥代吉、同同清作、同同利左衛門→	文政7年申8月	堅切継紙・1通	B-195
添証文之事(当町若者栄治御陣中へ過言につき詫) 長二郎(爪印)、ほか34名→広右衛門様	文政9戌年3月	堅継紙・1通	A-162
済口証文之事(栗林村要左衛門女房離縁出入に付) 栗林村六郎兵衛、同嘉兵衛、名主次左衛門、中野表権之丞、扱人安源寺十郎治→ 155-1~4は旧封筒一括、155-1~3は同文、写	文政9年戌6月	堅継紙・1通	B-155-1
済口証文之事(栗林村要左衛門女房離縁出入に付) 栗林村六郎兵衛、同嘉兵衛、名主次左衛門、中野表権之丞、扱人安源寺十郎治→ 写	文政9年戌6月	堅継紙・1通	B-155-2
済口証文之事(栗林村要左衛門女房離縁出入に付) 栗林村六郎兵衛、同嘉兵衛、中野表権之丞、扱人安源寺十郎治、名主次左衛門→ 写	文政9年戌6月	堅継紙・1通	B-155-3
乍恐以返答書奉願上候(栗林村要左衛門女房離縁出入に付、六郎兵衛より訴訟のため返答書のこと) 下書		堅継紙・1通	B-155-4
奉公人年季証文之事(下書) 中野村人主権右衛門、同請人重兵衛→中野村治左衛門殿	文政9戌年8月	堅紙・1通	A-90
乍恐以書付奉願上候(私欲押領出入に付、相手方召出の上糾明のこと願) 高井郡安田村願人伝左衛門→大原四郎右衛門様中野御役所	文政9年戌8月	堅継紙・1通	B-156
覚(利金勘弁の上、元金100両返済の約定証) 中野西町清之丞→松代松沢文右衛門殿 写	文政10戌年5月日	堅紙・1通	A-151
詫書之事(渡世穀物金10両につき飯山渡ニ43俵に定候) 中野西町次佐衛門→飯山町権蔵殿	文政10年亥7月	堅切継紙・1通	B-312

差上申一札之事(風聞不宜ため商売延引を被申聞、一同打寄糺合) 要右衛門、ほか11名、立会人忠兵衛→村役人中様	文政11子年7月	堅継紙・1通	A-165
乍恐書付を以奉御願上候(中野常末寺按貞長老迂化に付入院の儀、並びに庫裡再建に付調堂金用立ての節証印を督促するも不当の模様にて願) 高井郡新野村松山寺禅鳳→長国寺御役寮 端裏書「亥十一月十五日二禄□方□迄も内見入置候」あり。	文政11年子12月	切継紙・1通	B-159
乍恐以返答書奉申上候(高井郡小田中村金左衛門より松川村定兵衛を相手取り貸金出入に付、願いの通り定兵衛御赦免くだされ、金右衛門の理解仰せつけられたため返答書のこと) 高井郡松川村定兵衛(印)、同村儀兵衛煩二付代兼名主和吉(印)→大原四郎右衛門様御役所	文政12年丑	切紙・1通	B-161-1
済口証文之事(高井郡小田中村名主金左衛門、同郡松川村百姓定兵衛相手取り貸金出入に付、中野村権之丞立入熟談内済のこと) 小田中村願人金左衛門、松川村相手定兵衛、中野村扱人権之丞、同村同名主廣右衛門→大原四郎右衛門様御役所 旧封筒161-1~2は一括。	文政12年丑7月	切継紙・1通	B-2
一札之事(当年七月立ヶ花村名主柳八方にて振舞の際口論に付、詫一札) 高井郡立ヶ花村源藏、茂兵衛、徳三郎、利右衛門惣代兼定八(印)、名主柳八(印)、彦五郎(印)→中野村名主廣右衛門殿 継ぎ目裏に連印あり。	文政12年丑2月	切継紙・1通	B-162
議定之事(前々御法度の儀、名主役の儀、名主料の儀、村入用の儀に付) 高井郡立ヶ花村名主良八、与頭定八、百姓代茂右衛門、先名主角兵衛、小前惣代梅次郎、卯兵衛、定藏、四良左衛門、九多田村第次郎、中野村廣右衛門→御役所 良八、定八、茂右衛門の奥書あり。連印した議定書の写を役所へ提出した写。出入後の議定書か。	文政12年丑2月	切継紙・1通	B-163
預申金子之事(飯盛奉公人抱金15両の借用) 白鳥村借用人富藏、受人中野新田町幸助、立合人間山村利衛門→奥山田村惣五郎殿	文政12丑4月13日	堅紙・1通	A-88
済口義証文案之事(真田伊豆守川那法会所附金拝借の所元利返済滞りに付、松代町町人寺社奉行へ訴え出た件の済口証文案文) □□人赤左衛門、中野方孝兵衛・彦兵衛代兼名主廣右衛門、立人町人喜右衛門、重立百姓石五郎→ 継ぎ目剥離。	文政12年丑5月	切紙・1通	B-160
乍恐書付を以奉願上候(上州吾妻郡民五郎高井郡間長瀬村にて博打いたし、捕えられ候儀につき、勘弁願下書) 下部破損	文政13年寅5月	堅継紙・1通	D-595
乍恐以書附御慈悲奉願上候(月宮院の博奕召捕赦免願) 高井郡更科村檀中惣代嘉兵衛、同村役人惣代名主吉右衛門→井上太郎左衛門様中野御役所	文政13寅年5月25日	堅継紙・1通	A-161
相渡申一札之事(女召抱につき給金残額の確認) 中野湯町本人要左衛門、受人広市→越後国直江津砂山松五郎殿	文政13寅年6月	堅紙・1通	A-91
差上申内済証文之事(佐伝次女房家出御吟味之處内済済口証文に付) 高井郡亀倉村百姓願人佐傳次、同郡井上村百姓相手重左衛門、同人悴吉藏、亀倉村名主長左衛門、井上村百姓代勇右衛門、宿清左衛門、同扱人与四郎、権之丞→ 貼り紙あり	文政13年寅9月	切継紙・1通	B-164
前文略(作次郎太兵衛伝兵衛前屋敷此度田成御願可申上候事) 伝左衛門(印)、作次郎(印)、清三郎(印)、仙右衛門(印)、安兵衛(印)→権之丞殿、佐右衛門殿 貼り紙あり、166-1~2 旧封筒一括	天保2年卯6月	切継紙・1通	B-166-1

差上申済口証文之事(作治郎太兵衛伝兵衛前屋敷此度田成御願可申上候事、用水路は新堰相用可事など一件に付、伝左衛門作治郎双方熟談内済済口証文) 高井郡市之割村百姓伝兵衛代俵願人伝左衛門、同所百姓佐左衛門代俵差添清三郎、同所相手作治郎、差添仙右衛門、百姓代惣助、名主安兵衛、中野村郷宿扱入与四郎、同所定兵衛、佐右衛門、権之丞→井上五郎左衛門様中野御役所 166-1と内容類似	天保2年卯7月	切継紙・1通	B-166-2
乍恐以書附御訴訟奉御總候(西江部村清五郎酒代踏倒し羽織借用のまま不返難渋に付不残相返し候様願上) 水内郡権堂村茶屋小太郎→関旦那様	天保2年卯7月	切継紙・1通	B-165
為取替済口一札之事(高井郡湯田中村百姓清次郎貸金一件に付為取替証文) 湯田中村清次郎(印)、戸狩村文四郎(印)、同名主高右衛門(印)、中野権之丞(印)、湯田中村六右衛門、篠井村彦助→	天保3年辰3月	切紙・1通	B-167
為取替議定書之事(水内郡西条村質地出入り証文并取替為証文) 水内郡西条村百姓兵左衛門、差添人名主作大夫、同村之内福岡新田弥右衛門、久次郎、新左衛門、長吉、吉兵衛、差添人喜原次、西江部村名主扱人只右衛門、中野村同権之丞、同宿与四郎、同清左衛門→ 下書2通あり	天保3年辰3月	切継紙・6通	B-168
村請乞一札之事(町人武兵衛其御村方江罷越借宅) 水内郡飯山伊勢町組頭源兵衛→高井郡松川村名主元右衛門殿	文政6年未4月	豎紙・1通	A-261
入置申一札之事(五荷村百姓の中野村権之丞宛証文への加印仲介につき) 戸狩村順慶寺→中野村上州屋梅之助殿	天保3年辰12月5日	豎紙・1通	A-254
菩提寺江入置申一札之事(茂右衛門身持ち不埒につき今後残田地は手放さざること取極) □中野村権之丞立会いとあるので、中野名主家の文書カ	天保4年巳3月日	豎継紙・1通	D-552
差上申一札之事(村役人衆中江対し一答之申開無御座候につき) 湯町五郎次(印)、引請人湯町中惣代力蔵(印)、同断親類中惣代千代太→権之丞殿	天保4年巳7月	豎切継紙・1通	B-288
乍恐以書附奉願上候(仰せにより下田・畑2ヶ所起返分の本免入願) 高井郡中野村百姓代儀兵衛、組頭清左衛門、同直兵衛、同林輔、名主広右衛門→井上十左衛門様御役所	天保4巳年10月	豎継紙・1通	A-159
差出シ申日延一札之事(借借金元利返済につき) 高井郡山口新田八兵衛、同村善左衛門→中野新町権之丞殿	天保5午年2月日	豎紙・1通	A-148
御尋二付乍恐以書付奉申上候(高井郡戸狩村百姓松代領佐野村にて変死一件に付、御尋ねへの返答書) 高井郡中野村五人組惣代孫助(印)、伝四郎(印)、要右衛門(印)、清八(印)、重吉(印)、勘右衛門(印)、文兵衛(印)、源次郎(印)、市右衛門(印)、直右衛門(印)、儀右衛門(印)、源之丞(印)、折右衛門(印)、文左衛門(印)、伝之丞(印)、安兵衛(印)、武七(印)、源次(印)、利左衛門(印)、儀右衛門(印)、唯吉(印)、吉右衛門(印)、折七(印)、戸右衛門(印)、亀八(印)、万助(印)、仁平(印)、正右衛門(印)、又兵衛(印)、半次郎(印)、藤右衛門(印)、定右衛門(印)、千代太(印)、与四郎(印)、支右衛門(印)、富八(印)→井上十左衛門様御役所 継ぎ目に五人組惣代の連印あり。	天保5午年11月	切継紙・1通	B-169
乍恐以書付奉願上候(買上石代差加金の下戻願、下書)	(天保5カ)	豎継紙・1通	A-186
天保六末年(年貢高及び利足割合い書上)「覚 金一両二付」の裏書あり	天保6年未	切紙・1通	B-320



渡辺家/中野村名主

乍恐書付を以奉願上候(村内休日に若者共一同集まり長助から幟竿で俵七次郎目をつかれ薬用いたらず潰れのこと、田畑も荒れのこと、長助強勢申張につき不実理不尽の始末御料明願) 当御支配所[ ]高井郡新[ ]願人組頭親類兼[ ]、差添[ ]→鈴木半十郎様中野御役所 名主奥印あり	天保7甲8月	堅紙・1通	D-535
差上申一札之事(御歳米御買請につき) 品川九一郎印、大矢茂左衛門印→荒井宿升屋健次郎殿	天保7年申11月23日	堅切継紙・1通	B-280
乍恐以書付奉申上候(変死無宿者の親を明小屋に逗留させた旨、御尋につき返答) 高井郡中野村百姓弥右衛門→大原左近様御役所 名主の奥書あり	天保7甲年12月	堅紙・1通	A-59
(家屋敷質物相渡質代金受取につき) 中野中町質地渡シ人吉五郎、親類惣代新右衛門、太平次、五人組請人太兵衛→下書カ	天保7年12月	堅切継紙・1通	B-284
拝借仕金子証文之事(当村夫食手当金として50両) 拝借人中野村百姓代儀兵衛、組頭清左衛門、同直兵衛、同林輔、名主広右衛門→大原左近様御役所 端裏朱書「金五拾両 中野村」	天保7甲年12月	堅紙・1通	D-860
乍恐書付を以奉願上候(御拝借物返上納年延の再願) 郡中名主惣連印→ 写	天保8)	堅紙・1通	A-21-1
乍恐書付を以奉願上候(御拝借物返上納年延の再願) 下書	天保8)	堅紙・1通	A-21-2
拝借証文之事(陣屋詰粉142俵の借用) 松川村名主元右衛門、中野村組頭見習権之丞→中野御役所	天保8年6月	堅継紙・1通	A-167
乍恐以書付奉願上候(高井郡穀屋議定違変私欲不法出入に付、馴合雑買等不致様嚴重申付のこと願) 右(中野村穀屋)真右衛門、要右衛門、治左衛門→小林藤之助様御役所 下書	天保8年酉10月	堅継紙・1通	B-144
乍恐以書付奉願上候(飯山藩物成粉買請をめぐって静岡村と相論につき飯山役場への添翰願) 水内郡小沼村之内戸隠新田願人政右衛門、ほか3名→小林藤之助様中野御役所	天保8酉年11月	堅紙・1通	A-102
一札之事(須坂郡海淵組辰五郎儀慥成者に付) 須坂町作治郎(印)→御役人衆中 端裏書「須坂辰五郎」	天保8年酉	堅切紙・1通	B-27
乍恐以書付奉願上候(質札下付願) 高井郡中野村願人忠兵衛→上野四郎三郎様御役所 名主林右衛門奥書あり	文化元子4月	堅紙・1通	A-238-1
乍恐以書付奉願上候(質札下付願) 高井郡中野村質鑑札願人長蔵→岡本忠次郎様御役所 村役人5名の奥書あり	天保9戌年7月	堅継紙・1通	A-238-2
奉請取金子之事(陣屋内蔵詰困粉28石買上代金) 信州高井郡中野村名主権之丞、松川村名主文右衛門→岡本忠治郎様元御役所 権之丞の印影切取	天保10亥年7月3日	堅紙・1通	A-178
乍恐以書付奉願上候(諏訪社神樂興行時の若者獅子舞手踊許可願、下書) 高井郡中野村大宮司傳田越後、ほか村役人5名→北條雄之助様御役所	天保10亥年8月	堅紙・1通	A-98
覚(森之助横取之筋につき願書) 善光寺東町森之助→中野東町仁平治殿 奥書あり	天保9年戌9月25日	堅切継紙・1通	C-353-1
(同人横取之筋につき願書)	12月17日	堅切紙・1通	C-353-2
差上申一札之事(中野村御林より新保村用水御普請入用木を伐渡) 信州高井郡中野村組頭直兵衛、ほか2名、同郡新保村名主保十郎、ほか3名→岡本忠治郎様御手代岡野莊四郎殿	天保9戌年11月	堅紙・1通	A-83

差上申一札之事(博奕・盗の科で無宿藤蔵死罪の旨遠山左右衛門尉下知につき請書) 村役人惣代権之丞、ほか20名→岡本忠二郎様御役所	天保9戌年11月26日	堅継紙・1通	A-175
(治右衛門ほか4名の盗穀物買上額書上) 175にはさみこまれていた	(天保9)	切紙・1通	A-175-1
高井郡中野村当亥年壱ヶ年季下抱候奉公人書上候 高井郡中野村百姓代市右衛門(印)、彦兵衛(印)、清左衛門(印)、直兵衛(印)、名主権之丞(印)→岡本忠治郎様御役所	天保10年亥	堅帳・1通	C-381
乍恐以書付奉歎願上候(理不尽押領出入に付、御吟味のこと願) 北條雄之助様中野御役所 「当御陣屋下中野枝郷栗和田組百姓願人弥五左衛門、同村親類清兵衛、同村差添闕兵衛、同郡中野本町百姓相手又兵衛、同郡中野連光寺当住弟侍縦、同断西町百姓儀右衛門組下百姓彦蔵俵相手茂作、同郡中野枝郷栗和田組百姓弥曾八俵相手惣吉、御陣屋下松川村百姓守之助」と願人・相手方記述あり	天保11年子正月	堅継紙・1通	B-145
乍恐以書付御吟味御下ヶ之儀奉願上候(高井郡百姓喧嘩打擲出入熟談に付、御吟味御下げのこと願) 信州高井郡中野西横町又市、同州同郡草間村健治郎、他10名→大原左近様中原御役所 写	天保11年子3月7日	堅継紙・1通	B-146
差出申一札之事(借屋送状) 須ヶ川組名主要蔵→中野村御名主中	天保12丑年2月	堅紙・1通	A-137
乍恐以書付奉願上候(身上不如意につき出穀備初御下願) 高井郡中野村宇祐親類百姓源治、ほか村役人4名→北條雄之助様御役所 差出の印鑑切取	天保12丑年2月	堅継紙・1通	A-260
差上申済口証文之事(高井郡百姓相続出入に付、和談内済のこと) 井上山→音吉殿内吉重郎殿 「松代御領所御役所宛済口証文の取替分写、高井郡幸高村願人伝之丞、親類組合并定右衛門代俵新兵衛、差添仮名主三右衛門、相手方音吉、同吉重郎、組合親類兼瀧左衛門、相手治郎左衛門、差添百姓代重右衛門、同郡松之崎村取締役抜人清太夫、同幸高村同断山岸丹後」と願人・相手方記述あり	天保12年丑)2月19日	堅継紙・1通	B-147
乍恐以書付奉願上候(温泉稼年季明につき切替許可願、下書) 高井郡中野村百姓代市右衛門、ほか村役人3名→北條雄之助様中野御役所	天保12丑年4月	堅紙・1通	A-101
乍恐以書付奉願上候(樋筋修復の間焙湯渡世始めたい旨) 高井郡中野村仮組頭儀兵衛、ほか村役人5名→加藤雄之助様御役所	天保12丑年6月	堅紙・1通	A-158-1
乍恐以書付奉申上候(いずれ湯樋を修復するので当面冥加永を上納する旨) 写カ		堅紙・1通	A-158-2
乍恐以書付奉願上候(高井郡松川村百姓同郡百姓娘連出一件に付、相手方名代又兵衛・茂作兩人呼出手違不届きの儀お尋ねのこと願) 写	天保12年丑6月	堅継紙・1通	B-148
乍恐以書付奉願申上候(中野村酒造人権之丞、酒造類焼に付、壁田村百姓硝之丞地内土蔵の借用願) 高井郡壁田村地主硝之丞(印)、右村名主庄兵衛(印)、同郡中野村酒造人権之丞(印)→北條雄之助様御役所 継ぎ目に連印あり。中野村組頭彦兵衛の奥書と印あり。	天保12年丑8月	切継紙・1通	B-230
差出申一札之事(盗難品の下げ渡しにつき受取) 高井郡間山村百姓金兵衛、同権右衛門、ほか村役人2名→中野村御役元	天保12丑年9月6日	堅継紙・1通	A-176
為取替済口一札之事(高井郡夜間瀬村地内三十五ヶ村他二ヶ村入会雑木伐取一件に付、熟談納得のこと) 高井郡夜間瀬村之内宇木組稼人儀兵衛、同村名主久兵	天保12年丑12月	堅継紙・1通	B-149

衛、夜間瀬村惣代次川名主要蔵、同郡中野村立入人名主権之丞、同郡金井村立入人取締役嘉左衛門→同郡弥沢村名主代(佳)左衛門殿、組頭五右衛門殿、小前惣代宇兵衛殿、同安次郎殿、同安右衛門殿 写カ			
乍恐以書付御届奉申上候(中野村百姓青蓮院宮様拝借金一件の儀差紙頂戴の処出府に付、御日延願・帰国の旨届) 高井郡中野村借家百姓権右衛門(印)、仮組頭彦九郎(印)、名主権之丞(印)→中野御役所 旧封筒150-1～は旧封筒一括	天保12年丑12月	縦継紙・1通	B-150-1
差添申一札之事(俗新田百姓借家送り一札のこと) 俗新田たな請人新蔵(印)、百姓代弥五八(印)、組頭為右衛門(印)→中野村名主権之丞殿 150-2～3は、150-4～7に挟込一括、端裏書「石+容(俗カ)新蔵」、写	天保13年寅	堅切紙・1通	B-150-2
差上申済口証文之事(青蓮院宮様御貸付金一件に付、中野村百姓拝借不納分新規証文に改め対談行届のこと) 北條雄之助御代官所信州高井郡中野村百姓権右衛門→寺社御奉行所様 写	天保13年寅4月11日	縦継紙・1通	B-150-3
(安政六未四月一金10両他滞元利合金33両3歩書上) 拝借人権右衛門、請人大乗寺、親類金右衛門、同平五郎、名主広右衛門、組頭彦之丞、百姓代清左衛門→ 150-4～7は折畳一括、150-41～4は折畳一括、写		切紙・1通	B-150-4
乍恐以書付奉願上候(貸付金万一滞りの節、当人返納差支の際も同情返納のこと一札) 北條雄之助御代官所信州高井郡中野村百姓権右衛門、差添人組頭彦九郎、右宿□田関山町式丁目信州屋新助代泉屋→栗田御領江戸御貸附所御役人中様 写	天保12年丑12月13日	切紙・1通	B-150-4
乍恐以書付奉願上候(元金10両他拝借金返納滞りに付、御日延願) 北條雄之助御代官所信州高井郡中野村百姓権右衛門、差添人組頭彦九郎→栗田御領江戸御貸附所御役人中様 写	丑12月13日	切紙・1通	B-150-4
奉拝借金子之事(青蓮院宮様御条理金一件に付、拝借人返納出来兼ねの際請取置の質畑を以て返納のこと) 後欠		切紙・1通	B-150-4
乍恐以書付御届奉申上候(戸田日向守より中野村百姓差紙頂戴に付、仮組頭差添出府のこと届) 高井郡中野村水吞百姓権右衛門、同村仮組頭彦九郎→中野御役所 名主権之丞奥印あり、写	天保12年丑11月	縦継紙・1通	B-150-5
乍恐以書付御届奉申上候(戸田日向守より中野村百姓差紙頂戴に付、仮組頭差添出府のこと届) 高井郡中野村百姓水吞百姓権右衛門(印)、同村仮組頭彦九郎(印)→中野御役所 写、150-5と同文、名主権之丞奥印あり	天保12年丑11月	縦継紙・1通	B-150-6
拝見一札之事(戸田日向守より差紙頂戴拝見承知に付、出府着のこと届) 北條雄之助御代官所信州高井郡中野村名主権之丞、組頭清左衛門→江戸馬喰町四丁目植木屋藤兵衛殿 写	天保12年丑11月13日	縦継紙・1通	B-150-7
(米代金書上)	天保12年丑	堅切紙・1通	C-366
乍恐以書付御覧奉申上候(如来寺後住・修復に付、惣世話方立合の上修復取り懸かりのこと) 千代多→名主権之丞様、町役人衆中様 123-1～2旧封筒一括	天保13年寅2月	縦継紙・1通	B-123-1
(法運寺方丈如来寺一件願立の由捨置難に付、世話人寄合示談に及び相断のこと上申) 千代多→	2月25日	堅切紙・1通	B-123-2
寄場無事道具直段附帳 中野村名主権之丞(印)→中野御役所	天保14年卯3月	縦長・1冊	C-398

威鉄砲拝借證文 右拝借権之丞(印)、預人源右衛門(印)、預人元右衛門(印)、預人正右衛門(印)、預人善助(印)、預人仁右衛門(印)、預人惣助(印)、百姓代市右衛門(印)、組頭彦兵衛(印)、名主権之丞(印)→北條雄之助様御役所	天保13年寅4月29日	豎長・1冊	C-401-1
威鉄砲拝借證文 高井郡中野村拝借人彦之丞、同断大三郎、同断元右衛門、同断金右衛門、同断六右衛門、同断、善助、同断仁右衛門、同断惣助、右村百姓代清左衛門、与頭彦兵衛、年寄兼与頭嘉右衛門、名主権之丞→大草太郎右馬様中野御役所	文化15年寅正月	豎長・1冊	C-401-2
(鉄砲預人書上)		断簡・1枚	C-401-3
地所貸渡シ申一札之事 普代組地所貸人利惣次、同借人長右衛門→村御役人衆中	天保14卯11月	豎紙・1通	A-174-1
奉差上一札之事(所持地質入の条件確認) 質置主又兵衛、質取主仁平、立合平八→名主権之丞様	天保13亥5月	豎紙・1通	A-174-2
乍恐以書付奉願上候(無宿常元破牢のところ、未だ行方相知れ申さずに付お届のこと) 高井郡中野村牢守穢多孫右衛門→森親之助様御役所	天保13年寅9月23日	豎切紙・1通	B-21
御尋ニ付奉申上候(穢多頭有無尋につき牢守孫右衛門の役割説明) 高井郡中野村百姓代市右衛門、ほか村役人3名→森親之助様御役所	天保13寅年10月	豎紙・1通	A-20
乍恐以書付奉願上候(商貸滞出入に付、相手方呼出勘定済方仰せ付けのこと) 中野村百姓紀平治→森親之助様中野御役所	天保13年寅12月	豎継紙・1通	B-153
質物相渡申地方之事(水車建家間数改代金請取につき) 地主俊平、請人松川与惣兵衛、立会伝左衛門→西町清之助殿	天保14年卯12月	豎切継紙・1通	B-297
證文写 高井郡中野村儀右衛門(印)→	天保13年寅12月	豎長・1冊	C-409
乍恐以書付奉願上候(宮田村百姓養子離縁に付、借用した金子返済する様仰せ付けのこと願) 願人栄助→中野御役所 151-1~2は旧封筒一括、写	天保13年寅12月15日	豎継紙・1通	B-151-1
覚(金25両内金六両受取) 151-2は151-1に挟込		横切紙・1通	B-151-2
乍恐以書付奉願上候(真田領佐野村百姓儀八の中野村人別送手続につき) 高井郡中野村百姓代市右衛門、組頭彦兵衛、同清左衛門、名主権之丞→森親之助様御役所 下書	天保14卯年6月	豎紙・1通	A-129
乍恐以書付奉願上候(当村借地人倅幸作身分お尋ねにつき回答) 高井郡中野村名主権之丞→中野御役所 文書端に破れ	天保14卯年6月	豎紙・1通	D-529
奉差上為取替済口証文之事(高井郡中野村日蓮宗鈴泉寺・同村百姓との貸地取戻一件二付、内済のこと) 下書		豎継紙・1通	B-40-1
(貸地取戻一件二付、立入人一同連印のこと) 下書		豎切紙・1通	B-40-2
(貸地取戻一件二付、熟和納得の上内済のこと) 折畳一括		豎継紙・2通	B-40-3
乍恐御書付等日延奉願上候(貸地取戻一件二付、吟味猶予の日延願のこと) 五市右衛門、六清左衛門、七権之丞、菅鈴泉寺、式与吉、三源次、四又兵衛代平八→御役所	天保14年卯7月	豎切紙・1通	B-40-4
乍恐以書付御日延奉願上候(借地操戻一件二付、鈴泉寺より借地返還の日延願)	天保14年卯7月21日	豎切紙・1通	B-40-5

乍恐以書付奉願上候(借地取戻一件に付)		縦継紙・1通	B-40-6
差出申一札之事(借地請戻一件二付、内済のこと)		堅切紙・1通	B-40-7
差出申一札之事(借地請戻一件二付、内済のこと) 40-7と同文		堅切紙・1通	B-40-8
差上申済口証文之事(貸地引戻一件二付、熟談内済のこと) 中野村日蓮宗訴訟人鈴泉寺(印)、同断檀中惣代與吉(印)、同断源次(印)、同断惣右衛門(印)、相手方又兵衛病氣二付代平八、立入人善右衛門(印)、同断伝左衛門(印)、同断与兵衛(印)、同断又吉(印)、百姓代市右衛門(印)、組頭彦兵衛(印)、同断清左衛門(印)、名主権之丞(印)→森親之助様御役所 立会人千代太、伊兵衛の奥書あり	天保14年卯10月	縦継紙・1通	B-40-9
(貸地引戻一件二付、内済のこと) 下書、後欠	天保14年卯10月	縦継紙・1通	B-40-10
乍恐以書付御日延奉願上候(貸地引戻一件二付、熟談中のため日延願) 中野村日蓮宗訴訟方鈴泉寺、同断檀中惣代源次、同与吉、相手方又兵衛病氣二付平八、市右衛門、清左衛門、権之丞→中野御役所	天保14年卯8月	堅切紙・1通	B-40-11
奉差上済口証文之事(貸地取戻一件二付、内済のこと) 高井郡中野村願人鈴泉寺、同村檀中惣代與吉、同断源治、同断惣右衛門、同村相手又兵衛病氣二付→森親之助様御役所	天保14年卯7月	縦継紙・	B-40-12
(貸地取戻一件二付、内済のこと)		堅切紙・2通	B-40-13
差出申一札之事(反物奪取一件の儀、私儀風聞不宜召捕の処、疑惑相晴れに付) 高井郡中野村親儀八、当人幸作、同村立入人伝左衛門、同断千代吉→同郡西条村作右衛門方下女おみかとの、同村主人作右衛門殿、同村名主喜兵衛殿 152-1~2は旧封筒一括	天保14年卯7月	堅切紙・1通	B-152-1
乍恐以書付奉願上候(高井郡西条村百姓下女木綿綿布奪取られ一件に付、中野村幸作を犯人と申立のこと心得違いのため、差上の書付御下ヶ置のこと願) 高井郡西条村百姓作右衛門下女みか、主人作右衛門→森親之助様中野御役所 西条村組頭七郎右衛門、名主喜兵衛奥印あり	天保14年卯7月	縦継紙・1通	B-152-2
乍恐以書付奉願上候(郡中入用御減方による、御用状持運など中野村負担増の赦免願) 高井郡中野村百姓代市右衛門、ほか村役人3名→中野御役所	天保14卯年8月	縦継紙・1通	A-28
乍恐以書付奉願上候(高井郡中野村常楽寺質地出入に付、相手方召出賃代受取の上質地并証文残らず相戻す様仰せ付けのこと) 高井郡中野村願人常楽寺、同寺旦中惣代→ 写カ	天保14年卯9月	縦継紙・1通	B-154
乍恐書付を以奉願上候(旬後につき改革地方調中の稻刈許可願) 高井郡中野村百姓代市右衛門、組頭彦兵衛、同清左衛門、名主権之丞→森親之助様御役所	天保14卯年閏9月	1通	A-14
乍恐以書付奉願上候(金子滞出入に付、相手方に金子返金催促願) 願人長蔵(印)→森親之助様御役所	天保14年卯10月	切継紙・1通	B-76
拝借申金子証文之事(御役所拝借割渡金の連名借) 高井郡中野村拝借人儀兵衛、ほか5名→同郡松川村元右衛門殿、同郡中野村権之丞殿 借用人名の切取あり	天保14卯年11月	縦紙・1通	A-117
乍恐以書付奉願上候(水車稼年季切替願、写) 高井郡中野村水車稼人弥五左衛門→森親之助様御役所 村役人4名奥書あり	天保14卯年12月	縦紙・1通	A-100
乍恐以書付奉申上候(御改革に際し陣屋元村入念取締	天保年間カ)	縦紙・1通	A-66

につき) 下書			
乍恐以書付御届奉申上候(余業商品の木綿2反盗難) 高井郡中野村百姓九十郎→森親之助様御役所	天保15辰正月20日	竪継紙・1通	A-258-1
乍恐以書付ヲ御届ケ奉申上候(掛硯盗難) 中野新田町 百姓長蔵→高木清左衛門様御役所	弘化5申3月10日	竪継紙・1通	A-258-2
乍恐以書付奉願上候(病氣平癒まで説法などを法類の 寺へ頼みたき旨) 高井郡中野村如来寺大航→森親之丞 様御役所 村役人奥書あり	天保15辰年2月	竪紙・1通	A-108
差出申一札之事(越後より中野村へ入稼人の飯山城下 転出につき村送状差出願) 高井郡中野菩提所鈴泉寺、 水内郡飯山城下町人安兵衛、同郡同所代治郎→高井郡中野 名主権之丞殿	天保15辰年3月	竪紙・1通	A-124
差上申済口証文之事(取持之高辻地方不分明ニ付訴 仕につき) 当所栗和田願人弥五左右衛門(印)、相手栄 治(印)、本家廣八(印)、同清兵衛(印)、親類小右衛門 (印)、同治兵衛(印)、立入人要蔵(印)、同千代島(印)→名 主権之丞殿	天保15年辰5月	竪切継紙・1通	B-199-1
乍恐以書付奉願上候(弁納金可差遣由申不分明故役元 ニ而相改候につき) 右願人弥五右衛門→森八左衛門様 御役所	天保15年辰5月	竪切継紙・1通	B-199-2
乍恐以書付奉願上候(御貸付金御主法替に付、金10両 御下ヶ切のため亡祖父心願永続願) 当御代官所信州 高井郡中野村組頭願人彦兵衛(印)、名主権之丞(印)→森八 左衛門様御役所 同内容の切紙挾込	天保15年辰6月	切継紙・1通	B-74
乍恐以書付奉願上候(嫁女離縁滞出入に付、離縁いた し荷物など残らず相戻すよう相手方御理解のこと) 右願人孫八(印)、差添儀兵衛(印)→森八左衛門様御役所 名主権之丞の奥書あり、75-1と同内容、一部修正箇所あ るため下書カ75-1~8は旧封筒一括	天保15年辰7月	切継紙・1通	B-75-1
乍恐以返答書ヲ奉願上候(中野村百姓より相掛り離縁 差滞出入に付、差紙頂戴のため返答のこと) 当御代 官所信州高井郡中野村之内栗和田組百姓弥五左衛門(印)、 組惣代差添人平兵衛(印)→森八左衛門様御役所 名主権之 丞の奥書あり	天保15年辰7月	切継紙・1通	B-75-2
乍恐以書付御訴訟奉申上候((嫁女離縁滞出入に付、離 縁いたし荷物など残らず相戻すよう相手方御理解の こと) 右願人孫八(印)、差添儀兵衛(印)→森八左衛門様 御役所 名主権之丞の奥書あり、75-1と同内容、一部修正 箇所あるため下書カ	天保15年辰7月	切継紙・1通	B-75-3
為取替内済一札之事(中野栗和田百姓離縁出入に付、 和談のこと) 空作(爪印)、利八(爪印)、前坂村勘蔵(爪 印)、水内郡袖の山村六左衛門、中野村七郎次→	天保11年子8月	切紙・1通	B-75-4
差出申一札之事(空作縁談差縫に付、離縁のこと日延 一札) 廣八(印)、作兵衛(印)、小左衛門(印)→清兵衛殿	天保13年寅10月	切紙・1通	B-75-5
為取替内済一札之事(中野栗和田百姓離縁出入に付、 和談内済のこと) 空作(爪印)、同断利八(爪印)、前坂 立会勘蔵(爪印)、水内郡袖の山村差立会六左右衛門(爪 印)、中野七郎次(爪印)→	天保11年子8月	切紙・1通	B-75-6
差上申済口証文之事(中野村百姓嫁女離縁滞出入に 付、熟談内済のこと) 高井郡中野村百姓訴訟人孫八、 同村之内栗和田組百姓相手弥五左衛門、同同断清兵衛、同 組惣代差添平兵衛、同郡夜間瀬村之内次ヶ川組取締役抜人 要蔵、同中野村同断千代吉、右村組頭市右衛門、同清左衛	天保15年辰8月	切継紙・1通	B-75-7

渡辺家/中野村名主

門→森八左衛門様御役所 端裏書「調合所」とあり、宛名の奥に「丸 丸 薬種 散 散 調合所」ともある			
差上申済口証文之事(中野村百姓嫁女離縁滞出入に付、熟談内済のこと) 75-7と同内容のため下書カ、折畳一括		切紙・2通	B-75-8
乍恐以書付御訴訟奉申上候(離縁相成兼候につき) 訴訟人右願人孫八、差添儀兵衛→森八左衛門様御役所	天保15年辰7月	堅切紙・1通	C-360
乍恐以書付御愁訴奉申上候(飯売奉公の娘取戻につき駈込訴) 越後国城頭郡高田城下出雲町長蔵煩ニ付代庄次郎→中野御役所 写	天保15辰年9月	1通	A-11
乍恐以書付御慈悲奉願上候(中野村郷宿半兵衛出入出張の節、御届不申上一夜帰宅のこと御有免願) 中野村百姓代儀兵衛、組頭市右衛門、同彦兵衛、名主権之丞→森八左衛門様御役所	弘化2年巳2月	切継紙・1通	B-73
乍恐以書付御届奉申上候(惣門再建のため地形土搗を行う旨) 右鈴泉寺、日□→森八右衛門様御役所 名主奥書あり	弘化2巳年4月26日	堅紙・1通	A-106
乍恐以書付御届奉申上候(住職遷化につき看守兼帯届) 高井郡中野村法蓮寺看守説忍→ 名主奥書あり	弘化2巳年7月	堅紙・1通	A-107
乍恐以書付を始末方奉申上候(湯田中村入湯の折、今井村吉三郎金紛失一件のこと始末書並びに吟味取下願) 中野村名主権之丞→木村八右衛門様中野御役所 旧封筒200-1～3は一括。控。	弘化2年巳9月	切継紙・1通	B-200-1
乍恐□書付を始末方奉申上候(湯田中村入湯の折、今井村吉三郎金紛失一件のこと始末書並びに吟味取下願) 中野村名主権之丞→木村八右衛門様中野御役所 控。旧封筒200-1と同文。	弘化2年巳9月	切継紙・1通	B-200-2
金子紛失一件始末書(今井村吉三郎の金子紛失一件のこと始末書) 下書			B-200-3
差出申一札之事(字八借財金80両片付方につき) 親類預り主傳左衛門、同断儀右衛門→組合惣代源兵衛殿、弥兵衛殿	弘化2巳年12月	堅紙・1通	A-76
送り状一札之事(すき御町友治女房二縁付参り候につき) 水内郡飯山上町組頭庄右衛門(印)→高井郡中野西町名主権之丞殿	弘化3年午2月	堅切紙・1通	C-367
覚(品代金書上) 権之丞→高木清左衛門様御役所	弘化3年午2月	堅切紙・1通	C-375-5
覚(買上初代金勘定) 高井郡草間村名主宗八煩ニ付代貞八、与頭差添伴四郎→高木清左衛門様中野御役所	弘化3年午4月	堅継紙・1通	A-193
乍恐書付を以奉御願上候(初売代金勘定出入に付、儀右衛門申し上げのこと) 高井郡中野村百姓儀右衛門→高木清右衛門様中野御役所 控。	弘化3年午4月	切継紙・1通	B-202
差上申一札之事(白袖買宿仕入残金差戻につき) 端裏書鉛筆書き	弘化3年午6月	堅切継紙・1通	B-290
差上申一札之事(女2人の身元保証) 和吉、女房妹つた、娘とよ、組合友右衛門→村御役人衆中様	弘化3年午7月日	堅紙・1通	A-125
差出申規定書之事(今般金井村に新堰堀立、用水に差し障り一件に付、八ヶ村用水組合小前惣代ら規定頼一札差し出しのこと) 更科村小前惣代嘉兵衛(印)、吉田村同伊左衛門(印)、若宮村同文蔵(印)、西条村同硝助(印)、一本木村同久八(印)、上小田中村同小兵衛(印)、下小田中村同孫左衛門(印)、上竹原村同佐七(印)、下竹原村	弘化3年午8月	切継紙・1通	B-203

同次助(印)→小田中村村役人惣代善右衛門殿、吉田村同断吉左衛門殿 小田中村名主善右衛門の奥書あり。続けて同内容の「差上申願出之事」。			
八ヶ村水論出入雑用紙取立帳 中野村名主→	弘化3年午8月	縦長・1冊	C-407
乍恐以書付奉願上候(境内禁制札書替墨入願) 中野村日蓮宗鈴泉寺日□→高木清左衛門様御役所	弘化4未年5月	縦紙・1通	A-73
乍恐以書付奉願上候(中野村常楽寺除地高地不分明出入に付、相手方除地に拘らない様御理解のこと) 右願人常楽寺、日中惣代→高木清左衛門様御役所 72-1～6は旧封筒一括	弘化4年未6月	切継紙・1通	B-72-1
内済証文之事(中野村常楽寺除地杉ほか数十本伐木出入に付、和談内済のこと) 内済証文の下書き		切紙・1通	B-72-2
(常楽寺除地絵図面) 72-3～5は挟込一括		切紙・1通	B-72-3
(利左衛門絵図面)		切紙・1通	B-72-4
(常楽寺除地絵図面)		切紙・1通	B-72-5
乍恐以書付奉願上候(常楽寺除地伐木出入り付、相手方厳守御理解のこと) 右願人常楽寺、日中惣代→高木清左衛門様御役所	弘化4年未8月	切継紙・1通	B-72-6
乍恐以書附御届申上候(震災艱難につき祈祷執行) 中組神主惣代大宮司傳田越後→高木清左衛門様中野御役所	弘化4未年10月1日	縦紙・1通	A-68
乍恐書付を以奉願上候(先格通り医師山岸永仙へ御用始御料理下付願) 高井郡中野村名主権之丞→中野御役所	弘化5申年正月	縦継紙・1通	A-266
差出申一札之事(博奕、鉄砲・手鐘所持の吟味下につき以後御法度遵守の旨) 高井郡雁田村百姓富五郎、同人親類要左衛門、同人組合常次郎→中野村名主権之丞殿、同村郡中代市右衛門殿、柏原村名主徳右衛門殿、六川村名主善六郎	弘化5申年2月	縦継紙・1通	A-220-1
(博奕、鉄砲・手鐘所持の吟味下につき一札、下書)		縦紙・2通	A-220-2
為取替和談書之事(高井郡鳥田村出入に付、和談内済のこと) 高井郡鳥田村訴訟方惣代善重郎(印)、同常次郎(印)、同小清二(印)、同□之助(印)、相手方惣代右源太(印)、同勘之助(印)、吉之丞(印)、年寄宇一(印)、組頭利兵衛(印)、同平次右衛門(印)、名主金五郎(印)、百姓代小右衛門(印)、六川村立入人名主善□郎(印)、中野村同名主権之丞、郡中代同市右衛門、□原宿取締役同徳右衛門(印)、高井郡取締役同孫五右衛門(印)→ 継ぎ目に連印あり。	嘉永元年申4月	切継紙・1通	B-204-1
(表題欠損、双方和談につき除印のこと一札、鳥田村出入の件か) 裏に、旧封筒204-1で連印した人々の名前あり。前欠か。→ 裏に、旧封筒204-1で連印した人々の名前あり。前欠。		切紙・1通	B-204-2
乍恐書付を以奉願上候(村役人重立の御国恩冥加金30両献金願) 中野村百姓代儀兵衛、ほか4名→高木清左衛門様御役所	嘉永元年申6月	縦継紙・1通	A-235
乍恐以書付奉申上候(借家人御尋ねに付、回答のこと) 信州高井郡中野村名主権之丞(印)→高木得左衛門様御役所	嘉永元年申6月16日	堅切紙・1通	B-33
差出申一札之事(狂言を催した若者の吟味下につき以後厳重取締) 堀出雲守領分高井郡六川村名主善兵衛、当御支配所同郡松村新田名主平右衛門、ほか2名→高木清	嘉永元年申8月	縦継紙・1通	A-237



左衛門様御支配所中野村名主権之丞殿、柏原村名主徳右衛門殿 写			
乍恐書付以奉御訴申上候(出店次兵衛退出形付出入に付、訴状) 高井郡中野村訴訟人仁平治→高木清右衛門様御役所 旧封筒205-1~2は一括。	嘉永元年申11月	切継紙・1通	B-205-1
御尋附(出店次兵衛退出形付出入に付、口上書) 次兵衛→御役元様	巳8月	切継紙・1通	B-2
乍恐以書付奉申上候(八十八俵人別帳除帳の始末) 高井郡米持村百姓八十八、ほか2名→御役所	嘉永元申年12月	堅紙・1通	A-240
乍恐書付を以奉願上候(神変大菩薩勅会法事につき上洛許可願) 高井郡中野村本山修験願人胎蔵寺→高木清左衛門様中野御役所	嘉永2年酉正月	堅紙・1通	A-72
覚(遊女を引当に10両借用願) 拝借人・新吉原町町喜兵衛店遊女屋久次郎、ほか請人2名→氷室御宮御貸附所御役人中様 「住吉や一条諸書付入」として包紙に転用	嘉永2年酉閏正月	堅紙・1通	A-112
差上申一札之事(松代領押真田村百姓喜市悴医師眞斎、温泉へ入湯に来る途中で酒に酔い、不届きを振る舞い、松代表に引き渡された件に付、取成方のこと一札) 安台 源司(印)→中野村名主権之丞殿 継ぎ目に印あり。	嘉永2年酉閏4月25日	切継紙・1通	B-206
乍恐以書付を奉歎願候(博奕で吟味中の借家人につき御吟味下げ願) 高井郡中野村百姓代儀兵衛、ほか村役人4名、同郡松川村百姓代五右衛門、ほか村役人2名→高木清左衛門様中野御役所 下書	嘉永2年酉12月	堅継紙・1通	A-230
乍恐以書付奉願上候(引湯樋筋の再普請許可願) 中野村百姓代儀兵衛、ほか4名→高木清左衛門様御役所	嘉永2酉年12月	堅継紙・1通	A-231
御継申頼一札之事(博奕者の御赦免につき役所への御緋願提出願) 中野町法運寺、蓮光寺、儀兵衛、利左衛門、富右衛門、長蔵煩二付千代吉→中野御村役人衆中様村役人の役所宛「御緋書」とも	嘉永2酉年12月	堅継紙・1通	A-241
乍恐以書付御届奉願上候(中野村仁平次、上小田中村組善右衛門下女に反物だまし取られに付、届書) 中野村願人平次(印)、差添千代吉(印)→高木清右衛門様御役所 継ぎ目に印あり。名主権之丞の奥書あり。	嘉永2年酉12月	切継紙・1通	B-207
三ヶ村立合場所佐負山御普請二付御預り御出役様御□迄道用取調覚書帳 □屋弥左衛門→ 中身白紙	慶応4年辰6月	横半長・1冊	C-369
六川五ヶ村御組合様御用御泊写 中野中町郷宿高野屋民右衛門→御惣代衆中様	慶応2年寅6月	横長・1冊	C-397
兵賦出不足并正兵其所下切相成候後金納其外仕訳書 中野御役所→江戸御役所	(慶応3)卯12月	□・1冊	A-79
差上申御請証文之事(無宿貸家吟味中に欠落した弥右衛門の件で内藤隼人正下知につき) 当元御代官所信州高井郡中野村百姓弥右衛門親類民左衛門、ほか2名→小林藤之助様御役所	天保9戌年2月9日	堅継紙・1通	A-177
覚(代金2朱余受取) 米屋新六(印)→ 551-1~10は全体がたたみこまれていた	辰4月3日	横切紙・1通	D-551-1
(穢多方へ逃込み、慶治親子ほかより打たたかれ数ヶ所疵負いのこと、吟味願) 中野村願人主和助→ 前欠	享和元酉年9月8日	堅紙・1通	D-551-2
(書状、昨日光臨喜悦のこと) 前後欠、継目剥離		横切継紙・1通	D-551-3
飯原友七郎様御長家入用(赤椀164文・飯櫃172文)		帳崩れ・1通	D-551-4

覚(千人前計272文受取) 相生や徳右衛門(印)→衆蔵様	4月3日	縦紙・1通	D-551-5
覚(中白米高代金計9貫456文書上) 中町幸介→西町林右衛門様	戊7月14日	帳崩れ・1通	D-551-6
(中野様ほか床敷・障子・らんまなど張替入用書上)	巳6月2日	帳崩れ・1通	D-551-7
覚(人足人名代金書上)		帳崩れ・1通	D-551-8
(上野四郎三郎様中野御役所宛済口証文) 願人安兵衛(印)、相手七兵衛(印)、加判人善右衛門(印)、同断七右衛門(印)→中野村名主林右衛門殿、坂井村名主清左衛門殿前欠、裏面書込あり		縦継紙・1通	D-551-9
(大徳寺一件につき本寺へお届) 高井郡片塩村名主伊右衛門、組頭清蔵、百姓代久蔵→同郡飯田村御本寺玄照寺様前欠	文化2年丑正月	縦紙・1通	D-551-10
差上申済口証文之事(箕作村御巢鷹持送り出入申合に付、済口証文案文) 双方連番→旧封筒209-1~2は一括。旧封筒38と関連か。	午5月24日	切紙・1通	B-209-1
差上申済口証文之事(箕作村御巢鷹持送り出入申合に付、済口証文案文) 箕作村巢守吉右衛門、名主、志久見村巢守、名主→中野村御役所 旧封筒38と関連か。	午5月25日	切紙・1通	B-209-2
(こより紐)		こより紐・1	C-327-0
乍恐以書付奉申上候(松代町一件につき) 右差添人百姓代文左衛門、右神田松永町紀伊国屋利八代甚四郎→寺社御奉行所様 端裏書「病氣御訴下書」	子9月11日	縦切紙・1通	C-327-1
乍恐以書付奉申上候(先達而より病氣につき) 下書		縦切紙・1通	C-327-2
乍恐以書付奉申上候(風邪之軀にて相臥候につき) 右差添人文左衛門、右神田松永町紀伊国屋利八代甚四郎→寺社御奉行所様		縦切紙・1通	C-327-3
覚(酉年貸金利足6両3分余中野村権之丞分受取) 杉茂兵衛手附下又一(印)→	酉12月晦日	縦切紙・1通	D-821-1
覚(酉年貸付利金1両2分余中野村清左衛門分受取) 杉茂兵衛手附下又一(印)→	酉12月晦日	縦切紙・1通	D-821-2
(去亥年差上以後の人別増減書上帳写)	(子年)	美(仮綴)・1冊	D-1028
一札之事(金壺両借用につき) 預り主源助(印)、請人甚吉(印)→十郎次殿 上部虫損	[ ]6年子3月	縦切継紙・1通	B-248
差上申御請書之事(弟入牢中の飯代を中野郡中代に支払う旨) 魚沼郡結束村百姓久四郎、ほか親類・村役人4名→小高百四郎様、飯原保太郎様 下部欠	子7月	縦継紙・1通	A-207
差上申御請書之事(手鎖村預の者たち御有免につき改心見届けるべき旨) 当御代官所信州高井郡中野村儀兵衛、市右衛門、彦兵衛、昇之丞→高木清左衛門様御手代奥野林介殿	子12月	縦紙・1通	A-61
次兵衛持高田畑小作入方覚(次兵衛名跡相続につき) 高井郡犬飼村名主文左衛門印、同三左衛門印、同清兵衛印→中野御役所 端裏書「犬飼村次兵衛持高小作入方書付写」、次兵衛兄勘左衛門奥書、中野御役所名跡許可あり	辰11月	縦切継紙・1通	D-959
(品物請取につき偽願書、我意申し募りのこと勘弁願、神代・赤沼地所出入りに関係ないこと、訴訟方傳右衛門に帰村仰せ付けられたいこと願)	午3月12日	縦紙・1通	D-539
覚(天王免受取) 中町組頭助次郎、同武右衛門→名主彦之丞殿	午6月28日	縦紙・1通	A-242

御吟味ニ付申上候書付(大古間村地内の捨物を所役として買請する値段につき) 当御代官所信州高井郡中野村百姓代儀兵衛、組頭善兵衛、名主権之丞→高木清左衛門様御役所	午12月	堅紙・1通	A-63
乍恐以書ヲ奉願上候(牢守交替願) 中野下孫右衛門→中野町御役人中様	申ノ5月日	堅継紙・1通	A-19
請取申金子之事(金20両) 新野村中山五郎右衛門代惣八→渡辺十郎治殿 差出人印に墨消あり	申12月晦日	堅紙・1通	A-149
廻状始村々(壱本木村、越村、上新田村、小沼村、上町、新保村、中野村)	酉正月22日出	横切紙・1通	D-537
覚(計金41両余皆済のこと) (善右衛門殿) 控	酉4月晦日	堅紙・1通	D-557
覚(盜賊捨品に心当の有無尋) 小林藤之助役所→	酉12月	堅紙・1通	A-80
覚(公儀葉草堀人足賃の立替金受取) 彦助、ほか4名→彦之丞殿	亥11月28日	堅紙・1通	A-114
覚(改印届) 新田町長左衛門→名主十郎次様	亥4月21日	切紙・1通	A-172
(祭礼差纏一件の内済関係一札2通の写)		堅紙・1通	A-71
(日蓮宗鈴泉寺惣門再建につき地形土搦願、写) 鈴泉寺日□→		堅紙・1通	A-74
乍恐以書付御日延奉願上候(祭礼日延許可願、下書)		堅紙・1通	A-97
(祭礼規定連印一札、写)		堅紙・1通	A-103
御本山御入峰供奉勸化録 胎藏寺白彦→		帳崩れ・2枚	A-111
差上申拜見証文之事(天保10年の年貢割付状・皆済目録)		堅紙・1通	A-152
乍恐以書付ヲ以奉願上候(定免年季明増米御免願)		堅紙・1通	A-154
(一1両2朱松川村他村々金銭書上)		堅継紙・1通	B-4
(人足割高他ノ38759石8升4合3夕未改め割高書付) 端裏書「未年割高来申年見合入用書付」		堅継紙・1通	B-17
(牢屋絵図) 信州高井郡中野村名主彦之丞→		堅切紙・1通	B-19
申渡覚(飯山領村々国役普請のことなど) 中野御役所→端裏書「被仰渡之写式通」、後欠		堅切紙・1通	B-28
(前文、用水路・飲用水路のことなどに付)		堅継紙・1通	B-29
(湯田中村戸狩屋にて金子紛失一件に付) 31-1~6旧封筒一括		堅切紙・2通	B-31-1
(湯田中村戸狩屋にて金子紛失一件に付、中野村枝郷栗和田村平吉調書)		堅切紙・1通	B-31-2
(湯田中村戸狩屋にて金子紛失一件に付、中野村枝郷栗和田村平吉調書)		堅切紙・1通	B-31-3
(湯田中村戸狩屋にて金子紛失一件に付)		堅切紙・2通	B-31-4
差出申一札之事(菩提寺神代村圓徳寺他へ相頼む詫証文のこと) 89-1~5は旧封筒一括		堅継紙・1通	B-89-1
乍恐以書付奉願上候(水内郡中尾村百姓数年我俣のみ仕る義に付、村方へ詫入のため、御吟味御宥免願) 五郎兵衛菩提寺水内郡神代村圓徳寺代地中正伝寺圓成(花押)、高井郡中野村名主林右衛門、水内郡赤沼村名主良右衛門、同源右衛門、同郡河原新田村名主治郎左衛門代百姓	享和元年酉9月	堅継紙・1通	B-89-2

代茂兵衛、同郡津野村名主小左衛門、高井郡中野村郷宿伊由右衛門、同金兵衛→上野四郎三郎様中野御役所「水内郡中尾村名主五郎左衛門病氣ニ付代俵五郎治」ほか6名の奥書あり			
乍恐以書付奉願上候(中尾村百姓打擲出入一件に付、五郎兵衛我俵仕り村内難儀のこと願)		縦継紙・1通	B-89-3
差出申一札之事(中野村百姓打擲出入一件の節雑用金不払いなど村内へ難渋相懸けに付、詫一札のこと) 水内郡中尾村詫人五郎左衛門、同人俵栄蔵→三役人、惣百姓中	享和元年酉9月	縦継紙・1通	B-89-4
乍恐以書付奉願上候(中尾村百姓打擲出入一件に付、村内難儀のこと願)		縦継紙・1通	B-89-5
差上申済口証文之事(水内郡西条村之内福岡新田御伝馬人足賃錢出入に付、和融内済のこと) 下書、付札あり、取扱注意、115-1~5は旧封筒一括		縦継紙・1通	B-115-1
差上申熟談証文之事(水内郡西条村之内福岡新田御伝馬役人足入用出入りに付、済口証文下書)		縦継紙・1通	B-115-2
差上申済口証文之事(水内郡御伝馬役人足賃錢出入に付、内済のこと) 下書、付札、下札あり		縦継紙・1通	B-115-3
差上申済口証文之事(水内郡御伝馬役人足賃錢出入に付、内済のこと) 下書		縦継紙・1通	B-115-4
差上申済口証文之事(水内郡御伝馬役人足賃錢出入に付、内済のこと) 下書、付札、下札あり	天保3年辰9月	縦継紙・1通	B-115-5
乍恐書付ヲ以奉願上候(高井郡上新田村御用金下渡に付、小前割渡滞り迷惑・催促のこと願案文)		縦継紙・1通	B-124
乍恐以返答書奉申上候(水内郡神代宿百姓持分字堰代地争論一件に付、赤沼村百姓返答書のこと) 継目剥離		縦継紙・2通	B-136
御窺ニ付以書付奉申上候(水内郡神代宿百姓江戸御奉行所へ出訴中野村逗留の砌、御高判与盗難に付窺ひのこと) 高井郡中野村名主林右衛門、組頭嘉右衛門→古橋隼人様御役所 138-1~4は旧封筒一括、端裏書「下書」		縦継紙・1通	B-138-1
乍恐以返答書奉申上候(水内郡神代宿百姓中野村逗留の砌、内々差引渡入用口論に付、返答書下書) 古橋隼人御代官所信州高井郡中野返答人名主林右衛門→寺社御奉行所様	文化6年巳4月	縦継紙・1通	B-138-2
乍恐返答書ヲ以奉申上候(水内郡神代宿百姓中野村郷宿方逗留中盗難一件に付、返答書のこと下書) 信州高井郡中野村返答人名主林右衛門、差添右村百姓代岩次郎→寺社御奉行所様		縦継紙・1通	B-138-3
(書状、水内郡神代宿百姓中野村郷宿逗留中盗難一件に付) 高井郡中野村名主林右衛門→古橋隼人様御役所	文化6年巳3月	縦継紙・1通	B-138-4
乍恐乍恐(水内郡神代村出入一件に付、神代村百姓より預り品物江戸寺社奉行所へ差上のこと) 水内郡赤沼村名主伝右衛門代兼百姓庄蔵、高井郡中野村名主代哩兵衛→中野御役所		縦継紙・1通	B-139
乍恐以書付を奉願上候(高井郡上条新田川原湯雇女誘引出シ出入に付願書)		縦継紙・1通	B-158
差上申添口証文之事(水内郡森村名主与右衛門より同村百姓太郎右衛門より善右衛門兩人相手取貸金滞り出入につき) 端裏書「追上□うせん 森与右衛門」、		縦切紙・1通	B-170

奥書「御老君」			
(乍恐御愁訴奉申上候につき) 奥書あり		堅切継紙・1通	B-197-1
乍恐以書付御愁訴奉申上候(京都青蓮院宮様御修理金 名目ニ而貸付候間金銀融通につき) 信州高井郡犬飼 村年寄願入市右衛門、同州同郡中野村名主□右衛門代弟願 人権之丞→矢嶋藤藏様御役所	文政8年酉4月	堅切継紙・1通	B-197-2
乍恐以書付御愁訴奉申上候(京都青蓮院宮様御修理金 名目ニ而貸付候間金銀融通につき) 下書カ		堅切継紙・1通	B-197-3
入置申歎書之事(宮様御名前を請貸付金致候につき) 水内郡拝借人惣代同郡小境村歎人源九郎、右同断同小境村 歎人惣左衛門、右同断本多豊後守様御城下金右衛門→高井 郡中野村名主廣右衛門殿、同郡犬飼村年寄市左衛門殿 下 札あり	文政8年酉3月	堅切継紙・1通	B-197-4
相頼申歎書之事(大借金と相成誠ニ難渋ニ相成につき) 高井郡安田村右拾四ヶ村拝借人惣代伝左衛門、同犬飼村 拝借人惣代市兵衛→中野村名主廣右衛門殿、犬飼村年寄市 左衛門殿	文政8年酉3月	堅切継紙・1通	B-197-4
頼入一札之事(一ヶ年一四ヶ月之利足取返金ニ差詰に つき) 高井郡片塩村与市、同郡安源寺村儀兵衛、中野村 権右衛門、同湯町要右衛門、同廣市、同力藏、上条村幸右 衛門、同平藏、夜間瀬与兵衛親類与市、岩舟村定之丞、同 郡東江都村名主文右衛門、同郡吉田村名主新右衛門、同郡 夜間瀬村名主惣兵衛、同郡七瀬村名主又右衛門、同郡上条 村名主文右衛門、同郡竹原村名主勘左衛門→中野村名主廣 右衛門殿 奥書あり	文政7年申12月	堅切継紙・1通	B-197-4
乍恐以書付御愁訴奉申上候(家業を誠ニ難渋至極仕候 につき)		堅切継紙・1通	B-197-5
乍恐以書付御願奉申上候(諸払方ニ差詰甚以難渋仕候 につき)		堅切継紙・1通	B-198-1
乍恐以書付奉願上候(諸払方ニ差詰甚以難渋仕候間金 子拾三兩致時貸呉候につき) 願人長藏(印)→森親之助 様御役所	天保14年10月	堅切継紙・1通	B-198-2
差上申済口証文之事(高井郡木嶋村照明寺の後住を勝 手に決め、寺所持の物を横領した一件内済に付、済 口証文案文)		切紙・1通	B-208
乍恐以書付奉願上候(魚沼郡寺石村吉祥寺先住登麟和 尚連行につき寺石村百姓五人御吟味願) 下書カ、後 欠カ、願人は「上野四郎三郎御代官所信州水内郡平瀬村百 姓惣助妹願人尼智桂」と「右惣助他出ニ付代親類惣代同断桜 井富左衛門」		堅継紙・1通	B-210
為取替済口証文之事(高井郡新野村百姓林兵衛地所、 法堂院境内地境論事につき) 右村双方名前→ 案、 210と211は紐一括		堅紙・1通	B-211
乍恐以書付ヲ奉願上候(婿養子寺送滞りのため隆谷寺 和尚へ寺送り出すよう仰付願) 案		堅継紙・1通	B-213
乍恐以書附奉願上候(新保村百姓勘左衛門、同村茂左衛 門へ疵為負候一件につき御吟味御猶予願) 写		堅継紙・1通	B-214
奉差上熟談内済証文之事(別家久兵衛に預け置医師周 伯田畑につき内済証文) 本多豊後守城下飯山町医師周 伯後家は、当御支配所水内郡三才村百姓久之助、同名主 久八、同高井郡中野郷宿権之丞、同同金兵衛、同水内郡上 駒澤村戸隠村扱人吉左衛門、中野村扱人権之丞→中野御役 所 案		堅継紙・1通	B-215-1

乍恐以口上書奉申上候(別家久兵衛に預ヶ置医師周伯田畑につき、久兵衛倅久之助召出願) 写	堅継紙・1通	B-215-2
乍恐以書付奉願上候事(千曲川辺畑川欠之分境引につき御見分御改および立ヶ花村地中御改願) 案、訴訟方は「信州水内郡本多豊後守領分蟹沢村」の村役人、相手方は「同國高井郡小條雄之助様御支配立ヶ花村」の村役人	堅継紙・1通	B-216
差出シ申内済證文之事(高井郡金井村組頭太右衛門屋敷添他屋セき筋道馬通路出入につき) 高井郡金井村長次郎、同村太右衛門→御三人 案	堅紙・1通	B-217
(米大麦出荷差滞につき内済證文) 写、相手・訴訟人・立入人を記した書付あり	堅継紙・1通	B-218
差出申詫一札之事(御組下佐傳次妻家出始末につき) 重左衛門、吉藏、立入人、郷宿与次郎、同清左衛門→亀倉村名主長左衛門殿、佐傳次殿 下書	堅継紙・1通	B-219
差上申済口證文之事(水内郡森村名主与右衛門より同村百姓太郎右衛門、善右衛門両人相手取貸金滞出入奉出訴につき) 写カ	堅継紙・1通	B-220
差上申御請書之事(千原村百姓惣八娘きせ、中野湯町安達屋勇吉方へ飯売下女奉公へ被売につき、惣八願出下ヶ願) 案	堅継紙・1通	B-221
口上書之覚(信州高井郡中野村不動寺住職のこと村内差障につき) 下書、222-2を挟込	堅継紙・1通	B-222-1
差上申済口證文之事(「藤谷八郎兵衛様御郡役所武州都筑郡寺山村百姓長三郎より」) 後欠カ、222-1の内容をまとめた裏書あり	堅切紙・1通	B-222-2
乍恐書付を以御届奉申上候(炭焼竈打崩小屋焼払衣類諸道具等紛失仕候につき)	堅切継紙・1通	B-238
乍恐書付を以御届奉申上候(身上不勝手ニ付上州表酒造奉公人なか家出仕候)	堅切継紙・1通	B-239
高井郡七ヶ巻村百姓友次郎悪党之事	堅継紙・1通	B-241
差上申済口證文之事(高井郡夜間瀬村本郷組実相寺より同村横倉組百姓森右衛門江掛り、天神宮地社木伐取出入につき) 案、継目剥離	堅継紙・1通	B-244-1
差上申済口證文之事(高井郡夜間瀬村本郷組実相寺より同村横倉組百姓森右衛門江相掛、天神宮地社木伐取出入につき) 案カ	堅継紙・1通	B-244-2
差上申済口證文之事(高井郡夜間瀬村本郷組実相寺より同村横倉組百姓森右衛門江相掛、天神宮地社木伐取出入につき) 案	堅継紙・1通	B-244-3
差上申済口證文之事(高井郡夜間瀬村本郷組実相寺より同村横倉組百姓森右衛門江相掛、天神宮地社木伐取出入につき) 写カ	堅継紙・1通	B-244-4
差上申済口證文之事(夫食拝借等之義につき)	堅切継紙・1通	B-245-1
差上申済口證文之事(夫食拝借等之義につき) 下部虫損	堅切継紙・1通	B-245-2
願一札之事(吉藏打擲出入につき) 村役人吉藏	堅切継紙・1通	B-246-1
(近年村内若者頭坏と申村内若者共江諸々之義申懸難儀につき) 吉藏、文右衛門→竹内平右衛門様御役所前欠、端裏書「五左衛門・松藏・理不尽之振舞ニ而村内難決之故願書」	堅切継紙・1通	B-246-2

口上書(若者色々仇ヲ成シ或ハ田畑ヲ荒し数度之義につき) 高井郡岩舟村小前式脇人惣代林蔵、重右衛門、平左衛門、文右衛門→竹内平右衛門様中野御役所	寛政9年巳3月7日	堅切継紙・1通	B-246-3
乍恐以書付奉願上候(中野村清治郎所持仕につき) 中野村清治郎親類病死ニ付字八印、同林右衛門印→ 端裏書「」、奥書あり	巳10月	堅切継紙・1通	B-274-1
借用申酒株一札之事(酒株借用仕候につき) 株借主間長瀬村治郎右衛門(印)、請人同村斧右衛門、立合戸狩村利右衛門(印)→中野町庄助殿	天明4年辰10月	堅切継紙・1通	B-274-2
乍恐以書付奉願上候(酒株借請につき) 高井郡間長瀬村次郎右衛門→〔 〕丸甚五郎様御役所	寛政4年子10月	堅切継紙・1通	B-274-3
(包紙「飯山御倉粉書附写」)		包紙・1通	B-294-1
飯山倉粉請取		横長・1通	B-294-2
取極規定一札之事(薪木伐り取之差留候につき)		堅切継紙・1通	B-298
木嶋平より道法覚(高井郡・水内郡からの道程書上)		堅切継紙・1通	B-307
乍恐以書付奉願上候(高井・水内両郡村々騒動につき) 高井郡中野村郡中代十郎、同伝左衛門、同彦二郎、同清右衛門、同市右衛門→		堅切継紙・1通	B-313
文化十三亥年夜間瀬山牛割(高七項目記載)「文化十三亥年夜間瀬山牛割」の端裏書あり		切紙・1通	B-315
乍恐書付ヲ以奉御御届ヶ申上候(吉田村忠右衛門梓良右衛門儀、小作年貢滞りに付、日延願) 下書か		切紙	B-317
(水内郡権堂村小河屋清治抱女見請候につき)		堅切紙・1通	C-324
乍恐御慈悲奉願上候(村役人御見送り仕候につき) 高井郡中野村名主後権之丞、前百姓代郡中代市右衛門→御役所 端裏書鉛筆書き		堅切紙・1通	C-329
(御代官信州取締等書上)		堅切紙・3通	C-330
乍恐以書付奉願上候(駕籠人足之もの不埒之躰につき)		堅切紙・1通	C-345
(運上之風聞ニても買商人共見合につき) 前後欠		堅切紙・1通	C-352
内済仕候趣意□ニ奉申上候(質物出入内済につき) 端裏書鉛筆書き、		堅切継紙・1通	C-356-1
(代金拾三両銀十二匁質流譲渡につき) 弥惣二組喜平太、十蔵、岩蔵、善左衛門、右□□、義右衛門→	寛政2年戌11月	堅切紙・1通	C-356-2
(幟竿振廻候処七次郎右之眼江突当につき) 後欠		堅切紙・1通	C-365
(「貸金 飯山政右衛門北大熊藤兵衛 新町□五郎右衛門、三郎右衛門、黒川嘉右衛門」)		包紙・1通	C-368
乍恐書付ヲ以奉願上候(持高皆済勘定につき願書) 下書		堅切紙・1通	C-376
乍恐以書付御詫奉願上候(近村之小供寄集につき)		堅切継紙・1通	C-379
(村方小百姓ヲ勤メ大勢党徒仕村騒動ヲ発シ候につき) 下書		堅切継紙・1通	C-388
(反別書上)		断簡・1枚	C-392
御旅宿日記		横長・1冊	C-395
御用中日記		横長・1冊	C-396

(役所貸付金拝借につき質入田畑書上、下書)	縦紙・1通(2枚)	D-522
(済口証文写の断簡) 中野村郷宿銀八、同新右衛門、組頭林右衛門→壁田村幸右衛門殿、仙助殿、清五郎殿、宋助殿、新左衛門殿、庄右衛門殿	堅切紙・1通(2枚)	D-523
(代官支配替の触達、唐草有無尋の廻状、両者とも写)	縦紙・1枚	D-524
乍恐以書付奉願上候(宗門村送の手続間違い、召捕人は中野村の人別、下書)	縦紙・1通	D-526
(当村地内田畑切添切開の改につき先日提出の帳面で相違ない旨書付) 文書奥に破れ	縦紙・1通	D-528
(金比羅・善光寺など廻国の上、中野湯町に借家した夫婦の息子が代官察当をうけ、夫婦は新田町へ転居、など書付)	縦紙・1通	D-530
乍恐御書付奉願候(吟味中手鎖村預けの中野村百姓につき、月代摘まし願) 下書	堅切紙・1通	D-531
乍恐以書付奉願上候(中野村小前共夫食差詰り、松代領分の者より米買上のこと申すも、等閑にする、これを田中村六右衛門が代官へ駕籠訴いたし、小前共吟味のこと高免願) 下書	縦紙・1通	D-532
(中野村名主林右衛門出入の件で、松代城下禪宗触頭長谷寺へ内済願のこと、林右衛門理不尽につき) 下書	縦紙・1通	D-533
(小田中村百姓茂右衛門新田町喜八跡式に入り、享和2年小布施村神明地家守となり人別除くも、文化11年死去いたし妻子戻りにつき人別入りのこと) 上州□郡大前村御名主中 下書カ	縦紙・1通	D-534
(山論絵図□) 宝田村間屋荒井□右衛門(よりカ)→北八丁堀太神宮前小出平吉様、公用人佐々木丈右衛門 下書	縦紙・1通	D-536
(月9度の市について、商物持込に代金掛らず却って仇となり市も衰微し歎かわしきこと) 包紙の反古紙使用、上書「上 高井郡中野村」	縦紙・1通	D-538
(天皇祭礼時の見廻りにつき役所宛証文3通の写)	縦紙・1通	D-542
正月十五日御飯米直段書上	切紙・1通	D-543
(郷に入りては郷に従え、など心得書、写)	縦紙・1通	D-544
(役所・役人宅の障子替・窓替など入用書上)	折紙・1通	D-545
(中野村欠落人届2通の写)	縦紙・1通	D-546
(預金・払などの金額書付、含三井より米作宛覚)	切紙・2通	D-549
(貸金額書上) 包紙の紙背を利用	縦紙・1通	D-550
(断簡、差出・宛所のみ) [ ]相手文五郎(印)、同断五左衛門(印)、同郡中野村名主抜人林右衛門(印)、同郡七瀬村名主同断喜右衛門(印)、同郡中野村郷宿同断善右衛門(印)→上野四郎三郎様中野御役所 前欠	縦紙・1通	D-553
乍恐以書付奉願上候(当村百姓西国巡礼中病気につき送り返しくれ候とも、不行届につき勘弁願) 下書	縦紙・1通	D-554
(本領寺町利左衛門甥養子のこと、川乗廻百姓御免のことほか□)	縦紙・1通	D-555
乍恐以返答書奉申上候(権之丞使い吉之丞、文政6年所持の田家など売り払うが、請戻しを元金1割無心に	縦紙・1	D-556



て他の金主は承知すれども、東江部村庄左衛門のみ 承知せず理解仰せ付け願)			
(中野村名主出府路用金をめぐる相論の訴状、下書) 破損大		堅継紙・1通	D-561 D-562
(田畑地番・地積・人名書上)		美・1冊	D-1021
(年貢割付状写、小菅・平林・山根・吉・其綿村分)		1綴	D-1022
(屋根板・大工人足ほか計金24両2歩余書上) 1023～ 1030は重ねて畳込み一括		半・1冊	D-1023
(講掛金割返し・くじ取ほか計金125両書上)		半・1冊	D-1024
(夜間瀬村本郷計56両余ほか計345両余書上)		美・1冊	D-1027
(半左衛門出奔につき) 伊奈右近将監→御小姓組番頭格関 東御郡代伊奈右近為監	3月9日	堅切継紙・1通	B-306
以書付申上候(当村大徳寺一件につき) 片塩村名主伊右 衛門(印)、組頭清蔵(印)、百姓代久蔵(印)→中野村御名主 林右衛門殿 端裏書鉛筆書き、354-1～2は、紙に包まれ ている	4月4日	堅切紙・1通	C-354-1
一札之事(片塩村役人より大徳寺相手取につき願書) 高井郡飯田村玄照寺→吉田村作左衛門殿、七瀬村荒右衛門 殿、安添寺村要左衛門殿	文化2年丑3月	堅切紙・1通	C-354-2
(ハヶ村用木水揚につき) 中野村名主権之丞(印)→竹原村 両組御役人衆中 端裏書「竹原村御名主衆中、中野名主権 之丞」	4月17日	堅切紙・1通	C-358
御尋ニ付申上候書付(中野村役人出穀額、合年50俵) 高井郡中野村名主傳右衛門、組頭彦兵衛、同林右衛門、百 姓代市右衛門→河尻甚五郎様御役所		堅紙・1通	A-166
覚(七蔵へ田畑20石余分地につき届) 幸之助→名主林右 衛門殿	申2月	堅継紙・1通	A-199
旅宿江戸神田河井新石町甲府屋太七雑用名細請取書 (代金受取綴)		綴り・1綴	A-223
(北信濃道程略図)		堅紙・1枚	A-229
村規定取極一札之事(触遵守・質素儉約など) 下書		堅継紙・1通	A-246
一札之事(此度代官所預所組込のため、諸御用向并年 貢上納金の儀に付、お頼みのこと) 佐久郡前合村名 主又左衛門(印)、同郡香坂村七郎右衛門(印)、同郡内山村 名主又左衛門(印)、同郡同村名主次郎左衛門(印)、同郡清 川村名主喜兵衛(印)、同郡上中込村庄屋権右衛門(印)→中 野村郡中代衆中 虫損あり	安永7年戌正月	堅継紙・1通	B-6
乍恐書付ヲ以奉願上候(江戸勧進相撲執行に付、郡内 取締など不調法のこと御高免願) 水内郡小沼村名主清 兵衛、組頭彦右衛門、百姓代佐左衛門、百姓平兵衛、同久 左衛門、同藤助、同茂吉、同作左衛門、政右衛門、幸右衛 門、次郎右衛門、五郎右衛門、幸三郎、新蔵、権左衛門、 為次郎、林右衛門、彦兵衛、源助→竹内平右衛門様中野御 役所	辰9月2日	堅継紙・1通	B-10
(来る正月四日代官目通りのこと廻状) 名主権之丞(印) →法運寺、常楽寺、如法寺、鈴泉寺、連光寺 端裏書「廻 状」	卯2月29日	堅継紙・1通	B-15
(高井・水内郡村々百姓貯穀の儀に付) 高井・水内郡	酉10月	堅切紙・1通	B-18

村々役人→中野御役所			
乍恐以書付奉願上候(店賃金滞りに付、野坂田村百姓へ店明渡仰せ渡しのこと願) 高井郡中野村願人元右衛門→臼井吉之丞様御役所	安永7年戌2月	縦紙・1通	B-49
覚(一當酉年宗門人別帳3冊他諸帳面預かり証文のこと) 下木嶋村東組名主弥五郎(印)、西組名主七郎右衛門(印)→中野村名主林右衛門殿、郡中代源太左衛門殿	酉3月26日	縦紙・1通	B-86
済口証文之事(上木嶋村百姓訴訟に付、自今惣百姓中相対の上夫銭割合のこと) 上木嶋村名主惣右衛門(印)→中野町彦右衛門殿	戌4月9日	切紙・1通	B-99
差上申済口証文之事(貸金返済滞出入に付、和談内済のこと) 牟礼村浅右衛門(印)、野尻村伝右衛門(印)、同村市右衛門(印)、牟礼村平三郎(印)→中野村名主林右衛門殿、郷宿弥五右衛門殿 上野四郎三郎役所宛済口証文写あり	子11月	縦紙・1通	B-102
乍恐以返答書奉願上候(高井郡中野村・真田伊豆守領分埴科郡松代野川船会所貸付金引当の地所質地出入に付、委細の始末口上) 大原四郎右衛門御代官所信州高井郡中野村組頭彦兵衛煩二付、代兼組頭彦之丞→御評定所 控、「外ニ右御懸り寺社御奉行所様江一通差上ル」書込あり	文政11年子6月	縦紙・1通	B-157
(水内郡神代宿一件につき)		堅切紙・1通	C-328
覚(初御払につき) 中條次右衛門(印)→	午10月	堅切紙・1通	C-335
覚(金請取証文につき) →中野林右衛門殿	寅12月22日	堅切紙・1通	C-337
口上書之御事(新保村藤兵衛御訴訟申上候につき) 小沼村小兵衛(印)→御役所様	亥12月	堅切紙・1通	C-355
(酒狂之上脇差を以手疵候につき)		堅切紙・1通	C-372
(代官通行につき出来人足書上) 水内郡大倉崎村名主林蔵→	酉11月	堅切紙・1通	C-374
覚(御年貢江戸江差立候につき)	酉正月	堅切紙・1通	C-378
古御林帳写	寅3月	縦紙・1通	C-382
御代官様御止宿覚	寅9月19日	横長・1冊	C-394
当亥役永取立帳 中野村名主重郎次→	安永8年12月	縦長・1冊	C-408
差上申拝見証文之事(文政八年の年貢割付状・皆済目録拝見に付) 高井郡新保村名主幸左衛門・同断惣左衛門・組頭弥五兵衛・百姓代宇右衛門・千代左衛門ほか116名→大原四郎右衛門様中野御役所	文政9年戌4月	横半・1冊	1160
乍恐以書付御届奉申上候(中野村重右衛門帰村に付) 中野村名主権之丞→中野御役所	天保10年亥6月	堅切紙・1通	1173
乍恐以書付奉願上候(調書落丁のため、不相当の金子支払いに付、訂正願) 高井郡中野村百姓直助(印)・同郡松川村親族安右衛門(印)→森八左衛門様中野御役所 中野村名主権之丞の奥書・奥印あり。	弘化2年巳	堅切紙・1通	1194

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
送り状			
送り証文之事(名跡ニ指越) 高井郡大嶋村名主伴藏→中野村御名主中様	安永9年子3月	縦紙・1通	A-56-1
送り証文之事(跡目江引越) 水内郡替佐内谿村組頭市右衛門→中野村名主彦之丞様 56-2~10はこよりで一綴り	享保17年子10月日	縦紙・1通	A-56-2
送り証文之事(引越) 佐野村名主七郎左衛門→中野村名主彦之丞殿	享保18年丑2月	縦紙・1通	A-56-3
覚(跡目江引越) 替佐村庄屋兵右衛門→中野村名主彦之丞殿	子10月	縦紙・1通	A-56-4
覚(引越) 替佐村庄屋兵右衛門→中野村名主彦之丞殿	丑3月	縦紙・1通	A-56-5
送り証文之事(引越) 高井郡草間村名主源左衛門→高井郡中野村御名主重郎次殿	安永7年戌2月	縦紙・1通	A-56-6
覚(引越) 水内郡替佐村庄屋兵右衛門→高井郡中野町御名主中	安永7年戌2月	縦紙・1通	A-56-7
送証文之事(養子) 瀬原田村名主善重郎→中野村御名主重郎次殿	安永8年亥2月	縦紙・1通	A-56-8
送状之事(引越) 井上村名主仮役甚右衛門→高井郡中野村御名主中	安永8年亥2月	縦紙・1通	A-56-9
送一札之事(婿養子) 小沼村松城領名主傳八→中野町御名主十郎治殿 上半部欠	天明2寅ノ3月	縦紙・1通	A-56-10
送一札(女房縁付) 高井郡越村名主五右衛門→中野御名主衆中 54-1-1~27は綴紐で一括	文政2年卯3月日	縦紙・1通	A-54-1-1
送り状之事(引越) 善光寺新町庄屋平十郎→中野名主広右衛門	文政2己卯年12月	縦紙・1通	A-54-1-2
送り状之事(養子) 松代紙屋町名主戸作→中野西町御役人衆中	文政3年辰2月	縦紙・1通	A-54-1-3
村送一札之事(婿縁付) 笠倉村庄屋斧右衛門→中野町名主広右衛門様	文政4年巳2月	縦紙・1通	A-54-1-4
村送一札之事(女房縁付) 水内郡北永江村庄屋長三郎→高井郡中野町御名主中	文政3年辰2月	縦紙・1通	A-54-1-5
村送一札之事(養子) 高井郡西江部村名主五左衛門→中野村御名主広右衛門	文政3辰3月	縦紙・1通	A-54-1-6
送一札之事(婿名跡) 水内郡蟹沢村庄や喜惣治→高井郡中野村御名主中	文政4巳年2月	縦紙・1通	A-54-1-7
送一札之事(座頭婿養子) 中山田村名主源左衛門→中野町御名主中	文政5午年3月	縦紙・1通	A-54-1-8
村送一札(親類方へ引越) 水内郡替佐村庄屋六右衛門→高井郡中野村名主広右衛門殿	文政5午3月	縦紙・1通	A-54-1-9
送一札之事(名跡相続) 水内郡替佐村庄屋六右衛門→高井郡中野町御名主中	文政6未2月	縦紙・1通	A-54-1-10
送一札之事(家内五人引越渡世) 同郡井上村名主勘左衛門→同郡中野村御名主広右衛門殿	文政6未年3月	縦紙・1通	A-54-1-11
送一札之事(名跡相続) 高井郡竹原村上組名主茂右衛門→中野村御名主衆中様	文政6未2月6日	縦紙・1通	A-54-1-12

送り一札之事(女房縁付) (夜間瀬村)前坂組名主八右衛門→中野村名主広右衛門様	文政6癸未年2月日	縦紙・1通	A-54-1-13
村送り一札(女房縁付) 水内郡穴田村庄屋円蔵→高井郡中野西町名主広右衛門殿	文政6未2月日	縦紙・1通	A-54-1-14
送り一札之事(引越) 水内郡飯山新町庄屋平八→高井郡中野村名主広右衛門殿	文政8酉2月	縦紙・1通	A-54-1-15
送り一札之事(縁付) 高井郡小沼村名主彦右衛門→中野町御名主広右衛門殿	文政9戌年3月	縦紙・1通	A-54-1-16
村送証文之事(其村百姓に成度) 高井郡安源寺村名主要左衛門→同郡中野村御名主広右衛門殿	文政9年戌4月	縦紙・1通	A-54-1-17
送り証文之事(養子縁付) 水内郡静間村庄屋治郎右衛門→高井郡中野町名主広右衛門	文政10年亥2月	縦紙・1通	A-54-1-18
送り一札之事(名跡相続) 水内郡飯山領分戸狩村庄屋治郎衛門→高井郡中野町名主広右衛門殿	文政10年亥3月日	縦紙・1通	A-54-1-19
送り一札之事(婿養子) 越後国頸城郡高田出雲町名主西沢助作→信州高井郡中野村庄屋衆中	文政10亥年2月	縦紙・1通	A-54-1-20
送り状之事(養子) 善光寺西町庄屋彦右衛門→中野西町名主広右衛門殿	文政10丁亥年3月	縦紙・1通	A-54-1-21
村送一札之事(女房縁付) 町川田村名主儀右衛門→中野町御役人衆中様	文政10亥年10月	縦紙・1通	A-54-1-22
送り一札之事(婿養子) 松代御領吉田村名主嘉兵衛→中野御支配所新田町御役人衆中	文政11子年2月	縦紙・1通	A-54-1-23
村送り一札之事(婿名跡) 水内郡替佐村庄屋太右衛門→高井郡中野村名主広右衛門殿	文政12丑年	縦紙・1通	A-54-1-24
村送り一札之事(新田町屋敷譲り受け家作につき) 茂右衛門新田庄や利左衛門→中野御名主広右衛門様	文政12丑2月日	縦紙・1通	A-54-1-25
村送り一札之事(引越) 水内郡蓮村庄屋平吉→高井郡中野村名主広右衛門殿	文政13年寅2月	縦紙・1通	A-54-1-26
送り章之事(婿養子) 真田伊豆守領分高井郡佐野村名主吉右衛門→井上五郎左衛門様御代官所同郡中野村御名主衆中	文政13寅年正月	縦紙・1通	A-54-1-27
送り一札之事(借宅) 同御支配□村名主銀蔵→中野村御役主中	文政5年午7月	縦紙・1通	A-54-2
一札之事(其村方へ罷越) 小田中村重右衛門→中野村御名主広右衛門様	文政5年午3月	縦紙・1通	A-54-3
送り一札之事(引越) 水内郡飯山新町庄屋平八→高井郡中野村名主広右衛門殿	文政8年酉2月	縦紙・1通	A-54-4
送り一札之事(引越) 高井郡松川村名主和吉→同郡中野御名主広右衛門殿	文政10年亥2月	縦紙・1通	A-54-5
村送り一札之事(引越) 須ヶ川村名主利七→中野村御名主広右衛門様	文政13年寅3月	縦紙・1通	A-54-6
村送一札之事(女房縁付) 高井郡大俣村名主惣七→同郡中野村御名主様	文政10年亥3月	縦紙・1通	A-54-7
村送り証文之事(後家名跡) 水内郡法寺村庄屋伊右衛門→高井郡中野町名主広右衛門殿	文政4年巳4月	縦紙・1通	A-54-8
村送り一札之事(女房縁付) 水内郡蓮村庄屋平吉→高井郡中野村御名主中	文政9年戌正月	縦紙・1通	A-54-9

渡辺家/中野村名主/送り状

村送一札之事(離縁差戻し) 水内郡飯山新町庄屋平八→高井郡中野村名主広右衛門殿	文政6末年正月	縦紙・1通	A-54-10
送一札之事(引越) 寒沢村名主庄助→中野村御名主中	文政11年子3月	縦紙・1通	A-54-11
一札之事(半兵衛名跡へ夫婦諸共に縁付) 水内郡小境新田庄屋長右衛門→中野村西町広右衛門殿	文政2年卯2月	縦紙・1通	A-54-12
差出申一札之事(尻付良七のみな跡相続につき) 中町九郎左衛門、良七→御役人中様	文政2年卯閏4月	縦紙・1通	A-181
差出申一札之事(もと宅での不埒一件内々聞済願) 新田町徳松店もと、家主徳松、ほか組合惣代3名→町御役人中	文政2卯年閏4月27日	縦紙・1通	A-69
村送一札之事(女房縁付) 真田信濃守御預所信州高井郡桜沢村名主藤牧□藤太→小林藤之助様御支配所同郡中野村御名主衆中	天保9戌年3月	縦紙・1通	A-55-1
送一札之事(取極につき) 更科村月宮院→中野蓮光寺	文化9申3月	縦紙・1通	A-55-2
村送り一札之事(稼のため引越) 水内郡蓮村庄屋平吉→高井郡中野町御名主広右衛門殿	天保3年辰2月	縦紙・1通	A-55-3
村送り一札之事(清右衛門店借宅) 夜間瀬村名主彦太夫→中野村御役人中様	天保8年酉4月日	縦紙・1通	A-55-4
送証文之事(渡世のため新町上野殿店に借宅) 高井郡間山村店借主新五右衛門、ほか3名→中野村御名主広右衛門殿	天保8年酉4月	縦紙・1通	A-55-5
送一札之事(借店) 水内郡野部(尻カ)村名主重三郎、借店入仙松→中野村広右衛門殿	天保8年酉5月	縦紙・1通	A-55-6
村送り之事(渡世のため) 高井郡間山村名主重郎右衛門→同郡中野村御名主広右衛門殿	天保2卯年3月	縦紙・1通	A-55-7
一札之事(稼ぎのため借宅) 松川村名主平作→中野御名主権之丞殿 55-8~11は畳み込み	天保12丑年2月	縦紙・1通	A-55-8
村送一札之事(養女) 東江部村名主理右衛門→中野村御名主中	天保12丑年7月	縦紙・1通	A-55-9
送一札之事(女房縁付) 水内郡飯山肴町名主孫左衛門→高井郡中野西町庄屋権之丞殿	天保12年丑2月	縦紙・1通	A-55-10
村送一札之事(借地) 小田中村上組名主文兵衛→中野御名主衆中 端裏書「不用也」	天保12丑年2月日	縦紙・1通	A-55-11
送一札之事(婿養子) 堀内蔵頭領分綿内村岩崎組庄屋佐戸八→森親之助様中野御陣屋下御役人衆中	天保15辰年12月	縦紙・1通	A-55-12
村送り一札之事(女房縁付) 上条村名主徳兵衛→中野村御名主衆中	天保15辰3月	縦紙・1通	A-55-13
村送り一札之事(夫婦で弥八名跡に縁付) 高井郡壁田村名主庄兵衛→中野村御名主権之丞殿	天保15辰年正月29日	縦紙・1通	A-55-14
村送り一札之事 蓮村名主七左衛門→中野村名主権之丞殿	天保11年子2月	縦紙・1通	A-55-15
村送一札之事(元七名跡) 高井郡若宮村名主駒吉→中野村御名主中	天保15辰年3月	縦紙・1通	A-55-16
送一札之事(引越) 須坂町名主小田切菊右衛門→中野町御名主渡辺権之丞殿	天保10亥年11月	縦紙・1通	A-55-17
送り状之事(為名跡引越) 権堂村名主善左衛門→中野御名主広右衛門殿 18~33はこよりで綴り	天保2卯年3月	縦紙・1通	A-55-18

覚(婿名跡縁付) 壁田村名主庄左衛門→中野村御名主中	天保2卯年2月	竪紙・1通	A-55-19
村送一札之事(其元ニ而御貫請) 袖之山村名主与右衛門 →中野御名主広右衛門様	天保2卯年3月	竪紙・1通	A-55-20
村送一札之事(女房縁付) 高井郡西江部村名主只右衛門 →中野村御名主広右衛門殿	天保3辰年2月	竪紙・1通	A-55-21
村送一札之事(娘を名主広右衛門殿方江娘分ニ差遣し) 小田中村名主代組頭清左衛門→中野村御名主衆中	天保3辰年2月	竪紙・1通	A-55-22
送状一札之事(引越) 善光寺町桜小路庄屋代忠兵衛→中野 町名主広右衛門殿	天保4巳年正月	竪紙・1通	A-55-23
送り一札之事(女房縁付) 高井郡間山村名主重郎右衛門 →同郡中野村御名主広右衛門殿	天保4巳年3月	竪紙・1通	A-55-24
送り一札之事(女房縁付) 飯山愛宕町名主甚兵衛→中野 新町御役人中	天保5年午2月	竪紙・1通	A-55-25
送り一札之事(夫婦ともに縁付) 高田領名立谷折居村庄 屋勘吉→信州中野西町御役人中	天保5午年10月	竪紙・1通	A-55-26
人別送り書之事(引越) 善光寺立町庄屋水嶋広右衛門→ 中野村御名主広右衛門殿	天保5午年2月	竪紙・1通	A-55-27
村送一札之事(引越) 立ヶ花村名主良八→中野村名主 広右衛門殿	天保7申年8月	竪紙・1通	A-55-28
村送一札之事(娘縁女に罷越) 須坂領小嶋村名主休太 夫→中野町御名主広右衛門殿	天保7申年2月	竪紙・1通	A-55-29
村送一札之事(借家にて渡世) 高井郡夜間瀬村之内須ヶ 川組名主六弥→同郡中野村御名主中	天保8酉ノ5月	竪紙・1通	A-55-30
村送一札之事(借家江引越) 水内郡布野村又右衛門、 名主惣左衛門→高井郡中野中町要右衛門殿	天保8年酉3月	竪紙・1通	A-55-31
村送一札之事(男縁付) 水内郡戸隠新田名主佐七→中 野御名主広右衛門殿	天保8年酉3月	竪紙・1通	A-55-32
村送一札之事(借家にて大工渡世) 高井郡間山村名主作 出二付組頭代兼又右衛門→中野村御名主中	天保8酉年3月	竪紙・1通	A-55-33
村送一札之事(養子縁付) 湯田中村名主六右衛門→中野 村御役人中	天保9戌年3月	竪紙・1通	A-55-34
村送一札(井加屋へ厄介) 水内郡茂右衛門新田庄屋名 左衛門→高井郡中野村御名主中	天保10亥年11月	竪紙・1通	A-55-35
村送一札之事(女房縁付) 水内郡赤塩村庄屋四郎右衛 門→高井郡中野村御役人衆中	天保10亥年2月	竪紙・1通	A-55-36
送り一札之事(借家) 新保村名主与兵衛→中野村御役人中 様 宛所部分の紙継に異常あり	天保12年丑2月	竪紙・1通	A-55-37
送り一札(跡式養子) 飯山新町組頭吉五郎→中野西町庄屋 権之丞殿	天保11年子2月	竪紙・1通	A-55-38
差出シ申候一札之事(借家) 壁田村名主庄兵衛→中野村 御名主権之丞殿 端裏に縦の線と「不用」の文字あり	天保12年丑3月	竪紙・1通	A-55-39
差出一札之事(借家) 夜間瀬村之内須ヶ川組名主要蔵→中 野村御名主中 端裏に「不用」	天保12丑年2月21日	竪紙・1通	A-55-40
差出申一札之事(西条村で年季奉公中の上条村百姓娘 と中野村百姓方厄介の中嶋村百姓娘の諍いにつき) 水内郡中嶋村七郎次娘当人すま、中野村引請人予七→中 野村・西条村・上条村御村役人衆中	天保12丑年3月	竪紙・1通	A-55-41

渡辺家/中野村名主/送り状

村送一札(名跡罷越) 堀出雲守領分高井郡六川村名主善六郎→北條雄之助様御代官所同郡中野村御名主権之丞殿	天保12辛丑年正月	縦紙・1通	A-55-42
村送一札之事(女房縁付) 高井郡大俣村名主惣七→中野村御名主中様	天保13寅年2月	縦紙・1通	A-55-43
送一札之事(女房縁付) 水内郡飯山肴町名主孫右衛門→高井郡中野西町庄屋権之丞殿	天保13年寅2月	縦紙・1通	A-55-44
村送り一札之事(縁女) 飯山領蟹沢村庄屋与四郎→高井郡中野村名主権之丞殿	天保13年寅3月	縦紙・1通	A-55-45
村送り一札(八十吉家内江御加被下度) 替佐村庄屋宇右衛門→中野町名主権之丞殿	天保14卯3月	縦紙・1通	A-55-46
送り一札(子連のきそが女房縁付) 高井郡竹原村名主紺右衛門→中野村名主権之丞殿	天保14卯年正月	縦紙・1通	A-55-47
一札之事(女房縁付) 右(安源寺村名主)要左衛門→中野御名主中	天保14卯年2月	縦紙・1通	A-55-48
村送り(名跡ニ差遣) 水内郡蓮村庄や五郎吉→中野村庄屋広右衛門殿	天保7年申2月	縦紙・1通	A-55-49
差上申村送一札之事(中野住居) 高井郡岩井村名主武七→中野村御名主中、御役人中	天保8酉3月	縦紙・1通	A-55-50
村送り一札之事(女房とも勘右衛門方へ罷越渡世) 高井郡間山村名主重郎右衛門→中野村御名主広右衛門殿	天保2年卯3月	縦紙・1通	A-55-51
村送一札之事(引越) 高井郡更科村名主伊右衛門→同郡中野村御名主広右衛門殿	天保5年午3月	縦紙・1通	A-55-52
送一札之事(引越) 奥山田村名主考之助→中野村御名主中	天保8酉年3月	縦紙・1通	A-55-53
村送り(静間村蓮行寺旦那女) 水内郡蓮村庄や五郎左衛門→高井郡安源寺村庄屋要左衛門殿	天保6未年3月	縦紙・1通	A-122-1
村送一札之事(杓野村温泉寺旦那しか) 戸狩村名主三郎兵衛→栗和田村御役人中	弘化3年午正月	縦紙・1通	A-122-2
村送り返札之事 松代領更級郡志川村名主作左衛門→御代官森八郎左衛門様御支配所高井郡中野村御名主権之丞殿	天保15辰年12月	縦紙・1通	A-132-1
送り書請取之事(下書)	天保7申年2月	縦紙・1通	A-132-2
寺送一札之事(高井郡中野村かめ儀今般中野村廣右衛門方縁付に付、改寺のこと) 赤岩村正源寺(印)→中野村常末寺 3-1~2旧封筒一括	天保9年戌3月	堅切紙・1通	B-3-1
送り一札(桜沢村五兵衛妹ふよ今般中野村新藏方縁付に付、改寺のこと) 小見村西證寺→中野法恩寺	天保9年戌3月	堅切紙・1通	B-3-2
借屋一札之事 蓮村名主七右衛門→中野村名主権之丞殿	天保11年子2月	縦紙・1通	A-135-1
差出申一札之事(借屋送状) 本多豊後守様御城下神明町組頭源七→高井郡中野村名主権之丞殿	天保12年丑3月	縦紙・1通	A-135-2
差出申一札之事(借屋送状) 水内郡荒瀬原村庄屋喜代八→高井郡松川村御名主衆中	天保13年3月日	縦紙・1通	A-135-3
借屋送り一札 高井郡小田中村名主林右衛門→同郡中野御名主中	天保12丑年9月21日	縦紙・1通	A-135-4
借屋送り一札之事 飯山本町名主浦野要左衛門→御名主衆中	天保14年卯12月	縦紙・1通	A-135-5
借屋送り一札之事 飯山領替佐村庄屋宇右衛門→中野町名主権之丞殿	弘化3年8月	縦紙・1通	A-135-6

借屋送り一札之事 高井郡深沢村名主又右衛門→中野村御名主衆中	弘化3年2月	竖紙・1通	A-135-7
差出申一札之事(田麦村百姓の借屋送状) 右村名主幸右衛門→中野権之丞殿	弘化4年未2月	竖紙・1通	A-135-8
借家送り一札之事 高井郡平林村名主佐左衛門→同郡中野村名主権之丞殿	弘化4年未2月 日	竖紙・1通	A-135-9
借家送り一札之事 高井郡坪山村名主源左衛門→同郡中野村御名主権之丞殿	弘化4年未3月	竖紙・1通	A-135-10
村送一札之事(名跡相続) 飯山領大倉村庄屋藤十郎→中野御支配所中野町名主権之丞殿 53-1-1~18は綴紐で一括	弘化2年巳2月	竖紙・1通	A-53-1-1
村送り一札之事(婿養子) 須坂領分小山村名主孫一→中野御支配所中野村御役人衆中	弘化2丙午年2月	竖紙・1通	A-53-1-2
縁女送書之事(女房縁付) 堀富丸領分高井郡綿内村名主堀内半右衛門→森親之助様御支配所中野御陣屋下御名主渡辺権之丞殿	弘化2巳年3月	竖紙・1通	A-53-1-3
村送一札之事(名跡相続) 高井郡稻荷村名主名右衛門→同郡中野村御役人衆中様	弘化2年2月	竖紙・1通	A-53-1-4
村送り一札之事(養子縁付) 高井郡金井村名主嘉左衛門→同郡中野御役人衆中	弘化2年巳2月 日	竖紙・1通	A-53-1-5
村送り一札之事(女房縁付) 蓮村庄屋与兵衛→中野村庄屋権之丞殿	弘化2年巳2月	竖紙・1通	A-53-1-6
送り一札(引越) 鉄砲町名主新兵衛→中野西町名主権之丞殿	弘化2巳年2月	竖紙・1通	A-53-1-7
送り一札(女房縁付) 飯山町庄屋嶋津金四郎→高井郡中野村御役人中	弘化2年巳2月	竖紙・1通	A-53-1-8
村送り一札之事(女房縁付) 高井郡新井村名主七右衛門→同郡中野町御名主権之丞殿	弘化3午年3月	竖紙・1通	A-53-1-9
村送一札之事(屋敷買求引越) 高井郡深沢村名主五右衛門→中野村御名主中	弘化3年午2月	竖紙・1通	A-53-1-10
村送一札之事(養子引越) 真田信濃守様御領分佐野村名主新助→中野御支配所中野村御名主中	弘化3午年2月	竖紙・1通	A-53-1-11
送一札之事(養女不縁立戻) 湯田中村名主善左衛門→中野村御役人中	弘化3午年8月	竖紙・1通	A-53-1-12
村送一札之事(親孝道のため立戻) 松代領更級郡志川村名主重助→中野御支配所中野村御役人衆中 返書の名前書方指示の貼紙あり	弘化3午年2月	竖紙・1通	A-53-1-13
村送一札之事(女房縁付) 真田信濃守領分信州高井郡沓野村名主市兵衛→御料所同国同郡中野村御役人中	弘化3午年2月	竖紙・1通	A-53-1-14
人別送状之事(店借人の引越) 善光寺領横沢町庄屋安之助→中野名主権之丞殿	弘化3午年4月	竖紙・1通	A-53-1-15
送一札之事(其村に借宅・稼) 静間村庄屋市郎右衛門→中野中町村庄屋中	嘉永2年酉4月	竖紙・1通	A-53-1-16
村送一札之事(名跡相続) 高遠村名主又左衛門→中野村名主権之丞殿	嘉永2年酉6月	竖紙・1通	A-53-1-17
村送一札之事(下書) 高井郡平沢村名主誰印→同郡中野村御役人衆中 全面に墨消あり	嘉永2酉年2月	竖紙・1通	A-53-1-18
送り一札之事(婿名跡) 高井郡新野村名主孫左衛門→中	弘化3午年2月	竖紙・1通	A-53-2



渡辺家/中野村名主/送り状

野村御名主権之丞殿 上部欠損			
送り一札之事(女房縁付) 松代御領分大熊村名主富右衛門 →中野村御名主中	弘化3年2月	縦紙・1通	A-53-3
村送一札之事(婿養子) 真田信濃守様御領分水内郡北□□ 村庄屋重右衛門→中野御名主権之丞殿	弘化2年巳3月	縦紙・1通	A-53-4

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
家・米屋			
材木手金請取証文之事 沓野村請取主三郎兵衛、洪湯受人三右衛門、沓野受人武助→中野町彦右衛門殿	正徳4年午之12月	縦紙・1通	A-245
長代売渡し申畑之事(高1斗3升5合) 沓野村地主次郎右衛門、同所請人清次郎、同断武助→中野彦右衛門殿	享保6年丑之11月	縦紙・1通	A-213-1
長代売渡し申畑之事(高1斗2升) 沓野村地主半助、同所請人武助、志ふゆ(洪湯)請人三右衛門→中野彦右衛門殿	享保6年丑之11月	縦紙・1通	A-213-2
長代売渡し申畑之事(高3斗) 沓野村田地売主与兵衛、相地請人半助、沓野肝煎請人武助、しふゆ受人三右衛門→中野町彦右衛門殿	享保6年丑之11月28日	縦紙・1通	A-213-3
長代売渡し申畑之事(高2斗5升) 沓野村地主傳次郎、同断三右衛門、同所請人武助→中野彦右衛門殿	享保6年丑之11月	縦紙・1通	A-213-4
長代売渡し申畑之事(高1斗) 沓野村地主惣八、同所請人武助、しふゆ同断三右衛門→中野彦右衛門殿	享保6年丑之11月	縦紙・1通	A-213-5
相渡し申家屋敷手形之事(金11両余で家屋敷売却) 沓野村屋敷主三郎兵衛、同断彦兵衛、請人三右衛門、ほか村役人5名→中野村米屋彦右衛門殿	享保6年丑之12月	縦紙・1通	A-141
棚借り証文之事(家屋敷借置に付、小形金1両2分八ヶ年のこと) 沓野村借や主三郎兵衛(印)、同断彦兵衛(印)、同所請人武助(印)、同断素中村三右衛門(印)→中野村米屋彦右衛門殿 36-1~23旧封筒一括	享保6年丑12月	堅切紙・1通	B-36-1
借屋証文之事(店代として一ヶ年金1分宛のこと) 沓野村借屋権右衛門(印)、請人名主武右衛門(印)、脇借請人伊之吉→ 端裏書「権右衛門借屋手形」	延享2年丑8月	堅切紙・1通	B-36-2
借屋証文之事(店賃一ヶ年金1両永237文のこと) 店借主八右衛門(印)、願人六右衛門(印)→渡辺彦之丞殿	元文3年午2月	縦継紙・1通	B-36-3
借屋証文之事(店代金一ヶ年金4両のこと) 新田町借家人勝右衛門(印)、請人与四郎(印)、同南法院(印)→西町米屋重郎殿 端裏書「右者彦之丞代十郎二時代書付色々入但し此書付金たんす二入有之文政年中改見合ニ入用も可有之以上」	安永10年巳2月	縦継紙・1通	B-36-4
借屋証文之事(店代金一ヶ年金4両のこと) 借家人平七(印)、請人倉蔵(印)→米屋林右衛門殿	天明5年巳2月	堅切紙・1通	B-36-5
借屋証文之事(店代一ヶ年金2分宛のこと) 西条村借家人弥左衛門(印)、中野村請人平蔵(印)→中野西村米屋林右衛門殿	天明6年午2月	堅切紙・1通	B-36-6
借屋証文之事(店代一ヶ年金1分宛のこと) 借家人清八(印)、請人幸介(印)→米屋八十五郎殿	寛政12年申2月	堅切紙・1通	B-36-7
店証文之事(店代金一ヶ年1分小2朱のこと) 借家人厚見村三左衛門(印)、同村請人久左衛門(印)→中野町米屋林右衛門殿 端裏書「按摩按治」	文化6年巳2月	縦継紙・1通	B-36-8
借家証文之事(店代金一ヶ年1両宛のこと) 借家人仙助(印)、飯山町請人伝吉(印)→米屋権之丞殿 端裏書「仙助」	文化9年申正月	縦継紙・1通	B-36-9
借家証文之事(店代金一ヶ年3分のこと) 借家人幸蔵(印)、受人市左衛門(印)→米屋権之丞殿 端裏書「幸蔵」	文化9年申正月	縦継紙・1通	B-36-10
借家証文之事(店代金一ヶ年3分のこと) 借家人幸八(印)、請人吉右衛門(印)→米屋権之丞殿 端裏書「幸八」	文化9年申正月	縦継紙・1通	B-36-11

渡辺家/家・米屋

借家証文之事(店代金一ヶ年1両宛のこと) 借家人仙次郎(印)、請人新右衛門(印)→米屋権之丞殿 端裏書「仙次郎」	文化9年申	縦継紙・1通	B-36-12
借家証文之事(店代金一ヶ年3分のこと) 借家人安蔵(印)、新町受人新助(印)→米屋彦之丞殿 端裏書「安蔵」	文化14年丑2月	縦継紙・1通	B-36-13
借家証文之事(店代金一ヶ年3分のこと) 水内郡南永井村借家人吉左衛門(印)、同村受人角左衛門(印)→米屋彦之丞殿 端裏書「永井村吉左衛門」	文化15年寅4月	縦継紙・1通	B-36-14
借家証文之事(店代金一ヶ年1両2朱のこと) 飯山新町借家人繁松(印)、同町請人伊之丞(印)→中野米屋八十五郎殿	寛政10年午2月	縦切紙・1通	B-36-15
借家証文之事(店代金一ヶ年3分2朱のこと) 借家人折八(印)、請人平左衛門(印)→八十五郎殿	寛政11年未2月	縦切紙・1通	B-36-16
借家証文之事(店代金一ヶ年2分2朱のこと) 借家人新左衛門(印)、請人平五郎(印)→米屋八十五郎殿	寛政12年申2月	縦切紙・1通	B-36-17
借家証文之事(店代金一ヶ年3分のこと) 上野国吾妻郡赤羽村上野倅勇作(印)、高井郡金倉村請人儀右衛門(印)→米屋彦之丞殿	文政4年巳2月	縦継紙・1通	B-36-18
借家証文之事(店代金一ヶ年1両のこと) 上野国吾妻郡赤羽村上野(印)、高井郡松川村請人圓八(印)→米屋彦之丞殿	文政5年午閏正月15日	縦継紙・1通	B-36-19
借家証文之事(店代金一ヶ年1両のこと) 上野国吾妻郡赤羽村上野倅勇作(印)、松川村請人圓八(印)→西町米屋彦之丞殿	文政7年申2月	縦継紙・1通	B-36-20
借家証文之事(店代金一ヶ年1両2分のこと)			B-36-21
願借用之事(唐紙11本他借用のこと) 普代借用人長吉(印)、湯町請人要右衛門(印)→よね屋権之丞殿	文政12年丑11月	縦継紙・1通	B-36-21
借家証文之事(店代金一ヶ年1両1分のこと) 上木嶋大町新田百姓半左衛門倅借家人栄吉(印)、新町受人庄左衛門(印)→米屋林輔殿	天保5年午2月	縦継紙・1通	B-36-22
借家証文之事(店代金一ヶ年金1両1分のこと) 上小田中村百姓借家人由兵衛(印)、同村請人求左衛門(印)→米屋林輔殿	天保5年午2月	縦継紙・1通	B-36-23
借用申金子之事(2両、渡世仕入金) 借主金兵衛、請人万右衛門→中野西町権之丞様	天保2卯12月	縦継紙・1通	A-211-1
借用申金子之事(1両1分) 壁田村預り人九左衛門、受人忠左衛門→中野西町米屋彦之丞殿 年利2割の旨九左衛門奥書、差出の墨消あり	文化14丑年7月11日	縦継紙・1通	A-211-2
借用申金子之事(3両) 西町借用人長三郎、同請人瀬左衛門→米屋林右衛門殿 差出の墨消あり	寛政5年丑12月	縦紙・1通	A-211-3
借金証文之事(25両) 湯町借用人要右衛門→権之丞殿 印なし	文政13寅年3月	縦紙・1通	A-211-4
借用申金子之事(1両2分) 上町借主次兵衛→中野西町渡辺彦之丞殿 差出の墨消あり、端裏書「西町次兵衛此金借シ不申候」	享保11年午ノ12月29日	縦紙・1通	A-211-5
預り申金子之事(4両2分) 西町喜右衛門、五人組五郎右衛門、立合弥五右衛門→彦之丞殿 全面墨消あり、端裏書「上町喜右衛門より□出シ置候手形此金借シ不申候」	享保12年未ノ12月2日	縦紙・1通	A-211-6
預り申金子之事(3両2分) 更科村権左衛門→十郎次殿 年利1割半の旨権左衛門奥書あり、端裏書「帰り証文」	明和5年子12月	縦紙・1通	A-211-7

借用申金子之事(3分375文) □生村之内木津組庄屋久八 →中野町林右衛門殿 全面墨消あり	寛政4年子12月	縦紙・1通	A-211-8
借用申金子之事(2分400文、無宿差置過料銭ほか) 百姓利七→名主代林右衛門殿	天明2寅7月	縦紙・1通	A-211-9
借用金証文之事(3両) 新保村借主吉[ ]、同所受人惣 [ ]→中野権之丞殿 差出の切取あり	天保2年卯7月13日	縦紙・1通	A-211-10
預り申金子之事(1両) 西町玄意→十郎次殿 年利1割 7分の旨玄意奥書、全面墨消あり	宝暦6年子5月10日	縦紙・1通	A-211-11
預り申金子手形之事(□) 沓野村金預り主清次郎、同所 請人武助→中野村彦之丞殿 墨消あり	享保7年寅12月	縦紙・1通	A-211-12
預申金子之事(2分) 沓野村預り主傳助→中野村彦之丞殿	享保20年卯11月	縦紙・1通	A-211-13
預り申金子証文之事(小形金1両3分、□) 沓野村預 り主武助→中野米屋彦之丞殿	享保6年丑之12月6日	縦紙・1通	A-211-14
借用金証文之事(2両2分) 水内郡五荷村借主善右衛 門、中の湯町上州屋受人新之助→中野新町米屋権之丞殿	天保5午年5月27日	縦紙・1通	A-211-15
預り申金子之事(2分) くりわた預り主長兵衛、新田町 請人半四郎→彦之丞殿 差出の墨消あり、端裏書「くりわ た長兵衛返し手形」	享保20年卯12月29日	縦紙・1通	A-211-16
覚(2両3分) 沓野村武右衛門→米屋彦之丞殿	子ノ12月29日	縦紙・1通	A-211-17
借用申金子証文之事(120両、酒造仕入金、下書) → 権之丞殿 借入金返済方につき奥書あり	天保9戌年2月	縦紙・1通	A-211-18
借用申銭之事(976文) 牛出村十太夫→中野米屋彦之丞殿 「用立不申」という書付をはさみこみ	元文元年辰12月	縦紙・1通	A-211-19
覚(3両) 同所伊左衛門(信州中野現金屋)→西町米屋林右 衛門殿	寛政6年寅12月	縦紙・1通	A-211-20
覚(槌板木代2分受取) 須か川村さり主儀右衛門、同与 右衛門、請合新八→中野町彦之丞殿	享保9年辰ノ12月13日	縦紙・1通	A-170-1
覚(槌板木代2分受取) 須賀川藤左衛門→中野村彦之丞 殿	享保9年辰12月18日	縦紙・1通	A-170-2
指出申一札之事(借金出入りに付、済口証文のこと) 中野村願主治兵衛(印)、同与市(印)、若宮村五右衛門 (印)、同村名主宇右衛門(印)、組頭七郎兵衛(印)、中野村 利左衛門(印)→中野渡部彦之丞殿、鎮目武右衛門殿 破損 有り、端裏書「若宮村五右衛門当所次兵衛与市借金出入一 件」	享保12年未6月12日	堅切紙・1通	B-42-2
受取申金子之事(三右衛門江戸出府中に付、栗和田清 右衛門、理右衛門代理として金子受取に付) 栗和田 清右衛門(印)、同理右衛門(印)→米屋彦之丞殿	享保17年子3月	切紙・1通	B-304
覚(御用金12両余受取証文) 中野さく屋宗左衛門→米屋 彦之丞殿	享保17年子4月	縦紙・1通	A-217
覚(米代金1100両余受取手形) 中野村米売主彦之丞→滝 川小右衛門様、松平九郎右衛門様 差出人印に抹消あり、 「返り証文」	享保18年丑2月	縦継紙・1通	A-33
請取申金子之事(御買上米代金、控) 信州高井郡中野村 売主彦之丞、同所請人久兵衛→滝川小右衛門様、松平九郎 左衛門様、後藤庄左衛門様	享保18年丑3月	縦紙・1通	A-191
仕切小判六拾目割(金銀不残渡につき) 江戸堀留町小 嶋屋八郎兵衛(印)→渡部彦之丞殿、同重郎治殿 (屋号:	享保18年5月26日	堅切継紙・1通	B-309

四角に大)			
指出申一札之事(中野町家屋敷を売り渡し、新保村に居住して耕作する旨) 七右衛門、立会伊野右衛門、同次兵衛→中野町彦之丞殿	享保20年卯11月	堅紙・1通	A-126
一札之事(屋敷買請につき) 西町久兵衛、立会伊野右衛門→西町渡辺彦之丞殿	元文元年辰12月28日	堅紙・1通	A-138
指出申一札之事(小作料不納の詫び、取立延引願、小作継続願) 小布施村畑小作人新次郎、ほか8名→中野米屋十郎治殿	延享2年丑8月3日	堅継紙・1通	D-939
小作証文之事(取持之畑小作仕候につき) 沓野村小作人新治郎・他8名→中野米や 十郎治殿 端裏書「小作証文」	延享2年丑8月3日	堅切継紙・1通	1096
借家証文之事(酒蔵ほかにつき) 中野源助→中野米屋十郎次殿 下書カ	寛延4年8月2日	堅紙・1通	B-269-5
小作証文之事 小田中村小作人吉三郎、同村同断利八→中野米屋林右衛門殿	寛政4子2月	堅紙・1通	A-50-1
一札之事(当村地方貴殿へ売渡分の小作引受にあたり、年貢・諸入用の納め方など) 沓野村名主武右衛門、渋湯伊之吉→中野米や十郎治殿	延享2年丑8月	堅紙・1通	A-50-2
小作証文之事 新保村小作人惣兵衛、同村請人惣次郎→中野米屋林右衛門殿	寛政6年寅2月	堅紙・1通	A-50-3
小作証文之事 小田中村小作人久七、同村請人右衛門→中野米屋林右衛門殿	寛政4子年2月	堅紙・1通	A-50-4
小作証文之事 栗和田村清助、村請人勝右衛門→十郎次殿	明和4年亥2月	堅紙・1通	A-50-5
小作証文之事 西条村小作人三五郎、同村請人彦八→中野米屋十郎次殿	安永8亥2月	堅紙・1通	A-50-6
(木そひろい小まい改帳)	寛延元年辰8月	断簡・1通	C-384
預り申金子之事(御当所玄意老御出世金10両、玄意老へは貴殿より御口入) 預り主新野村源内(印)→十郎次殿 墨消、源内返り手形、小切紙「子八月元金拾兩取済返り証文」を挟込	宝暦2年申9月	堅紙・1通	D-822
相渡申一札之事(店賃として水車一組相渡) 中野売主源助印、請人甚吉印→十郎次殿 扣、「十郎次(印)」の奥書あり、端裏書「本書源助へ返す」	宝暦6年3月	堅紙・1通	B-261
一札之事(所持田地質入につき) 夜間瀬村仁兵衛、同村請人右頭八郎右衛門→利足・諸役上納方につき仁兵衛奥書	(宝暦6)子4月3日	堅紙・1通	A-144-2
小作証文之事 北永井村小作人武助、同村請人新八→中野米屋十郎次殿	安永7年戌12月	堅紙・1通	A-144-3
小作証文之事 西条村小作人孫八、同所請人次右衛門→十郎次殿 端裏書「西条村孫八返り」	宝暦9年卯2月	堅紙・1通	A-212
初子証文之事(2分借用、返済は初子附送勘定、年2割) 厚貝村惣左衛門→中野米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政11未年12月	堅紙・1通	A-48-1
借用申初子証文之事(金1両1分、返済は初子附送勘定、年2割) 壁田村借用人長左衛門、同村請人長右衛門→米屋林右衛門 抹消あり	寛政12申年7月	堅紙・1通	A-48-2
借用申初子証文之事(金1両、年2割) 大熊村借主和七、同处請人栄七→中野町米屋林右衛門殿 抹消あり	天明元年丑12月	堅紙・1通	A-48-3
初子証文之事(金2分、年2割) 厚貝村惣左衛門→米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政12申年7月	堅紙・1通	A-48-4

預り申金子之事(金6両、返済時2割利足) 柳沢村預主安左衛門→十郎治殿 抹消あり	宝暦11年巳3月	縦紙・1通	A-48-5
借用申粉子証文之事(金2分、年2割) 壁田村借用人長左衛門→中野町米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政10午年7月	縦紙・1通	A-48-6
借用申粉子証文之事(金1両、年2割) 壁田村預り主清次郎、同村請人□□右衛門→中野町米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政10午年7月	縦紙・1通	A-48-7
借用申粉子証文之事(金3分、年2割) 厚貝村借用人長右衛門、同村請人小右衛門→中野町米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政10午年7月	縦紙・1通	A-48-8
借用申粉子証文之事(金1両2分、年2割) 田麦村借用人文左衛門、同村請人磯右衛門→米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政10午年7月	縦紙・1通	A-48-9
粉子証文之事(金2分、年2割) 厚貝村借用人傳右衛門、同村請人小右衛門→中野米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政12甲年7月	縦紙・1通	A-48-10
粉子証文之事(金3分、年2割) 厚貝村忠右衛門→米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政12甲年7月	縦紙・1通	A-48-11
粉子証文之事(金2両、年2割) 厚貝村借用人久左衛門→こめ屋林右衛門殿	寛政7卯年12月	縦紙・1通	A-48-12
□粉子証文之事 壁田村清次郎→中野米屋林右衛門殿 抹消あり、上半分欠損	文政12申年7月	縦紙・1通	A-48-13
一札之事(金2両余、佐野村弥右衛門売買しまいの時は桶2本にて受け取るべき旨) 高井郡田麦村式請人四郎兵衛、請人喜惣八→中米屋喜七殿	寛政10午正月	縦紙・1通	A-48-14
粉子証文之事(金2分、年2割) 田麦村喜平、嘉左衛門→中野米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政12戌年7月	縦紙・1通	A-48-15
借用申金子之事(金3分、返済は真木附送勘定) 栗林村之内真木山借用人喜右衛門、厚貝村請人七之助→米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政8辰年12月	縦紙・1通	A-48-16
借用申金子之事(金1両、年2割) 厚貝村借用人金右衛門→米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政8辰年12月	縦紙・1通	A-48-17
粉子証文之事(金2両2分、年2割) 厚貝村借用人平五郎、同村請人小右衛門→中野米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政12年申正月	縦紙・1通	A-48-18
借用申粉子証文之事(金2分余、年2割) 厚貝村借用人惣左衛門、同村請人小右衛門→中野米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政10午年7月	縦紙・1通	A-48-19
借用申証文之事(金1両、年2割) 壁田村借用人忠右衛門、同所請人彦八→中野町米屋権之丞殿 抹消あり	文化12亥年8月	縦紙・1通	A-48-20
借用申粉子証文之事(金1両、年2割) 七瀬村平兵衛→十郎治殿 抹消あり	宝暦10年辰12月	縦紙・1通	A-48-21
借用申粉子証文之事(金2分、年2割) 壁田村借用人佐五七、同村請人安兵衛→中野米屋林右衛門殿 抹消あり	宝暦10午年7月	縦紙・1通	A-48-22
借用申金子之事(金2両、年2割) 大熊村借り主富重郎、請人勘六→十郎次殿 抹消あり	天明2寅ノ極月	縦紙・1通	A-48-23
借用申金子之事(金2分、年2割) 小田中村借用人要八、同村請人孫助→中野米屋十郎次殿 抹消あり	天明2寅5月4日	縦紙・1通	A-48-24
借用申金子之事(金3分2朱、年2割) 預り主大熊村太内、請人同村富十郎→米屋十郎次殿 抹消あり	天明元年丑12月	縦紙・1通	A-48-25

渡辺家/家・米屋

借用申金子之事(金2分、年2割) 壁田村借主伴右衛門、弥五左衛門→中野米屋彦之丞殿 抹消あり	文政2卯年7月11日	堅継紙・1通	A-48-26
借用申金子之事(金1両、年2割) 壁田村借用人清次郎→中野町米屋林右衛門殿 捺印部分切取	寛政6寅年7月11日	堅紙・1通	A-48-27
借用申金子之事(金3分2朱、年2割) 壁田村借用人佐次右衛門、同村請人惣吉→中野米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政8辰年7月9日	堅紙・1通	A-48-28
借用申金子之事(金2分、年2割) 厚貝村宗左衛門→中野町米屋林右衛門殿 捺印部分切取	享和2戌年7月	堅紙・1通	A-48-29
借用申金子之事(金1両2分、年2割) 壁田村借用人忠左衛門、同村請人九左衛門→中野町米屋林右衛門殿 捺印部分切取	享和2戌年7月	堅継紙・1通	A-48-30
借用申金子証文之事(金1両、年2割) 壁田村借用人清次郎、同村請人忠左衛門→中野西町米屋林右衛門殿 捺印部分切取	享和2戌年7月	堅紙・1通	A-48-31
借用申金子証文之事(金3両2分、年2割) 田麦村借用人喜平次、同村請人嘉左衛門→米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政11未年12月	堅紙・1通	A-48-32
借用申金子之事(金1両、年2割) 壁田村惣九郎→米屋林右衛門殿 捺印部分切取	寛政6年寅10月朔日	堅継紙・1通	A-48-33
借用申金子之事(金2両2分、年2割) 田麦村喜平次、同村請人嘉左衛門→中野米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政8年辰12月	堅紙・1通	A-48-34
借用申金子事(金3両2分、年2割) 田麦村預り主喜平次、同村請人嘉左衛門→中野米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政10午年12月	堅紙・1通	A-48-35
借用申金子之事(金3分2朱) 小田中村預り主忠七、同村請人要八→中野米屋十郎次殿 抹消あり	天明元丑10月	堅紙・1通	A-48-36
借用申金子之事(金3分、年2割) 田麦村徳兵衛、同村請人喜惣次→中野米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政10午年12月	堅紙・1通	A-48-37
借用申金子之事(金3分、年2割) 壁田村借用人金兵衛、同村請人忠左衛門→中野町米屋林右衛門殿 捺印部分切取	享和2戌年7月	堅継紙・1通	A-48-38
借用申金子事(金1両、年2割) 田麦村預り主半兵衛、同村請人十治郎→中野米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政10午年12月	堅紙・1通	A-48-39
借用申金子之事(金2両、年2割) 厚貝村借用人久右衛門、中野村請人三郎右衛門→中野米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政6年寅12月	堅紙・1通	A-48-40
借用申金子之事(金5両、年2割) 北大熊村預り主市右衛門→中野米屋十郎次殿 捺印部分切取	安永9年子正月	堅紙・1通	A-48-41
借用申金子之事(金3分、年2割) 壁田村預り人仁右衛門、受人六右衛門→中野町米屋彦之丞殿 抹消あり	文化14丑年7月13日	堅紙・1通	A-48-42
借用申金子之事(金3分、年2割) 壁田村借主傳右衛門、受人栄八→中野町米屋彦之丞殿 抹消あり	文政2卯年7月11日	堅紙・1通	A-48-43
借用申金子之事(金2分) 七瀬村善右衛門→中野米屋十郎次殿 抹消あり	天明2年寅ノ12月	堅紙・1通	A-48-44
借用申金子証文之事(金2両、年2割) 高井郡壁田村借用人主市兵衛、同村受人市郎右衛門→中野町米屋彦之丞殿 抹消あり	文化14丑年7月11日	堅継紙・1通	A-48-45
借用申金子之事(金1両2分、年2割) 壁田村借用人長右衛門、受人忠左衛門、同九左衛門→中野町米屋彦之丞殿 抹消あり	文化14丑年7月11日	堅継紙・1通	A-48-46

借用申金子之事(金1両、年2割) 田麦村借用人喜惣次 →中野米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政9巳年12月	縦紙・1通	A-48-47
粉子証文之事(金1両、年2割) 厚貝村借用人惣左衛門、同村請人久蔵→米屋林右衛門殿 抹消あり	寛政10午年12月	縦紙・1通	A-48-48
借用申金子之事(金2分、年2割) 田麦村借用人伴蔵、同村請人喜惣次→中野米屋林右衛門殿 捺印部分切取	寛政6年寅7月14日	縦紙・1通	A-48-49
借用申金子之事(金1両3分、年2割) 田麦村重兵衛→米屋林右衛門殿 捺印部分切取	寛政6年寅7月11日	縦紙・1通	A-48-50
借用申金子之事(上納金2両) 七瀬村伊左衛門(印)、請人平兵衛(印)→十郎次殿 墨消	宝暦11年巳3月	縦紙・1通	D-809
借用申金子之事(金2両無心、粉子にて返済のこと) 柳沢村両左衛門(印)→十郎次殿	宝暦11年巳8月	縦紙・1通	D-795
仕切(紬126疋、金97両渡) わた屋太郎兵衛→渡辺十郎次様、伊右衛門様	宝暦12年午9月14日	1通	A-3-1
仕切(紬50疋、金38両3分渡) 越後屋太郎兵衛→渡部伴右衛門様	宝暦12年午9月8日	1通	A-3-2
預り申金子之事(永代護摩領畑2枚調え代ほかのため5両) 中野金子預り主南法院(印)→重郎治殿 墨消	明和4年亥12月	縦紙・1通	D-828
一札之事(先年満水ニ而川欠ニ相成難立につき) 栗和田村清助(印)、勝右衛門(印)→十郎次殿 端裏書「くり和田清助」	明和4年亥2月	堅切縦紙・1通	B-293
小作証文之事(上条村にて質物に渡す畑、粉1俵納) 夜間瀬村小作人徳右衛門(印)、同村請人重治郎(印)→中野米屋十郎次殿 1通	明和9年辰2月	堅切紙	D-1102
差出申一札之事(家屋敷売渡の儀に付、訴訟のこと) 杓野村店借り主権右衛門(印)、同村請人名主武左衛門(印)、混湯請人伊之吉(印)→中野米屋十郎治殿 端裏書「杓野村権右衛門」	延享2年丑8月3日	縦紙・1通	B-32
借用金証文之事(書面之金子儘に借用申候処実証に付借用証文) 借主与吉(印)、受人喜兵衛(印)、名主市太郎(印)→当所定五郎殿 田畑及び持ち主を記載した切紙あり	安政4年巳極月	切紙・1通	B-319
相渡申家屋舗之事(金15両の質物) 質置主中町庄兵衛、親類同町金右衛門、請人松川村元右衛門、立会西町源次→西町米屋十郎次殿 写	安永6酉年3月	縦紙・1通	A-146
預り申金子之事(上納金4両2分) 南大熊村預り主三左衛門(印)、同村請人金右衛門→米屋十郎次殿 墨消、端裏書「三左衛門帰り証文」	安永6年酉極月	縦紙・1通	D-808
預り申金子之事(上納金1歩700文) 南大熊村預り主弥左衛門(印)、同村請人甚左衛門(印)→ 墨消、端裏書「弥左衛門帰」	安永6甲(ママ)12月	堅切紙・1通	D-818
借用申金子之事(金5両) 預り主・水内郡平瀬村名主富右衛門、ほか3名→中野村十郎治殿 林右衛門の奥書あり	安永7年戌11月	縦紙・1通	A-113
借用申金子之事(上納金3両) 北大熊村預り主市右衛門(印)→中野米屋十郎次 印墨消、端裏書「北市右衛門帰り証文」	安永7戌12月	縦紙・1通	D-824
借用申金子之事(上納金1両1分) 南大熊村預り主長右衛門(印)、同所請人富十郎(印)→中野米屋重郎次殿 墨消	天明元年丑12月	縦紙・1通	D-856
借用申金子之事(年貢金2分) 北大熊村預り主佐五右衛門(印)、同村請人市右衛門(印)→中野米屋十郎次殿 墨消、	天明2年寅2月	縦紙・1通	D-830



端裏書「佐五右衛門帰り証文」			
借用申金子之事(上納金2分) 小田中村預り主要八(印)、同村請人惣右衛門(印)→中野町米屋十郎次殿 墨消	天明2寅12月	縦紙・1通	D-840
借用申金子証文之事(無扨10両) いッミ屋借用人延蔵(印)、請人彦兵衛(印)→よね屋林右衛門殿 墨消、端裏書「延蔵帰り証文」	天明3年卯7月14日	縦継紙・1通	D-837
拝借仕証文之事(金50両) 中野村十郎次→加藤三次様 返済は江戸送の絞油為替金で	天明3年卯11月	縦紙・1通	A-119-1
奉拝借金之事(金30両) 信州高井郡中野村林右衛門→加藤三治様	天明3年卯12月	縦紙・1通	A-119-2
請状之事(蟹沢村ニツ石清八奉公) ニツ石村人主八右衛門、同請人小右衛門→よね屋林右衛門殿	文化5辰年2月2日	縦継紙・1通	A-52-1
奉公人請状之事(久八姉つぎ) 壁田村人主久八、同村請人武左衛門→中野米屋林右衛門殿	寛政7年卯2月	縦紙・1通	A-52-2
奉公人請状之事(ふき) 岩舟村人主久治郎、同村請人弥右衛門→中野西町米屋林右衛門殿 52-3-1~22は綴紐で一括(当館受入後の作業の可能性もあり)	寛政3年亥2月	縦紙・1通	A-52-3-1
奉公人請状之事 奉公人奥出山村重治郎、ほか2名→中野米屋林右衛門殿	寛政4子年2月	縦紙・1通	A-52-3-2
請状之事(当所ひさ奉公) 西町人主ミち、同請人勘左衛門→米屋林右衛門殿	寛政5年丑2月	縦紙・1通	A-52-3-3
奉公人御請状之事 山王嶋村奉公人久七、同村請人勇右衛門→中野西町林右衛門殿	寛政5丑年2月	縦紙・1通	A-52-3-4
奉公人請状之事(娘みめ) 佐野村人主九郎右衛門、同村請人政右衛門→米屋林右衛門殿 右端隅に切取あり	寛政6年寅2月	縦紙・1通	A-52-3-5
奉公人請状之事(倅佐野右衛門) 夜間瀬村之内横倉組人主彦七、同村請人文右衛門→米屋林右衛門殿	寛政7卯年3月	縦継紙・1通	A-52-3-6
奉公人請状之事(娘きく) 須ヶ川組人主曾右衛門、請人音右衛門→米屋林右衛門殿	寛政8年辰2月2日	縦紙・1通	A-52-3-7
奉公人請状之事(子さき) 水内郡蓮村人主惣右衛門、同村請人安之丞→中野米屋林右衛門殿	寛政9年巳2月	縦紙・1通	A-52-3-8
奉公人請状之事(娘りわ) 新町森右衛門→米屋林右衛門殿	寛政9巳年2月	縦紙・1通	A-52-3-9
奉公人請状之事(源蔵) 奥手山村人主兵蔵、請人七左衛門→米屋林右衛門殿	寛政9巳年2月	縦紙・1通	A-52-3-10
奉公人請状之事(娘なミ) 水内郡永井村人主太郎兵衛、同村請人伊右衛門→米屋林右衛門殿	寛政9巳4月	縦紙・1通	A-52-3-11
奉公人請状之事(平吉) 田麦村人主喜惣次、ほか2名→中野町米屋林右衛門殿	寛政10年辰2月	縦紙・1通	A-52-3-12
請状之事(妹いつ奉公) 水内郡替佐村人主林蔵、同村請人弥左衛門→中野米屋林右衛門殿	寛政10午年2月	縦紙・1通	A-52-3-13
奉公人請状之事(姉ミめ) 佐野村人主武七、中野請人次兵衛→中野米屋林右衛門殿	寛政11未年3月	縦紙・1通	A-52-3-14
差出シ申一札之事(妻が高田から同道した娘の奉公に際し加判一札) 田中村傳蔵倅富三郎、同加判人藤八→中野町林右衛門殿	享和2戌10月日	縦紙・1通	A-52-3-15
奉公人請状之事(子源蔵) 笠倉村人主五郎左衛門、同村請人源兵衛→米屋林右衛門殿	享和4子年2月	縦紙・1通	A-52-3-16

奉公人請状之事(勝右衛門女房ささ) 壁田村人主与右衛門、請人吉太郎→米屋林右衛門殿	文化3寅年2月	縦継紙・1通	A-52-3-17
奉公人請状之事(吉左衛門) 蓮村人主吉藏、同村請人藤左衛門→米屋林右衛門殿	文化3寅年2月	縦継紙・1通	A-52-3-18
奉公人請状之事(妹さの) 蓮村人主佐七、奥出山請人庄右衛門→中野町米屋林右衛門殿	文化3寅年2月	縦紙・1通	A-52-3-19
奉公人請状之事(娘さと) 今井村人主定七、同村請人庄作→中野町米屋林右衛門殿	文化3寅年2月	縦紙・1通	A-52-3-20
奉公人請状之事(娘ささ) 高井郡小田中村人主清八、同村請人清兵衛→中野西町米屋林右衛門殿	文化4卯年2月2日	縦継紙・1通	A-52-3-21
奉公人受状之事(駒吉母かつ) 高井郡東江部村人主平右衛門、受人伴藏→中野西町米屋権之丞殿	文化7午年2月15日	縦継紙・1通	A-52-3-22
借用申金子之事(計金3分) 壁田村要助(印)→中野町米屋林右衛門殿 墨消	寛政4年子5月	縦紙・1通	D-831
借用申金子之事(無扱1両) 厚貝村預り主金右衛門(印)、請人久左衛門(印)→米屋林右衛門殿 墨消、端裏書「〇戻り証文」	寛政4年子7月	縦紙・1通	D-812
借用申金子之事(金3両) 田麦村預り主喜平[欠]、請人同村嘉左[ ]→米屋林右衛門殿 差出人印切取、端裏書「帰り証文」	寛政5年丑12月	縦紙・1通	D-859
借用申金子之事(年貢金2分) 七瀬村借用人庄七(印)、同村請人市左衛門→中野米屋林右衛門殿 借用人印切取、端裏書「帰り証文」	寛政6寅年12月	縦紙・1通	D-838
借用申金子之事(金2分) 壁田村借用人千助(印)、同村請人喜七→中野米屋林右衛門殿 墨消	寛政7年卯2月	縦紙・1通	D-819
借用申金子之事(御役所にて無扱入用につき金45両) 中野米屋借用人林右衛門(印)→草間村重兵衛殿、横倉村佐右衛門殿 墨消	寛政7卯4月	堅切紙・1通	D-823
借用申金子之事(無扱1両) 壁田村借用人勝之丞(印)、同村請人喜左衛門(印)→中野村米屋林右衛門殿 墨消、端裏書「〇壁田勝之丞帰り証文」	寛政7年卯5月	縦紙・1通	D-814
借用申金子之事(初子代ほか計1両3分) 田麦村借用人重兵衛(印)、同村請人清左衛門(印)→中野町米屋林右衛門殿 794～861は赤・緑まだら紐一括	寛政7卯年7月7日	縦紙・1通	D-794
借用申金子之事(初子として1両2分) 壁田村借用人清次郎(印)、同村請人佐五七→中野町米屋林右衛門殿 墨消、端裏書「〇壁田清次郎帰り証文」	寛政7卯7月7日	縦紙・1通	D-811
借用申金子之事(初子として金2両1分) 田麦村借用人喜平次(印)、同村請人茂八(印)→中野米屋林右衛門殿 墨消、端裏書「〇田麦村喜平次帰り証文」	寛政7卯年7月11日	縦紙・1通	D-825
借用申金子之事(初子として金1両) 厚貝村借用人長右衛門(印)→中野米屋林右衛門殿 墨消、端裏書「厚貝長右衛門帰り証文」	寛政7卯年7月11日	縦紙・1通	D-829
借用申金子之事(無扱3分) 壁田村借用人勝左衛門(印)、同村請人惣右衛門(印)→米屋林右衛門殿 墨消	寛政8辰年7月13日	縦紙・1通	D-816
借用申金子之事(年貢金3分2朱) 厚貝村借用人平五郎、同村請人小右衛門(印)→中野町米屋林右衛門殿 墨消、端裏書「帰り証文」	寛政9巳年12月	縦紙・1通	D-807
借用申金子之事(年貢金差詰り金2両) 厚貝村借用人清	寛政9巳年12月	縦紙・1通	D-815

七(印)、同村請人小右衛門(印)→中野米屋林右衛門殿 墨消、端裏書「帰り証文」			
借用申金子之事(金2分) 厚貝村借用人善兵衛(印)、同村請人八左衛門→米屋林右衛門殿 墨消、端裏書「帰り証文」	寛政11未年7月	縦紙・1通	D-820
借用申金子事(年貢金差詰り金3分) 厚貝村預り主平五郎(印)、同村請人小右衛門→中野米屋林右衛門殿 墨消、端裏書「帰り証文」	寛政10午年12月	縦紙・1通	D-834
相極申証文之事(小田中村小作人らの不納に対抗し地主手作とする旨地主連印) 中野村長右衛門、ほか24名→	寛政12申年2月	縦継紙・1通	D-940
借用申金子之事(粉子として金1両) 壁田村借用人青右衛門(印)→中野町米屋林右衛門殿 墨消	享和2戌年7月	縦紙・1通	D-844
定(酒造商売に付、仲間相談の上取極のこと) 仲間行司→ 26-1~6旧封筒一括	享和3年亥正月	縦切紙・1通	B-26-1
極一札之事(酒値段他取極のこと)		縦切紙・1通	B-26-2
為取替一札之事(酒値段他取極のこと) 中野町酒造人しば屋金兵衛、いか屋彦兵衛、よね屋権之丞、同久兵衛→	文化10年酉正月	縦継紙・1通	B-26-3
為取替一札之事(酒値段他取極のこと) 中野町酒造人與祐屋久兵衛、井賀屋彦兵衛、米屋権之丞、芝屋金兵衛→	文化10年酉正月	縦継紙・1通	B-26-4
為取替一札之事(酒値段他取極のこと) 中野町酒造人井賀屋彦兵衛、與祐屋久兵衛、しば屋金兵衛、與祐屋権之丞→	文化10年酉正月	縦継紙・1通	B-26-5
為取替一札之事(酒値段他取極のこと) 與祐屋権之丞、同久兵衛、芝屋金兵衛、井賀屋彦兵衛→	文化10年酉正月	縦継紙・1通	B-26-6
質地証文并拝借証文 高井郡中野村拝借人伝右衛門→	文化2年丑12月	縦長・1冊	C-402-1
質地証文并拝借証文 高井郡中野村林右衛門→	文化2年丑正月	縦長・1冊	C-402-2
質地証文并拝借証文 高井郡中野村清左衛門→	文化2年丑正月	縦長・1冊	C-402-3
質地証文并拝借証文 高井郡中野村林右衛門→	文化2年丑正月	縦長・1冊	C-402-4
質地証文并拝借証文 高井郡中野村清左衛門→	文化3年丑12月	縦長・1冊	C-402-5
質地反別拝借証文之事 高井郡中野村林右衛門→	文化4年寅12月	縦長・1冊	C-402-6
質地反別并拝借証文二冊二致ス 高井郡中野村林右衛門→ 下書	文化5~7年午12月	縦長・1冊	C-402-7
質地反別并拝借証文 高井郡中野村清左衛門→	文化6年巳12月	縦長・1冊	C-402-8
質地反別并拝借証文 高井郡中野村権之丞→	文化9年申正月	縦長・1冊	C-402-9
質地反別并拝借証文 高井郡中野村権之丞→ 下書	文化9年申正月	縦長・1冊	C-402-10
御貸附拝借質地証文 高井郡中野村拝借人権之丞→	子正月	縦長・1冊	C-402-11
質地証文之事 高井郡中野村拝借人権之丞、同村親類請人久兵衛、百姓代孫兵衛、組頭彦兵衛、同断嘉右衛門、同郡新野村名主佐右衛門→杉庄兵衛様御役所	文化11年亥正月	縦長・1冊	C-402-12
質地証文并拝借証文下書(金38両1分余) 高井郡中野村拝借人林右衛門、親類借人久兵衛、右村百姓代孫兵衛、与頭彦兵衛、同嘉右衛門→古橋隼人様中野御役所	文化2年丑12月	美・1冊	D-1025
乍恐以書付奉申上候(盗品の質取しない旨) 高井郡中野村質屋林右衛門、ほか12名→古橋隼人様御役所 組頭の奥書あり	文化3寅年5月	縦継紙・1通	A-250

差上申済口証文之事(水内郡質地小作初滞り出入に付、和融内済のこと) 本多豊後守城下水内郡飯山町長蔵(印)、差添人嘉右衛門(印)、同郡大倉崎村清左衛門(印)、右村名主新左衛門(印)→林右衛門殿、金兵衛殿、孫助殿 端裏書「飯山村長蔵願一件内済証文」、虫損あり	文化3年寅5月	堅継紙・1通	B-119
覚(紛失物内々詮義につき) 中野西町林右衛門(印)→伝右衛門殿、松蔵殿、弥左衛門殿	文化5年辰10月20日	堅切継紙・1通	B-308-1
覚(紛失物の内容) 中野西町林右衛門(印)→		堅切継紙・1通	B-308-2
彦之丞荷物改覚	文化6年巳3月	横長・1冊	C-321
借地証文之事(屋敷地) 水内郡奥出山村借地人源蔵、同村請人喜七→米屋権之丞殿	文化9申年正月	堅紙・1通	A-87-1
借地証文之事(屋敷地) 借地人権右衛門、小田中村請人金左衛門→当所米屋林輔殿 端裏書「地貸」	天保4巳年7月	堅紙・1通	A-87-2
借地証文之事(屋敷地) 借地主下小田中村次助、受人大乗寺→中野西町米屋林助殿	天保5午正月	堅紙・1通	A-87-3
年季奉公人請状之事(召抱の女子当所へ住替願につき) 中山道洗馬宿置主忠右衛門、善光寺新田町請人茂右衛門、ひさ→善光寺権堂村すゑ殿、差添伊兵衛殿 1~3は史料館封筒で一括	天保5午年5月日	堅紙・1通	A-92-1
女奉公人請状之事(奉公人の住替につき) 湯田中奉公人親方緑屋和田吉、金子屋請人治三郎、奉公人つね→中野湯町稲葉屋力蔵殿	文政8酉年7月	堅紙・1通	A-92-2
一札之事(召抱の女子を貴殿買請につき) 湯田中村倉蔵、立会人喜左衛門→銀次郎殿	子6月	堅紙・1通	A-92-3
借用申金子之事(無拠29兩、返済は日々500文宛、滞りの際は抱下女なミ引渡) 借用人力蔵(印)、請人[ ]、立合人[ ]→中野儀右衛門殿 墨消、差出人名切取、	文政8酉年10月8日	堅紙・1通	D-813
添証文之事(抱女の貴殿方奉公につき) 中野湯町人主刀蔵、請人要右衛門→中野儀右衛門殿	文政9戌年3月	堅紙・1通	A-95-1
添証文之事(抱女の貴殿方奉公につき) 要右衛門、立入人権之丞→治左衛門殿	文政9戌年4月	堅紙・1通	A-95-2
奉公人住替証文 中野湯町要右衛門代八重吉、同所請人箴三郎→川原湯平八殿 3と4は重ねて畳みこみ	天保2卯9月	堅紙・1通	A-95-3
奉公人住替証文 中野湯町要右衛門代八重吉、水内郡今井村請人藤之助→川原湯平八殿	天保2卯9月	堅紙・1通	A-95-4
覚(中野新田町又兵衛妹奉公世話の雑用金受取) 湯田中村安代組源治郎→米屋権之丞殿	天保12丑年11月20日	堅紙・1通	A-95-5
(書状、又兵衛妹奉公口利願) 横田又兵衛、親類平八→安□□つたや源治さま 95-6は5の中に折こみ	天保12)6月11日	切紙・1通	A-95-6
借用申金子証文之事(金子借用申候につき) 権豊村借用人泰力(印)、九間四村受人駒太郎(印)→中野権之丞殿 端裏に鉛筆書きあり	天保5年午6月	堅切継紙・1通	B-276-1
借用申金子之事(金子受取借用につき) □古田村借用人忠左衛門→受人九左衛門 端裏書あり、反故	文化14年丑7月11日	堅切継紙・1通	B-276-2
乍恐以書附奉申上候(酒造火入減方御尋二付) 信州高井郡中野村酒造人林輔、右同断伊兵衛→小林藤之助様御役所 下書	天保9年1月	堅紙・1通	B-267-1
乍恐以書付奉申上候(酒造火入減方御尋二付) 信州高	天保9年1月	堅継紙・1通	B-267-2

井郡中野村酒造人林輔、右同断伊兵衛→小林藤之助様御役所 下書			
以書付奉願上候(諸色高値仕入不足に難渋仕候につき) 信州中野村西町拝借人米屋権之丞(印)、親類伝之丞(印)→三井御店御支配人衆中様	天保11年から12年子9月	堅切継紙・1通	B-289
借用申金子之事(去年隣家より出火、土蔵消失いたし難渋につき金50両) 信州高井郡中野借用人紬寅宿権之丞(印)、同所受人彦九郎(印)、同所親類七郎右衛門(印)→三井八郎右衛門殿代御支配人中、三井八郎兵衛殿代御支配人中 作成3名の連印奥書あり、端裏書「下」	天保14年卯ノ5月	堅継紙・1通	D-839
請状之事(高井郡中野村桂屋傳助俵の三井京店奉公につき) 丸太町西洞院東江入町請人丹波屋佐七、信州高井郡中野同米屋権之丞、信州高井郡中野親桂屋傳助、奉公人梅吉→三井八郎右衛門殿代福井又次郎殿、ほか3名 奥に桂屋・米屋・丹波屋の添書あり	天保15年辰9月	堅継紙・1通	A-18
乍恐以書付再御愁訴奉申上候(長蔵娘りつ一季奉公に差出の処、懐胎病気のため送り戻されその後出生男子病死、りつも病気のため難渋に付、右始末御吟味願) 越後国城頭(頸城カ)高田城出雲崎長蔵煩ニ付代庄次郎→中野御役所	天保15年辰10月	切継紙・1通	B-71
借用申金子証文之事(金50両) 借用人権之丞、請人庄七→夜間瀬組年兵衛殿、同断政右衛門、同断要蔵殿 加筆して、「質物相渡証文之事」に書替	弘化3午年10月	堅紙・1通	A-145-1
(書状、当暮中に返金されたき旨) 政右衛門、年兵衛→渡辺権之丞様、貴下	12月22日	切継紙・1通	A-145-2
以書付奉願上候(信州上田并松代同様金100両に付金1両宛口銭被下置候に付) 信州中野願人米屋 権之丞→三井御店 御支配人衆中様	嘉永6年丑12月	堅紙・1通	1233
(書状、□) 裏打ち	卯3月27日	横切継紙・1通	D-525
茶仕切状(金子内訳及び人数書き上げ) 下妻町稲葉吉兵衛→堀内惣蔵殿、同与市殿 上端に割印あり	巳5月17日		B-316
御吟味ニ付申上候書付(帳面石高と酒造石高符合不致こと御吟味につき) 高井郡酒造屋→風祭求馬様御役所 扣、266-2を巻込	酉1月	堅継紙・1通	B-266-1
(書状、酒造高御改之儀ニ付) 米屋十郎次、彦兵衛→木下直兵衛様 266-1に巻込		横切継紙・1通	B-266-2
店證文之事(酒造蔵ほか借家につき) 下書		堅継紙・1通	B-269-1
借家證文之事(酒蔵ほかにつき) 下書カ、269-2を巻込、同一紙に添證文あり		堅紙・1通	B-269-2-1
添證文之事(酒造一件借シ渡候ニ付) 十郎次→源助殿 269-2-1に巻込	未8月	堅切紙・1通	B-269-2-2
借家証文之事(酒造蔵ほかにつき) 後欠		堅継紙・1通	B-269-3
借家證文之事(酒蔵ほかにつき) 中野借家人源助、同所請人亥栄、同断平左衛門→中野米や十郎次殿 扣、「十郎次印」の奥書あり、端裏書「写扣」	寛延4年8月2日	堅紙・1通	B-269-4
覚(仕入代金書上)		堅切紙・1通	C-375-1
相場(米・大豆代金など書上)		堅切紙・1通	C-375-2
(品代金書上)		堅切紙・1通	C-375-3
おぼへ(金銭書上)		堅切紙・1通	C-375-4

覚(品代金書上)		堅切紙・1通	C-375-4
(玄米売候につき)		堅切紙・1通	C-377
(養子相続につき)	正月6日	堅切紙・1通	C-341
(御病氣之處御養生につき書状) 高井村正泰(花押)→渡辺権之丞様	正月22日	堅切紙・1通	C-343
(書状、色々心配の礼、当人お返し願) ふじや新三郎→源治郎様、新之助様、平八様	2月19日	横切継紙・1通	D-777
(金21両送候につき 金子新八→渡辺権之丞様)	正月6日	堅切紙・1通	C-342
覚(まさ代金受取につき) □すたれや吉五郎(印)→忠左衛門様	6月10日	堅切紙・1通	C-350
(絶縁いたし候につき) 弥五左衛門→ 上部破損	6月10日	堅切紙・1通	C-387
覚(金5両受取) 横田屋由兵衛(印、「信州中野中町」)→西町米屋様	6月11日	横切紙・1通	D-755
(書状、岩魚少々差上、先日御馳走の礼) 湯本五郎治→渡辺権之丞様、机下	6月13日	横切継紙・1通	D-728
(書状、御拝借につき数日日延願) 小田中新右衛門→中の新町権之丞サマ、玉机下	6月21日	横切紙・1通	D-780
覚(人数書上) □→	7月	堅切継紙・1通	C-349
(家賃家財差留置候につき) 橋六右衛門→渡辺権之丈様 鉛筆書きあり	7月12日	堅切紙・1通	C-380
口上(書物不残下され候につき) □□□与四郎→この□ 伝左衛門殿	8月2月	堅切紙・1通	C-362
(米送り候につき) 信州松代町増田孫之丞(印)→渡辺彦之丞様	8月28日	堅切紙・1通	C-338
(書状、茶台お備願) 宇木村湯本茂右衛門→渡辺権之丞様、尊下	9月6日	横切紙・1通	D-778
(書状、兄病死の際世話の礼、今後も取立願) 菊屋→渡辺権之丞様	9月20日	横切継紙・1通	D-745
(床之間箆箇のうへニ退置につき) 井上仁助→上田斉藤曾右衛門様、木村直次郎様	9月24日	堅切紙・1通	C-323
(入梅之義につき) 文之丞→ 端裏書「大長松三九郎様、正木六四郎様 十二五十二八七」	12月16日	堅切紙・1通	C-333
指出し申一札之事(屋敷譲渡につき双方得心の定書、写) 上町新右衛門、利左衛門、新右衛門組立合弥五兵衛、新左衛門、次兵衛、分右衛門、半平、渡し主甚左衛門、合屋立合万吉→彦之丞殿、藤左衛門殿		堅紙・1通	A-200
賃銭之(一200文御状巻封目形10目までほか書上) 牟礼宿かのや六左衛門(印)→	戌7月18日	堅切紙・1通	B-14
一札之事(売渡酒預りにつき) 源助→満助殿 写、端裏書「源助より取置候證文写」	戌11月	堅切紙・1通	B-260
一札之事(品売渡シにつき) 売主平兵衛(印)、受人力蔵(印)、立合柳八→新蔵殿	亥12月29日	堅切継紙・1通	B-279
差上申一札之事(御林之義下刈御運上相納につき) 当人、組合、親類、好ミ→		堅切継紙・1通	B-283
覚(信州喜多村徳左衛門殿より封印金子受取に付) 伊	酉1月15日	切紙・1通	B-301

渡辺家/家・米屋

勢山田村岡七左衛門(印)→信州中野村米屋金蔵様			
一札之事(手負一件之儀につき) 湯田中村治三郎(印)、 親類組合中→中野村源十郎殿親類組合中	丑11月5日	堅切紙・1通	C-322
覚(金式両請取につき) 木北屋伊兵衛、庄八(印)→渡辺彦 之丞、同惣七様 反故、端裏書鉛筆書き	午5月	堅切紙・1通	C-336
(親孝行の代官褒賞、夢の知らせ、などにつき書上) 中の元右衛門→御上様	丙午年正月	堅継紙・1通	D-527
(書状、六川役所に取りなしたので中野役所につきよ ろしく取斗願) (日滝油屋)卯右衛門→半六様、(上条川 原湯二而、米屋)宗蔵様 結封	12月2日	堅紙・1通	D-775
(郡中割の件、扱入方より済し方は去年議定書の通り に付) こくやにて伝左衛門様	丑8月 日	堅切継紙・1通	1118
(断簡、文書中に、「明和八年卯年十二月」とあり)	(明和8年12月)	堅切紙・1通	1134-1
口上(7月29日、中野表へ罷り出る件に付、お届けの こと) 市左衛門→伝左衛門様	(明和8年12月)7月26日	堅切紙・1通	1134-2
(欠番 番号飛び番)			B-83
(欠番)			C-386

## 史料目録 第84集

しなののくにたかいぐんがしえべむらやまだしょうざえもんけもんじょもくろく  
信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書目録 (その4・完)

印刷発行 平成19年4月10日

発行者 人間文化研究機構 国文学研究資料館

編集 調査収集事業部

〒142-8585

東京都品川区豊町1丁目16番10号

電話番号 03-3785-7131(代)

印刷所 睦美マイクロ株式会社

〒744-0002

山口県下松市大字東豊井1364番地

©人間文化研究機構 禁無断複写

(本文用紙は中性紙を使用)

本書は国文学研究資料館史料館の「史料館所蔵史料目録」(第78集まで発行)を継続しています。

ISBN978-4-87592-125-7



**ISBN978-4-87592-125-7**